

# 歯科補綴学 専門用語集

第5版

2019 The Glossary of  
Prosthetic Terms 5th ed.

公益社団法人  
日本補綴歯科学会 編



医歯薬出版株式会社

This book was originally published in Japanese  
under the title of :

**SHIKAHOTETUGAKU SENMON-YOUGOSYU**  
(The Glossary of Prosthodontic Terms)

Editor :  
Japan Prosthodontic Society

© 2001 1st ed.

© 2019 5th ed.

**ISHIYAKU PUBLISHERS, INC.**

7-10, Honkomagome 1 chome, Bunkyo-ku,  
Tokyo 113-8612, Japan

## 歯科補綴学専門用語集

### 目次

「歯科補綴学専門用語集 第5版」の発刊に寄せて	— ii
第5版序	— iv
「歯科補綴学専門用語集 第4版」の発刊に寄せて	— vi
第4版序	— viii
「歯科補綴学専門用語集 第3版」の発刊に寄せて	— x
第3版序	— xii
歯科補綴学専門用語集の第2版の発刊に寄せて	— xiv
改訂版序	— xvi
歯科補綴学専門用語集の発刊に寄せて(初版)	— xviii
序(初版)	— xix
執筆者一覧	— xxii
凡例	— xxiv
歯科補綴学専門用語	— 1
同義語一覧	— 118
日本語索引	— 133
外国語索引	— 172
人名索引	— 187

## 「歯科補綴学専門用語集 第5版」の発刊に寄せて

ここに、公益社団法人日本補綴歯科学会による『歯科補綴学専門用語集 第5版』が上梓されました。この『歯科補綴学専門用語集』は2001年に第1版が刊行されて以来、ほぼ4年毎に改訂され、18年を経て本年、第5版が無事発行されました。まずは、多大なご尽力をいただきました西村正宏用語検討委員会委員長をはじめとする委員会委員の諸先生方へ感謝を申し上げます。同時にこの第5版は、松村英雄前理事長期の南 弘之前委員長とその委員会の活動の上にてできあがったものであることも忘れてはなりません。

学術用語は学問に関する事柄を記述するために用いられる用語ですが、その定義がはっきりしていなければ、議論を進める上でも、論理を展開し結論を導く上でも、相手に理解させる上でも、支障が出てきます。したがって、学術用語の制定は学問の質を向上させるためには非常に重要な意味を持ちます。

日本補綴歯科学会による『歯科補綴学専門用語集』は、他の歯科学会に先駆けて整備されてきました。一方、様々な用語集、基準、指針などが制定されておりますが、歯科補綴学関連用語においては、本専門用語集が最上流に位置するものであり、またそれを担保するだけの学会、委員会の見識と努力により編集が進められてきたものと信じております。

この度の改訂では、3つのことを柱としました。1つ目は前版の英語表記に対応させた The Glossary of Prosthodontic Terms Eighth edition (GPT-8) が改訂されており、新版である Ninth Edition (GPT-9) との整合を取ることでした。2つ目に補綴歯科領域の拡大に伴い摂食嚥下、CAD/CAM、インプラント、再生の用語を充実させたことでした。補綴歯科の多様性を考えれば、用語の数はどんどん膨れあがるわけで、出版における用語数の制限と用語の充実の狭間で委員会は苦労されたと思います。3つ目にこれまでの用語についても、学問の進歩の観点からその解釈を再度見直したことです。

これまでも何度も述べられてきたように、言葉、用語は生き物といわれており、時代とともにその定義も用語も変わっていくことは避けられません。そのために診療ガイドラインと同様に、定期的な改訂が必要です。GPT-9も大きく変わっており、戸惑うことも多くあったと聞いております。

会員の皆様におかれましては、本専門用語集をさらに利用価値の高いものにするために是非熟読していただき、引き続きご意見を頂戴できれば幸いと存じます。

最後に、『歯科補綴学専門用語集 第5版』の完成に向けてご尽力いただいた2代にわたる用語検討委員会の関係者にもう一度深く感謝を申し上げて、結びとさせていただきます。

2019年3月  
公益社団法人日本補綴歯科学会  
理事長 市川哲雄

## 第5版 序

『歯科補綴学専門用語集 第5版』を出版するにあたり、本改訂版の作業過程とその背景についてご説明いたします。

本改訂は市川哲雄理事長のご指示の下、①国際的観点に立つて“The Glossary of Prosthodontic Terms (GPT)”との整合性をとること、②高齢者歯科学、摂食嚥下リハビリテーション学、デジタル歯科学、歯科インプラント学等、歯科補綴学の学問領域の拡大に伴って広がった守備範囲を網羅するための用語を追加すること、③用語は生き物と言われ、学問の発展とともにその定義も用語そのものも変化していくものであることから、一つひとつの用語の定義についても改めて見直すこと、の大きく3点を念頭に作業にあたりました。

まず前委員会（南 弘之委員長）からは、多くの要追加、要削除用語と GPT-8 との和英対比ファイルを引き継ぎました。今回の改訂では国家試験や共用試験の出題基準、最近改訂された教科書内の用語との整合性をとることに配慮いたしました。時期を同じくして、『日本歯科医学会学術用語集』の改訂作業が進んでいたことから、今回の改訂においては、『日本歯科医学会学術用語集』の用語選定にも目を配る必要性が生じました。しかし一方で、他の基準に迎合して補綴の矜持を忘れることのないよう、あくまで本用語集が歯科補綴学の最上流に位置することを念頭に、特に用語の選定には慎重を期しました。前述の GPT は米国の The Academy of Prosthodontics が編纂している用語集ですが、これがちょうど委員会を引き継いだ 2017 年 5 月に第 8 版から第 9 版 (GPT-9) として改訂されたことから、改めて委員全員で GPT-9 との整合性を確認、反映する作業も行いました。続いて本会社員に対してパブリックコメントを広く募集して内容を整理後、一つひとつの用語の定義について各専門家に再検討を依頼して内容の精緻化を進めました。最後にもう一度パブリックコメントを求め、集まったご意見を元に委員会内で修正を行いました。幹事の村上 格先生には多くの意見の集約、関連用語の整合性の修正、索引用語の抽出等において本当に多くの仕事をしていただきました。また医歯薬出版編集部には緻密な編集作業をしていただき感謝申し上げます。

上記の作業は本委員会と前委員会の 4 年間の作業によって行われたことから、両委員会でご尽力いただいた先生方に感謝申し上げます。特に精力的に編集作業にあたっていただいた本委員会の委員各位と、大所高所から温かく見守っていただいた市川理事長に深く御礼申し上げます。

また今回の改訂作業に際しては、多くの社員と各分野の専門家の御協力を賜ったことに深甚なる感謝を申し上げます。

この『歯科補綴学専門用語集 第5版』が本学会はじめ、歯科界で活躍する皆様に広く活用されることを願っております。

2019年3月

公益社団法人日本補綴歯科学会  
用語検討委員会 委員長 西村正宏

2017～2018年度 用語検討委員会

委員長 西村 正宏  
副委員長 岡崎 定司  
委員 木本 克彦  
木本 統  
秋葉 陽介  
古地 美佳  
幹事 村上 格

2015～2016年度 用語検討委員会

委員長 南 弘之  
副委員長 黒岩 昭弘  
委員 岡崎 定司  
川口 智弘  
鬼原 英道  
古地 美佳  
幹事 村原 貞昭

## 「歯科補綴学専門用語集 第4版」の発刊に寄せて

歯科補綴学専門用語集は2001年に第1版が刊行され、その後2004年に第2版、2009年に第3版が発刊されました。それぞれの版の序文に述べられているように、歯科補綴学専門用語集の刊行は日本補綴歯科学会に置かれた歴代の用語検討委員会が中心となって進められてきました。今回の第4版の出版にあたって、これまでと同様に第3版の刊行後すぐに用語検討委員会において改訂に向けて準備が進められました。すなわち、2009-2010年期には佐々木啓一理事長・魚島勝美用語検討委員会委員長のもので、2011-2012年期には古谷野潔理事長・二川浩樹用語検討委員会委員長のもので改訂作業が進められ、さらに2013-2014年期には佐藤亨用語検討委員会委員長を中心に精力的に改訂作業が推し進められ、その強力なリーダーシップの下でついに改訂作業が完了し、6年ぶりによく第4版の刊行を迎えることができました。まずは、佐藤委員長ならびに用語検討委員会の諸先生方に満腔の謝意を表したいと思います。

私が公益社団法人日本補綴歯科学会理事長を拝命するにあたりまして佐藤亨用語検討委員会委員長に依頼したことは、高齢者に対する歯科補綴に関する用語の充実を図ることおよび年々進む国際化に対応するため用語の英語表記をできるだけThe Glossary of Prosthodontic Terms Eighth Edition (GPT-8)と整合させることの2点でした。超高齢社会となった我が国では今後ますます高齢者や全身疾患をもつ者の増加が見込まれることから、この領域に関連した歯科補綴学用語を新たに加えるとともに英語表記は常にGPT-8に掲載されている用語とその定義を参考に修正を加えていただきました。

学術用語は、その学問分野の発展に欠かせないツールとなるものであり、専門用語集の果たす役割はきわめて大きいと言えます。さらに歯科領域における専門用語集は、我が国における歯学教育の根幹をなす歯科医学教授要綱、歯学教育モデル・コア・カリキュラムおよび歯科医師国家試験出題基準の3つで使用される学術用語のソースとなる役割も担っています。私も今期の用語検討委員会にはほぼ出席させていただき、その責任の重さを双肩に感じながら改訂作業を微力ながらお手伝いさせていただいたことを大変にうれしく思います。

用語はまさに生き物であり、時代の変化とともに使用される学術用語も変わっていくことが予想されます。したがって、専門用語集の編纂には終わりはありません。この第4版の発行の後もし引き続き用語検討委員会において第5版



の作成に向けて活動を開始していただかなければなりません。会員諸氏におかれましては、本専門用語集をさらに利用価値の高いものにするために引き続きご意見を頂戴できれば幸いと存じます。

最後に、歯科補綴学専門用語集第4版の完成に向けてご尽力いただいた3代にわたる用語検討委員会諸氏にもう一度厚く感謝を申し上げて結びとさせていただきます。

2015年1月  
公益社団法人日本補綴歯科学会  
理事長 矢谷博文

## 第4版序

歯科補綴学専門用語集第3版1刷は2009年3月に発行、2013年2月には5刷が発行され、当該学術分野に不可欠な専門用語集として利用されてきました。

矢谷博文理事長の「出版に寄せて」にもありますとおり第3版1刷発刊後、魚島勝美委員長（2009-2010年度）、二川浩樹委員長（2011-2012年度）のもと改訂作業が進められ、2013年度に発足しました本委員会において第4版を発刊する運びとなりました。

今回の改訂作業の原則は第2版、第3版と同じですが、あわせて矢谷理事長からの「高齢者への歯科補綴学治療に関する用語の充実を図る」、「英語表記をできるだけ The Glossary of Prosthodontic Terms Eight Edition (GPT-8) に整合させる」というご指示のもと、第4版の改訂作業を行いました。

本委員会で実施した主な改訂編集作業は以下の通りです。

### 1) 第3版の照査

「解説用語は簡潔かつ的確に体言止めで表記」「歯科補綴専門医レベルまでの専門用語の解説」を基本原則として、用語とその解説の確認修正を行いました。併せて第3版における表現、関連用語との整合性等について再検討を行いました。

また英語表記をできるだけ The Glossary of Prosthodontic Terms Eight Edition (GPT-8) と整合させました。

### 2) 新規採用用語の追加

前委員会から引き継いだ新規採用用語案の確認と協議を行い、これらについて本学会代議員に対してパブリックコメントを求め、新規採用用語および解説文を作成しました。また、既記載用語との統一性、整合性を取るべく、既記載用語の見直しを行いました。

### 3) 同義語、索引の整理

同義語、索引に新規採用用語を含めるとともに、それらの確認、修正を行いました。

上記の作業は委員長・委員の交代を経つつ6年間の長きにわたり引き継がれて行われて参りました。歴代の委員長であります魚島勝美先生、二川浩樹先生と、そのもとで作業にあたられた委員の御努力に報いることができましたことを嬉しく存じますとともに、感謝申し上げます。また、精力的に編集作業に取り組んでくださいました本委員会の委員各位と、絶えず御指導いただきました矢谷博文理事長に深く御礼申し上げます。

また今回の改訂作業に際して、多くの会員の皆様の御協力を賜り、また、沢山の御意見・御指摘を頂戴しました。ここに、深甚なる感謝を申し上げます。

最後に発刊にあたり多大な便宜を図っていただいた医歯薬出版株式会社関係各位に厚く御礼申し上げます。

2015年1月

公益社団法人日本補綴歯科学会  
用語検討委員長 佐藤 亨 記

公益社団法人日本補綴歯科学会 用語検討委員会

2013年度～2014年度委員

委員長 佐藤 亨

副委員長 越野 寿

委員 萩原 芳幸

佐藤 利英

田上 直美

幹事 野本俊太郎

2011年度～2012年度委員

委員長 二川浩樹

副委員長 岡崎定司

委員 隅田由香

萩原芳幸

松山美和

幹事 玉本光弘

2009年度～2010年度委員

委員長 魚島勝美

副委員長 前田芳信

委員 小出 馨

塩山 司

谷口 尚

幹事 富塚 健

## 「歯科補綴学専門用語集 第3版」の発刊に寄せて

ここに、われわれの社団法人日本補綴歯科学会による標記書籍が上梓されました。先ずは、多大なご尽力をいただきました谷口 尚・用語検討委員会委員長をはじめとする委員会委員の諸先生へ感謝を申し上げます。

本学会における用語の整理は1980年代の半ばに開始されました。そして1997年4月、小林義典・会長、田中貴信・用語検討委員会委員長のもとで「歯科補綴学専門用語集」の発刊へ向けての作業が開始されました。当時の200名を超える評議員に対するアンケート調査を踏まえて、2001年2月に田中久敏・会長、田中貴信・委員長（2期連続担当）のもとで、医歯薬出版株式会社から「第1版」が発行されました。これは、数千語の中から歯科補綴学の専門用語として使用される719語を厳選し、専門学会として明確な解説を加えた140頁からなる書籍でした。その後、2003年2月に川添堯彬・会長、井上 宏・委員長のもとで、101語を収録した小冊子「歯科補綴学専門用語集—疾患・病名・検査編」が発行され、2004年10月に大山喬史・理事長、田中貴信・委員長のもとで、新しい用語を追加した944語とその解説文を収録した「第2版」が発行され、今日に至っております。

2001年の「第1版」の出版以来、「歯科補綴学専門用語集」は歯科医学教授要綱、歯科医師国家試験出題基準、歯学教育モデル・コア・カリキュラム：教育内容ガイドライン、共用試験CBT問題・同OSCE課題などで公的に使用されております。最近、医歯薬出版株式会社から相次いで5つの歯科専門学会から専門用語集が発刊されましたが、その意図、内容、体裁などの多くの点で、われわれの補綴歯科学会がその先鞭を付けたといえます。

「第1版」にも記載されている通り、言葉は生き物です。学術用語であっても時代とともに変化すべきものであり、たゆまぬ見直しが必要です。そこで、2007年4月に小生が理事長を拝命するにあたり、用語検討委員会に対して「第2版」の改訂への着手をお願いいたしました。そして2年間にわたるご苦勞をいただき、ここに「第3版」の発刊に至った次第です。

「第3版」では、インプラントならびに顎顔面補綴学関連用語などが新たに追加され、1,005語が収録され、その各々に解説が記載されております。「同義語として認める用語」も若干増えて121語となりました。また日本語および外国語索引数が3,400語を超えております。改めて歯科補綴学の奥の深さと補綴歯科治療の守備範囲の広さを痛感いたします。

本書の発刊と時をほぼ同じくして、「Journal of Prosthodontic Research」と「日本補綴歯科学会誌」が従来からの和文誌（補綴誌）と英文誌（Prosthodont Res Pract）に変わりました。両機関誌は学会の最新の学術的知識と技術についての情報を公開し、それらを共有する重要な役割を担うこととなります。これらの中で使用される用語を統一する意味で、本用語集は不可欠な資料の一つになるはずであります。また、本書が歯科界のみばかりではなく、さらに広い諸分野で利用されることを期待します。

2009年2月  
社団法人日本補綴歯科学会  
理事長 平井敏博

## 第3版序

私たちの学会が発行してきた歯科補綴学専門用語集は、第1版および第2版とも、田中貴信・委員長のもとで、一貫した方針のもとにさまざまな修正がなされ、さらに充実したものとなっております。

専門用語は当該学術分野の進歩・発展を促すために必要な情報交換のツールとして不可欠であります。そのため、学術分野の専門用語集は当該分野ならびに関連分野の進歩・発展に追隨して、可能な限り早期に見直し、修正がなされなくてはなりません。

今回、平井敏博・理事長から歯科補綴学関連の用語について、教育・診療・研究・国民生活を包含する観点から全体的に見直し、関連分野との整合性を踏まえて整理・統合・発展させるよう命じられました。特に、今期用語検討委員会においては、「歯科補綴学専門用語集 第3版」の発刊を軸に活動することとなり、第1版、第2版での経緯を十分反映させ、ここに第3版の発刊となりました。今回の改定で実施しました編集内容は以下の通りです。

### 1) 第1版、第2版の照査

必要に応じて第1版を含め、第2版における誤植、不適切な表現、関連用語との整合性、凡例との整合性などに関して再検討を行い、会員ならびに社員からの指摘、要請を踏まえ、可及的に用語の掲載順序および文言の修正、ならびに削除を行いました。

### 2) 新規用語の追加

収載用語は解説文付き用語と解説文のない同義語から構成されています。第2版では、解説文付き用語848語、同義語96語の計944語が収載されましたが、第3版では、解説文付き用語884語、同義語121語の計1005語を収載しました。

同義語に関しては、今回の新規追加に伴い追加されたものと、会員の要請により使用が望ましくない用語から復帰させたものがあります。

### 3) 「補綴物」関連用語

第2版では、「補綴物」関連用語を解説文付き用語、「補綴装置」関連用語を同義語としましたが、第3版では、「補綴装置」関連用語を解説文付き用語、

「補綴物」関連用語を同義語としました。

#### 4) 索引の整理

- (1) 同義語に解説文付き用語番号を付与しました。
- (2) 付録番号をすべて反映させました。
- (3) 人名索引を別途設けました。

最近、学術分野の専門用語集が相次いで発刊されており、類似した体裁のもので、その内容は相違する点が散見されます。本用語集が、関連する他の学術分野の専門用語集の動向と協調しながら、機会あるごとに修正・充実され、歯科医学の進歩に多大な貢献をすることを願いつつ、委員一同、今回の改定作業に際して、ご指摘、ご意見、ご要請などさまざまご協力いただきました会員の皆様に心から感謝申し上げます。また、発刊にあたり多大なる便宜を図っていただきました医歯薬出版株式会社関係各位に厚く御礼を申し上げます。

2009年2月

日本補綴歯科学会用語検討委員会（2007年度～2008年度委員）

委員長 谷口 尚

副委員長 尾関雅彦

委員 久保吉廣

永井栄一

依田正信

幹事 隅田由香

## 歯科補綴学専門用語集の第2版の発刊に寄せて

先ずは、『第2版 歯科補綴学専門用語集』の発刊に際して多大なご尽力を頂きました田中貴信用語検討委員会委員長はじめ委員の先生方に心よりお礼を申し上げます。

本用語集の編纂が企画されましたのはかなり前と伺っておりますが、具体的に始動したのは小林義典元日本補綴歯科学会会長時代で、その作業は次代田中久敏日本補綴歯科学会会長に引き継がれ、ようやく2001年「歯科補綴学専門用語集」として上梓されるに至りました。この背後には、その二代の会長に仕え、当該委員会委員長として率先励行の労を執られ、奮迅の努力をされた田中貴信先生の強いリーダーシップと委員会委員の努力があったことを忘れることはできません。それまでは、本来共用されているべき専門用語に同義語、同意語が多々あり、必ずしも共通の理解・了解が得られなく混沌としていた時期が続いていたと言えましょう。そのような状況の中で、田中貴信用語検討委員会が勇気と決断をもって初版本を発刊したところであります。この刻苦に補綴学会員として心より敬意を表するものであります。風聞ではありますが、その初版本がきっかけで他の学会でも専門用語集の編纂に踏み切ったと伺いました。もしそうだとしたら、大変うれしい話です。

その後、川添堯彬前日本補綴歯科学会会長時代、井上 宏用語検討委員会により、見直し検討がなされてきました。最近では、こうして整理・精査された専門用語も日本補綴歯科学会機関誌、学術大会において、立派に共通語として市民権を得てきたように思います。

2003年、わたくしが日本補綴歯科学会会長を仰せつかるにあたり、再度田中貴信先生に用語検討委員会委員長をお願いし、改訂版としての第2版の発刊に向けて、井上 宏前委員会の検討事項を踏まえたところで、引き続き見直し検討をお願いしたところであります。そしてこの度、井上 宏前委員会、田中貴信現委員会の活発な委員会活動と粉骨砕身のご努力により、ここに改訂版としての第2版が出版される運びになりました。殊に、専門用語の統一の至難さもさることながら、時の流れとともに変遷を辿るのが常なるが故に難しい専門用語の統一・選択とその解釈付け、これには委員会の並々ならぬ刻苦勉勵の賜物と心より敬意を表したいと思えます。歯科医学の主流でもある歯科補綴学会がいち早くこの編纂を手がけたこと、また生きた専門用語を厳選・網羅し、かつ平易に詳解がほどこされた歯科補綴学専門用語集を、ここに手に出来たことは



日本補綴歯科学会員としてこのうえもない喜びであり，また誇りであります。長きに渡り，誠心誠意ご尽力頂いた用語検討委員会の委員長，委員の先生方に心より感謝申し上げます。

おわりに，この歯科補綴学専門用語集がたゆみなく見直し・検討がなされ，時に応じ日本補綴学会の研究結果も追補され，歯科界で活躍する関係者に広く日常的に活用されることを期待して止みません。

平成 16 年 9 月

日本補綴歯科学会  
会長 大山喬史

## 改訂版序

初版の歯科補綴学専門用語集は平成13年2月に刊行されたが、日本補綴歯科学会会員はもちろん、多くの臨床家からも比較的高い評価を得てきた。また、専門用語に限定して専門学会として責任ある解説も加えられた実用性の高い用語集として、他の専門学会からも注目され、その中の幾つかの学会では、現在それぞれ本書に準じた用語集の編纂が企画されていると聞く。

しかし初版本では、編集時間の制約から、日本補綴歯科学会の保有する用語資料の一部の検討・掲載を断念せざるを得なかった経緯があり、また、前期用語委員会から内部資料として報告された、疾患・病名・検査・診察・経過観察などに関する用語の整理も必要であった。もちろん、多くの利用者から指摘された沢山の疑問箇所の蓄積もあった。

大山喬史会長から本用語集の再検討を命ぜられた今期の用語検討委員会においては、上記の懸案事項の処理を主眼とした編集作業を行った。その具体的内容は以下の通りである。

### 1) 初版本の照査

従来用語集に関して、単純ミス、不適切な表現、関連用語との整合性、などに関して全面的な再検討を行い、可及的に語句の修正を行った。また、会員から寄せられた各所の疑義に関しても十分な検討を行った結果、大幅な修正を行った用語は52語となった。

### 2) 追加

下記の資料について委員会で審議の結果、新規採用として126語を選択し、それらの解説文に関しては、委員自身で分担執筆した。

- (1) 歯科補綴学用語集資料(坂東永一委員長,平成9年発行)の「古語,新語,固有名詞等」の239語
- (2) 歯科補綴学専門用語集(井上宏委員長,平成14年発行), I疾患・病名・検査編の229語, II診察・検査・経過観察編の101語
- (3) 評議員のアンケートとして,追加希望;14名からの114語,修正希望;15名からの71語

### 3) 英語表記の確認

初版本の用語も含め、英語表記の全面的チェックを行ったが、これに関しては、当時海外に留学中の、沢山の若手会員の協力を仰いだ。

### 4) 索引の整理

従来の日本補綴歯科学会としての用語資料のすべてに関する検討が修了したため、本書に採用した以外の用語は、すべて索引から除去した。

本用語集が今後も機会あるごとに修正・充実され、歯科医学の進歩に多大な貢献をすることを願いつつ、委員一同、今回の編集作業に関してさまざまなご協力をいただいた関係者に、心から感謝申し上げます。

平成 16 年 9 月

日本補綴歯科学会用語検討委員会（平成 15 年度～平成 16 年度委員）

委員長 田中貴信

副委員長 三浦宏之

委員 清野和夫 豊田 實

長岡英一 坂東永一

幹事 金澤 毅

## 歯科補綴学専門用語集の発刊に寄せて（初版）

この度、日本補綴歯科学会が用語検討委員会を中心として、歯科補綴学ならびに関連用語について整理を行い、共通の土俵で補綴学を考えることのできる用語集を出版する運びとなりました。

数千語に及ぶ補綴学用語から厳選し、専門用語として用いられるものを明確に解説を加えた編集業務の影には、十数年に及ぶ用語検討委員会ならびに関係各位の幾多の労力が秘められております。

言葉は現実社会の鏡でもあり、文化、教養を高めるためのツールでもあります。同様に、補綴学の発展には用語の整合性が必須であり、それが達成された時に専門性が発揮されることになると信じます。補綴用語も新しい言葉が生まれるまでには多くの研究と医療の長い歴史があり、おいそれと整えることは至難の業です。特に訳語に至っては全能の指揮官の息のかかった用語を変更しようとしても、なかなかうまく変えることができず、一見あきらめムードさえ感じる場面もありました。また、用語の中には未消化どころか、嘔み（いや失礼咬み）碎かれていないまま医療現場に浸透したものもあり、地球規模(Globalization)の学术交流の叫ばれる今日に至っても、感覚的に統一見解を得るのが難しいのが現状です。したがって、未だ多くの整合性の不十分な箇所も多くみられるものと推察されます。

今回、簡にして要を得た日本語をモットーに手際良く整理することができたのも偏に用語検討委員会委員長田中貴信教授のリーダーシップのもとで、委員会各位のご努力により達成されたものと敬意を表します。

今後の発展に向けて学会員諸氏の御批判と御指導を賜れば幸いと存じます。

最後になりますが、本学会員ならびに委員会諸氏の御援助と御努力に対し、厚く御礼申し上げます。

平成 13 年 2 月

日本補綴歯科学会  
会長 田中久敏

## 序（初版）

日本補綴歯科学会において、歯科補綴学専門用語の検討は発会当初より随時試みられてきたであろうが、現在のような用語検討委員会が組織され、総合的な用語の整理が始まったのは、昭和59年の三谷春保委員長下の第一期用語検討委員会としての活動が端緒である。それ以降に限っても、本件に関しては実に長期間、幾多の先人の多大なエネルギーが注がれてきたことになる。

これらの委員会のご努力の結晶として選別された膨大な数の歯科補綴関係用語は、山下敦委員長により「中間報告」として、また、それを引き継いだ坂東永一委員長により「用語集資料」として、それぞれ会員に提示された。それらの経緯と我々を取り巻く昨今の社会環境を考慮して、本委員会は、今こそ専門学会としての責任の下に編纂され、実用性も備えた「専門用語集」が必要であると考え、新用語集としての具体的内容について検討してきた。この機会に、あるいは性急に、またあるいは強引に、我々なりに具体的な一つの形を提示して、今後はそれを骨子として本学会の用語集を順次充実させてゆくことが最良であろうと判断したものである。特に今回は、これまでのように単なる学会の内輪の資料に留めず、日本補綴歯科学会の公式見解として、広く世に公表することとした。幸い医歯薬出版(株)のご協力も得て、一般書籍として立派な体裁で刊行できたことは、委員一同にとっても望外の喜びである。

本書が末永く諸兄の座右に置かれ、日々ご活用戴けることを心から願うものである。

本用語集出版に関して、本用語検討委員会における編纂作業の大筋は以下の通りである。

### 1) 用語の整理

一般的に用語集の類はその語集数を誇る傾向がある。あたかも、それがその専門分野のレベルの高さを表示するが如き評価をする者もいる。しかし、たとえ我々が専門的な意味を有しない用語をどのように整理しようとも無意味である。また、用語は所詮符号であり、コミュニケーションの手段に過ぎない。国文学者でもない我々にとっては、用語そのものに意味があるのではなく、それをういて何を伝えるかが重要である。さらに、複雑怪奇な専門用語は学術活動にとってマイナスでこそあれ、その益するところは少ない。今我々に必要なものは、高度な学術情報を誤解なく伝達できる、簡便な専門用語である。

このような基本理念に基づいて、本委員会の最初の作業は、関係用語の分類に主眼を置いた。まず、たとえ我々の臨床・研究現場で頻用される用語であっても、特別な解説を必要とせず、誰にでも正しく理解されるはずの用語は、一般用語として専門用語のリストから削除した。次に、解剖用語、保存・矯正用語などは、それぞれの専門学会の責任において管理されるべきものとして、歯科補綴専門用語からは除いた。さらに、多くの材料関係の用語もまた、歯科理工学会などの判断に委ねるべきであると判断した。

要するに、本用語集での掲載用語は、日本補綴歯科学会として責任を持てるもの、あるいは責任を負うべきものに限定した、と言うことである。結果として、本用語集には主項目として719語を採用したが、当学会にとっては現時点が未だ専門用語の整理期であることを考慮して、過去の本学会用語集に掲載された約3,000語の用語についても、そのすべてを索引欄に掲載した。

## 2) 同義語の整理

たとえば文学の世界では、微妙な季節の移ろいの様相などを多様に表現することが評価される。また、同じ表現の繰り返しは退屈であると批判される。しかし、自然科学の分野では、そのようなデリケートな表現はむしろ有害である。我々にとっては事象をただ端的にかつ正しく表現することが、必要かつ十分であると考えられる。

従来認められてきた歯科補綴用語の中には、10種に近い同義語を有するものも散見された。これは教える側、学ぶ側のいずれにとっても無駄でしかなく、学術大会の場においても混乱の原因となる。しかし、個々の用語にはそれぞれ大きく重い背景もあるため、それらの取捨選択は容易でないことは自明であり、過去の委員会においてもそこが作業上の大きな関門であった。

今回はこの積年の問題点を、評議員によるアンケート調査という方法で処理したが、今後若干の問題を残す可能性も否定できない。しかし、関係者によってそれが建設的かつ前向きに評価され、我々の意図を正しく理解していただけるなら、比較的多数の専門家の支持を得た用語が、それぞれ最も正当な用語として、時の経過とともに自然に定着するものと確信している。

なお、同義語のアンケート調査結果については、付録として改めて巻末にその一覧表を提示した。

## 3) 解説文の充実

専門用語を選択しても、それぞれの意味合いについて専門家同士の合意が得られていなければ、それをういた情報交換において誤解が生ずることになる。

また、この種の用語集を誰がどのような場合に利用するかを考えた場合、単に用語を羅列しただけのものでは、その実用性が極めて低いことも認めざるを得ない。そこで、本用語集においては、すべての用語に関して現在最も妥当と思われる定義、あるいはその臨床的意義などに関する解説文を付与した。英語表記に関しても、幾多の表現の中から、最も妥当と思われるものを選出した。これらはいずれも、特に学生や若い臨床家にとって有用なものとなろう。

なお、その意味合いに諸説があるものについては、解説文に項目番号を設けて併記した。

古くから言われるように、言葉は生き物であり、基本的に日々変化する可能性を含んでいる。すなわち、いかなる用語集も辞書・辞典も、まさに発行のその日から、内容の見直しを迫られる宿命を負うことになる。用語検討委員会の作業に終わりはない。とは申せ、当面この用語集の価値が広く認識され、今後の編集委員会などにおける用語規制に関する基盤となり、いずれはより公的な教授要綱や国家試験の出題基準に関する基本資料ともなることを願っている。

今回は時間の制約上、日本補綴歯科学会用語検討委員会報告書（歯科補綴学用語集資料：平成9年度発行）の中の、古語、新語、固有名詞の項は検討対象から割愛せざるをえなかった。これらについては、今後の委員会による継続的かつ詳細な検討に基づいて、順次整理されることを期待する。

最後に委員一同、これまで用語検討にご尽力された歴代の委員会各位のご努力に深甚なる敬意を払うとともに、今般本用語集の出版という事業を高く評価され、終始多大なご協力とご鞭撻を賜った小林義典前会長、田中久敏現会長を始めとする日本補綴歯科学会の理事各位、アンケート調査や原稿執筆にご協力いただいた評議員各位、および、多忙の中鋭意ご尽力いただいた医歯薬出版㈱の担当諸氏に、衷心より感謝申し上げる次第である。

平成 13 年 2 月

日本補綴歯科学会用語検討委員会 平成9年度～平成12年度委員（2期）

委員長 田中貴信

委員 甘利光治 木村幸平 小林喜平

清野和夫 寺田善博 平井敏博

細井紀雄 安田 登 山縣健佑

幹事 金澤 毅

【執筆者一覧】（五十音順：所属は執筆時）

赤川安正	(広島大学歯学部)	川和忠治	(昭和大学歯学部)
熱田 充	(長崎大学歯学部)	岸 正孝	(東京歯科大学)
天野秀雄	(明海大学歯学部)	木村幸平	(東北大学歯学部)
甘利光治	(松本歯科大学)	草刈 玄	(新潟大学歯学部)
五十嵐順正	(松本歯科大学)	久保吉廣	(徳島大学病院・歯科)
五十嵐孝義	(日本大学歯学部)	窪木拓男	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)
石上友彦	(日本大学歯学部)	河野正司	(新潟大学歯学部)
石橋寛二	(岩手医科大学歯学部)	越野 寿	(北海道医療大学歯学部)
市川哲雄	(徳島大学歯学部)	腰原 好	(東京歯科大学)
伊藤 裕	(愛知学院大学歯学部)	小林喜平	(日本大学松戸歯学部)
井上 宏	(大阪歯科大学)	小林義典	(日本歯科大学歯学部)
内田康也	(九州歯科大学)	小正 裕	(大阪歯科大学)
大川周治	(明海大学歯学部)	小宮山彌太郎	(東京都)
大久保力廣	(鶴見大学歯学部)	古谷野 潔	(九州大学歯学部)
大畑 昇	(北海道大学歯学部)	坂口邦彦	(北海道医療大学歯学部)
大山喬史	(東京医科歯科大学歯学部)	櫻井 薫	(東京歯科大学)
小川 匠	(鶴見大学歯学部)	佐藤隆志	(岡山大学歯学部)
尾関雅彦	(昭和大学歯学部)	佐藤 亨	(東京歯科大学)
小野高裕	(新潟大学大学院医歯学総合研究科)	佐藤博信	(福岡歯科大学)
鹿沼晶夫	(東北大学歯学部)	佐藤裕二	(昭和大学歯学部)
金子一芳	(東京都)	澤瀬 隆	(長崎大学生命医科学域(歯学系))
川口豊造	(愛知学院大学歯学部)	芝 燁彦	(昭和大学歯学部)
川崎貴生	(北海道大学歯学部)	末瀬一彦	(大阪歯科大学)
川添堯彬	(大阪歯科大学)	鈴木哲也	(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)
河野文昭	(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)	清野和夫	(奥羽大学歯学部)
		田中貴信	(愛知学院大学歯学部)



田中久敏	(岩手医科大学歯学部)	保母須弥也	(東京都)
谷口 尚	(東京医科歯科大学大学 院医歯学総合研究科)	松村英雄	(日本大学歯学部)
津賀一弘	(広島大学大学院医歯薬 保健学研究院)	松元 誠	(東京医科歯科大学歯学 部)
寺田善博	(九州大学歯学部)	松山美和	(徳島大学大学院医歯薬 学研究部)
豊田 實	(神奈川歯科大学)	三浦宏之	(東京医科歯科大学大学 院医歯学総合研究科)
永井栄一	(日本大学歯学部)	水口俊介	(東京医科歯科大学大学 院医歯学総合研究科)
中尾勝彦	(広島県)	皆木省吾	(岡山大学大学院医歯薬 学総合研究科)
長岡英一	(鹿児島大学歯学部)	村田比呂司	(長崎大学大学院医歯薬 学総合研究科)
長澤 亨	(朝日大学歯学部)	村山 長	(広島大学大学院医歯薬 保健学研究院)
中野雅徳	(徳島大学歯学部)	守川雅男	(九州歯科大学)
野首孝祠	(大阪大学歯学部)	森田修己	(日本歯科大学新潟歯学 部)
長谷川成男	(東京医科歯科大学歯学 部)	森戸光彦	(歯科医療情報推進機構)
畑 好昭	(日本歯科大学新潟歯学 部)	森谷良彦	(日本大学歯学部)
服部正巳	(愛知学院大学歯学部)	安田 登	(東京都)
馬場一美	(昭和大学歯学部)	矢谷博文	(大阪大学大学院歯学研 究科)
羽生哲也	(福岡歯科大学)	山縣健佑	(昭和大学歯学部)
坂東永一	(徳島大学歯学部)	山下 敦	(岡山大学歯学部)
疋田一洋	(北海道医療大学歯学部)	横塚繁雄	(日本歯科大学歯学部)
平井敏博	(北海道医療大学歯学部)	依田正信	(東北大学大学院歯学研 究科)
福島俊士	(鶴見大学歯学部)	渡辺 誠	(東北大学歯学部)
藤井輝久	(朝日大学歯学部)		
藤井弘之	(長崎大学歯学部)		
藤澤政紀	(明海大学歯学部)		
藤田忠寛	(神奈川歯科大学)		
古屋良一	(昭和大学歯学部)		
細井紀雄	(鶴見大学歯学部)		
細川隆司	(九州歯科大学)		

## 【凡 例】

1. 選定用語には、五十音順に用語番号を付けて実用性を高めた。
2. 【鑑】，【蝨】，【囁】に関しては、仮名表記を採用した。すなわち、鑑⇨ろう，蝨⇨ろう，囁む⇨かむ  
ただし、仮名書きにすると文中で判別しにくい場合に限って、漢字書きを認めるという意味で、「ろう（鑑）付け」のように表記した。
3. 初版において採用した略字【頸】，【弯】に関しては、会員の希望により、本来の表記に変更した。すなわち、「歯頸部⇨歯頸部」，「弯曲⇨彎曲」とした。【頬】に関しては、『日本歯科医学会学術用語集 第2版』の表記に従い、「頬」とした。
4. 【定義】と【解説文】とは混在するが、今回は敢えてその区分の表示は割愛した。
5. 複数の意味合いを持つ用語、あるいは現時点で定義が確定していない用語に関しては、
  - 1)
  - 2)
  - ・
  - ・として、解説項目を併記する体裁をとった。
6. 索引には頁に代えて用語番号を付けた。
7. 英語表記に関しては、他の表現を否定するものではないが、現在最も一般的と思われるものに限定して掲載した。  
基本的には、The Glossary of Prosthodontic Terms Ninth Edition : *J Prosthodont Dent*, 117 (5S) : e1~e105, 2017. に準じた。その他に関しては、可及的に native speaker のチェックを受けた。
8. 選定用語に採用されていなくとも、解説文中で使用された歯科用語は索引に掲載し、選定用語の用語番号を付与することで検索を容易にした。
9. 機器の部分の名称、各種の術式、形態や材料に基づく補綴装置の名称などは、関連用語として可及的に解説文中に記載し、索引に加え、選定用語の用語番号を付記した。
10. 付録としての同義語一覧は、評議員を対象としたアンケート調査の結果を忠実に示した。結果として、関係する用語間の整合性に欠けるものも存在

するが、これについては、引き続き、今後の検討課題とした。

例：線鉤， 鋳造鉤 ⇔ クラスプ

切歯指導釘・板 ⇔ アンテリアガイダンス

11. 〔同義語〕は，索引において，選定用語の用語番号をアンダーラインをつけて付記した。
12. 索引において，付録番号をすべての関連用語に付記した。
13. 人名がつく用語については，第4版まではカタカナ表記であったものをすべて欧文表記とした。



## あ

## 1 アーライン

## vibrating line

口蓋の可動部と不動部との境界線。“アー (Ah)” と発音すると、口蓋帆張筋に続き口蓋帆挙筋が収縮するために軟口蓋は挙上する。発音を中止すると、これらは元に戻るが、アーラインはこの運動時における可動部の最前方を示していることから、上顎の義歯床後縁を設定するための基準として利用される。

## 2 RPI クラスプ あーるぴーあー

## RPI clasp

近心レスト、隣接面板、Iバーの3部分から構成される支台装置。3者が互いに拮抗的に働き、支持・把持・維持機能を発揮する。遊離端義歯の垂直方向の動きに対する考え方の違いにより Kratochvil 型と Krol 型の2種類がある。

## 3 RPA クラスプ あーるぴーえー

## RPA clasp

RPI クラスプのIバーに代えて、Akers クラスプ型の鉤腕を組み合わせた支台装置。

支台歯付近のRPIクラスプにおけるIバーの走る粘膜部において、小帯の付着部が高い、あるいは顎堤粘膜のアンダーカット域の位置が高い場合に用いる。ニアゾーンでは、維持腕の上縁をサベイレインに一致させ、その下のアンダーカットはブロックアウトして、アームを支台歯に接触させない。これは床の回転、沈下に際して支台歯に力を伝達させないためである。

## 4 I. R. V. あいあーるぶい

## closure of the interdental space

## (C. I. S.)

## Interdentalraumverschluss (独語)

テレスコープクラウンの一種で、鼓形空隙を閉塞した可撤性の装置。内冠と外冠で鼓形空隙をなくして、食物残渣の停滞を防ぎ清掃しやすい形状に設計された装置で、Gaerny (1969) により発表された。

## 5 Eichner の分類

あいひな——ぶるい

## Eichner classification

歯列の欠損形態の分類法の1つ。上下顎の咬合状態を重視して表示したもので、左右の小白歯部および大白歯部の4ブロックの咬合支持域に分けて、それぞれに安定した咬合関係が存在するか否かによって3型に分類したもの。

すなわち、4支持域すべてに咬合接触を有するもの〔A型〕、4支持域中の一部の支持域のみに咬合接触を有するもの〔B型〕、すべての支持域に咬合接触がないもの〔C型〕で、いずれの型も類型を含む。Eichner (1955) により提唱された。

## 6 アクセホール

## access hole

インプラント体やアバットメントに上部構造(クラウン、ブリッジ、アタッチメント)がスクリューで固定される場合に、連結スクリューを挿入するために上部構造に形成される穴。前歯部では審美性を考慮して舌側面に、また臼歯部では力学的観点から咬合面の中心窩に位置することが望ましい。

## 7 アタッチメント

## attachment

可撤性義歯に使用される支台装置の1つ。マトリックスとパトリックスとから

構成され、一方は支台歯に固着され、他方は義歯に組み込まれる。この両者が互いに嵌合することにより、維持・支持・把持力が発揮される。

歯冠内アタッチメント、歯冠外アタッチメント、根面アタッチメント、バーアタッチメントなどに分類される。

### 8 Adams クラスプ あだむすー

#### Adams clasp

1本のワイヤーを屈曲して製作するアローヘッドクラスプを改良した、頬側隣接面のアンダーカットを利用するクラスプ。Adams (1950) により考案された。頬側の近心と遠心の隣接面歯頸部のアンダーカット部に入る半円形状の屈曲部、近心と遠心で垂直に立ち上がった縦走部、咬合面部で水平に屈曲した隣接面(鼓形空隙)横断部、これに続く口蓋側の鉤脚部、近心と遠心の頬側半円形状屈曲部を連絡する頬側横走部により構成される。頬側や舌側にアンダーカットのない歯に有効で、小児のスピーチエイドの支台装置として有用である。

### 9 圧印金冠 あついでんきんかん

#### metal crown with swaged cusp

〔同義語〕 Morrison クラウン

帯環金属冠の一種で、咬合面は22Kの金板をメロットメタルなどの易溶合金製の模型(陰陽型)の間に挟み、プレス(圧印)して成形し、帯環とろう(鑲)付けして完成させたクラウン。

咬合面を圧印して作るので薄くなり、咬耗により破損、穿孔しやすいため、帯環は22Kの金板を用いて作り、咬合面は24Kの金板を圧印し、内面に金ろう(鑲)を流して充実させた嚼面充実金冠(Peeso クラウン)や、咬合面を鑄造し、帯環とろう(鑲)付けした嚼面鑄造冠が

考案された。鑄造冠の登場でいずれも過去のものとなった。

### 10 圧印床 あついでんしょう

#### swaged plate

金属板を陽型上で槌打、または陰型との間でプレスにより圧接成形した義歯床。金合金、ステンレス鋼合金、チタン合金などの金属が用いられる。

### 11 圧負担能力 あついでんたんのうりよく

#### stress-bearing ability

- 1) 機能時に受ける力や緊張、圧力に抵抗する力。
- 2) 支台歯や粘膜における咬合圧負担域での、義歯を支持する力。

### 12 後ろう(鑲)付け法 あとーづーほう

#### post ceramic soldering method

陶材焼付冠の固定性連結部の製作法の1つで、陶材を金属冠に焼き付けた後に行うろう(鑲)付け。

### 13 アバットメント

#### abutment

インプラント体に連結するコンポーネント。上部構造のための支台となる部分。

### 14 アバットメントアナログ

#### abutment analogue (analog)

口腔内のアバットメントの複製。インプラントをアバットメントレベルでピックアップ印象し、作業用模型を作る際に必要となる。

### 15 アバットメントスクリュー

#### abutment screw

インプラント体とアバットメントを直接連結するためのネジ。

### 16 アブフラクション

#### abfraction

歯に加わった外力により、外力が作用した部位から離れた部位に生じるエナメル質や象牙質の欠損。Grippio (1991) に

よるラテン語の ab (=away) と fractio (=breaking) からの造語である。

### 17 アベックス [ゴシックアーチの]

#### apex [of gothic arch tracing]

ゴシックアーチの頂点。左右の側方下顎限界運動路が交わる点。

### 18 アメリカ・フランス併用式埋没法 —へいようしきまいぼつほう

#### American-French flasking technique

人工歯をフラスク上部に、支台装置や連結部は下部に固定するろう義歯のフラスク埋没法。レジンを填入が容易で、支台装置や連結部の義歯床粘膜面に対する浮き上がりの危険もない。人工歯の浮き上がりには重合後の割合で対応可能であるとし、現在、最も一般的なフラスク埋没法である。

### 19 アメリカ式埋没法

—しきまいぼつほう

#### American flasking technique

人工歯、支台装置、連結部のすべてをフラスク上部に固定するろう義歯のフラスク埋没法。レジンを填入は容易であるが、支台歯部の石膏を歯頸部で切断することから、義歯床粘膜面に対して支台装置や連結部などが浮き上がる危険があることが欠点とされる。

### 20 アルコン型咬合器

—がたこうごうき

#### arcon articulator

上弓に顎路指導部をもち、下弓に顎頭球(コンダイル)を備えた構造の咬合器。「アルコン」は articulator と condyle を縮めた造語。

### 21 アルジネート印象 —いんししょう

#### alginate impression, irreversible hydrocolloid impression

アルギン酸ナトリウムあるいはカリウムを主成分とする不可逆性ハイドロコロイド印象材による印象。粉末には水を、ペーストには石膏を加えて練和すると、流動性のあるゾルから弾性をもつゲルに変化する。

### 22 アルミナサンドブラスト処理→「サンドブラスト処理」参照

### 23 アルミナスポーセレンジャケットクラウン

#### aluminous porcelain jacket crown

長石-石英系陶材に 40~60%の酸化アルミニウム(アルミナ)を含有させたコア陶材の上に、歯冠色陶材を築盛・焼成したジャケットクラウン。アルミナ陶材は長石-石英系陶材に比べ強度が 1.5~2 倍で、急激な温度変化にも強い。デンティン用陶材には 10~15%の酸化アルミニウムが添加されているが、透明度が減少するため、エナメル用陶材中には結晶度の小さい酸化アルミニウムが少量だけ(5%)添加されている。

### 24 アルミナ陶材 —とうざい

#### aluminous porcelain

〔同義語〕アルミナスポーセレン

酸化アルミニウム(アルミナ)の微細粒子をガラスで結合させた、あるいはガラス中に分散させた複合組成の陶材。酸化アルミニウムの添加量が増すにつれて曲げ強さは増大し、例えば 50%添加で長石-石英系陶材の 2 倍以上の強度となる。

### 25 アルミナブラスト処理→「サンドブラスト処理」参照

### 26 鞍状型ポンティック

あんじょうがた—

#### saddle pontic

基底面が鞍状に顎堤を覆っている形態のポンティック。その中で、特に欠損部

顎堤の吸収が著しい場合に適用され、人工歯の基底面に床をつけた形態のものを、有床型ポンティックと呼ぶ。可撤性のポンティックにすることが多い。

### 27 安静空隙 あんせいくうげき

**interocclusal rest space (free way space)**

下顎安静位における上下顎の歯列間距離。その値は正常者において前歯部で2~3mmである。咬合高径決定の目安になる。

### 28 アンダーカット

**undercut**

1) 義歯の着脱方向に対して、歯や顎堤などの最大豊隆部よりも下方の陥凹した部分。模型の歯や顎堤に描記されたサバイラインに囲まれた領域をアンダーカット域 (undercut area, infrabulge area)、その他の領域を非アンダーカット域 (nonundercut area, suprabulge area) という。

2) 歯冠補綴装置の適合性を悪化させる支台歯軸面の陥凹。

### 29 アンダーカットゲージ

**undercut gauge**

サバイヤーの付属品の1つで、水平的なアンダーカット量を計測するジグ。通常、0.25 mm、0.50 mm、0.75 mm の3種が用いられる。

### 30 Ante の法則 あんてーほうそく

**Ante's Law**

固定性ブリッジにおいて、支台歯の歯根表面積の総和は補綴される欠損歯のそれと同等以上でなければならないとする概念。Ante (1926) により提唱された。

### 31 アンテリアガイダンス

**anterior guidance**

〔同義語〕 前方誘導 (指導)

下顎滑走運動時における歯の指導要素。後方の顎関節による指導要素 (ポステリアガイダンス) に対する前方指導要素の意。

### 32 アンテリアハイパーファンクション シンドローム → 「コンビネーション シンドローム」 参照

### 33 アンテリアリファレンスポインター anterior reference pointer

フェイスボウトランスファーの際に、その先端を前方基準点 (アンテリアリファレンスポイント) に一致させるためのフェイスボウの一部品。

→ 「フェイスボウ」, 「前方基準点」 参照

### 34 罨法 あんぼう

**fomentation, poultice, compress**

身体の一部を布などで覆って寒冷あるいは温熱刺激を与える治療法。冷罨法と温罨法がある。冷罨法は、寒冷刺激による皮膚温の低下、血管収縮により消炎、鎮痛効果をもたらすため、種々の急性炎症、特に打撲などの初期の外傷性炎症に適応がある。温罨法は、患部を温め血管を拡張させることで、循環改善により亜急性あるいは慢性病変による疼痛の軽減を意図する。筋緊張弛緩による効果も期待される。

い

### 35 移行義歯 いこうぎし

**ransitional denture**

比較的早期に、抜歯とそれに伴う義歯の修理や新製が予測された場合、その間の機能と形態とを確保するために使用される義歯。旧義歯に増歯などの改修を施して使用することもある。



**36 維持 いじ**

**retention**

〔同義語〕保持

補綴装置に加わる離脱力に抵抗する作用。

**37 維持格子 いじこうし**

**retentive latticework**

小連結子の一種で、大連結子と義歯床を連結する装置。フレームワークの義歯床に入る部分が格子状に製作されることがあることから維持格子と呼ばれているが、実際の臨床ではスケルトン型、メッシュ型など種々の形態がある。

**38 維持歯**→「支台歯」参照

**39 維持装置**→「支台装置」参照

**40 維持力 いじりよく**

**retentive force**

補綴装置に加わる離脱力に抵抗し、それを装着された位置に保つ力。すなわち、装着された補綴装置を離脱させるのに必要な力。歯冠補綴装置の場合には保持力ともいう。

**41 維持腕 いじわん**

**retentive arm**

部分床義歯を維持する目的で設計された鉤腕。通常、鉤尖がその役割を果たす。→「拮抗腕」参照

**42 一次固定 いちじこてい**

**primary splinting**

連結した固定性補綴装置の装着により、支台歯相互の連結固定効果を発現させる方法。

**43 一塊鑄造法**→「ワンピースキャスト法」参照

**44 インサイザルテーブル**→「切歯指導板」参照

**45 インサイザルピン**→「切歯指導釘」参照

**46 印象 いんしょう**

**impression**

歯、顎堤、顔面などの形態を再現するために採得された対象物の陰型。

**47 印象圧 いんしょうあつ**

**impression pressure**

印象採得を行うときに対象に加わる圧力。その大小により、積極的に圧を加える加圧印象と、可及的に圧を加えない無圧印象とに分類される。

**48 印象域 いんしょういき**

**impression area**

印象に記録すべき範囲。

**49 印象採得 いんしょうさいとく**

**impression taking**

歯、顎堤、顔面などの形態を再現するためにその陰型を製作する一連の操作。

**50 印象用コーピング**

**いんしょうようー**

**impression coping**

口腔内のインプラント体の位置を印象採得し、作業用模型に転記する目的で用いられるコンポーネント。オーブントレー法とクローズドトレー法のそれぞれに対応するコーピングが用意されている。

**51 印象用トレー いんしょうようー**

**impression tray**

印象材を選び、保持するための器具。通常、柄部、体部、辺縁部からなる。材質には金属やプラスチックなどがあり、既製トレーと自家製トレーとがある。

**52 インターオクルーザルレコード**

**interocclusal record**

上下顎歯列または顎堤間の相互的位置関係の記録。

**53 インターナルコネクション**

**internal connection**

顎骨内のインプラント体とアバットメ

ントや上部構造（クラウン，ブリッジ，アタッチメント）との連結部分において，インプラントが凹に，支台装置や上部構造が凸になっている連結様式，これとは逆に，インプラントが凸に，支台装置や上部構造が凹になっている連結様式を，エクスターナルコネクションという。

**54 インフラバルジクラスプ**→「歯肉型クラスプ」参照

**55 インプラント**  
**implant**

生体の欠損部を補填するために，生体材料あるいは非生体材料を移植または移植する形成術，およびそれらの移植植物，移植物の総称。主要なもの1つに口腔インプラント（dental implant）がある。

**56 インプラントアナログ**  
**implant analogue (analog)**

〔同義語〕インプラントレプリカ  
口腔内のインプラント体の複製。一般にステンレスなどの金属でできており，インプラントの上部構造を製作するための作業用模型を作る際に必要となる。

**57 インプラント義歯** 一ざし  
**implant prosthesis**

義歯床負担域の軟組織の下，すなわち顎骨表面あるいはその内部に設置された人工的構造物から支持・把持・維持力を得る義歯。インプラント上部構造と支台部との連結方法には，固定式，患者可撤式，術者可撤式の3種類がある。

**58 インプラント周囲炎**  
一しゅういえん  
**peri-implantitis**

インプラント周囲組織（骨，粘膜）に生じた炎症。過重負荷に加えて，鼓膜病菌など弱毒性口腔常在菌による感染が原因となることが多く，進行するとインプ

ラント体と周囲骨組織との骨結合が喪失して，インプラントの脱落に及ぶ。特に，炎症病変がインプラント周囲の粘膜に局限しているものを，インプラント周囲粘膜炎（peri-implant mucositis）という。

**59 インプラント体** 一たい  
**implant body**

〔同義語〕フィクスチャー  
オッセオインテグレートッドインプラントにおいて顎骨内に埋入され，骨組織と結合を図る部分。

**60 インプラント体支持** 一たいしじ  
**implant-supported**

〔同義語〕顎骨支持  
機能時にインプラント上部構造に加わる力をインプラント体周囲骨で負担するという概念。

**61 インプラント体-粘膜支持**  
一たいねんまくしじ  
**implant and tissue-supported, implant-assisted and tissue-supported**

〔同義語〕顎骨-粘膜支持  
機能時に補綴装置（オーバーデンチャー）に加わる力をインプラント体周囲骨と粘膜の両者に負担させる概念。インプラントオーバーデンチャーにおける負担様式。

**62 インプラントレプリカ**→「インプラントアナログ」参照

う

**63 Williams の3基本形**  
ういりあむすーさんきほんけい  
**three fundamental anterior tooth contours classified by Williams**  
Williams (1914) は正面からみた顔面

の輪郭を方型(square)、尖型(tapering)、卵円型(ovoid)に分類し、上顎中切歯の唇側面形態が顔面輪郭を上下逆にした形態に相似することを提唱した。これら3形態を基本として前歯部人工歯が製作されている。

#### 64 Wilsonの彎曲

ういるそんーわんきよく

#### curve of Wilson

〔同義語〕側方咬合彎曲、側方歯牙彎曲、側方齒列彎曲

天然歯列を前頭面に投影したときに観察できる、咬合平面の側方的な彎曲。上顎臼歯の歯軸が頰側に傾斜し、下顎臼歯の歯軸が舌側に傾斜しているため、咬合平面に対して、上顎臼歯の舌側咬頭は頰側咬頭より低位に、下顎臼歯の舌側咬頭は頰側咬頭より低位になる。この結果、咬合平面は下方に凸な彎曲を描く。

#### 65 ウォッシュインプレッションテクニック

#### wash impression technique

1) 有床義歯の印象採得において、微圧のもとで印象材をゆきわたらせ、印象圧による顎堤粘膜の変形をできるだけ小さく、細部の精密な形態を再現する無圧印象法の1つ。

2) クラウンブリッジ支台歯の連合印象採得において、一次印象内面に流れの良い印象材を盛り上げて細部の精密な形態を再現する連合印象法の1つ。

→「連合印象」参照

#### 66 運動論的顎頭点

うんどうろんてきかとうてん

#### kinematic condylar point

側方運動を含むあらゆる顎運動を行ったとき、下顎頭の運動路が最も収斂する点。下顎運動に対しては両側の下顎頭の

中央部付近に求まり、相補下顎運動に対しては相補運動論的顎頭点(complementary kinematic condylar point)が両側の関節結節の中央付近に求まる。

## え

#### 67 永久固定 えいきゆうこてい

#### permanent splinting

動揺歯をインレーやクラウンなどで恒久的に連結、固定することにより、各種機能時に加わる圧を複数歯に分散し、その安定を図ることを目的とした処置。固着式固定法と可撤式固定法とがある。

#### 68 Akers クラスプ えーかーすー

#### Akers clasp

レスト付き二腕鉤に相当する鋳造鉤。欠損側に設置された咬合面レストと2本の鉤腕からなり、強固な支持・把持・維持が確保できる。Akers (1925)により考案された代表的な環状鉤。

#### 69 SAS→「睡眠時無呼吸症候群」参照

#### 70 S字状隆起 えすじじょうりゅうき

#### S-curve

上顎義歯の歯肉形成時に前歯部口蓋側に付与される、矢状断面形態がS字状の隆起。呼気流を整え構音機能の回復などを目的とする。

#### 71 STL えすていーえる

#### stereolithography, standard

#### triangulated language,

#### standard tessellation language

三次元形状を表現するデータを保存するファイルフォーマットの1つで、歯科用CAD/CAMシステムで最も利用され互換性の高いファイル形式である。三次元形状を三角形パッチ(面)の集合体として表現する。

**72 エステティックプレーン****esthetic plane**

〔同義語〕 エステティックライン (esthetic line)

側貌の審美的基準となる鼻尖とオトガイを結んだ線。鼻、口唇、オトガイのバランスを示し、バランスの良い側貌は、この線に近接した下唇の後方に上唇が位置し、口唇がこの線より突出すると審美不良になるといわれているが、その位置関係には人種差がみられる。義歯患者では人工歯の切縁部の前後的位置に影響され、義歯によるリップサポート回復程度の評価に用いることができる。

**73 S 発音位** えすはつおんい**“s” position**

[s] 音を発音するときの顎位。[s] 発音時には下顎が前下方に移動し、下顎中切歯切縁が上顎中切歯切縁の1~2 mm 内側に位置する。発音中に上下顎の歯が互いに最も接近する顎位 (最小発音空隙; closest speaking space) として、前歯部人工歯の位置の決定や排列後の位置の判定に利用される。

**74 SPA 要素** えすぴーえーようそ**SPA factor**

前歯部の人工歯を選択するとき、審美的な観点から参考にすべきとされる3つの要素。SPAは、患者の性別 (sex)、性格 (personality)、年齢 (age) の頭文字を表す。FrushとFisher (1956) によって提唱された。

**75 FGP テクニック** えいじーびー—**functionally generated path technique (FGP technique)**

〔同義語〕 機能的運動路法

下顎の機能運動に調和した咬合面形態を備えた補綴装置を製作するため、対合

歯の機能運動経路を口腔内で直接ワックスに印記させたものに石膏を注入した機能的模型と、解剖学的な対合歯模型の2種類によってワックスアップを行う術式。

**76 エマージェンスプロファイル****emergence profile**

天然歯、歯冠補綴装置、インプラントのアバットメントおよび上部構造の歯肉溝内から歯冠部歯頸部側1/3付近までのカントウアや立ち上がり角度などの形態。

**77 MMA 系レジンセメント**

えむえむえーけい—

**MMA-based luting agent**

メチルメタクリレート (MMA) のモノマーを液剤の主成分、ポリマーを粉末の主成分とする装着材料。成分中に接着機能性モノマーを含む。

**78 MPD 症候群**

えむびーでいーしょうこうぐん

**myofascial pain dysfunction syndrome (MPD syndrome), neuromuscular dysfunction, myalgia**

咀嚼筋の機能異常により引き起こされる、顎関節、咀嚼筋および関連組織の疼痛や機能障害を主症状とする症候群。顎関節症の1つの病態。

**79 L\*a\*b\* 表色系** えるすたーえーす

たーびーすたーひょうしよくけい

**Commission Internationale de l'Eclairage 1976 (L\*, a\*, b\*) color space (CIELAB)**

国際照明委員会 (Commission Internationale de l'Eclairage, 略称 CIE) が1976年に推奨した三次元の近似的な均等色空間。CIEでは、これらをCIE (1976) L\* a\* b\* 色空間と呼ぶ。

**80 Elbrecht クラスプ** えるべれひとー**Elbrecht clasp**

(同義語) T字クラスプ

欠損の反対側隣接面から鉤体が発し、頬・舌側面を鉤腕が走行して欠損側隣接面に鉤尖が終わり、レストは鉤体から咬合面の中央溝を通して欠損側に向かい、そのまま鉤脚となる形態の環状鉤。Elbrecht (1961) により考案された。

**81 嚥下位** えんげい**swallowing position**

嚥下動作の第1相における顎位。通常、正常有歯顎者では嚥下時に咬頭嵌合位付近で咬合接触する。このことから無歯顎患者の垂直的、水平的顎位の設定に利用される。

**82 嚥下障害** えんげしょうがい**swallowing disorder, dysphagia**

摂食嚥下障害とほぼ同義。口腔期以降の障害を示すこともある。多くは反射性嚥下障害をいう。口腔期、咽頭期、食道期における器質障害によるものと、嚥下にかかわる末梢神経(舌咽神経、迷走神経、三叉神経、顔面神経)および中枢神経(延髄、網様体、大脳皮質)の障害によるものがある。

→「摂食嚥下障害」参照

**83 嚥下造影検査**

えんげぞうえいけんさ

**videofluorography (VF)**

(同義語)嚥下透視検査、ビデオ嚥下造影、ビデオレントゲン検査

摂食嚥下障害の診断のため、嚥下造影剤とエックス線透視装置を用いて、口腔、咽頭、食道内での食塊の動きを観察することによって嚥下機能を評価する検査。嚥下運動は一連の早い動きなので、ビデオに記録して評価され、現在、誤嚥

の有無の検査法として最も有効な方法であるが、誤嚥と窒息の危険性に注意が必要である。

**84 嚥下透視検査**→「嚥下造影検査」参照**85 嚥下内視鏡検査**

えんげないしきょうけんさ

**videoendoscopic evaluation of swallowing (VE), videoendoscopic examination of swallowing (VE)**

摂食嚥下障害を診断するため、鼻咽腔内視鏡を用いて行う検査法。目的は形態異常、誤嚥、喉頭侵入、咽頭残留などを動的画像で診断することである。本検査法の利点はシステムが安価で小さく、患者への被曝もないことからベッドサイドで行えることである。しかし、欠点として咀嚼時の評価ができない、嚥下の瞬間が確認できないという問題がある。

**86 嚥下法** えんげほう**swallowing method [of vertical relation]**

無歯顎患者あるいは残存歯による咬合支持の欠如した患者や、咬頭嵌合位が顎頭安定位と一致していない患者などに対して、嚥下位を利用して顎間関係を決定する咬合採得法の1つ。垂直的ならびに水平的顎間関係の決定に応用されるが、前者においては、低位咬合になりやすいため、軽く嚥下させるのが良いとされる。

**87 嚥下補助装置** えんげほじょうち**prosthetic appliance for swallowing disorder**

先天的あるいは後天的な形態や機能の異常による嚥下障害に対する治療目的で使用する補綴装置。

→「バルブ型鼻咽腔補綴装置」、「舌接

触補助床」参照

**88 延長ブリッジ** えんちょうり

**cantilever (extention) fixed dental prosthesis, cantilever (extention) fixed partial denture, cantilever (extention) bridge**

〔同義語〕遊離端ブリッジ

ポンティックの近遠心側の1側のみに支台装置をもつブリッジ。片持ち梁構造のため、ポンティックに加わる咬合力に対する支台歯の負担は通常の両端支持のブリッジより大きくなる。

**89 延長腕鉤** えんちょうわんこう

**extended arm clasp**

二腕鉤の頬・舌側鉤腕を支台歯の隣接歯まで延長したクラスプ。支台歯に有効なアンダーカット域が存在しない場合や側方を2歯に分散する目的などで適用されるが、実際の臨床での使用頻度は低い。

**90 円板整位** えんぱんせい

**disc repositioning, disc recapturing**

前方転位などのように偏位していた関節円板が、オクルーザルアプライアンス療法や外科的処置によって正常な位置に戻された状態。

**91 円板転位** えんぱんてん

**disc derangement, disc displacement, internal derangement**

関節円板が下顎頭、下顎窩、あるいは関節結節に対して異常な位置関係にある状態。

**92 円板復位** えんぱんふく

**disc reduction**

前方転位などのように位置が正常でない関節円板が、開口時に正常な位置に戻るこ

## お

**93 OSAS 治療用口腔内装置** おーさすちりょうようこうくうないそうち

**mandibular advancement splint**

主に軽度あるいはCPAP使用が困難な場合のOSASに用いる歯科的治療器具。オーラルアプライアンスの1つに分類される。睡眠時に着用して、下顎を前進させた状態を固定することにより、上気道の閉塞を防ぐ。

→「睡眠時無呼吸症候群」, 「経鼻的持続陽圧呼吸療法」参照

**94 オーバークロージャー**

**overclosure**

上下顎間距離が減少した咬合状態(咬合高径の低下)。上下歯列が接触した状態では、歯槽間距離の減少が認められる。

**95 オーバージェット**

**horizontal overlap, overjet**

〔同義語〕水平被蓋

咬頭嵌合位で上顎前歯の切縁と上顎臼歯の頬側咬頭が下顎歯に対して水平的に被蓋している関係。通常は上顎中切歯切縁から下顎中切歯唇面までの水平的距離で表し、上顎が前方に位置する場合をプラス(+), 反対のものをマイナス(-)と表示する。

**96 オーバーデンチャー**

**overdenture, overlay prosthesis**

〔同義語〕残根上義歯

歯根あるいはインプラントを被覆する形態の可撤性義歯。

口蓋裂症例などの低位歯、開咬、鉗状咬合などでは、稀に天然歯冠をそのまま被覆することもあるが、通常は少数残存歯症例などでは、歯冠部を切除した根面

に、根面板、根面アタッチメント、磁性アタッチメントなどを適用した後に本形態の義歯を設計する。後者の場合、負担能力に劣る残存歯の歯冠歯根比の改善、抜歯による顎堤吸収の防止、歯根膜感覚の活用などを期待した補綴装置である。

### 97 オーバーバイト

#### vertical overlap, overbite

〔同義語〕 垂直被蓋

咬頭嵌合位で上顎前歯の切縁と上顎白歯の頬側咬頭が下顎歯に対して垂直的に被蓋している関係。通常は上顎中切歯切縁と下顎中切歯切縁との垂直的距離で表し、上顎の切縁が下方に位置する場合をプラス(+), 反対のものをマイナス(-)と表示する。

### 98 オーラルディスキネジア

#### oral dyskinesia

支配神経あるいは筋の障害により下顎、舌、口唇などに出現する反射性、情動性の不随意運動。咬合異常や口腔内の疼痛、違和感などの末梢入力 of 異常が誘因や増悪因子となることがある。

### 99 オーラルフレイル

#### oral frailty

老年期における、口腔機能の健常な状態から障害に至るまでの中間の状態を示す。口腔に現れる虚弱を意味し、滑舌低下、わずかなむせや食べこぼし、かめな食品の増加など口腔機能の軽微な低下や食の偏りが認められる。口腔機能低下症よりも程度は軽い。

→「口腔機能低下症」参照

### 100 オーラルリハビリテーション

#### oral rehabilitation

〔同義語〕 咬合再構成

1) ナソロジー学派が提唱した一連の臨床術式の総称であり、蝶番軸に基づいて

咬合位を定め、臼歯離開咬合か犬歯誘導咬合を追及する治療法。

2) 比較的多数歯の関与する咬合異常による顎口腔系の障害に対して、歯列全体に固定性補綴装置を適用することで咬合を再構築し、顎口腔系の形態・機能・審美性の回復を図る方法。

### 101 Oリングアタッチメント おー

#### O-ring attachment

ゴム製で断面が円形のOリングをマトリックスとし、このマトリックスを受け入れるように形成された半円形の頸部を有するスナップ状のマトリックスを組み合わせた根面アタッチメント。オーバーデンチャーの支台装置として応用される。ゴムリングが劣化するため、頻繁に交換する必要がある。

### 102 オールセラミッククラウン

#### ceramic crown, all ceramic crown

高強度のファインセラミックス単体あるいはフレームとレイヤリングセラミックスで前装された全部被覆冠。シリカ系、ジルコニア系あるいはアルミナ系セラミックスをCAD/CAM技法、プレス成形、築盛法あるいは削加工で加工する。

### 103 オールセラミックブリッジ

#### all ceramic fixed partial denture

高強度のファインセラミックス単体あるいはフレームとレイヤリングセラミックスで前装されたブリッジ。シリカ系、ジルコニア系あるいはアルミナ系セラミックスをCAD/CAM技法、プレス成形あるいは築盛法で加工する。

### 104 オククルーザルアプライアンス

#### occlusal device, occlusal appliance

〔同義語〕 オククルーザルデバイス、バイト

## アプライアンス

暫時的に歯列の咬合面を被覆し、咬合の改善や診断に用いられる可撤性の口腔内装置。スタビライゼーションアプライアンス (stabilization appliance)、リラクゼーションアプライアンス (relaxation appliance)、リポジショニングアプライアンス (repositioning appliance) などがある。

### 105 オクルーザルテーブル

#### occlusal table

天然歯や補綴装置の臼歯部の咬合面、すなわち咬合の保持や咀嚼に直接関与する面。

### 106 オクルーザルデバイス→「オクルーザルアプライアンス」参照

### 107 オクルーザルランプ

#### occlusal ramp

外科処置などにより下顎偏位が生じた場合、咬頭嵌合位を保持するために上顎義歯や口蓋板に付与された咬合面の機能を担うテーブル様の構造物。通常、人工歯や残存歯の口蓋側に付与されるのでパラルランプ (palatal ramp) ともいう。

### 108 オッセオインテグレーション

#### osseointegration

骨組織とインプラント体との界面に炎症所見が認められず、かつ、骨のリモデリングを妨げずに良好な接触関係が維持される状態。骨組織とインプラント体界面の光学顕微鏡像において、界面に軟組織が介在せず、直接接していることが必要条件とされる。

### 109 オッセオインテグレートッドインプラント

#### osseointegrated implant

(同義語) 骨結合型インプラント

インプラントの1つで、その下部構造

が骨組織に密着した結合状態を呈し、インプラント体に加わった力を直接骨に伝達する様式のもの。

### 110 オッセオインテグレートッドブリッジ→「ボーンアンカードブリッジ」参照

### 111 オトガイ唇溝 —しんこう

#### mentolabial sulcus

下唇とオトガイ部との境界の皮膚を横走する弓形の浅い溝。老人様顔貌の評価、咬合高径の評価、下顎義歯の前歯部人工歯排列位置、義歯床翼の豊隆などの指標となる。

### 112 オベイト型ポンティック —がたー

#### ovate pontic

外科的な補綴前処置により形成した顎堤粘膜の凹みに、球面状の基底面が入り込み接触する形態のポンティック。審美性を重視した形態であるが、ブリッジ装着までの期間プロビジョナルブリッジで凹みを圧迫して維持しておく必要があり、基底面の清掃にも注意が必要など、生体親和性の点で問題も残されている。

### 113 オルタードキャスト法 —ほう

#### altered cast technique

義歯の機能時における床と粘膜との適合を図るため、解剖学的印象により製作した模型の欠損部のみを機能印象による模型に置き換える方法。

### 114 Orton クラウン おるとんー

#### Orton crown

歯型の全周に適合させた純金製のマトリックスの歯頸部に、22K金板で幅の狭い帯環をろう (鑲) 付けし、歯冠形態をワックスアップ後、鑄造して製作する全部被覆冠。金属の鑄造収縮をマトリックス箔使用により防ぐために考案された。ガス抜きがうまくないと鑄造が困難であ



り、鑄造冠の登場で過去のものとなった。

## か

### 115 加圧印象 かあついんしょう pressure impression

有床義歯の機能時の状態を想定し、顎堤粘膜を加圧下で採得する印象。咬合圧印象、ダイナミック印象などがある。

### 116 外冠 がいかん outer cap, outer crown

テレスコープクラウンの一部であり、可撤性補綴装置に設置される金属冠。内冠との接触面に生じる摩擦力あるいはくさび効果は可撤性義歯の維持力として効果的に働く。外冠によって歯冠外形を再現する。

### 117 概形印象 がいけいいんしょう preliminary impression

歯および欠損部顎堤などの口腔内諸組織を予備的に採得する印象。この印象から研究用模型を製作し、咬合関係の検査、床縁の位置の判定、義歯の仮設計、個人トレーの製作などを行う。

### 118 開口障害 かいこうしょうがい mandibular trismus, limitation of mouth opening, limited mouth opening

顎口腔系組織・器官が一過性あるいは持続的に障害を受け、開口運動に制限が生じた病態。一般的に最大開口量の測定によって診断されるが、顎関節の障害によるものと、筋などの軟組織の異常によるものがある。

### 119 外斜線 がいしゃせん external oblique ridge

下顎骨筋突起前縁から下方へ走り、白後三角の頰側を通り、下顎体の臼歯部外

面に移行する骨の隆線。内斜線とともに臼歯部義歯床縁の位置を設定する際に解剖学的指標として用いられる。

### 120 外傷性咬合 がいしょうせいこうごう traumatic occlusion

- 1) 顎口腔系に損傷を引き起こす咬合。
- 2) 歯周組織に損傷を引き起こす咬合。

### 121 外側バー がいそくー external bar

残存歯部の口腔前庭に設置される大連結子。前歯部に用いられるものを唇側バー (labial bar)、臼歯部に用いられるものを頰側バー (buccal bar) という。

### 122 改訂水飲みテスト かいていみずのー modified water swallowing test (MWST)

摂食嚥下障害をスクリーニングする検査法の1つ。水飲みテストの原法は、30 mLの水を口に含んでもらい、嚥下時間・回数やむせの有無を観察する方法である。しかし飲水量が多く重症例に用いることが困難であることから、変法され3 mLの冷水を使って評価するよう改訂された。口底に冷水を注ぎ嚥下を指示し評価する方法。誤嚥の有無を予測する感度・特異度が確認されており、簡便さと安全性から有用性が高い検査法である。

### 123 ガイドグループ guiding groove, orientation groove

支台歯形成の始めに、歯質の切削量を規定するために設けられる溝。

### 124 ガイドプレーン guiding plane

〔同義語〕誘導面

支台歯側面に義歯の着脱方向と平行に形成された平面。隣接面板やクラスプな

どとの組み合わせで、義歯と支台歯の間隙を少なくし、支台歯の保護と義歯の動揺を規制する機能を発揮する。

### 125 解剖学的印象

かいぼうがくてきいんしょう

#### anatomic impression

顎口腔諸組織の解剖学的形態をできるだけ静的な状態で採得する印象。特に、軟組織部では「無圧印象」と同義語として用いられる。

### 126 解剖学的咬合器

かいぼうがくてきこうごうき

#### anatomical articulator

〔同義語〕 顎路型咬合器

関節部の構造が生体の顎関節に類似している咬合器の総称。顎路の再現を重視し、咬合器の運動を顎路を主体として行わせようとするもの。

### 127 解剖学的歯冠

かいぼうがくてきしかん

#### anatomic crown

天然歯のセメント-エナメル境から切縁あるいは咬合面までの部分。

→「臨床的歯冠」参照

### 128 解剖学的人工歯

かいぼうがくてきじんこうし

#### anatomic artificial teeth, anatomic teeth

第一大臼歯の咬頭傾斜角が $30^\circ$ 以上の人工歯。咀嚼能率の向上、咬合面による義歯の咬頭嵌合位への誘導機能、天然歯に近い審美性などの利点があるが、偏心位での咬合調整に時間がかかるなどの欠点がある。

### 129 過蓋咬合 かがいこうごう

#### excessive vertical overlap, deep bite

咬頭嵌合位において上顎前歯が下顎前

歯唇面の $1/4\sim 1/3$ 以上を被覆する咬合状態。上下顎歯列弓の垂直的咬合関係の異常の1つ。

### 130 下顎安静位 かがくあんせいゐ

#### physiologic rest position

上体を起こして安静にしているときの顎位。通常、咬頭嵌合位の $2\sim 3$ mm下方の位置とされる。

### 131 下顎安静位利用法

かがくあんせいゐりようほう

#### maxillomandibular registration using physiologic rest position

下顎安静位を利用して咬合高径を決定する咬合採得法。上下顎の皮膚上に設定した標点間の距離を計測し、下顎安静時のものから平均的な安静空隙量( $2\sim 3$ mm)を減じた値となる顎位を中心咬合位とするもの。

### 132 下顎位 かがくゐ

#### mandibular position

頭蓋を基準とした場合の下顎の空間的な位置。数学的には互いに独立な6個のパラメータで定義できる。このパラメータは直交座標系で例を示すと、座標値(x, y, z)と各軸の周りの回転( $\theta_x$ ,  $\theta_y$ ,  $\theta_z$ )となる。

### 133 下顎運動 かがくうんどう

#### mandibular movement

上顎を基準としてみた場合の顎運動。

### 134 下顎運動記録

かがくうんどうきろく

#### mandibular tracing, mandibular movement record

1) 生理学的な研究、あるいは顎口腔機能の診断や咬合器の調節などの臨床的な目的で行われる下顎の運動に関する記録。解剖学的方法、写真法、映画法、描記法、電気的測定法などがある。

2) 下顎運動の軌跡.

**135 下顎運動記録装置**

かがくうんどうきろくそうち

**mandibular movement recording device**

下顎運動の記録, 分析を目的とする種々の測定解析装置の総称. 主要な商品として, MKG, シロナソグラフ, MM-JI・E, トライメット, ナソヘキサグラフなどがある.

**136 下顎運動障害**

かがくうんどうしょうがい

**mandibular movement disorders**

下顎運動が滑らかに行われない, あるいは下顎運動が制限された病態.

**137 下顎運動要素**

かがくうんどうようそ

**elements of mandibular movement**

三次元的な下顎運動を3点で表示するための6要素. これには方向, 距離, 経路の彎曲が含まれている. 運動方向は基準平面に対する実角で, また, 運動距離は投影距離または実距離で表示される. 運動経路の彎曲は, 運動方向を示す直線に対する経路の彎曲の深さによって表示されることもある.

**138 下顎限界運動 [路]**

かがくげんかいうんどう [ろ]

**mandibular border movement [path]**

骨, 顎関節, 歯, 筋, 靭帯などにより規制された三次元的な下顎の限界での運動(路). 切歯点の限界運動路を表示した Posselt の図形が有名である. また, ある定められた垂直的顎位における水平面上では, 前方・後方・側方の下顎限界運動路が描記される. 特に, 後方・側方下顎

限界運動路を描記したものはゴシックアーチと呼ばれる.

**139 下顎後退位** かがくこうたいい

**mandibular retruded position**

咬頭嵌合位に相当する顎位より後方に位置するすべての顎位.

**140 下顎後退咬合位**→「下顎後退接触位」参照

**141 下顎後退接触位**

かがくこうたいせつしよくい

**retruded contact position**

〔同義語〕下顎後退咬合位

咬頭嵌合位から上下顎の歯を接触させた状態で, 下顎を後方へ滑走させたときのすべての咬合位.

**142 下顎最後退位**

かがくさいこうたいい

**posterior border position of mandible**

下顎後退位の中で最も後方に位置する顎位. Posselt (1962) が用いた用語で, 関節包を構成する靭帯の緊張により決定される下顎のとりうる最後方位で, ゴシックアーチの頂点に一致する.

**143 下顎最後退咬合位**→「下顎最後退接触位」参照

**144 下顎最後退接触位**

かがくさいこうたいせつしよくい

**most retruded contact position**

〔同義語〕下顎最後退咬合位

下顎頭が下顎窩内で最も後方に位置する状態での咬合位.

**145 下顎前方保持装置**

かがくぜんぼうほじそうち

**anterior mandibular positioner**

閉塞型睡眠時無呼吸症候群やいびきの治療に用いられる口腔内装置. 下顎前方整位タイプと舌位矯正タイプに分けら

れ、下顎あるいは舌を前方に位置づけることで上気道を拡張する。

**146 下顎頭** かがくとう  
**mandibular condyle**

〔同義語〕顎頭

下顎枝の後方の長楕円形の突起。下顎顎とともに関節突起を構成する。顎関節の関節頭として働く。

**147 下顎頭位** かがくとうい  
**condylar position**

〔同義語〕顎頭位

下顎窩に対する下顎頭の位置関係。

**148 下顎隆起** かがくりゅうき  
**mandibular torus**

下顎骨の臼歯部舌側面、特に第二小臼歯部に好発する、骨質の局所的過剰発育によって生ずる骨隆起。通常は無症状であるが、有床義歯の適用時には床外形の設定に障害となることが多い。

**149 下弓** [咬合器の]  
かきゅう [こうごうきー]  
**lower bow [of articulator]**

咬合器の下部構造で下顎模型を装着する金属製の体部。

**150 顎位** がくい  
**mandibular position, jaw position**

上顎と下顎との相対的な位置関係。上顎を基準とした場合を下顎位、逆に下顎を基準とした場合を相補下顎位と呼び、その両者を総称したもの。

**151 顎運動** がくうんどう  
**mandibular movement, jaw movement**

上顎と下顎の相対的な運動。上顎を基準とした場合を下顎運動、逆に下顎を基準とした場合を相補下顎運動と呼び、その両者を総称したもの。

**152 顎運動検査** がくうんどうけんさ  
**examination of mandibular movement, examination of jaw movement**

下顎の運動記録から、上下顎の顎間関係や咬合器調節のための運動要素の情報を得たり、顎口腔機能状態の診断を行うための検査。上顎を基準にとり下顎の運動を検査する下顎運動検査と、下顎を基準にとり上顎の相対的な運動を検査する相補下顎運動検査とがある。描記法に加え、最近は各種センサーを用いた電気的検査法も普及してきている。

**153 顎間関係** がくかんかんけい  
**maxillomandibular relationship**

上顎に対する下顎の、または下顎に対する上顎の空間的位置関係。上下顎間の水平・垂直方向のすべての位置関係を含む。

**154 顎間関係記録**→「顎間記録」参照

**155 顎間距離** がくかんきょり  
**vertical dimension**

下顎がある特定の位置にあるときの、上顎と下顎に設定した2点間の距離。上下顎が中心咬合位で咬合しているときの顎間距離を咬合高径という。

**156 顎間記録** がくかんきょろく  
**maxillomandibular relationship record**

〔同義語〕顎間関係記録

上下顎間の垂直的・水平的位置関係の記録。

**157 顎関節エックス線撮影**  
がくかんせつせんさつえい  
**temporomandibular joint radiography**

顎関節部の骨形態や顎関節隙を検査するためのエックス線撮影。顎関節疾患の

診断や治療効果、および顎関節腔造影法との併用による関節円板の形態異常や機能異常の検査に用いられる。

**158 顎関節雑音** がくかんせつざつおん  
**temporomandibular joint noise**

顎運動に伴って顎関節部に生ずる異常音。顎関節症の主症状の1つで、初発症状として高頻度に出現する。その音質はクリッキング(弾撥音)とクレピテーション(捻髪音、摩擦音)とに大別される。

**159 顎関節疾患** がくかんせつしつかん  
**temporomandibular joint diseases**

顎関節部の病変で、その病態あるいは原因により、①発育異常、②外傷、③炎症、④退行性関節疾患あるいは変形性関節症、⑤腫瘍および腫瘍類似疾患、⑥全身性疾患に関連した顎関節異常、⑦顎関節強直症、⑧顎関節症の8つに分類される。

**160 顎関節症** がくかんせつしょう  
**temporomandibular disorders**

顎関節や咀嚼筋の疼痛、関節雑音、開口障害ないし顎運動異常を主要症状とする慢性疾患群の総括的診断名。その病態には咀嚼筋障害、関節包・靭帯障害、関節円板障害、変形性関節症などが含まれる。

→「顎機能障害」参照

**161 顎関節痛** がくかんせつしょう  
**temporomandibular arthralgia**

顎関節部あるいはその周囲の疼痛。関節痛は関節内部の円板、滑膜、関節包などの障害によっても生じるが、関節周囲の組織、例えば筋、筋膜、腱、靭帯などの障害によっても起こる。

**162 顎関節内障** がくかんせつないしょう  
**internal derangement of**

**temporomandibular joint**

顎関節症の病態の1つ。関節円板の位置や形態異常によって引き起こされる顎関節の機能障害。

**163 顎顔面補綴** がくがんめんほてつ  
**maxillofacial prosthetics**

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などが原因で、顔面または顎骨とその周囲組織に生じた欠損に対し、非観血的に、あるいは再建やインプラント手術との併用により人工物で補填・修復し、失われた機能と形態の回復を図ること。その処置部位により、顎補綴と顔面補綴とに大別される。

**164 顎顔面補綴装置**

がくがんめんほてつそうち

**maxillofacial prosthesis**

顎顔面補綴に用いられる装置。その適用部位により、顎補綴装置(口腔内補綴装置; intraoral prosthesis)と顔面補綴装置(口腔外補綴装置; extraoral prosthesis)とに大別される。

**165 顎義歯** がくぎし

**denture for defected jaw**

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などによる顎骨または口腔軟組織の欠損に適用され、欠損部の補填・閉塞を図るとともに、人工歯を備え、義歯に準ずる形態と機能を有する補綴装置。上下の顎欠損を補填する場合、栓塞部(obturator)を備えている。

**166 顎機能障害** がくきのうしょうがい

**temporomandibular disorders**

顎関節雑音、顎関節や咀嚼筋の疼痛、顎運動障害を主徴とする症候群。ときには顎口腔領域にとどまらず全身や、精神心理面に種々の障害をもたらす。日本顎関節学会は顎関節症を正式な名称として

採用しているが、この顎機能障害の用語は、咀嚼筋症状だけで顎関節に症状を認めない症例を含む本症候群の疾患名として適切であるという主張に基づいている。

→「顎関節症」参照

**167 顎欠損** がくけっそん

**jaw defect**

腫瘍摘出や先天奇形などによる顎骨の部分あるいは全部の欠損。これにより顔面の審美性の障害を含む多様かつ重篤な口腔機能障害が引き起こされる。特に上顎では口腔と鼻腔の病的交通による飲食物や空気の漏洩、下顎では残存セグメントの三次元的変位による咬合の崩壊などが代表的なものであり、いずれも顎補綴処置の対象となる。

**168 顎口腔系** がくこうくうけい

**stomatognathic system,  
masticatory system**

摂食、咀嚼、嚥下および発音に関係する顎・口腔・顔面領域の組織と器官の共同体。

**169 顎骨支持**→「インプラント体支持」参照

**170 顎舌骨筋線** がくぜつこつきんせん

**mylohyoid ridge**

下顎体の内面を、後方より前下方に斜走し、顎舌骨筋が付着する隆線。下顎有床義歯の臼歯部における舌側床縁は、この隆線を越えた位置に設定するのが妥当とされる。ただし、当該部の粘膜面にはリリーフが必要である。

**171 顎堤** がくてい

**residual ridge**

歯の喪失によって生じる骨吸収の後に、残留した歯槽骨あるいは顎骨と顎堤粘膜によって形成される堤状の高まり。無歯顎の場合にはその形態から顎堤弓

(residual ridge arch, alveolar arch) と呼ばれる。

**172 顎堤吸収** がくていきゅうしゅう

**residual ridge resorption**

歯槽骨の吸収によって起こる欠損部顎堤の形態的变化。顎堤は義歯を支持する役割を担うが、顎堤の形態や顎堤粘膜の被圧変位量などは義歯の維持と安定に大きく関与する。

**173 顎堤粘膜** がくていねんまく

**residual mucous membrane**

顎堤を被覆する粘膜。上皮は厚く、角化しており、薄い粘膜下組織によって骨と結合している。義歯に加わる咬合力を支持するのに適した組織構造を有している。

**174 顎補綴** がくほてつ

**prosthetics for defected jaw**

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などによって生じた顎骨とその周囲組織の欠損に対し、非観血的に、あるいは再建やインプラント手術との併用により人工物で補填・修復し、顎口腔の失われた機能と形態の回復を図ること。

**175 顎補綴装置** がくほてつそうち

**prosthesis and/or appliance for  
defected jaw**

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などが原因で、顎骨とその周囲組織に生じた欠損に対し、非観血的に、あるいは再建やインプラント手術との併用により、顎口腔の失われた機能と形態の回復を図るために用いられる人工物。

**176 カスタムアバットメント**

**custom made abutment**

既製アバットメントに対し、より歯冠形態やエマーゼンスプロファイルを考慮したフリーデザインのアバットメン

ト、以前はUCLAアバットメントにワックスアップをし合金で鋳接して製作したが、近年では、チタンあるいはジルコニアを素材としてCAD/CAMにより製作されることが多い。

### 177 仮想咬合平面

かそうこうごうへいめん

#### tentative occlusal plane

最終義歯の咬合平面の基準となる、咬合堤上に表現される平面。

### 178 型ごと埋没法 かた—まいぼつほう

#### die investing method

母模型から複製された耐火模型上でワックスアップし、ワックスパターンを模型から外さずに、そのまま同一埋没材で埋没して鋳造体を製作する方法。使用埋没材には、石膏系やリン酸塩系などがあるが、一般的に通常の埋没材より結合材の量を多くして、強度を与えている。

### 179 仮着 かちやく

#### provisional cementation, temporary cementation

プロビジョナルクラウンなども含めた歯冠補綴装置を支台歯に一時的に装着すること。最終補綴装置の場合には、その状態で暫時患者に使用させ、審美性や咬合機能の回復程度および装着感などを観察し、問題点があれば改善し、異常がなければ耐久性の高い材料を用いて合着する。

### 180 滑走運動 かっそううんどう

#### mandibular translation

咬合接触を保持した状態で行う前方、後方、または側方への顎運動。それぞれ、前方滑走運動、後方滑走運動、側方滑走運動と呼ばれ、咬合の検査や咬合様式の確認に利用される。特に側方滑走運動は咀嚼運動と密接な関係にあることから、

各種の顎運動の中で最も重要視され、この方向、距離および彎曲は咬合器の設計や咬合器での顎運動の再現あるいは合理的な咬合面形態の付与や咬合調整のための最も重要な検査対象となる。

### 181 可撤歯型式模型→「歯型可撤式模型」参照

### 182 可撤性義歯 かつせいぎし removable denture

患者あるいは術者が任意に着脱可能な義歯。有床義歯、可撤性ブリッジなどがある。

### 183 可撤性ブリッジ かつせい— removable dental prosthesis

患者あるいは術者によって装置の一部が着脱可能な、支台歯歯根膜で支持されるブリッジ。支台歯間の平行性が十分でないときや、有床型や鞍状型ポンティックなどの非自浄型ポンティックを適用した場合に設計される。

### 184 可撤性補綴装置 かつせいほてつそうち removable dental prosthesis

補綴装置のうち、全部床義歯、部分床義歯、可撤性ブリッジなど、患者あるいは術者による着脱が可能な装置。

### 185 可撤性連結 かつせいれんけつ removable connection

装置の一部が、随時着脱しうる構造をもつ連結様式。

### 186 顎頭→「下顎頭」参照

### 187 顎頭安定位 かとうあんてい stabilized condylar position

下顎頭が下顎窩の中で緊張なく安定する位置(大石忠雄, 1967)。正常歯列者の咬頭嵌合位では下顎頭は顎頭安定位にある。

### 188 顎頭位→「下顎頭位」参照

**189 顎頭間距離** かとうかんきょり**intercondylar distance**

顎頭間軸上にある左右の顎頭点間の距離。臨床では、皮膚上の顎頭点をフェイスボウにより計測している。したがって真の顎頭間距離は、これより片側で平均約 12 mm 差し引いた距離とされる。Bonwill (1859) は顎頭間距離を 4 インチ (約 10 cm) とし、Bonwill 三角の一辺として補綴学的に意義づけ、咬合器に応用した。

**190 顎頭間軸** かとうかんじく**intercondylar axis**

左右の顎頭点を結んだ仮想軸。

**191 顎頭球** かとうきゅう**condylar ball**

生体の下顎頭に相当する咬合器の球状の部分。咬合器の上弓あるいは下弓に取り付けられ、顎路指導板に対して回転あるいは滑走し、咬合器の開閉運動、側方運動を規制する。

**192 可動性補綴装置** → 「半固定性補綴装置」参照**193 顎頭点** かとうてん**condylar point**

顎運動の原点として利用される下顎頭を代表する基準点。一般に、下顎頭の平均的な形態に基づいて皮膚上に求められた平均的顎頭点、あるいは終末蝶番軸上の蝶番点もしくは全運動軸上の全運動軸点を指す。

**194 可動粘膜** かどうねんまく**unattached mucous membrane**

咀嚼、発音、嚥下などの機能時に、筋の動きに伴って移動、変形する粘膜。

**195 下部構造 (体) [インプラントの]**  
かぶこうぞう (たい)**substructure [of implant prosthesis]****sis]**

〔同義語〕 サブストラクチャー

インプラント体のこと。それに連結されたアバットメントを含めて呼ぶこともある。

→ 「上部構造 (体)」, 「中間構造 (体)」参照

**196 ガム模型** → 「人工歯肉付模型」参照**197 カラーレスマージン****collarless margin**

陶材焼付冠において辺縁部のコーピングを除去し、陶材によって直接被覆して審美性の向上を図ったマージン。

**198 ガラス浸透型セラミックス**

—しんとうがた—

**glass-infiltrated ceramics**

アルミナ・コア材に低粘度のガラスを浸み込ませたもの。毛細管現象によってガラスが多孔性の酸化アルミニウム (アルミナ) に引き込まれ、非常に強固で濃密なアルミナ・ガラス複合体となる。

**199 顎路** かる**condylar path**

顎運動時に下顎頭が示す運動経路。特に滑走運動時の運動経路をいう。一般に下顎頭を代表する顎頭点の運動軌跡として表す。切歯路とともに顎運動の重要な要素であり、種々の顎運動に対応してさまざまな経路をとるが、その限界運動路を矢状面、水平面、前頭面に投影して矢状顎路と側方顎路とに区別し、咬合器の顎路調節などに利用する。

**200 顎路型咬合器****condylar path articulator**

→ 「解剖学的咬合器」参照

**201 顎路指導板** かるしどうばん**condylar guidance**

咬合器の関節部で顎頭球を一定方向に



誘導し、一般的に矢状顆路傾斜角および側方顆路角を規制する部分。その機構からボックス型とスロット型とに分類される。

## 202 顆路調節機構

かるちょうせつきこう

### adjustable posterior guidance

調節性咬合器における顆路を再現するための調節機構。顆路指導部を調節することにより、各個人の矢状顆路および側方顆路が設定できる。

## 203 冠→「クラウン」参照

## 204 緩圧型アタッチメント

かんあつがたー

### stress-breaking attachment, resilient attachment

義歯に機能圧が加わった場合に、支台歯に伝達される力が過大となるのを防止する目的で、緩圧機構が付与されているアタッチメントの総称。緩圧方法には蝶番、スプリング、スペース付与の3種類がある。

## 205 緩圧型維持装置→「緩圧型支台装置」参照

## 206 緩圧型支台装置

かんあつがたしだいそうち

### stress-breaking retainer

〔同義語〕 緩圧型維持装置

義歯に加わる機能圧を制御して、支台歯の負担を軽減する構造と作用をもつ支台装置。

## 207 緩圧装置 かんあつそうち

### stress breaker

支台歯などに伝達される咬合力の一部または大部分を軽減し、それらの力の方向を他の支台装置や咬合圧負担域へ変更する装置、あるいはシステム。支台装置自体が緩圧作用を有するもの（緩圧型支

台装置）と、連結子に緩圧作用をもたせるもの（スプリットバーなど）がある。

## 208 眼窩下点 がんかかてん

### infraorbital point

眼窩骨縁の最下点と定義される眼点（orbitale；眼窩点）に相当する皮膚上の計測点。前方を直視させたときの瞳孔の直下で、眼窩下縁と交わる点を触診によって求める。フェイスボウトランスファー時の前方基準点の1つとして用いられる。

## 209 感覚障害 かんかくしょうがい

### dysesthesia, paresthesia, sensory disturbance

〔同義語〕 感覚異常、知覚異常

感覚障害は主に、体性感覚の障害を示す状態あるいはそれを表す病名。体性感覚は触覚、温度感覚、痛覚の皮膚感覚と、筋や腱、関節などに起こる深部感覚からなる。口腔内には鬱状態のときの過剰感覚、セネストパチーにおける錯感覚あるいは妄想に似た異常感覚が起こることがある。知覚異常ともいわれ、舌痛症にみられる。

## 210 嵌合効力 かんごうこうりょく

### interlocking force

〔同義語〕 嵌合力

修復物の着合材として用いられる泥状のセメントが、窩壁や修復物の粗造面の微細な凹凸の中に入り込んで硬化し、その面に沿った滑りを阻止する力。リン酸亜鉛セメントの場合では、修復物の維持力の主体をなす。

## 211 嵌合力→「嵌合効力」参照

## 212 緩衝腔 かんしょうくう

### relief area

義歯床下粘膜に過度の圧力が加わらないように、リリースを目的として義歯床

粘膜面と顎堤粘膜との間に作られる空隙。臨床的には、作業用模型上で緩衝部に絆創膏、金属箔などを貼付する方法、あるいは完成した義歯床粘膜面の当該部位を削除する方法などがある。

### 213 環状鉤 かんじょうこう

#### circumferential clasp

鉤腕が支台歯の歯冠をとりまく形態のクラスプの総称。鉤腕、鉤体、鉤脚から構成される。単純鉤、二腕鉤などの鉤腕の数による分類、ヘアピンクラスプ、リングクラスプ、双子鉤、延長腕鉤、連続鉤などの形態による分類、Akers クラスプ、Jackson クリプクラスプなど考案者の名による分類など、多様な分類がある。

### 214 間接維持装置 → 「間接支台装置」参照

### 215 間接支台装置

かんせつしだいそうち

#### indirect retainer

〔同義語〕間接維持装置

部分床義歯の支台装置の1つ。欠損部から離れた歯に設定され、主に支台歯間線を軸とした義歯の回転に抵抗するものをいう。

### 216 完全自浄型ポンティック

かんぜんじじょうがたー

#### hygienic pontic

自浄性、清掃性に基づくポンティック形態の1つ。最も自浄性に優れた形態とされ、離底型ポンティックがこれに相当する。

### 217 寒天アルジネート連合印象

かんてん-れんごういんしょう

#### agar alginate combined impression

シリンジ用寒天印象材を支台歯に注入し、その上からトレーに盛ったアルジ

ネート印象材で印象する印象法の1つ。

### 218 寒天印象 かんてんいんしょう

#### agar impression, reversible hydrocolloid impression

寒天印象材による印象。コンディショナーで加熱して印象材をゾル状にしておき、シリンジを用いて印象材を支台歯と歯列に注入し、冷却用チューブの付いた専用のトレーにトレー用印象材を盛ってその上に被せた後、水冷して採得する印象。

### 219 カントウア〔歯の〕ー〔はー〕

#### contour〔of tooth〕

歯冠の軸面形態。特に頬・舌側の豊隆形態を指すことが多いが、本来は歯冠形態の外形を意味する。適正なカントウア(normal contour)より豊隆が大きなものをオーバーカントウア(over contour)、逆に、豊隆が不足しているものをアンダーカントウア(under contour)という。

### 220 Camper 平面 かんべるへいめん

#### Camper's plane

水平基準面の1つであり、左右側いずれかの鼻翼下縁と両側の耳珠上縁によって形成される平面。なお、側貌エックス線写真などの骨組織上では、鼻棘点(前鼻棘底尖端部)と外耳道の中央を通る平面をいう。この平面は正常有歯顎者の咬合平面とほぼ平行であることから、咬合床に付与する仮想咬合平面の決定に利用される。なお、左右側いずれかの鼻翼下縁と耳珠上縁とを結ぶ線は鼻聴道線(Camper線、ala-tragus line)と呼ばれる。

### 221 顔面印象 がんめんいんしょう

#### facial impression

顔面補綴装置(顔面エピテーゼ)製作のために採得された対象物の陰型。その

採得方法は通常、アルジネート印象材（顔面表面側）と石膏（代替トレー）の積層印象法などにより行われる。印象材と石膏の保持にはガーゼやポリウレタンシートなどが用いられる。印象時、患者の鼻あるいは口には呼吸用チューブが装着される。

### 222 顔面インプラント がんめんー facial implant

顔面補綴装置（顔面エピテーゼ）の維持源のために頭蓋顔面骨に生体材料あるいは非生体材料を移植または嵌植する形成術、またはそれらの移植体、嵌植物の総称。

### 223 顔面エピテーゼ がんめんー facial prosthesis

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などが原因で生じた顔表面を含む実質欠損に対し、非観血的に、あるいは手術との併用により補填修復し、その形態的・審美的改善とともに、発語などの失われた機能の回復を図るために用いる人工物。独語 Epithese に由来。

### 224 顔面計測法 がんめんけいそくほう facial measurement method

形態的根拠に基づく垂直的顎間記録法。咬合高径（鼻下点・オトガイ間距離）に近似する顔面上の標点を計測する方法で Willis 法（瞳孔・口裂間距離）、McGee 法（眉間・鼻下点、瞳孔・口裂、左右口角間距離）、Bruno 法（手掌の幅）などがある。

→「咬合高径」、「咬合高径測定法」参照

### 225 顔面欠損 がんめんけつそん facial defect

腫瘍摘出や外傷に後遺する顔面部の欠損。審美障害はもちろんであるが、開口

部が存在する場合には、鼻腔や口腔の慢性的乾燥、構音障害、流涎などの機能障害も発現する。審美障害と機能障害の改善のためには、皮膚移植などの外科的再建手術や顔面補綴装置（顔面エピテーゼ）の装着あるいは両者の併用が適用される。

### 226 顔面補綴 がんめんほてつ facial prosthetics

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などが原因で生じた顔表面を含む実質欠損を非観血的に、あるいは再建やインプラント手術との併用により人工物で補填・修復し、その形態的審美的改善とともに、発語などの失われた機能の回復を図ること。この補綴装置を顔面エピテーゼと称する。

## き

### 227 キーアンドキーウェイ key and keyway

主として半固定性ブリッジに用いるスライド型連結装置の1つ。一般に支台歯の隣接面歯冠内にレール状に設けられたキーウェイ（マトリックス）と、これと嵌合するようにポンティック部に設けられたキー（パトリックス）から構成される。

### 228 キーパー keeper

磁石の保磁子。磁性ステンレス鋼などを材料とした板状の形態を有する歯科用磁性アタッチメントの構成要素の1つであり、磁石構造体に吸着して閉磁路を構成する。

### 229 キール keel

フレンジテクニックにおいて人工歯排

列位置と義歯床研磨面の形態を決定する際に、咬合の支持とワックスの保持を目的として基礎床の臼歯部に設けられた柱、舌や頬粘膜など、義歯周囲組織の生理的な運動を阻害しないように、ニュートラルゾーン内に設置される。

→「フレンジテクニク」参照

### 230 義顎 ギガク

#### template for defected jaw

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などによる顎骨または口腔軟組織の欠損に適用され、人工歯を備えず、欠損部の補填、閉塞などを目的とした補綴装置。

### 231 義歯 ギシ

#### denture

歯およびその周囲組織の喪失による審美障害と機能障害の改善を目的として製作・装着される人工装置。残存歯に固着される固定性補綴装置と、患者や術者が任意に着脱できる可撤性補綴装置とがある。その他にも目的、材料、形態などに基づいて多様に分類される。

### 232 義歯安定剤 ギシアんていざい

#### denture stabilizer

維持、安定の不良な義歯の改善を目的として使用する材料。粘着力の増強を図るための水溶性の粉状材料、適合不良の間隙を補填して辺縁封鎖の向上を図る不溶性のペーストやシート状の材料などがある。

### 233 義歯床 ギシシヨウ

#### denture base

義歯の構成要素の1つで、欠損部顎堤や口蓋部を覆い、人工歯が排列される部分。咬合力を顎堤に伝達し、全部床義歯では維持にも働く。金属を使用した金属床 (metal base) と、アクリリックレジンや射出成形レジンを使用したレジン床

(resin base) とがある。

### 234 義歯床下粘膜

ギシシヨウカネンマク

#### basal seat mucosa

義歯床によって覆われた粘膜。義歯の支持・維持に関与する。

### 235 義歯床下粘膜異常

ギシシヨウカネンマクイジョウ

#### abnormality of basal seat mucosa

〔同義語〕義歯性口腔粘膜症

義歯装着に起因した義歯床下粘膜の組織的・形態的異常。咬合力が負荷されることにより義歯床下粘膜が機械的刺激を受け、粘膜に発赤、び爛、潰瘍、腫脹などが生じる場合や、義歯床が沈下して粘膜に圧痕が形成される場合がある。

### 236 義歯床研磨面

ギシシヨウケンマメ

#### polished denture surface, cameo surface

義歯床の唇・頬側面、舌側面、および人工歯の咬合面を除いた側面を含む義歯床外表面。口腔内の可動粘膜が接触し、その機能圧が加わる。そのため義歯の安定性や使用感に影響を及ぼす。

### 237 義歯床後縁 ギシシヨウコウエン

#### posterior denture border

義歯の後方の床縁。上顎の全部床義歯では一般にアーラインに一致させ、下顎ではレトロモラーパッドの前方部 (線維部) を越え、後方部 (腺部) 上に設定するのが良いとされる。

### 238 義歯床支持域 → 「義歯床負担域」参照

### 239 義歯床粘膜面

ギシシヨウネンマクメ

#### denture basal surface, impression surface of denture,

**intaglio surface**

顎堤や口蓋の粘膜に接触する義歯床の内面。印象により外形が決定され、義歯の支持・維持・安定に関与する。

**240 義歯床負担域**

ぎししょうふたんいき

**denture bearing area, denture foundation, stress-bearing region**

〔同義語〕 義歯床支持域

義歯に加わる咬合圧を負担する義歯床下支持組織の領域。顎堤粘膜の厚さ、被圧縮度、骨面の状況により圧負担能力が異なるため、印象時の圧調整や義歯床粘膜面のリリースなどが必要な部位もある。

**241 義歯性潰瘍** ぎしせいかいよう

**denture ulcer**

義歯による圧迫や摩擦などの機械的刺激のため、口腔粘膜組織の循環障害や上皮剥離によって生じる炎症を伴う有痛性の潰瘍で、義歯床下粘膜異常の1つ。

**242 義歯性口腔粘膜症**→「義歯床下粘膜異常」参照**243 義歯性口内炎**

ぎしせいこうないえん

**denture stomatitis**

義歯床下粘膜異常の中の *Candida albicans* の感染などで生じる非特異的炎症。以前は義歯による外傷（機械的刺激）が主因と考えられたが、今日では、機械的刺激が原因と考えられる局所的炎症は除外されている。

**244 義歯性線維腫** ぎしせいせんいしゅ

**epulis fissuratum,**

**so-called denture fibroma**

義歯床の機械的慢性刺激による粘膜の炎症反応性の増生物。上顎歯肉唇移行部に好発するが、口蓋や下顎にも生ずるこ

とがある。

病理組織学的に毛細血管や細胞成分の多い肉芽型、線維化が進んで細い線維組織が密に排列した線維型、それらの中間型に分類されている。肉芽型は義歯の適正化により消退する可能性があるが、線維型は消退しないため、必要に応じて外科的に切除する。

※第4版では義歯性線維腫を用いたが、日本臨床口腔病理学会より「義歯性線維腫という病名はない」との指摘があり義歯性線維腫とした。

**245 義歯洗淨剤** ぎしせんじょうざい

**denture cleanser**

酸化剤や酵素によって、義歯の汚れやデンチャープラークを化学的に清掃し、義歯床内に入り込んだ微生物を除菌する化学製剤。

**246 基礎床** きそしょう

**record base**

咬合床の一部で、咬合堤を支える仮の義歯床。

**247 拮抗作用【義歯の】** きっこうさよう

〔ぎしー〕

**reciprocation**

〔同義語〕 対抗作用

部分床義歯の支台歯において、鉤腕などの特定の部分で発生した力を、他の部分によって相殺させること。

**248 拮抗腕** きっこうわん

**reciprocal clasp, reciprocal arm**

〔同義語〕 把持腕

二腕鉤で、一方の維持腕により支台歯に加わる側方力に対抗するための鉤腕。維持腕の維持力を適切に発揮させるとともに、義歯の着脱時あるいは機能時に支台歯に加わる側方力を相殺する。

**249 機能印象** きのういんしょう

**functional impression**

義歯の機能時に義歯床下粘膜に咬合圧をできるだけ均等に負担させるために、被圧変位量に応じた力で加圧し、さらに顎頭周囲可動組織の動的状态をも記録することを目的とした印象。

**250 機能咬頭** きのうこうとう

**functional cusp**

咀嚼運動中に対合歯の咬合面窩あるいは辺縁隆線部にかみ込み、食物を咬断・粉碎・白磨する咬頭。

**251 機能性嚥下障害**

きのうせいえんげしょうがい

**functional dysphagia**

〔同義語〕 動的嚥下障害、運動障害性嚥下障害

嚥下器官（舌、咽頭、舌骨上・下筋群、食道など）に器質的欠損がないにもかかわらず、正常な嚥下運動が遂行できない状態。脳血管障害や神経・筋疾患による麻痺性嚥下障害などが代表的である。

**252 機能的運動路法**→「FGP テクニク」参照

**253 機能的人工歯**

きのうてきじんこうし

**functional artificial tooth**

第一大臼歯の咬頭傾斜角が20°の人工歯。解剖学的形態から著しく逸脱せず、咀嚼能率も比較的優れていながら、側方分力が過大とならないように設計されている。

**254 機能的正常咬合**

きのうてきせいじょうこうごう

**normal functioning occlusion**

解剖学的に正常でなくても、機能的には異常が認められない咬合。

**255 機能的不正咬合**

きのうてきふせいこうごう

**functional malocclusion**

解剖学的所見とは関係なく、何らかの機能異常が認められる咬合。

**256 基本的下顎運動**

きほんてきかがくうんどう

**fundamental mandibular movement**

咀嚼、発音、嚥下などに伴う顎運動や、ブラキシズムなどの異常習癖による顎運動とは別に、下顎の運動機能を評価するために被検運動として用いられる顎運動。前方・後方・側方・開閉口運動がある。

**257 キャスタブルセラミックス**

**castable ceramics**

高温で流動化し casting 可能となる非結晶質のガラスセラミック材料。 casting 後、セラミシングによって結晶化して強度を増す。ジャケットクラウンとして用いる場合には、材料自体が単色のため、表面着色剤を用いたり、従来型のポーセレンを焼き付けて審美性の向上を図る。

**258 キャスティングライナー**

**casting liner, ring liner**

〔同義語〕 リングライナー

casting 用リングに内張りする帯状の繊維質耐火材。 casting 収縮補償に必要な埋没材の硬化膨張と加熱膨張を引き出すためのクッション材となる。

**259 キャストサポート**

**cast support**

フェイスボウトランスファーの操作中に、上顎模型や固定用の石膏の重量によってフェイスボウがたわまないようにバイトフォークの下面を支える装置。

**260 キャップクラスプ****cap clasp**

臼歯咬合面の全面を覆う形態の支台装置。支持能力に優れ、支台歯の二次固定効果が期待できる。キャップの辺縁を歯冠頬舌面の最大豊隆より 0.1 mm のアンダーカットに設置して維持を求める。

**261 CAD/CAM アバットメント**

きゃど/きゃむー

**CAD/CAM abutment**

コンピュータ支援による設計と製作を行ったアバットメント。形状や歯肉縁下部の立ち上がり、フィニッシュラインなどをコンピュータ上で設計 (computer-aided design : CAD) し、そのデータを専用の加工装置に伝達し、チタンやジルコニア製のアバットメントを切削加工によって製作 (computer-aided manufacturing : CAM) する。

→「カスタムアバットメント」参照

**262 CAD/CAM クラウン**

きゃど/きゃむー

**CAD/CAM crown**

〔同義語〕CAD/CAM 冠

コンピュータによる補綴装置の設計 (computer-aided design : CAD) と加工装置 (computer-aided manufacturing : CAM) とにより製作されたクラウン。鋳造操作や前装材料の築盛によらないため、物理的特性の優れた、均一かつ高品質な補綴装置を製作できる。チタン、コバルトクロム、陶材、コンポジットレジン、ジルコニアなど多様な材料が用いられる。

**263 CAD/CAM デンチャー**→「デジタルデンチャー」参照**264 臼後三角** きゅうごさんかく  
**retromolar triangle**

下顎骨の最後方大臼歯のすぐ後方に位置し、頂点を後方に底辺を前方に向けた小さな三角形の骨面。

→「レトロモラーパッド」参照

**265 臼歯離開咬合**

きゅうしりかいこうごう

**disocclusion**

〔同義語〕ディスクルージョン

下顎偏心運動中、下顎をガイドしている前歯以外の臼歯間に離開が認められる咬合様式。即時離開咬合 (immediate disocclusion) と遅延離開咬合 (delayed disocclusion) とがある。

**266 頬棚** きょうだな**buccal shelf**

下顎骨の大臼歯部の頬側に位置し、外斜線と下顎槽頂とに囲まれた平坦な部位。骨組織は緻密であり、咬合平面に対してほぼ平行の面であるので、垂直的咬合力の方向に直交しており、義歯床負担域として有効な部位である。

**267 頬粘膜圧痕** きょうねんまくあつこん**pressure mark on cheek mucosa**

臼歯部咬合平面相当部の頬粘膜にみられる歯列の圧痕。不適切な咬合関係やクレンジングによって生じるといわれている。

**268 局部床義歯**→「部分床義歯」参照**269 局部床義歯補綴学**→「部分床義歯補綴学」参照**270 筋圧維持** きんあつじ**muscular retention**

口唇・頬・舌などの筋圧を義歯床の維持に積極的に利用すること。

**271 筋圧形成** きんあつけいせい**border molding, muscle trimming**

〔同義語〕筋形成、辺縁形成

有床義歯において、機能時の頬・口

唇・舌の動きに調和した義歯床縁形態を得るために、それらの動的な状態を、モデリングコンパウンドなどを用いて記録する印象操作。

**272 近遠心鉤**→「隣接面鉤」参照

**273 筋形成**→「筋圧形成」参照

**274 筋触診法** きんしょくしんぽう

#### muscle palpating method

1) 顎口腔系の診察、検査の1つとして、また、顎顔面部や頭頸部に疼痛や違和感を訴える患者におけるその部位と痛みの程度を確認することを目的として、筋を触診する方法。Krogh-Poulsen (1968)の方法が有名である。

2) 咬合採得において、咬筋あるいは側頭筋の緊張状態を触診によって判定し、水平的顎位を決定する方法。この場合には、「筋把握法」が同義語となり、咬筋前縁部を利用する咬筋触診法（咬筋把握法；Gysi）、側頭筋前部を利用する側頭筋触診法（側頭筋把握法；Green）とがある。

**275 金属アレルギー** きんぞくー

#### metal allergy

主にIV型アレルギー（遅延型アレルギー）の典型的な反応として発現する、金属に対するアレルギー。金属元素がイオン化し、生体の蛋白質と結合することによって、抗原となる。症状は金属が接触した部分に発現する接触性皮膚炎と、遠隔の皮膚に発現する全身性接触皮膚炎とがあるが、口腔外での発現は口腔内に比べ約10倍の頻度がある。感作性の強い金属の種類はHg, Ni, Cr, Co, Sn, Pdなどである。

**276 金属冠** きんぞくかん

#### metal crown

齶蝕やその他の原因で歯冠が広範囲に

崩壊した場合に、歯冠を金属で被覆し、形態と機能の回復とともに、齶蝕の再発を防止する歯冠補綴装置。製作法は現在は鋳造法が一般的であるが、古くは板金加工法があり、近年では焼結法や切削加工法（CAD/CAM）なども応用されている。

**277 金属歯** きんぞくし

#### metal occlusal surface, metal tooth

咬合面の一部（metal occlusal surface）または全体（metal tooth）を金属で製作した床用人工歯。上下の顎堤間距離が小さく既製人工歯が使用しにくい場合や、微妙な咬合面形態の追及、あるいはレジン歯と陶歯との中間の適度な耐摩耗性を求める場合などに、鋳造して製作した自家製の金属歯が白歯に使用されることがある。また、特殊な理論に基づいて作られている既製の金属歯も用いられる。

**278 金属床** きんぞくしょう

#### metal base

義歯床粘膜面の一部、あるいは全部を形作る義歯床の金属部分。鋳造床（cast plate）および圧印床（swaged plate）がある。

**279 金属床義歯** きんぞくしょうぎし

#### metal base denture, metal plate denture

主要な構成要素に金属を使用して、強度、装着感、設計の自由度などを高めた義歯。

**280 筋電図検査** きんでんずけんさ

#### electromyographic examination

筋が収縮するときに発生する活動電位を針電極や表面電極を用いて記録した筋電図による検査。歯科補綴領域では、顎口腔機能評価や補綴装置の評価に用い



れることが多い。

### 281 筋肉位 [下顎の]

きんにくい [かがくー]

#### muscular contact position [of mandible]

咀嚼筋群が協調活動した状態で、下顎安静位から閉口することによって得られる咬合位。Brill (1959) によって提唱された。



### 282 屈曲バー くつきょくー

#### wrought bar

既製のバー用線を屈曲して製作される大連結子。

### 283 グラインディング

#### grinding

ブラキシズムの1つ。空口状態で上下顎の歯を強く接触させながら無意識に側方あるいは前後方向に動かし、こすり合わせる運動。

### 284 クラウン

#### crown

〔同義語〕冠

練成充填物、インレー以外の歯冠補綴装置の総称。修復の程度により、全部被覆冠、部分被覆冠などの被覆冠と、ポストクラウンとに大別される。

### 285 クラウンブリッジ補綴学

ーほてつがく

#### crown and bridge prosthodontics

歯科補綴学の一分科で、歯冠部の形態異常や実質欠損、あるいは歯の欠損に対し、クラウンやブリッジで修復・整形し、口腔の形態および機能と外観を回復するとともに、顎口腔系の健康維持を図るために必要な理論と技術を考究する学問。

### 286 クラスプ

#### clasp

〔同義語〕鉤

部分床義歯の支台装置の1つ。その一部をなす鉤腕が支台歯に全面あるいは一部で接触することによって、義歯における支持・把持・維持の役割を果たす。製作法により鑄造鉤と線鉤、また形態により環状鉤とパークラスプとに大別される。

### 287 グラフィック法 [下顎運動の]

ーほう [かがくうんどうー]

#### graphic record

弾筆を応用した口外描記法によって、下顎運動を記録・測定する方法。

### 288 クリアランス

#### clearance

物体が障害なしにすれ違える状態。また、その物体間の距離をいう。特に、修復物の適切な厚みを得るために形成により削除された量を interocclusal clearance という。

### 289 Christensen 現象

くりすてんせんげんしょう

#### Christensen's phenomenon

無歯顎患者に上下顎の咬合堤を平坦にした咬合床を装着して下顎の滑走運動を行わせたときに、咬合堤間にくさび状の空隙が生じる現象。前方滑走運動時に後方に開いたくさび状の空隙が生じる矢状 Christensen 現象と、側方滑走運動時に非作業側に開いたくさび状の空隙が生ずる側方 Christensen 現象とがある。Christensen (1905) により提唱された。

### 290 クリックング

#### clicking

関節節板の移動によって発生するとされる顎関節雑音の一種。明瞭な短い音で、「カクン」、「ポキポキ」、「パキパキ」

などと表現される。弾撥音ともいわれる。

## 291 グループファンクション

### group function

下顎の前方滑走運動時には前歯が接触して臼歯部を離開させ、側方滑走運動時には作業側の複数の歯が接触し、非作業側では咬合接触のない咬合様式。有歯顎者に望ましい咬合様式の1つとされている。

## 292 グレージング

### glazing

陶材表面の製作時の仕上げとして、焼成してつやを出すこと。低溶融のうわぐすりを陶材削成面に塗布、焼成して光沢を出す方法と、陶材を高温で焼成して陶材自体を溶融させる方法がある。

## 293 クレピタス

### crepitus

→「クレピテーション」参照

## 294 クレピテーション

### crepitation

〔同義語〕クレピタス

不明瞭な長い音の顎関節雑音。「ギシギシ」、「ザラザラ」、「ジャリジャリ」などと表現される。捻髪音、摩擦音ともいわれる。

## 295 クレンチング

### clenching

上下顎の歯の強いかみしめ。感情的・精神的ストレス、あるいは肉体的ストレス、緊急事態における緊張動作時、全身運動時に発現する。ブラキシズム時にも発現することがある。

# け

296 継続歯→「ポストクラウン」参照

297 経鼻的持続陽圧呼吸療法 けいびてきじぞくようあつこきゅうりょうほう

### continuous positive airway pressure

〔同義語〕CPAP療法

OSASの経鼻的治療法。主に中等度～重度のOSASに対して適用する。鼻マスクから圧力を加えた空気を送り込むことによって、気道の閉塞を取り除く。

→「睡眠時無呼吸症候群」、「OSAS治療用口腔内装置」参照

298 欠損歯列 けつそんしれつ

### partially edentulous arch

歯の欠損がある歯列。

299 Kennedyの分類

けねでい——ぶんるい

### Kennedy classification of removable partial dentures

部分的な歯の欠損を有する歯列の分類法の1つ。4型に分類され、両側性遊離端欠損〔Ⅰ級〕、片側性遊離端欠損〔Ⅱ級〕、片側性中間欠損〔Ⅲ級〕、両側にまたがる前歯中間欠損〔Ⅳ級〕がある。Ⅳ級以外は類型をもつ。Kennedy (1923, 1925, 1928) により提唱された。

300 Kennedyバー けねでい——

### Kennedy bar

鉤腕が前歯の基底結節上を波状に走行する連続鉤、もしくは大連結子の1つで、義歯の安定、間接維持、残存歯の固定などに役立つ。通常、リンガルバーと併用されるため、2本をあわせてダブルリンガルバーとも呼ばれる。Kennedy (1928) により提唱された。

**301 研究用模型** けんきゅうようもけい**diagnostic cast, study cast**

〔同義語〕 スタディモデル

顎口腔系の診察，検査，診断，治療方針の決定の資料として，あるいは治療記録として準備される上下顎石膏模型。

**302 犬歯日後隆起線**→「Pound ライン」

参照

**303 犬歯誘導咬合**

けんしゅうどうこうごう

**canine protected articulation,  
cuspid protected articulation  
(occlusion)**

下顎の側方滑走運動時，作業側犬歯の咬合接触によって下顎を誘導し，臼歯部は離開する咬合様式。

こ

**304 鈎**→「クラスプ」参照**305 構音** こうおん**speech articulation, articulation**

構音器官を操作することによって，母音や子音を出す行動。

**306 構音検査** こうおんけんさ**articulation test**

構音機能が何らかの原因で障害されたときに行う検査。構音（調音）運動に関与する器官を構音器官と呼び，構音機能は可動性の舌，口唇，軟口蓋などの構音体と，非可動性の硬口蓋や歯などの構音点との関係で営まれるが，補綴領域ではパルトグラフィーによる検査や語音明瞭度検査などが行われている。

**307 構音障害** こうおんしょうがい**disorders of articulation,  
dysarthria**

特定の語音が正しく発音されず習慣的

に誤って発音される障害。子音の省略，異常な喉頭摩擦音などへの置換，不必要な音の添加および歪みなどがみられる。口蓋裂，口蓋麻痺，顎骨欠損などによる器質的構音障害と，構音のメカニズムの習得過程における誤った学習や構音発達への遅延などによる機能的構音障害とがある。また，構音運動をコントロールする神経系が障害された場合は麻痺性構音障害 (dysarthria) が生じる。話し言葉の障害によりコミュニケーションに不都合を生じている状態にある言語障害 (communication disorders) の1つ。

**308 鈎外形線** こうがいけいせん**outline of clasp**

支台装置の製作の際に，あらかじめ描記されたサベイレインを基準として，クラスプの種類と目的とする維持力ならびに把持力に基づいて，模型上に描記するクラスプの輪郭を示す設計線。

**309 口蓋後縁封鎖**

こうがいこうえんふうさ

**posterior palatal seal**

辺縁封鎖の1つで，上顎全部床義歯の床後縁を封鎖すること。これにより維持力が増強される。積極的な封鎖法としてポストダムがある。

**310 口蓋床** こうがいしょう**palatal plate**

口蓋の先天的，後天的欠損や口腔機能不全に対して口蓋部を被覆する，合成樹脂あるいは金属製の床装置。

**311 口外描記法** こうがいびょうきほう**extraoral tracing method**

描記板と描記針で構成される下顎運動記録装置が口腔の外に設置され直視下で行うことができる下顎運動計測法，ゴシックアーチ描記法とグラフィック法

(パントグラフ法) とがある。

**312** 口蓋補綴 こうがいほてつ

**palatal prosthetics**

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などが原因で、口蓋部に生じた欠損、形態異常、機能不全などを非観血的に、あるいは手術との併用により人工物で修復し、損なわれた形態と機能の回復・改善を図ること。

**313** 口蓋隆起 こうがいりゅうき

**palatal torus, palatine torus, torus palatinus**

口蓋正中部に発現する限局性の骨隆起。通常は無症状であるが、大型のものでは構音障害を来すため外科的切除が必要となることがある。被覆粘膜が薄いため、義歯床で被覆する場合には緩衝腔を設定する。

**314** 光学印象 こうがくいんしょう

**digital impression, digital scan**

〔同義語〕 デジタルインプレッション

直接対象物に触れずに光学的に物体の三次元的な形状を計測し、デジタル化する印象法。

**315** 後顎舌骨筋窩

こうがくぜつこつきんか

**retromylohyoid space, retromylohyoid curtain**

レトロモラーパッドの舌側下方にある咽頭の凹面の部分。舌を前突きさせると前方に出てくる場合があり、下顎義歯舌側床縁を後方に延長する際の限界となる。

**316** 口角線 こうかくせん

**cuspid line**

口を軽く開けた時の左右口角の位置を示す線。左右2線間は上顎6前歯の幅径に一致するといわれ、人工歯排列時の参考となる。

**317** 鉤間線 → 「支台歯間線」 参照

**318** 鉤脚 こうきゃく

**clasp tang**

クラスプを義歯床と連結、固定するクラスプの一部分。

**319** 口腔インプラント こうくうー

**dental implant**

〔同義語〕 デンタルインプラント、歯科インプラント

欠損部顎堤に埋入された人工歯根や粘膜下に設置されたフレームと、これに連結される上部構造を含めた補綴装置の総称。

**320** 口腔乾燥症 こうくうかんそうしょう

**xerostomia, dry mouth**

〔同義語〕 ドライマウス

唾液分泌の低下に由来して口腔内が乾燥した状態を示す症状名。 Sjögren 症候群、糖尿病などの全身疾患、服薬や放射線照射治療による副作用などで生じる。

**321** 口腔機能低下症

こうくうきのうていかしょう

**deterioration of oral function**

①口腔不潔、②口腔乾燥、③咬合力低下、④舌口唇運動機能低下、⑤低舌圧、⑥咀嚼機能低下、⑦嚥下機能低下の7項目において3つ以上該当する状態をいう。オーラルフレイルよりも機能低下が進行している。

→ 「オーラルフレイル」 参照

**322** 口腔前庭 こうくうぜんてい

**oral vestibule**

上・下唇と頬および上下顎歯列弓との間に挟まれた空間。口唇および頬粘膜と顎堤粘膜との移行部は前庭円蓋で区分され、口裂により外界と交通している。口唇と顎堤粘膜との移行部には上唇小帯、下唇小帯があり、頬粘膜には耳下腺導管

の開口する耳下腺乳頭が存在する。無歯顎においては義歯床で口腔前庭を満たすことにより辺縁封鎖を図るとともに、口唇・頬の豊隆程度を決定づける。

### 323 鉤肩 こうけん

#### clasp shoulder

環状鉤における鉤体と鉤腕との移行部。鉤体とともに支台歯を把持する働きをする。

### 324 咬交 こうこう

#### articulation

機能時における上下顎歯の静的ならびに動的な咬合面間の接触関係。全部床義歯における平衡咬合の考え方から派生した用語であり、偏心運動時に上下顎歯が咬合小面で接触しながら滑走することを意味していた。しかし、現在では、「咬合」で代用されるようになった。

### 325 咬合 こうごう

#### articulation, occlusion

- 1) 下顎が閉じる行為あるいは過程、または閉じている状態。
- 2) 上顎あるいは下顎の天然歯や補綴装置の切縁あるいは咬合面間における接触関係。

### 326 咬合圧 こうごうあつ

#### biting pressure, occlusal pressure

咬合時に天然歯あるいは人工歯の咬合面部に発現する単位面積あたりの力。

### 327 咬合圧印象 こうごうあついんしょう

#### bite pressure impression

機能印象の1つで、咬合床またはろう義歯をトレーとして用いて、患者自身の咬合力によって義歯床下粘膜を加圧した状態で採得する印象。

### 328 咬合圧負担域

こうごうあつふたんいき

#### stress-bearing region, stress supporting region

- 1) 機能時の咬合力を支える、歯、歯根膜、顎堤などの口腔組織。
- 2) 義歯に加わる機能圧を負担する口腔組織。有床義歯の義歯床部に関しては、特に義歯床負担域と呼ぶ。

### 329 咬合位 こうごうい

#### occlusal position

天然歯や人工歯における上下顎の歯が接触した状態での、上顎に対する下顎の位置関係。下顎の限界運動範囲内におけるすべての下顎の位置が含まれる。

### 330 咬合異常 こうごういじょう

#### malocclusion

上下顎の歯の静的・動的な位置関係が正常でなくなった状態。対向関係の異常、咬合位の異常、咬合接触の異常、顎運動の異常、咬合を構成する要素の異常などを包含する。

### 331 咬合違和感症候群

こうごういわかんしょうこうぐん

#### occlusal discomfort syndrome

広義には、明らかな咬合の不調和が認められる場合、また明らかな咬合の不調和が認められない場合(いわゆる特発性)も含めた咬合の違和感を訴える包括的病態。狭義には、咬合とは無関係に特発的に発症する咬合の違和感を訴える状態。なお2003年にClarkとSimmonsは“occlusal dysesthesia”という用語を提唱しており、「歯髄疾患、歯周疾患、咀嚼筋ならびに顎関節疾患のいずれもが認められず、臨床的に咬合異常が認められないにもかかわらず6ヵ月以上持続する咬頭嵌合位での不快感」に該当する病態と定義している。

**332 咬合印象** こうごういんしょう**bite impression**

咬合印象用トレー（バイトトレー）を用いるか、シリコンゴム印象材のパテとインジェクションにより支台歯と対合歯およびその咬合関係を同時に採得する印象法。

**333 咬合円錐**→「歯冠円錐」参照**334 咬合音** こうごうおん**occlusal sound**

上下顎の歯の衝突・滑走により発生する顎口腔系諸組織の振動音。通常、頬骨部において聴診器などにより聴取するが、咬合接触部に異常がなければ清音、早期接触などの異常があれば濁音となる。

**335 咬合音検査** こうごうおんけんさ**occlusal sound test**

咬合音を電気的に両側の眼窩下部あるいは頬骨弓部などに設置したマイクロフォンや加速度ピックアップで検出、表示することによる咬合状態の検査。聴診法、電気的記録法がある。聴診法では早期接触が判定できることからステレオ聴診器（Watt, 1967）が用いられる。咬合状態が正常で安定している場合、短く、高く、澄んだ音が検出され、咬合干渉などにより咬合状態が不安定な場合には、長く、低く、濁った音が検出される。

**336 咬合音分析装置**

こうごうおんぶんせきそうち

**occlusal sound analyzer**

タッピング時に上下顎歯列の衝突・滑走により発生した咬合音を頬骨部で電気的に検出し、その波形（持続時間、周波数、立ち上がりの時間的ずれなど）を記録・分析する機器。早期接触などを診断する。

**337 咬合学** こうごうがく**science of occlusion**

歯科医学の一分野で、咬合を中心とする顎・口腔の総合的な機能系の正常像、異常像、加齢変化などを身体他の領域との関連も含めて、形態的、機能的に研究し、口腔諸器官の異常や疾患の予防、診断、治療・再建、審美的回復などへの応用を目的とする学問。

**338 咬合滑面板** こうごうかつめんばん**guide flange**

下顎骨離断後、下顎偏位を防止する目的で下顎臼歯の頬側に付与され、咬合時に上顎臼歯頬側面あるいは臼歯部に設置されたガイド板に誘導され、下顎を咬頭嵌合位に導く偏位防止板。ガイド板を含めて咬合滑面板と呼ぶこともある。

**339 咬合関係** こうごうかんけい**occlusal relationship, interocclusal relationship**

上下顎の解剖学的対向関係、顎関節の構造と下顎の生理学的運動メカニズムに基づいて生じる歯と歯あるいは人工歯、または歯列相互間の、静的・動的な咬合面あるいは切縁部の位置関係。

**340 咬合干渉** こうごうかんしょう**occlusal interference, deflective occlusal contact**

正常な顎運動を妨げるような咬合接触。早期接触や咬頭干渉を包括する。

**341 咬合器** こうごうき**articulator**

頭蓋に対する顎と歯の相対的位置関係および各種顎位や顎運動を生体外に再現し、顎機能の診断、あるいは形態的・機能的に生体に調和した補綴装置製作に利用される歯科用機器。頭蓋の前下部を機械的に模倣したもので、上弓と下弓の2

部分から構成されるが、機能的には顎路調節機構である関節部、切歯路調節機構の切歯指導部、模型を装着する体部からなる。形態および機能的にさまざまに分類されるが、調節機能に基づいて顎路型咬合器、非顎路型咬合器に大別するのが最も一般的である。前者はさらに、平均値咬合器、半調節性咬合器、全調節性咬合器の3群に分類される。なお調節性咬合器は、顎路指導要素の位置の違いにより、アルコン型咬合器とコンダイラー型咬合器の2つに分類され、顎路指導要素の構造の違いにより、スロット型とボックス型の2つに分類される。

### 342 咬合器再装着

こうごうきさいそうちゃく

#### remounting on articulator

咬合器上で製作された補綴装置の咬合接触関係を改善するために、補綴装置を含めた下顎の模型をチェックバイトを介して再度咬合器に装着すること。咬合器に対する上顎模型の位置づけが必要な場合は、スプリットキャスト、Tenchのコア、フェイスボウなどを用いる。

### 343 咬合器装着 こうごうきそうちゃく

#### mounting on articulator

咬合の診察、検査、診断や治療計画の立案、および間接法による補綴装置の製作過程において、模型を咬合器に固定すること。まず咬合器上弓に上顎模型を頭蓋に対する平均値的位置、あるいはフェイスボウを用いて固有の位置に固定する。次いで咬合器下弓に下顎模型を咬頭嵌合位などでの顎間記録を介して固定する。

### 344 咬合挙上 こうごうきよじょう

#### bite raising, vertical dimension increase

咬合高径を高める処置。歯の咬耗や喪失によって、咬頭嵌合位における本来の咬合高径が低下し、審美不良や顎関節に異常がある場合などに行われる。

### 345 咬合記録 こうごうきろく

#### interocclusal record

咬合に関するあらゆる記録。顎位や顎運動に関連して用いられることが多い。

### 346 咬合検査 こうごうけんさ

#### occlusal examination

被験者がどのような咬合を有しているかを判定する検査。咬合紙やワックス、シリコン検査材、引き抜き試験用箱、咬合検査機器などを用いて咬頭嵌合位や偏心位における静的あるいは動的咬合接触状態を判定する。

### 347 咬合高径 こうごうこうけい

#### occlusal vertical dimension

咬合採得や咬合位の評価などに関連して、歯や顔面に設定される種々の計測点間距離で表した、中心咬合位での上下顎間の垂直的距離。

### 348 咬合高径測定法

こうごうこうけいそくていほう

#### measuring method of occlusal vertical dimension

顔面形態を計測して得られた種々の計測点間距離に関する基準値や、安静時や発音時などにとる平均的な顎位を基準として咬合高径を測定する方法。

### 349 咬合再構成 → 「オーラルリハビリテーション」参照

### 350 咬合採得 こうごうさいとく

#### maxillomandibular registration

補綴装置の製作や咬合診断などにおいて、上下顎の歯列模型あるいは顎堤模型をそれぞれの目的に応じた顎位で咬合器に装着するために、種々の材料や機器を

用いて上下顎の顎間関係を記録すること。

**351 咬合紙** こうごうし

**articulating paper**

歯や補綴装置の咬合接触状態を検査するために用いる、色素を固着させた薄紙。短冊形、馬蹄形、全歯列型などがある。一般に用いられている咬合紙の厚みは約30 $\mu$ mで、これにより約10 $\mu$ mの高さの差が判定できる。シリコンゴム印象材を用いる方法と比較して簡便であるが、咬合接触部位の精密な判定は難しい。

**352 咬合支持** こうごうしじ

**occlusal support**

上下顎の歯が咬合接触することにより咬頭嵌合位を保持する作用。

**353 咬合支持域** こうごうしじいき

**occlusal-supporting area**

咬頭嵌合位を保持するための左右側小白歯、大白歯における咬合接触部。

**354 咬合斜面板** こうごうしゃめんばん

**guidance ramp**

下顎骨離断後の下顎偏位を防止する目的で、咬合時に下顎を咬頭嵌合位に導くように上顎補綴装置の口蓋側に付与される偏位防止板。

**355 咬合床** こうごうしょう

**record base with occlusion rim**

欠損歯列において、顎間関係の記録や人工歯排列の指標とする装置。基礎床と咬合堤から構成される。

**356 咬合小面** こうごうしょうめん

**occlusal facet**

- 1) 顎口腔系機能によって生じた臼歯部咬合面、上顎前歯舌面、下顎前歯切縁にみられる摩耗面。
- 2) フルバランストオクルージョンを付与する目的で、人工歯の咬合面に形成する各種滑走運動に調和した斜面。Gysi

(1929)が軸学説をもとに提唱した(咬合小面学説)。

**357 咬合性外傷** こうごうせいがいしょう

**occlusal trauma**

- 1) 歯周組織の適応能や修復能を超える咬合力によって生じる歯周組織の損傷。
- 2) 咬合力によって生じた顎口腔系の障害。

**358 咬合接触** こうごうせつしょく

**occlusal contact**

閉口時に生ずる、対合する歯の接触。

**359 咬合調整** こうごうちょうせい

**occlusal adjustment, occlusal equilibration**

天然歯あるいは人工歯の早期接触や咬頭干渉となる部位を選択的に削合し、均等な咬合接触と調和のとれた咬合関係を確保して、咬合力を複数の歯に均等に分散すること。

**360 咬合堤** こうごうてい

**occlusion rim, record rim**

〔同義語〕ろう堤

顎間関係の記録と人工歯を排列する目的で基礎床上に設置される、アーチ状のワックス。

**361 咬合病** こうごうびょう

**occlusal disease**

早期接触などの咬合の不調和に起因する顎口腔機能異常によりもたらされる種々の病態の総称 (Guichet, 1966)。

一般的に複数の症状を有する点において症候群であり、いわゆる「顎関節症」を含むが、精神的ストレスも関与している。症状としては、ブラキシズムとそれに伴う過度の咬耗、筋の疼痛や疲労感、顎関節雑音や疼痛、開閉口などの下顎運動障害、肩こりや頭痛、情緒不安定などがある。



**362 咬合分析 こうごうぶんせき****occlusal analysis**

1) 歯やそれに関連する組織に対する咬合の影響を特に考慮した顎口腔系の系統的検査。

2) 咬合器に装着された模型の咬合関係を評価するための咬合の検査。Lauritzenが著書「Atlas of Occlusal Analysis」(1974)の中で、Dentatus咬合器を使用し、咬合関係の異常に由来する機能障害を有する症例に対して、咬合機能の分析を行う一連の術式について記載した。

**363 咬合平衡 こうごうへいこう****occlusal balance**

全部床義歯において、側方滑走運動時では作業側と非作業側の臼歯の、前方滑走運動時では前歯と臼歯の接触が保たれ、義歯が前後、左右的な偏心位でも安定している状態。

**364 咬合平面 こうごうへいめん****occlusal plane, plane of occlusion**

下顎左右中切歯の近心隅角間の中点(切歯点)と下顎左右側第二大臼歯の遠心頰側咬頭頂を含む平面として規定される基準面。

**365 咬合平面設定板****こうごうへいめんせっていばん****occlusal plane guide**

咬合採得時に仮想咬合平面を設定するための用具。上顎咬合床の咬合面にあって、Camper平面との関係を検討するのに用いられる。

**366 咬合平面板 こうごうへいめんばん****occlusal plane table**

咬合平面を基準として上顎模型を咬合器に装着するために用いられる平均値咬合器の付属品。

**367 咬合平面分析板****こうごうへいめんぶんせきばん****occlusal plane analyzer**

Monson(1920)の球面説に基づく下顎の切縁、咬頭の位置づけ、ならびに咬合彎曲の分析に使われる、直径8インチの球面をもつ彎曲板。

**368 咬合面間距離****こうごうめんかんきょり****interocclusal distance**

ある特定の顎位で生じる上下顎咬合面間の距離。下顎安静位での咬合面間距離は、安静空隙とも呼ばれる。

**369 咬合面再形成 [義歯の]****こうごうめんさいけいせい [ぎしー]****occlusal reconstruction of denture**

義歯の人工歯咬合面を再構成することによって、顎口腔系の形態、機能、審美性の回復を図ること。

**370 咬合様式 こうごうようしき****occlusal scheme**

咬頭嵌合位および偏心位における咬合接触の状態。

**371 咬合力 こうごうりょく****occlusal force**

顎口腔系器官、組織の働きにより、上下顎の歯あるいは人工歯咬合面間に発現する力。

**372 咬合力検査 こうごうりょくけんさ****occlusal force test**

顎機能、歯の負担能力などの評価として、個々の歯あるいは歯列全体の咬合面部に加わる荷重量を計測して判定する機能検査。専用の咬合力計を用いて最大荷重を計測する最大咬合力が一般的であるが、義歯などに特殊なトランスデューサーを組み込んで計測する咀嚼力なども

ある。最近では、Tスキャン、プレスケールなど、歯列全体の咬合力分布を分析する方法もある。

**373 咬合力測定法**

こうこうりよくそくていほう

**maxillomandibular registration by measuring maximal occlusal force**

無歯顎症例の咬合採得において、最大咬合力に基づいて垂直的顎位を決定する方法。Boos (1940) は、Gnathodynamometer (咬合力測定装置、別称 Boos の Bimeter) を用いて、最大咬合力を発揮する顎位 (最大筋力点) を求め、この位置から、換算表に従って最大咬合力の大きさに比例する所定の高径を減じて咬合高径とすることを提唱した。

**374 咬合彎曲 こうこうわんきょく**

**occlusal curvature**

天然歯列の咬合面が連続して作る彎曲。Wilson の彎曲、Spee の彎曲、Monson カーブなどがある。人工歯列の場合は調節彎曲とよばれ、用語としては両者は区別される。

**375 咬座印象 こうざいんしょう**

**bite-seating impression**

矢崎正方 (1955) が提唱した印象法であり、義歯製作途中に生じる歪みを最終段階において修正することを主目的として、人工歯排列や削合を終了したろう義歯をトレーとして少量の流動性の優れた印象材を盛り、咬合させて採得する印象。上下顎を別々に採得したほうが望ましいとされる。

**376 交叉咬合 こうさこうこう**

**cross bite, reverse articulation**

咬頭嵌合位において、側方歯群の反対咬合により、上下顎の歯列弓が水平的に

交叉している不正咬合。

**377 交叉咬合排列**

こうさこうこうはいれつ

**arrangement of reverse articulation**

通常の臼歯部被蓋とは逆に、上顎臼歯の頬側咬頭を下顎臼歯の中心窩に嵌合させる人工歯排列法。上顎顎堤弓が下顎顎堤弓より小さく、仮想咬合平面に対する臼歯部 (第一大臼歯部) の歯槽頂間線角度が 80° 以下の場合に、義歯床の力学的安定性を高める目的で行う。上下顎左右側の人工歯を入れ替えて排列する Gygi 法、あるいは Müller 法が一般的に用いられている。

**378 交叉咬合人工歯**

こうさこうこうようじんこうし

**cross bite artificial tooth**

上下顎とも頬舌径を狭くし、上顎が 1 咬頭に設計されている交叉咬合排列専用の人工歯。頬側では下顎の咬頭が上顎の咬頭を被蓋する。

**379 鈎歯→「支台歯」参照**

**380 硬質レジン→「コンポジットレジン」参照**

**381 硬質レジン歯 こうしつーし**

**composite resin tooth**

従来のアクリリックレジン人工歯に比較して、硬さ、耐摩耗性に優れたレジン歯。反面、耐衝撃性や義歯床との結合性は劣る。

**382 硬質レジンジャケットクラウン→「レジンジャケットクラウン」参照**

**383 咬傷 こうしょう**

**bite wound**

1) ヒトまたは動物の歯により生体もしくは死体に残された傷。一般的には挫創や切創に類似した特徴を呈する。その形

状の精査は法歯学上重要であり、主体の個人識別に役立つ。

2) 舌、頬および口唇を咬むことによって生じる傷、頬を咬むことを咬頬 (cheek bite)、舌を咬むことを咬舌 (tongue bite) といい、歯列不正や人工歯排列の欠陥により生じやすい。義歯によるものは、咬合高径が低すぎる場合、人工白歯の排列が頬側に寄りすぎる場合、上下顎人工白歯のオーバージェットが小さすぎる場合などに生じ、咬舌は下顎人工白歯列が舌側に寄りすぎ舌房が狭い場合や咬合平面が舌背より低い場合などに生じる。

**384 口唇接合線** こうしんせつごうせん  
**low lip line**

〔同義語〕口唇閉鎖線

下顎の安静状態で上口唇と下口唇とが軽く接触してできる線。上顎咬合床の仮想咬合平面および前歯人工歯の上下的排列位置の基準とする。

**385 口唇閉鎖線**→「口唇接合線」参照

**386 鉤尖** こうせん  
**clasp tip**

鉤腕の先端部分。維持腕においては支台歯のアンダーカット域に設置され、維持機能を果たす。

**387 鉤体** こうたい  
**clasp body**

環状鉤における鉤脚と鉤腕の中間部分。鉤肩とともに把持機能を果たす。

**388 後退運動**【下顎の】  
こうたいうんどう [かがくー]  
**retrusive movement [of mandible]**

下顎の後方への運動。通常、咬頭嵌合位から下顎後退接触位まで接触滑走することをいう。

**389 合着** こうちゃく  
**cementation**

インレー、クラウン、ブリッジなどの修復物を、窩洞や支台歯にセメントを用いて恒久的に装着する操作の総称。リン酸亜鉛セメントの場合の保持機構は、主に嵌合効力に依存する。歯や金属に対して接着性を有するセメントを利用する場合もある。狭義では「合着」と「接着」に分けられる。

**390 合着用セメント** こうちゃくようー  
**luting agent, luting cement**

〔同義語〕装着材料  
→「合着」参照

**391 口底** こうてい  
**floor of mouth, floor of oral cavity, mouth floor**

〔同義語〕口腔底

舌と下顎骨内面の舌下粘膜部から構成される口腔の下壁。舌下粘膜部は顎舌骨筋の上方を覆い、粘膜上皮は薄く可動性であり、舌の自由運動をもたらす。舌下面の正中線上で舌との間に舌小帯があり、その両側には舌下腺の導管が開口する。口底と顎堤舌側との移行部に沿って舌側溝があり、義歯の舌側床縁の位置と形態を決定づける。

**392 後堤法** こうていほう  
**post damming**

義歯床の口蓋後縁封鎖を図るために、ポストダムを付与すること。

**393 咬頭嵌合** こうとうかんごう  
**intercuspatation**

咬頭が対合する歯の窩や隆線に嵌合している状態。

**394 咬頭嵌合位** こうとうかんごうい  
**maximal intercuspal position**

顎頭の位置にかかわらず、上下顎の歯列が最も多くの部位で接触し、安定した状態にあるときの下顎の位置。

**395 咬頭干涉 こうとうかんしょう**

**cuspal interference**

咬合干涉の1つで、下顎の基本運動や機能運動に際して、運動経路を妨げる咬頭の接触またはその現象。

**396 咬頭傾斜角 こうとうけいしゃかく**

**cuspal angle**

歯軸に直交する直線と各咬頭斜面とがなす角度。近遠心的および頬舌的な傾斜角がある。

**397 咬頭展開角 こうとうてんかいかく**

**angle between buccal and lingual internal cusp slope**

頬側咬頭の内斜面と舌側咬頭の内斜面とがなす角度。

**398 口内描記法 こうないびようきほう**

**intraoral tracing method**

描記板と描記針で構成される下顎運動記録装置が口腔内に設置された下顎運動記録法。装置が比較的簡便であり、ゴシックアーチ描記法が一般的であるが、特殊なチューイン法もある。

**399 硬軟口蓋境界部**

**こうなんこうがいきょうかいぶ**

**junction of hard and soft palate**

硬口蓋と軟口蓋の境界部。上顎の義歯床後縁設定の基準となる。臨床的には、視診や触診、口蓋小窩やアーラインを参考にしてその位置を確認する。

**400 後方基準点 こうほうきじゅんてん**

**posterior reference points**

前方基準点とともに、水平基準面を設定するための顔面上の点(平均的顎頭点、蝶番点)。

**401 後方咬合小面**

**こうほうこうごうしょうめん**

**retusion facet**

Gysiの軸学说および咬合小面学説に

従って、フルバランストオクルージョンを付与する目的で人工歯咬合面に形成する咬合小面の1つ。作業側の側方滑走運動と後方運動時に接触する面であり、下顎臼歯では頬舌側咬頭の後方の斜面に、上顎臼歯では前方の斜面に付与する。

**402 咬耗 こうもう**

**attrition**

上下顎歯の咬合接触により生じるエナメル質や象牙質の摩耗。咀嚼機能による歯面の咬耗は、加齢変化として生理的にもみられるが、進行速度が速く、象牙質の広範な露出や歯冠長の短縮および咬合高径の低下を招くような高度なものを咬耗症という。個人識別や年齢推定、ブラキシズムや顎関節症などの診断の手がかりとなる。

**403 高齢化社会 こうれいかしゃかい**

**aging society**

高齢化率(65歳以上の人口が総人口に占める割合)が7%以上14%未満の社会。  
→「高齢社会」、「超高齢社会」参照

**404 高齢社会 こうれいしゃかい**

**aged society**

高齢化率(65歳以上の人口が総人口に占める割合)が14%以上21%未満の社会。  
→「高齢化社会」、「超高齢社会」参照

**405 鉤腕 こうわん**

**clasp arm**

環状鉤においては鉤体に続く鉤尖までの部分。機能により維持腕と拮抗腕とに分類される。またサベラインを境に非アンダーカットを走行する鉤腕部分を上腕、アンダーカットを走行する部分を下腕と呼び、主に上腕はクラスプの支持と把持、下腕は維持の機能を果たす。

パークラスプにおいては大連結子ある

いは義歯床縁から鉤尖までを指すが、形態により横走アームと垂直アームの部分に分けられる。

#### 406 コーヌス角 一かく

**cone angle, Konuswinkel** (独語)

コーヌステレスコープ (Konuskronen Teleskop; cone crown telescope) の内冠の軸面を延長してできる仮想円錐角度の1/2の角度。発案者のKörberは、6°に設定したときに最も適切な維持力が得られるとしている。

#### 407 コーヌステレスコープクラウン

**cone crown telescope, Konuskronen Teleskop** (独語)

Körber (1969) によって開発された支台装置の一種で、テーパーを有する円錐台形の内冠とそれに適合する外冠とからなるテレスコープクラウン。いわゆるリジッドサポートを代表する支台装置である。維持力は内・外冠の接触による摩擦があるいはくさび効果と外冠の金属弾性によるが、内冠軸面のコーヌス角によって調節可能である。

#### 408 コーピング印象 ーいんしょう

**coping impression, coping pick-up impression**

→「ピックアップ印象」参照

#### 409 語音明瞭度検査

ごおんめいりょうどけんさ  
**speech articulation test, speech discrimination test**

被検者の検査語表の発音を複数の検者が聴取して表記し、表記の一致した語音数の全検査語音数に対する割合で被検者の発音の明瞭度を表す発音検査法。

#### 410 鼓形空隙 こげいこうげき

**embrasure**

歯と歯の隣接面接触点を中心に、上下

的あるいは頬舌的に形成される空間。その形が鼓に似ていることに因んだ名称。

#### 411 ゴシックアーチ描記法

ーびょうきほう

**gothic arch tracing method**

顎運動の記録法の1つで、定められた咬合高径における下顎の前方および左右側方限界運動の軌跡を描記させ、その描記図(ゴシックアーチ)をもとに水平的顎位の決定や顎機能の診断を行う方法。ゴシックアーチは矢印のような形となり、矢印の先端をアベックスと呼び下顎の最後退位を表す。本法には、口内描記法と口外描記法とがあり、それぞれ描記装置(ゴシックアーチトレーサー)も異なる。なお、「ゴシックアーチ」の語源は、描記図がゴシック風建築のアーチと類似の形状を呈していることから、Gysiにより命名された。

#### 412 個歯トレー こしー

**individual tray for abutment impression**

支台歯の精密印象採得に使用される小型の印象用トレー。銅板を応用したもの(カッパーバンドトレー)、常温重合レジンを用いたもの(レジントレー)、両者を併用したもの(併用トレー)などがある。

#### 413 個人トレー こじんー

**individual tray**

各個人の歯列や顎堤の形状に合わせて個別に製作された印象用トレー。一般的には、研究用模型上で常温重合レジンにより製作される。

#### 414 固着式模型 → 「歯型固着式模型」参照

#### 415 骨結合型インプラント → 「オッセオインテグレートッドインプラント」参照

**416 骨膜下インプラント** こつまくかー  
**subperiosteal implant**

下部構造が骨膜と骨面との間に設置されるインプラント。骨面上に密着するように設置されるフレーム、フレームを補助するストラップと呼ばれるフレームの延長部、ならびにフレームから口腔内に露出する支台部から構成される。

**417 固定性ブリッジ** こていせいー  
**fixed partial denture**

支台装置とポンティックが固定性に連結されたブリッジ。

**418 固定性補綴装置**  
こていせいほてつそうち  
**fixed dental prosthesis**

- 1) クラウンやブリッジなど、任意に外せない補綴装置。
- 2) 支台歯と固定性連結を有する補綴装置。「半固定性補綴装置」や「可撤性補綴装置」の対語として用いられる名称。

**419 固定性連結** こていせいれんけつ  
**fixed connection, rigid connection**

ろう（鑑）付け法、溶接法、ワンピースキャスト法などにより、支台装置とポンティックとが固着される連結。

**420 コノメータ**  
**Konometer** (商品名)

コーヌステレスコープ (Konuskronen Teleskop; cone crown telescope) の内冠製作時に、内冠軸面のコーヌス角の測定および内冠ワックスアップ時の軸面の形成を行う器具。

**421 4/5 冠** こぶんのよんかん  
**partial-coverage crown**

白歯歯冠の5面のうち、頬側面を残して、両隣接面、舌側面、咬合面の4面を被覆する部分被覆冠の1つ。主にブリッ

ジの支台装置として用いられるが、単冠や動揺歯の固定装置にも応用される。

**422 ゴム床** ーしょう  
**valcanized rubber denture base**

加硫ゴム（蒸和ゴム）を材料とする義歯床。1850年代にアメリカで発明され、1880年代にデンタルゴムとして輸入されはじめ、急速に広まり、第二次世界大戦終戦の頃まで利用されていた。材料的には、5種類（暗褐色、淡紅色および白色、黒色、金属粉混和）のシート状の製品が市販され、前歯部には淡紅色、臼歯部には暗褐色を使用した。アクリリックレジン登場で過去のものとなった。

**423 固有口腔** こゆうこうくう  
**oral cavity proper**

上下顎の歯列と、歯槽部の前方部および左右側方の内面により囲まれた内腔。上壁は口蓋、下壁は舌と舌下粘膜からなり、後方は舌根と口蓋舌弓、口蓋咽頭弓および軟口蓋後縁に囲まれ、口峽を介して咽頭に通じている。唾液により常に湿潤状態にあり、食物摂取および呼吸路の一部としての役割を担っている。義歯装着により固有口腔の容積が減少すると舌運動が妨げられ、咀嚼・発音機能に影響が及ぶ。

**424 コルベン状形態** [床縁の]  
ーじょうけいたい [しょうえんー]  
**Kolbenähnlich Form** (独語)

辺縁封鎖による義歯の維持の強化や床下への食片の侵入防止などを目的として付与される義歯床縁部の断面形態。原義はドイツ語のKolben（棍棒）であり、丸く、厚くなっている形態に因む。

**425 コンダイラー型咬合器**  
ーがたこうごうき  
**condylar articulator**

上弓に顆頭球（コンダイル）をもち、下弓に顆路指導部を備えた構造の咬合器。

**426 コンタクトゲージ**

**Contact Gauge** (商品名)

歯間離開度を臨時的に測定するための器具。厚さ 50 μm, 110 μm, 150 μm に設定されたスチール板で構成される。

→「歯間離開度」参照

**427 コンタクトポイント**→「接点」参照

**428 コンビネーションクラスプ**

**combination clasp**

鑄造鉤と線鉤あるいは環状鉤とパークラスプなど、形態または材質の異なった鉤腕を組み合わせたクラスプの総称。

ワイヤーキャストコンビネーションクラスプ、Roach-Akers コンビネーションクラスプなどがある。

**429 コンビネーションシンドローム**

**combination syndrome**

〔同義語〕アンテリアハイパーファンクションシンドローム, Kelly's 症候群

Kelly (1972) の提案した用語で、上顎無歯顎、下顎両側性遊離端欠損患者において上顎に全部床義歯、下顎に部分床義歯が装着された症例に特徴的にみられる5つの問題点を示す症候群。5つの症状とは、①上顎前歯部顎堤の骨喪失、②上顎結節の下方への過形成、③硬口蓋部の乳頭状過形成、④下顎前歯の挺出、⑤部分床義歯の義歯床下の骨喪失、である。関連症状として、上顎前歯部のフラビীগムと歯肉頬移行部の線維腫、下顎前歯の歯周組織変化、咬合平面の後方傾斜および下顎の前上方偏位がみられる。

**430 コンポジットレジン**

**composite resin**

〔同義語〕硬質レジン

多官能性メタクリレートを基材に用い、無機質フィラーなどを大量に添加したレジン。主に照射射によって重合される。補綴領域では、前装冠、ジャケットクラウン、既製人工歯などに使用される。

**431 根面アタッチメント** こんめん—

**stud attachment, radicular attachment**

残存歯の根面またはインプラントを支台とするアタッチメント。オーバーデンチャーとの組み合わせで用いられ、緩圧型（可動性）と非緩圧型（固定性）とがあり、着力点が低い側方力による支台歯への過重負担が起きにくく骨植不良歯にも有利とされる。一般に根面アタッチメントはスタッドアタッチメントとも呼ばれる。

**432 根面形成** こんめんけいせい

**coping preparation**

根面板や根面アタッチメントなどを適用するための支台歯形成法。

**433 根面形態** こんめんけいたい

**form of root surface**

ポストクラウンや根面板のための支台歯の根面の形態。根面を唇側で歯肉縁下 0.5~0.8 mm, 舌側で歯肉縁上 1 mm になるように2面に形成し、舌側には歯肉縁下 0.5~0.8 mm までハーフバンドを形成する平斜面形態や、平面形態、単斜面形態、両斜面形態、凸面形態、凹面形態などがある。

**434 根面板** こんめんばん

**coping**

支台歯の根面を覆う金属板の総称。歯質の保護、二次齲蝕の防止、咬合力による歯根破折の防止、支台装置の連結などに用いられる。

## さ

## 435 最終印象

final impression

→「精密印象」参照

## 436 最終義歯 さいしゅうざし

definitive denture

補綴治療計画に基づき、暫間義歯による治療などを経て、全部床および部分床義歯の目的を達成するために必要なすべての前処置を完了した後に最終的に装着される義歯。

## 437 最終補綴装置

さいしゅうほてつそうち

definitive prosthesis

長期間使用するために計画・設計された補綴装置の総称。

## 438 最前方咬合位

さいぜんぼうこうごうい

most anterior (occlusal) position,  
most protrusive occlusal position

上下顎の歯を接触させた状態で、下顎を最も前方に突き出した顎位。切歯点部は咬頭嵌合位の前方約7~10 mmで、このとき下顎頭は関節結節最下端付近まで前進している。

## 439 最側方咬合位

さいそくほうこうごうい

most lateral occlusal position

上下顎の歯を接触させた状態で、下顎を最も側方に変位させた顎位。切歯点部は咬頭嵌合位の側方約8~12 mmで、下顎頭の運動が正常な場合には側方咬合位は左右対称性を示す。

## 440 最大開口位 さいだいかいこうい

maximal opening position

開口時において上下顎の離開度が最大となる顎位。

## 441 最大開口量 さいだいかいこうりょう

maximal mouth opening

最大開口位における上下顎の中切歯切縁間距離あるいは顎頂間距離。正常有歯顎者の平均値は50 mm程度であり、40 mm以下は開口障害といわれている (Solberg, 1976)。

## 442 最大咬合力 さいだいかうこうりょく

maximal occlusal force

力いっばいのかみしめ時などに、顎口腔系器官・組織の働きにより、上下顎の歯あるいは人工歯咬合面に発現する力の最大値。一般に歯根膜の耐圧能によって決まるが、顎口腔機能評価の指標の1つとして用いられる。

## 443 最大豊隆線 さいだいほうりゅうせん

circumferential line

特定の方向からみた歯の最大円周を示す線。サベイヤーで設定された支台歯歯軸における最大豊隆線をサベラインという。

## 444 最大豊隆部 さいだいほうりゅうぶ

maximum convexity

特定の方向からみた歯冠の唇・頬・舌側歯面における豊隆の最も大きい部位。

## 445 彩度 さいど

chroma

色の三属性の1つ。色の鮮やかさ、濃さの感覚的尺度。無彩色を0とした各色相に共通な間隔尺度としている。ある色相に白色光または無彩色を混合していくと次第にその色相が薄められていくことを、彩度が低くなるという。

→「Munsell 表色系」参照

## 446 サイドシフト

side shift



側方滑走運動時に、非作業側下顎頭の水平面内運動路で観察される内方（正中方向）への動き、ほぼ直線的に前内方に移動する progressive side shift と、運動の初期において内方へのずれや移動が大きく生ずる immediate side shift とがある。Guichet (1970) は、運動初期の 4 mm 間の側方顆路にみられるサイドシフトの様相を漸進型 (progressive type)、直後型 (immediate type)、早期型 (early type)、分散型 (distributed type)、混合型 (progressive and distributed type) の 5 型に分類した。

#### 447 作業側 さぎょうそく

##### working side

咀嚼運動時または側方滑走運動時における下顎の外側方への移動側。

#### 448 作業側側方顆路

さぎょうそくそくほうかろ

##### lateral condylar path on working side

側方滑走運動時における作業側下顎頭の運動経路。わずかに外方に移動するが、水平面内の運動は特に Bennett 運動 (Bennett's movement) と呼ばれる。このとき作業側下顎頭の運動方向が水平面において前頭面とのなす角で示されるものを作業側側方顆路角、作業側下顎頭運動経路が前頭面において水平面となす角度を作業側側方顆路傾斜 (度) という。

#### 449 作業用模型 さぎょうようもけい

##### definitive cast, master cast

補綴装置の製作に使用する模型。

#### 450 削合【人工歯の】

さくごう【じんこうしー】

##### occlusal reshaping [of artificial teeth]

義歯に用いる既製人工歯の咬合面形態

や咬頭傾斜角を各個人の顎運動要素に合致させ、咬頭嵌合位での均等な咬合接触と偏心位での咬合平衡を得るために人工歯の咬合面や切縁を削除、調整すること。

#### 451 Saxon テスト→「Saxon 法」参照

#### 452 Saxon 法 ーほう

##### Saxon test

〔同義語〕 Saxon テスト

唾液分泌能検査の 1 つであり、機能時の刺激時唾液分泌量を測定する。乾燥したガーゼを口腔内に入れて一定速度で 2 分間かみ (120 回/2 分)、ガーゼが吸収した唾液の重量を測定する。基準となる唾液重量は 2 分間 2 g であり、それ以下の場合には唾液分泌量が少ないと判定される。

#### 453 サブストラクチャー→「下部構造 (体)」参照

#### 454 サベイヤー

##### surveyor

水平台、支柱、水平アーム、円筒 (スピンドル) で構成される本体と模型台から構成され、義歯の設計や技工操作に用いられる平行測定装置。主に部分床義歯の設計において、模型上で支台歯どうしやそれと関連する周囲組織の相対的な位置および形態を検討し、義歯の着脱方向の決定、サベイラインの記入、アンダーカット量の測定、鉤尖の位置の決定などを行うために使用するが、ブリッジ製作時における支台歯間の平行性の確認や複数のアタッチメントを平行に設置する場合などにも利用される。専用付属品として、アナライジングロッド (測定杆; analyzing rod)、カーボンマーカー (炭素棒; carbon marker)、補強鞘 (carbon sheath)、アンダーカットゲージ (under-

cut gauge), ワックスアップ用ヘラ (wax trimmer), テーパーツール (taper tool), カuttingナイフ (cutting knife) がある。

#### 455 サベイライン

##### survey line

義歯の着脱方向に基づいて、残存歯の最大豊隆部ならびに軟組織の最大突出部を連ねて表示した模型上の線。解剖学的最大豊隆線とは異なる。サベイヤーを用いて描記されることに因んだ名称。

#### 456 サベイング

##### surveying

サベイヤーを用いて模型上で残存歯および関連組織の保存ならびに最適な義歯設計を可能とするための義歯の着脱方向と装着位置を詳細に検討し、残存歯と顎堤の最大豊隆部の描記、アンダーカットの測定を行うこと。研究用模型では予備サベイング（仮設計）を行い、治療計画のための口腔内前処置について検討し、作業用模型では仮設計を参考に最終的な義歯設計（本設計）のために必要な測定線を記入する。

#### 457 酸化亜鉛ユーージノール印象

さんかあえん—いんしょう

##### zinc oxide eugenol impression

酸化亜鉛ユーージノール印象材による印象。通常、大きなアンダーカットのない顎堤において極力印象圧を小さくするために用いられる。部分床義歯製作においては、オルタードキャスト法の中で粘膜炎印象に用いることもある。

#### 458 酸化膜 さんかまく

##### oxide film

金属あるいは合金の成分元素が酸素と結合し、表層に薄膜として形成された酸化物層。高温での加熱、鋳造操作などに

より形成される。金属の種類によっては室温においても表層に酸化膜を生ずる。

#### 459 暫間義歯 ざんかんざし

##### interim denture

最終義歯（本義歯）を装着するまでの間、審美、機能などの義歯の目的を達成させるために、ある一定期間使用する義歯。広義には、診断用義歯、治療用義歯、即時義歯、移行義歯などが含まれる。

#### 460 暫間固定 ざんかんこてい

##### emporary splinting

歯周疾患や外傷などによって生じた歯の動揺を一定期間隣在歯に連結・固定することにより各種機能圧を複数歯に分散し、その病状の改善を図ることを目的とした処置。その処置方法としては、接着性レジン、金属線とレジン、ファイバーリボンとレジンを併用した結紮法などがある。

#### 461 暫間被覆冠→「プロビジョナルクラウン」参照

#### 462 暫間補綴装置

ざんかんほてつそうち

##### interim prosthesis

最終的な補綴処置が施されるまでの間、審美性、咀嚼、発音、咬合機能の保持ならびに回復、または診断や治療の補助的手段として、比較的短期間の使用を前提とした補綴装置。プロビジョナルクラウン、プロビジョナルブリッジ (provisional bridge)、暫間義歯などがある。

#### 463 残根上義歯→「オーバーデンチャー」参照

#### 464 サンドブラスト処理 —しより

##### airborne-particle abrasion, air abrasion, sand-blasting

〔同義語〕アルミナサンドブラスト処理、アルミナブラスト処理

アルミナ粒子、ガラス粒子などの研磨材粒子を圧縮空気とともに噴霧し、加工物表面に付着した埋没材の除去、表面の清掃、研磨、粗面の付与を行う処理法であり、用途によって異なった種類や粒径の粒子が用いられる。

## し

**465 CPAP療法**→「経鼻的持続陽圧呼吸療法」参照

**466 シェードガイド**  
shade guide

人工歯、前装用材料、充填用材料、床用レジン、あるいは人工皮膚などの色調見本。

**467 シェードセレクション**→「色調選択」参照

**468 歯科インプラント**→「口腔インプラント」参照

**469 自家製アタッチメント** じかせいー  
custom attachment

各個人の歯の大きさや顎堤形態など症例に応じて自由に製作するアタッチメント。一部がプラスチックパターンなどで半既製品化されているものもあるが、鋳造や平行切削器（パラレロメーター）によるミリングによって製作する。チャンネルショルダーピン、テレスコープクラウン、I. R. V. などがある。

**470 歯科補綴学** しかほてつがく  
prosthetic dentistry,  
prosthodontics

臨床歯科医学の一分野で、歯・口腔・顎・その関連組織の先天性欠如、後天的欠損、喪失や異常を人工装置を用いて修復し、喪失した形態または障害された機能を回復するとともに、継発疾病の予防

を図るために必要な理論と技術を考究する学問。

**471 歯冠円錐** しかんえんすい

occlusal cone

〔同義語〕咬合円錐

歯冠を歯軸方向の最大豊隆線で分割し、咬合面側の歯面に近似した直線を母線として仮定した円錐。義歯着脱方向においては非アンダーカット域となる。この部分をスーパバルジエリア (suprabulge area) ともいう。

**472 歯冠外アタッチメント**

しかんがいー

extracoronary attachment

アタッチメントの固定部のすべて、または一部が歯冠の外側に設置されているアタッチメントの総称。歯質削除量が少ない利点はあるが、支点が支台歯の外側にあるため、支台歯を傾斜、回転させたり、不潔域を生じたりすることもある。緩圧型（可動性）と非緩圧型（固定性）アタッチメントがある。ミニダルボ、シーカーアタッチメント、ASC52 ビバルなどがある。

**473 歯冠型クラスプ** しかんがたー  
suprabulge clasp

〔同義語〕スーパバルジクラスプ

鉤腕が支台歯の咬合面側から最大豊隆部を越えて維持領域に到達するクラスプの総称。

**474 歯冠軸** しかんじく  
tooth crown axis

歯冠の長径軸で中央部を通る仮想軸。歯冠軸の設定法には諸説あるが、その代表的なものは、唇（頬）舌方向からみて最大豊隆部の中点と歯頸幅径の中点とを結ぶ直線、さらに、近遠心方向からみて切縁（白歯部は最大豊隆部の中点）と歯

頸厚径の midpoint とを結ぶ直線を想定し、この両者を含む仮想的な直線とする方法である。

#### 475 歯冠歯根比 しかんしこんひ

##### crown-root ratio

正放射線投影法によるエックス線写真上で、歯槽骨頂から歯冠方向への長さとの歯根方向への長さとの比率。支台歯の圧負担能力の評価基準の1つ。

#### 476 歯冠修復物→「歯冠補綴装置」参照

#### 477 歯冠色材料 しかんしよくざいりょう

##### tooth-colored material

歯に近い色を再現できる材料。アクリリックレジン、コンポジットレジン、長石系陶材、ジルコニア系セラミックス、アルミナ系セラミックス、2ケイ酸リチウムガラスなどがある。

#### 478 歯冠内アタッチメント

しかんないー

##### intracoronal attachment

アタッチメントの固定部が歯冠形態内に設置されたアタッチメントの総称。歯質削除量が多い欠点はあるが、支台歯の回転中心がアタッチメントの中心に近い。咬合圧などの機能圧を歯の長軸方向へ伝達しやすい利点がある。そのため、連結強度の大きい非緩圧型（固定性）アタッチメントが適用されることが多い。Stern G/L, Ney Chayes, McCollum T アタッチメントなどがある。

#### 479 歯冠補綴装置 しかんほつそうち

##### restoration, crown

〔同義語〕歯冠修復物

歯冠部硬組織の先天的あるいは後天的原因により生じた欠損ならびに審美的障害に対して、形態・機能・審美性を回復する目的で応用される修復物の総称。

#### 480 歯間離開 しかんりかい

##### diastema

病的または物理的な外力により歯が移動し、その結果、隣接接触部に間隙が生じること。

#### 481 歯間離開度 しかんりかいど

##### interdental separation

隣接歯間の接触強さを表す数値。草刈玄（1965）は、歯間部に  $30\mu\text{m}$  から  $300\mu\text{m}$  の厚さの異なるスチール板を指頭圧で挿入したとき、挿入しうる最大の厚さを歯間離開度と名付けた。成人の正常歯列では上顎白歯部で約  $90\mu\text{m}$ 、下顎白歯部で約  $70\mu\text{m}$  であり、この値が  $150\mu\text{m}$  を超えると急激に食片圧入が起こりやすくなる。臨床的にはコンタクトゲージを用いて測定する。

#### 482 歯間離開度検査

しかんりかいどけんさ

##### examination of interdental separation

歯冠修復を行う場合や歯周疾患の検査のためにコンタクトゲージやデンタルフロスを咬合面方向から垂直に歯間に挿入し、隣接歯間の接触点の強さを調べる検査。歯間離開度が  $150\mu\text{m}$  を越えると食片圧入が起こる頻度が高くなる。

#### 483 色相 しきそう

##### hue

色の三属性の1つ。赤、黄、緑、青、紫などで表される色感覚の属性、およびそれを尺度化したもの。赤 R、黄 Y、緑 G、青 B、紫 P の主色相およびその中間色相をそれぞれ 10 区分した色相環により表す。

→「Munsell 表色系」参照

#### 484 色調選択 しきちょうせんたく

##### shade selection

〔同義語〕シェードセレクション

個々の患者の歯や軟組織などに合わせて補綴装置の色調を選択または決めること。通常はそれぞれ専用のシェードガイドを用いる。

**485 軸眼窩平面** じくがんかへいめん

**axis orbital plane**

水平基準面の1つで、蝶番軸と左右側いずれかの眼窩下点を含む平面。この平面を用いて模型を咬合器へ装着した場合には、終末蝶番運動が再現できる。さらに、XPr 機構（咬合器上で最後方の下顎頭位のほかに、それよりも前方の下顎頭位を固定できる機構）を有する咬合器では、咬頭嵌合位と下顎後退接触位の両方を再現できる。

**486 軸面** じくめん

**axial surface**

歯の長軸に平行、あるいはそれに近い方向の歯面。

**487 軸面傾斜角**→「テーパー」参照

**488 軸面形成** じくめんけいせい

**axial reduction for tooth preparation**

クラウンやブリッジの支台歯の長軸に平行、あるいはそれに近い方向での支台歯形成。広義には補綴装置軸面の形成加工も含む。軸面の垂直の高さやテーパーは、装着される歯冠補綴装置の抵抗性、維持（保持）力やセメント合着時の浮き上がりなどに影響を与える。

**489 歯型** しけい

**die**

形成した支台歯形態を再現した模型。

**490 歯型可撤式模型**

しけいかてつしきもけい

**removable die system**

〔同義語〕可撤歯型式模型

クラウン、ブリッジ製作時に使用する可撤式模型の1つで、ワックスアップを正確かつ簡易に行うため、歯型を歯列模型中に組み込み、必要に応じて可撤式歯型（removable die）を抜き差しできるように考案された作業用模型。歯型の根部にテーパーを付与したり、既製のダウエルピンを利用する。

**491 歯型固着式模型**

しけいこちゃくしきもけい

**solid working cast**

〔同義語〕固着式模型、単一式模型

歯型と歯列模型が一体となっている作業用模型の1つ。歯型と歯列模型との位置関係が狂うことはないが、隣接面やマージン部のワックスアップ作業が困難であるため、精密な補綴装置の製作には、別に副歯型が必要となる。一般的には個歯トレー、個人トレー、プロビジョナルクラウンなどの製作に用いられる。

**492 歯頸部辺縁形態**

しけいぶへんえんけいたい

**cervical margin form**

歯冠修復における、支台歯歯頸部の辺縁と修復物辺縁の断面形態。基本的な形態として、6種類（フェザーエッジ型、ナイフエッジ型、シャンファア型、ベベル型、ショルダー型、ベベルドショルダー型）がある。また、そのうちのフェザーエッジ型、ナイフエッジ型をショルダーレス型ともいう。

**493 歯根円錐**→「歯肉円錐」参照

**494 歯根膜支持**→「歯根膜負担」参照

**495 歯根膜支持義歯**→「歯根膜負担義歯」参照

**496 歯根膜粘膜支持**→「歯根膜粘膜負担」参照

**497 歯根膜粘膜支持義歯**→「歯根膜粘膜

負担義歯」参照

**498 歯根膜粘膜負担**

しこんまくねんまくふたん

**tooth and tissue-support**

〔同義語〕 歯根膜粘膜支持

機能時に補綴装置に加わる力を歯根膜と顎堤粘膜の両者に負担させる概念。

**499 歯根膜粘膜負担義歯**

しこんまくねんまくふたんぎし

**tooth and tissue-supported denture**

〔同義語〕 歯根膜粘膜支持義歯

機能時に発現する力を歯根膜と顎堤粘膜の両者に負担させる義歯。

**500 歯根膜負担 しこんまくふたん**

**tooth-support**

〔同義語〕 歯根膜支持

機能時に補綴装置に加わる力を歯根膜のみに負担させる概念。

**501 歯根膜負担義歯**

しこんまくふたんぎし

**tooth-supported denture**

〔同義語〕 歯根膜支持義歯

機能時に発現する力を歯根膜のみに負担させる義歯。

**502 支持 しじ**

**support**

咬合力によって生ずる歯あるいは補綴装置の沈下に抵抗する作用。

**503 歯軸 しじく**

**tooth axis**

歯の長径軸。藤田恒太郎（1949）が歯の計測の基準として提唱したもので、唇（頬）舌方向、近遠心方向いずれからみても歯の中央部を縦に貫く直線。なお、歯の中央部を重視し、根尖部の彎曲は考慮しないとしている。

**504 支持咬頭 しじこうとう**

**supporting cusps**

対合歯の咬合面窩あるいは辺縁隆線部に咬合し、咬頭嵌合位を保持する咬頭。

**505 支持粘膜 しじねんまく**

**supporting tissue**

機能時に義歯床に加わる力を負担する顎堤粘膜や口蓋粘膜。

**506 支持能力 しじのうりよく**

**supporting ability**

咬合力によって生ずる歯あるいは補綴装置の沈下に抵抗する能力。

**507 磁石構造体 じしゃくこうぞうたい**

**magnetic assembly**

磁性アタッチメントの構成要素の1つ。内蔵された永久磁石と磁性材料のヨークとで磁路を形成して磁気力を発揮する。その構造によってキャップ（cap）型、スプリットポール（splitpole）型、サンドイッチ（sandwich）型などに分類される。

**508 歯周補綴 しじゅうほてつ**

**periodontal prosthesis**

1) 歯根膜粘膜負担義歯を製作する際、支台歯ならびに残存歯の歯周組織保全を重視し、清掃性や機能時に生じる応力の配分を特に考慮して行う補綴処置。Amsterdam（1974）によって提唱された概念。

2) 高度に進行した歯周疾患に対する補綴処置。

**509 矢状顎路 しじょうかろ**

**sagittal condylar path**

矢状面に投影した顎路。特に矢状面に投影した前方滑走運動時の顎路を矢状前方顎路、側方滑走運動時の非作業側下顎頭の顎路を矢状側方顎路という。

**510 矢状顎路傾斜角（度）**

しじょうかるけいしゃかく（ど）

**sagittal condylar inclination**

矢状面に投影した顎路が水平基準面となす傾斜角度。特に前方滑走運動時の矢状顎路傾斜角を矢状前方顎路傾斜角，側方滑走運動時のそれを矢状側方顎路傾斜角という。

※「～角」はどのような角度を表す場合にも用いられるが、「～傾斜」は基準水平面に対する角度を表す場合のみに用いられる。また、矢状顎路傾斜と矢状顎路傾斜角は同義語で用法としてどちらも誤りとはいえないが、定量的に角度を表す場合には角をつけて傾斜角とすることが望ましい。

**511 矢状切歯路 しじょうせつしる****sagittal incisal path**

矢状面に投影した切歯路。特に矢状面に投影した前方滑走運動時の切歯路をいう。

**512 矢状切歯路傾斜角（度）**

しじょうせつしるけいしゃかく（ど）

**sagittal incisal inclination**

矢状面に投影した切歯路が水平基準面となす傾斜角度。特に矢状面に投影した前方滑走運動時の切歯路が水平基準面となす角度をいう。

→「矢状顎路傾斜角（度）」参照

**513 矢状面 しじょうめん****sagittal plane**

正中面に平行で、生体を左右部分に分割するすべての仮想平面。

**514 自助具 じじょぐ****self-help device**

何らかの機能障害をもつ者に対し、その機能を補うか代償することにより日常生活動作（ADL）や社会生活行為（ASL）などを容易にし、自立を助けるための道

具。動作の目的、障害の性質・程度などによって分類できる。補綴歯科分野では義歯用ブラシの把柄を持ちやすく太くすることなどがあてはまる。

**515 磁性アタッチメント じせいー****magnetic attachment**

磁石構造体とキーパーとから構成され、両者の磁氣的吸引力を利用した補綴装置の支台装置。失活歯を用いた製作法には、鑄造コーピングを用いる鑄接法やキーパーボンディング法、キャストレスでのレジンコーピングによる方法がある。インプラントオーバーデンチャーの支台装置としても用いられる。

**516 歯槽頂 しそうちょう****residual ridge crest**

歯の喪失による歯槽突起の骨改造によって鞍状に変化した顎堤の頂上。

**517 歯槽頂間線 しそうちょうかんせん****interalveolar crest line,****interalveolar ridge line**

中心咬合位で相対する上下顎歯槽頂を上下方向に結んだ直線で、臼歯部顎堤の前頭面内における対向関係を表示する線。通常、無歯顎補綴における人工歯排列において、義歯の維持・安定を確保するための頬舌の排列位置を決定するために用いられる。具体的には、人工歯の上顎第一大臼歯の舌側咬頭内斜面および下顎第一大臼歯の頬側咬頭内斜面の頬舌の中心がこの線に一致するように排列する。これによって片側性咬合平衡が確保される。

**518 歯槽頂線 しそうちょうせん****alveolar ridge line**

歯槽頂（上下顎の顎堤の頂上）を代表する線。本来、顎堤弓に沿って彎曲を描いているが、人工歯排列のための基準線

などとしては前歯部と白歯部に分けて直線で表す。

**519 支台** しだい

**abutment**

補綴装置を支持・把持・維持（保持）するための歯やインプラント。

**520 支台歯** しだいし

**abutment tooth**

〔同義語〕維持歯，鉤歯

補綴装置を支持・把持・維持（保持）する歯。

**521 支台歯間線** しだいしかんせん

**fulcrum line**

〔同義語〕鉤間線

1) 部分床義歯が咀嚼力などの外圧により主にレストを支点として回転を生じることを仮想した回転軸。部分床義歯の設計において、力学的安定性の目安とされる。

2) ブリッジが咀嚼力などの外圧により各支台歯を支点として回転を生じることを仮想した回転軸。ブリッジの設計において、力学的安定性の目安の1つとされる。特に、歯列のカーブにまたがる曲線的なブリッジでは、左右の第一支台歯を結ぶ線を中心としてブリッジを転覆させる力が働くので、テコとして作用する部分の長さ以上の支台歯数を反対方向へ延長増加させる必要があるとした Sadrin の法則（1913）がある。

**522 支台歯形成** しだいしけいせい

**tooth preparation**

支台歯形態を得るために、切削器具を用いて歯を切削形成すること。

**523 支台歯形態** しだいしけいたい

**abutment tooth form**

補綴装置を装着あるいは維持・支持する目的で支台歯に付与される形態。

**524 支台装置** しだいそうち

**retainer**

〔同義語〕維持装置

可撤性および固定性補綴装置を支台歯に連結するための装置。

**525 支台築造** しだいちくぞう

**foundation restoration**

歯冠の一部分または大部分が欠損し、そのままでは被覆冠のための適正な支台歯形態が得られない場合に、人工材料によって欠損歯質を補い、支台歯形態を整えること。欠損歯質の状況により、以下から選択される。①成形充填材による築造：セメント築造，レジン築造，アマルガム築造。②既製ピン，既製の金属ポスト，ファイバーポストと成形充填材を併用する築造。③金属による築造：鋳造による築造（鋳造ポストとコア部を一塊で鋳造），既製ピンや既製ポストと鋳造体を併用する築造など。なお，鋳造操作によって製作された築造体をメタルコア（metal core）と呼ぶことがある。

**526 自動削合** じどうさくごう

**milling in**

選択削合によりほぼ調整された全部床義歯の咬合面形態を，全体的に同時にスムーズに仕上げるために行う削合法。カーボランダムグリセリン泥を下顎歯の咬合面に均一にのせた後に咬合させ，咬合器の上弓を軽く押さえながら側方滑走運動と前方滑走運動を行い，この操作を切歯指導釘が指導板上をスムーズに滑走するまで繰り返す。

**527 歯肉圧排** しにくあっぱい

**gingival displacement, gingival retraction**

歯肉縁下における支台歯形成，印象取得，合着操作などを行う場合に，それぞ



れの作業を容易にしたり歯肉に損傷を与えないために、該当する部位の歯肉を一時的に歯面から排除すること、機械的、薬物的、両者の併用および電気メスを用いた方法がある。

**528 歯肉円錐** しにくえんすい

**gingival cone**

〔同義語〕 歯根円錐

歯冠を歯軸方向の最大豊隆線で分割し、歯肉側の歯面に近似した直線を母線として仮定した円錐。義歯着脱方向においてはアンダーカット域となり、クラスプの維持に関与する。この部分をインフラバルジエリア (infrabulge area) ともいう。

**529 歯肉型クラスプ** しにくがた一

**infrabulge clasp**

〔同義語〕 インフラバルジクラスプ

鉤腕が支台歯の歯肉側からアンダーカット域に到達するクラスプの総称。代表的なものに Roach クラスプや I パーククラスプがある。

**530 歯肉頬移行部**

しにくきょういこうぶ

**mucobuccal fold**

臼歯部口腔前庭で、可動粘膜である頬粘膜が不動粘膜である歯肉粘膜へ移行する部分。一般に義歯床縁部がここに設定される。

**531 歯肉形成** しにくけいせい

**festoon**

ろう義歯の人工歯歯頸部から義歯床縁に至るまでの歯肉に相当する部分すなわち床の研磨面をワックスで形成し、所要の形態に仕上げる作業。義歯床研磨面形態は咀嚼、発音、審美性および舌感に関係があるだけでなく、義歯の維持・安定にも影響する。

**532 歯肉鉤** しにくこう

**gingival clasp**

義歯床から顎堤のアンダーカットにバー状の床用レジンや軟性レジンを延長して、義歯の維持を補助する装置。上下顎前歯部の唇側部、上顎結節の頬側部などに応用される。

**533 歯肉唇移行部** しにくしんいこうぶ

**mucolabial fold**

前歯部口腔前庭で、可動粘膜である口唇粘膜が不動粘膜である歯肉粘膜へ移行する部分。歯肉頬移行部と同様に、義歯床縁の設定部位とされることが多い。

**534 篩分法** [咀嚼能率の]

しぶんほう [そしゃくのうりつー]

**sieving test** [of masticatory efficiency]

回数を規定して咀嚼した一定重量の食品をふるいにかけて、残留した粒子の乾燥重量を測定することによって、通過した重量との比率から咀嚼能力を判定する方法。ピーナッツを用いる Manly (1950) らの方法と、生米を用いる石原寿郎 (1955) の方法とが代表的である。その他の食品としてはニンジン、干しぶどう、かまぼこなどが用いられる。測定は 10 メッシュのふるいにより行われることが多く、主として粉砕能力を測定している。

**535 Jackson クリブクラスプ**

じゃくそん一

**Jackson crib clasp**

1 本のワイヤーをループ状に屈曲して頬側歯頸部のアンダーカットを利用するクラスプ。Jackson (1911) により考案された。頬側歯頸部に沿ってアンダーカット歯面に適合する横走部、近心と遠心の隣接面で垂直に屈曲した縦走部、咬合面部で水平に屈曲した隣接面横断部、これ

に続く鉤脚部（オリジナルは舌側金属板にろう（鑲）付け）により構成される。

**536 ジャケットクラウン**

**jacket crown**

レジン、陶材などの審美性に優れた修復材料のみを用いて製作された全部被覆冠。歯質削除量の多い被覆冠であり、支台歯と一体化されないと耐衝撃性に劣るが、金属色が外観にふれないため審美性の優れた歯冠補綴装置である。

**537 シャンファー**

**chamfer**

支台歯の歯頸部辺縁形態ならびに修復物辺縁形態の1つ。丸みを帯びた斜面形態のため、歯質との移行部は明瞭で修復物との適合性が良く、修復物辺縁の厚みも確保することが可能となり、鑄造冠などの一般的な辺縁形態として応用される。修復物辺縁の厚みをさらに増すために、径の大きい、先端に丸みをもったバー、ポイントで削った辺縁形態をヘビー（ディープ）シャンファー（heavy chamfer type, deep chamfer type）と呼ぶ。

**538 手圧印象** しゅあついんしょう

**finger pressure impression**

加圧印象の1つで、術者の手指圧によって義歯床下粘膜を加圧下で採得する印象。

**539 自由運動咬合器**

じゅううんどうこうごうき

**free joint articulator**

下顎運動の指導機構をもたず、上下顎模型に自由な可動性を与えた咬合器。咬頭嵌合位は上下顎の模型の接触のみで保持され、偏心運動は模型の咬合面だけで誘導される。

**540 習慣性開閉口運動**

しゅうかんせいかいへいこううんどう

**habitual opening and closing movement**

無理なく自然に、あるいは反射的に行われる下顎の開閉運動。通常、咬頭嵌合位に始まり、開口後、やや異なる閉口路を経て咬頭嵌合位に終わる。

**541 習慣性咬合位**

しゅうかんせいこうごうい

**habitual occlusal position**

習慣的な閉口運動の終末位。正常有歯顎者では咬頭嵌合位と一致するとされている。

**542 習慣性咀嚼側**

しゅうかんせいそしゃくそく

**habitual masticatory side**

咀嚼動作における利き側。咀嚼運動は随意運動であるとともに、半無意識のうちに食塊の物理的性状の変化に対応して最適な顎運動パターンをとる反射的要素の強い運動でもある。人間の四肢においても利き手、利き足があるように、咀嚼運動においてもかみやすい側、無意識のうちにかむ側があり、片側のみで咀嚼する人のほうが多い。習慣性咀嚼側は、歯、歯周組織、顎関節などによっても影響を受け、よりかみやすい側で咀嚼するよう習慣づけられる一種の適応反応とも考えられる。

**543 終末蝶番位** しゅうまつちようばんい

**terminal hinge position**

左右下顎頭が終末蝶番運動を行える範囲にあるときの、上顎に対する下顎の位置。

**544 終末蝶番運動**

しゅうまつちようばんうんどう

**terminal hinge movement**

左右の下顎頭が最後方位にあるときの蝶番運動。

#### 545 終末蝶番軸

しゅうまつちょうばんじく

#### terminal hinge axis

蝶番軸の1つとして代表的なもので、下顎最後退位で蝶番運動を行うときに回転中心となる軸。

#### 546 終末蝶番点

しゅうまつちょうばんてん

#### terminal hinge axis point

下顎に存在する終末蝶番軸を延長して皮膚上に現れた点。上顎模型を咬合器にトランスファーする場合に用いられる後方基準点の1つ。

#### 547 床縁 しょうえん

#### denture border

義歯床の粘膜面と研磨面との境界部。部位により唇側床縁、頬側床縁、口蓋床部後縁、舌側床縁に分けられる。

#### 548 床外形線 しょうがいけいせん

#### denture base outline

床縁の位置を研究用模型あるいは作業用模型上に記入した線。一般的には、筋圧形成による精密印象により得られた作業用模型では、その辺縁の最深部が床外形線となる。単なる線ではなく、幅のある領域として理解されている。

#### 549 上顎結節 じょうがくけつせつ

#### maxillary tuberosity

臨床的には、上顎最後臼歯が喪失した後にも吸収されずに残り、他の歯槽骨部が吸収された結果として生じた上顎顎堤後方に位置する膨隆部。被覆粘膜は薄く硬い。著明な場合にはリリーフが、さらに義歯の着脱に支障を来す場合などには外科的切除が必要である。上顎全部床義歯床はこれを完全に覆わなければなら

ない。なお、解剖学名としての上顎結節は、上顎骨背側（側頭下面）にある骨の粗面部をいう。

#### 550 上弓【咬合器の】

じょうきゅう【こうごうきー】

#### upper bow [of articulator]

咬合器の上部構造で上顎模型を装着する金属製の体部。後方部には顎路指導、顎頭間距離調節などの機構がついている。アルコン型咬合器の関節部は顎路指導部を備え、コンダイラー型咬合器では顎頭球を備えた形式である。前方部には切歯指導機構とオルビタルロケーターの着脱機構を備えている。

#### 551 症型分類【補綴治療における】 しょうけいぶんるい【ほてつちりょうー】

#### classification system [for prosthodontic treatment]

歯質、歯の欠損の病態を評価し、補綴治療の難易度を分類するもの。2004年から日本補綴歯科学会でその策定を開始し、現在まで、口腔の条件、身体社会的条件、口腔関連QOL、精神医学的条件のフォームが作成されている。治療計画、治療の到達目標などを決定するための基本となる。術者の技量や経験に左右されることなく、エビデンスの蓄積、医師間の情報交換、症例の選択、インフォームドコンセントなどにも有用である。

#### 552 笑線 しょうせん

#### smile line

咬合状態のまま笑ったときに、上唇を最大限に挙上した位置と下唇を最大限に下制した位置を示す線。上下顎前歯人工歯歯頸線の位置の指標となる。

→「微笑線」参照

**553 上部構造 (体) [インプラントの]**

しょうぶこうぞう (たい)

**superstructure [of implant prosthesis]**

インプラントを支台とする補綴装置。オッセオインテグレートッドインプラントにおいては、アバットメント、フレーム構造、人工歯そして義歯床も含めて上部構造と呼ぶのが一般的である。骨膜下インプラントにおいては、人工歯と義歯床の部分を意味し、フレームから突出したアバットメントならびにその連結部分では中間構造体と称して区別することもあ

る。  
→「下部構造 (体)」、「中間構造 (体)」参照

**554 床翼 しょうよく**

**denture flange**

〔同義語〕 フレンジ

義歯床の人工歯歯頸部から床縁に至るまでの部分。頬側床翼、舌側床翼など、特に翼状の形態をなす部分をいう。

**555 小連結子 しょうれんけつし**

**minor connector**

クラスプやレストなどを義歯床や大連結子に連結する金属部分。鉤脚やレストの脚部と同義となることが多い。

**556 初期接触 しょきせつしよく**

**initial occlusal contact**

習慣性閉口路に沿って閉口するとき、最初に生じる咬合接触。

**557 食片圧入 しょくへんあつにゅう**

**food impaction, impaction of food debris**

歯間部へ食片が押し込まれること。不適切な隣接関係 (歯間離開度、鼓形空隙の形態) や咬合関係 (くさび状咬頭) などにより垂直に起こる場合と、舌や頬

粘膜の圧により水平に起こる場合がある。歯周疾患や齶蝕を引き起こす可能性がある。

**558 食物粉砕度 しょくもつふんさいど**

**degree of food pulverization**

規定回数の咀嚼により食物が粉砕される程度。咀嚼能率を評価するために用いられ、粉砕された食物の粒子の大きさを測定する方法と、食物の表面積の増加程度を計算式で求める方法がある。

**559 ショルダー**

**shoulder**

支台歯の歯頸部辺縁形態ならびに修復物辺縁形態の1つ。支台歯軸面にほぼ直角に形成されるため、歯質との移行部は明瞭であるが、歯質削除量は多く、継ぎ手接合 (butt joint) となるため、セメント合着時の浮き上がりが大きい。しかし、修復物辺縁の厚みを十分にとることが可能となり、前装用材料のスペースや修復物の強度を確保することができるため、ジャケットクラウンや前装冠の辺縁形態として適用される。

**560 シリコンゴム印象 ーいんしょう**

**silicone rubber impression**

縮重合型と付加重合型に分類されるシリコンゴム印象材による印象。硬化後の寸法安定性に優れているため、有歯顎から無歯顎まで、精密印象として広く用いられる。

**561 ジルコニア**

**zirconium oxide, zirconia**

〔同義語〕 酸化ジルコニウム、二酸化ジルコニウム

通常、ZrO<sub>2</sub>の構造で存在する酸化物。イットリアを添加して室温における結晶構造を安定化させた材料はイットリア部分安定化ジルコニアといい、歯冠修復お

よび欠損補綴の構造材料として使用される。

### 562 ジルコニアブロック

#### zirconia block

歯科用 CAD/CAM システムのミリングに用いられるブロック。完全焼結型ブロックと部分焼結型（半焼結型）ブロックがある。ミリング前に完全焼結したものを完全焼結型、ミリング後に完全焼結するものを部分焼結型（半焼結型）と呼ぶ。

### 563 シングルデンチャー

#### single complete denture

上下顎のいずれかが無歯顎の場合に適用される全部床義歯。対顎が①天然歯列である場合、②部分欠損はあるが固定性ブリッジで修復された歯列の場合、③部分欠損はあるが可撤性部分床義歯が装着されていない場合、④全部欠損であるが全部床義歯が装着されていない場合がある (Heartwell, 1974)。

### 564 人工歯 じんこうし

#### artificial tooth

天然歯の代用として用いる歯。一般的には、レジン歯、硬質レジン歯、陶歯が用いられるが、特殊な場合には金属歯も用いられる。

### 565 人工歯根 じんこうしこん

#### artificial tooth root

歯が失われた部位の顎骨に植立され、補綴装置の支台として用いられる人工物。→「口腔インプラント」参照

### 566 人工歯肉 じんこうしにく

#### artificial gum

- 1) 歯肉の退縮や欠損を人工物によって補い、審美性を修復するための、義歯床に類似した装置。
- 2) 支台歯と歯肉の関係を再現するため

に、作業用模型に付与される弾力性のある疑似歯肉。

### 567 人工歯肉付模型

#### じんこうしにくつきもけい

#### definitive cast with artificial gum

〔同義語〕 ガム模型

クラウンやブリッジの製作時に応用される作業用模型で、歯型周囲の歯肉に相当する部分が、弾力性を有するゴム印象材や軟性樹脂などの人工歯肉材料で可撤性に再現された模型。人工歯肉が付与されている状態では、カントウア、鼓形空隙の調整やクラウンのマージンと歯肉縁との位置関係の確認が正確となり、また、人工歯肉を取り外した場合には、支台歯辺縁部の形成状態、クラウン辺縁部の適合状態や、前装用材料の歯頸部における築盛状態の確認が容易となる。

### 568 人工歯排列 じんこうしはいれつ

#### tooth arrangement

義歯製作過程において、人工歯を咬合床に並べること。前歯部では、患者の性別・顔形・性格・年齢などに調和した外観と発音機能を考慮し、臼歯部では、義歯の維持・安定と咀嚼機能を考慮して排列する。上顎から排列する方法（上顎法）と下顎から排列する方法（下顎法）とがある。

### 569 靱帯位 [下顎の]

#### じんたいい [かがくー]

#### ligamentous position [of mandible]

下顎頭が外側靱帯（側頭下顎靱帯）によって規制される顎位。中心位、終末蝶番位と同義として使われることが多い。

### 570 診断用ワックスアップ

#### しんだんようー

#### diagnostic waxing

〔同義語〕 診断用ワクシング

補綴治療を行う前に、最終補綴装置によって修復されることが予想される歯列や歯肉の形態を模型上にワックスで成形すること。全顎に及ぶクラウンブリッジによる咬合再構成や、インプラント治療を行う場合に多用される。

**571** 診断用義歯 しんだんようぎし

**diagnostic denture**

診断および治療計画の立案のために、一時的に装着される義歯。

**572** 診断用ワクシング→「診断用ワックスアップ」参照

**573** 審美障害 しんびしょうがい

**esthetic dissatisfaction,  
cosmetic disturbance**

歯、歯肉の色調や形態の不良、歯列の不正、歯の欠損、口腔領域と顔貌との不調などを訴えた状態、あるいはそれを表す病名。色調や形態などの客観的評価が可能なものから、患者の内的イメージと現実とのギャップによる葛藤状態から生じた精神心理学的なものまで病態はさまざまである。不良補綴装置もその原因になりうる。

す

**574** 推進現象〔義歯の〕

すいしんげんしょう〔ぎしー〕

**denture propulsion**

上下顎の義歯が咬合した場合、人工歯の咬頭傾斜によって義歯が前後の（矢状推進現象；forward propulsion）あるいは左右的（側方推進現象；latero propulsion）に移動する現象。顎堤の傾斜によっても発現する。

**575** 垂直的顎位 すいちよくてきがくい

**vertical mandibular position**

上顎に対する下顎の垂直的な位置。

**576** 垂直被蓋→「オーバーバイト」参照

**577** 水平基準面 すいへいきじゅんめん

**horizontal plane of reference**

咬合や下顎運動の解剖学的な決定要素の計測に用いられる水平的な仮想平面。通常、1つの前方基準点と2つの後方基準点で決定されるが、前者には眼窩下点や鼻翼下縁あるいは鼻下点、また、後者には平均的顎頭点や蝶番点などが用いられる。フランクフルト平面、Camper平面、咬合平面などがある。

**578** 水平的顎位 すいへいてきがくい

**horizontal mandibular position**

上顎に対する下顎の水平的な位置。

**579** 水平被蓋→「オーバージェット」参照

**580** 水平面 すいへいめん

**horizontal plane**

- 1) 正中面と前頭面とに直交して、生体を上部と下部とに分割するすべての仮想平面。
- 2) 歯において、歯軸に直交する仮想平面。

**581** 睡眠時無呼吸症候群

すいみんじむこきゅうしょうこうぐん

**sleep apnea syndrome**

〔同義語〕 SAS

睡眠時に呼吸停止または低呼吸になる病気。閉塞性（OSAS：上気道の閉塞によるもの）、中枢性、および混合性（閉塞性と中枢性の混合型）に分類される。閉塞性のみ歯科的治療の対象となる。

→「OSAS 治療用口腔内装置」、  
「経鼻的持続陽圧呼吸療法」参照

**582** スーパervalジクラスプ→「歯冠型クラスプ」参照

**583** スキャナー

**scanner**

〔同義語〕3D スキャナー，三次元スキャナー，3D デジタイザー，三次元デジタイザー

物体の立体的な表面形状をプローブで接触したり，レーザー光や画像データによって計測するための装置。模型や印象面を計測するためのデスクトップ型（モデル）スキャナーや口腔内を直接計測する口腔内スキャナーがある。

**584** スクリュー固定式 一こていしき

**screw retaining system**

歯冠補綴装置のアバットメントへの連結方法の1つ。補綴装置への損傷を最小限にしながら，口腔内の状況の変化などへの対処などの際に必要に応じてその着脱ができる術者可撤機構の代表例とされる。

→「セメント固定式」参照

**585** スタディモデル→「研究用模型」参照

**586** スタビライゼーションアプライアンス

**occlusal device, stabilization appliance**

〔同義語〕スタビライゼーションプリント  
オクルーザルアプライアンスの1つ。均等な咬合接触の付与により下顎の安静を得ることを目的として，上下顎歯列のいずれかの咬合面全体を被覆する全歯列型アプライアンス。

→「オクルーザルアプライアンス」参照

**587** スtent

**stent**

1) 放射線照射治療時の小線源の保持，

インプラント体植立時の植立方向のガイドなどに用いられる，補助装置の総称。

2) 軟組織を保持・固定する装置の総称。外科処置に併用され，移植皮膚片の保持や保護に利用するもの，あるいは形成外科手術後の患部の軟組織を一定期間，定形に保つものなどがある。

→「スプリント」参照

**588** ストラップ

**strap**

大連結子の1つで，部分床義歯の複数の構成部分を連結する帯状の金属部分。バーとプレートとの中間的な幅のものをいう。一般的にストラップの用語は，パラタルストラップとして，上顎義歯にのみ用いられる。

**589** スパー

**spur**

部分床義歯の安定を得る目的で，支歯間線を挟んで義歯床とは反対側の歯の舌側面に設置されるレストのような形態をした補助支台装置の1つ。小連結子により義歯床または大連結子に結合され，単独では維持力を発揮しないが，義歯の動きに抵抗して義歯を安定させる点で間接支台装置でもある。前歯舌側面に設置した場合，歯の唇側移動を起こすことがある。

→「フック」参照

**590** スピーチaid

**speech aid**

鼻咽腔閉鎖機能の不全による構音障害の改善を図ることを目的とした補綴装置。口蓋裂のような軟口蓋欠損部を物理的に閉塞する鼻咽腔閉鎖型（pharyngeal bulb type）と，神経麻痺による軟口蓋部の運動障害などに適用される軟口蓋挙上型（palatal lift type）とがある。後者は軟

口蓋挙上装置 (PLP) と呼ばれる。

→「バルブ型鼻咽腔補綴装置」参照

**591 Spee の彎曲** すびー—わんきょく  
**curve of Spee**

下顎犬歯の尖頭と小白歯、大白歯の頬側咬頭頂を連ねた線を矢状面に投影した際に現れる円弧。ドイツの解剖学者 Spee (1890) によって発見されたため、この名がある。彼はこの円弧が下顎頭の前縁を通り、その中心は、眼窩内涙骨上縁付近にあると考えた。

**592 スプーンデンチャー**  
**spoon denture**

主に上顎前歯少数歯欠損症例に適用される。クラスプのない広い口蓋床のある暫間義歯。その外形がスプーンに似ていることに基づいた名称。

**593 スプリットキャスト**  
**split cast**

基底部にくさび型の溝をもつ作業用模型。これにより作業用模型を咬合器から容易に取り外し、かつ正確に復位することができる。また、半調節性咬合器の顎路調節に利用できる。模型に溝を付ける代わりに、既製のスプリットマウンティングプレートが使われることがある。

**594 スプリットバー**  
**split bar**

その長軸方向に割れ目 (スリット、スプリット) を付与して、弾力性をもたせた緩圧型の大連結子。

**595 スプリンティング**  
**splinting**

固定性あるいは可撤性の修復物や補綴装置によって複数歯を連結し、1つのユニットにすること。

**596 スプリント**  
**splint**

本来は変位した組織あるいは可動性の硬組織を一定期間、適切な位置に固定する装置の総称。軟組織を対象とするステントに対応する用語。

- 1) 骨折により転位したり不安定となった部位を整復し、固定する装置。
- 2) 動揺歯の連結固定装置。
- 3) 顎関節症の治療などに用いられ、下顎を適切な位置に誘導する、いわゆるオクルーザルアブライアンス。

**597 スリークォータークラウン**→「3/4冠」参照

**598 3D プリンター** すりーでい—  
**3D printer**

設計データ (STL データ) をもとにしてスライスされた二次元の層を、1枚ずつ積み重ねていく積層造形法によって立体モデルを製作する装置。液状の樹脂を紫外線レーザーで硬化させていく方式や、熱可塑性樹脂をノズルから押し出して積み上げていく方式などがある。

→「STL」参照

**599 スリーブ**  
**sleeve**

バーアタッチメントの構成要素の1つ。マトリックスの部分、あるいはそれに付与されるさや状、またはレール状の構造物。なお、スライド型アタッチメントのマトリックス部分を意味することもある。

**600 すれ違い咬合** ーちがーこうごう  
**non-vertical stop occlusion**

上下顎に残存歯があるにもかかわらず、咬頭嵌合位を失っている咬合 (尾花甚一, 1952)。上下顎の残存歯が左右的にすれ違って存在する場合と、前後的にすれ違って存在する場合があり、それぞれ左右の臼歯群のすれ違い咬合と、前歯群



と臼歯群のすれ違い咬合が典型的である。残存歯と対向する顎堤の骨吸収が大きく、咬合平面の設定が困難で、義歯の設計が難しい。

## せ

- 601 正中線** せいちゆうせん  
**median line**  
 生体（物）を左右に分割する中心線。
- 602 正中面** せいちゆうめん  
**median plane**  
 生体（物）を縦断して左右に2等分する、正中線を含んだ仮想平面。
- 603 生物学的幅径**  
 せいぶつがくてきぶくけい  
**biologic width, supracrestal tissue attachment**  
 健康な歯周組織の維持に必要なとされる歯肉溝底部から歯槽骨頂部までの歯肉の付着の幅。上皮性付着（約0.97 mm）と結合組織性付着（約1.07 mm）の幅からなる。一般に、歯冠補綴装置のマージンを歯肉縁下に設定する際、フィニッシュラインの位置は、生物学的幅径が遵守されなければならない。生物学的幅径を損傷する位置に歯冠補綴装置のマージンを設定すると炎症が惹起され、それは生物学的幅径が改善されない限り消退しないとされている。
- 604 精密印象** せいみついでんしょう  
**precise impression**  
 〔同義語〕最終印象  
 補綴装置を製作する目的で採得する、寸法精度や表面精度などに優れた印象。
- 605 積層一回印象**→「二重同時印象」参照

- 606 舌圧痕** ぜつあつこん  
**indentation of tongue**  
 舌尖から舌側縁にみられる歯列の圧痕。舌習癖やクレンチングによって生じるといわれる。
- 607 石膏コア** せっこうこあ  
**plaster core, plaster index**  
 支台歯形成や補綴装置製作時に、支台歯や人工歯の形態、排列状態、位置関係などを保存するために、それらを石膏で記録したもの。
- 608 切歯指導釘** せっししどうてい  
**incisal guide pin, anterior guide pin**  
 〔同義語〕インサイザルピン  
 咬合器上弓の最前方部に取り付け、顎間距離を保持し、切歯指導板の誘導に対応して矢状および側方切歯路を再現するためのピン。
- 609 切歯指導板** せっししどうばん  
**incisal guide table, anterior guide table**  
 〔同義語〕インサイザルテーブル  
 咬合器下弓の最前方部に取り付け、切歯指導釘を誘導し、顎間距離の保持ならびに矢状および側方切歯路を再現するためのテーブル。金属製とプラスチック製とがある。
- 610 切歯点** せっしてん  
**incisal point**  
 下顎左右側中切歯の近心隅角間の中点。咬合平面の基準点や顎運動の測定点として用いられる。
- 611 摂食嚥下** せっしょくえんげ  
**eating and swallowing**  
 食物を認知してから胃に送り込むまでの一連の動作。随意運動と反射運動が複雑に組み合わせられ、多くの臓器や器官が

機能して営まれる。食物を認知してから口腔内に取り込む先行期（認知期）、食物を口腔へ取り込んでから咀嚼によって食塊を形成する準備期（咀嚼期）、食塊を搾送運動により咽頭へ送り込む口腔期、食塊を嚥下反射により食道へと送り込む咽頭期、食塊を蠕動運動により食道を通過して胃へと送り込む食道期の5期に分けられる。特に嚥下については、口腔期、咽頭期、食道期を指して嚥下の3期ともいう。「期」はそれぞれの時期に働く組織活動を基準として区別される用語であり、口腔相、咽頭相、食道相などの「相」は食塊の動きを基準として使用される。

→「摂食嚥下障害」、「嚥下障害」参照

## 612 摂食嚥下障害

せつしょくえんげしょうがい

**dysphagia, eating problem**

摂食嚥下に関連する器官や神経の機能障害により食べる能力が低下した状態、あるいはそれを表す病名。成人あるいは高齢者の摂食嚥下障害は、獲得された摂食嚥下機能が何らかの原因により失われ、減退することにより生じる。評価・検査方法には、特殊な機器を用いないスクリーニング検査と、機器を用いた精密検査がある。

→「嚥下障害」参照

検査方法→「嚥下造影検査」、「嚥下内視鏡検査」、「改訂水飲みテスト」、「反復唾液嚥下テスト」参照

## 613 摂食嚥下リハビリテーション

せつしょくえんげー

**dysphagia rehabilitation**

摂食嚥下障害がある人を元の状態あるいは日常支障のない状態に近づける医療行為。医師、歯科医師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、看護師、

歯科衛生士、保健師などの多職種連携が必要になる。実際には、機能障害と能力低下を評価し、それぞれへの介入を行い再評価を繰り返す。

→「嚥下障害」、「摂食嚥下」、「摂食嚥下障害」参照

歯科的対応のための補綴装置→「嚥下補助装置」、「スピーチエイド」、「舌接触補助床」、「軟口蓋挙上装置」参照

## 614 接触点 せつしょくてん

**contact point, contact area**

〔同義語〕コンタクトポイント

1) 隣接する歯が互いに点状あるいは小面状に接触している部位。正常歯列においては、上下的には前歯部で歯冠切縁から1/5～1/4、臼歯部では歯冠咬合面から1/3の位置、また頬舌的には前歯部で中央かやや舌側寄り、臼歯部で中央からやや頬側寄りの位置に存在する。

2) 咬合時に対合する歯が互いに点状あるいは小面状に接触する部位。

## 615 切歯路 せつしる

**incisal path**

顎運動時に切歯点あるいは切歯部の前方に設定した標点を示す運動経路。特に滑走運動時の運動経路をいう。顎路とともに顎運動の重要な要素であり、種々の顎運動に対応してさまざまな経路をとる。

## 616 切歯路調節機構

せつしるちょうせつきこう

**adjustable anterior guidance**

平均値咬合器や調節性咬合器において、切歯指導釘と切歯指導板より構成され、切歯路を再現あるいは設定するための機構。

## 617 舌接触補助床

ぜつせつしょくほじょしょう

**palatal augmentation prosthesis**

**(PAP)**

義歯あるいは口蓋床の口蓋部を肥厚させ、舌の口蓋への接触を与え、咀嚼、発音、嚥下などの口腔機能改善を図るための補綴装置。PAPとも呼ばれる。

**618 切端咬合** せつたんこうごう  
**edge-to-edge occlusion**

咬頭嵌合位において、上下顎の前歯が切縁どうして接触する咬合様式。

**619 切端咬合位** せつたんこうごうい  
**edge-to-edge occlusal position**

前方咬合位の1つで、上下顎中切歯の切縁と切縁とが接触する咬合位。

**620 接着** [修復物の]  
 せっちゃく [しゅうふくぶつ]  
**bonding** [of restoration],  
**adhesion**

修復物を接着性材料で支台歯に結合すること。従来の、セメントの嵌合力を応用して結合する合着に対応する語。適切な接着性材料を用いることによって、象牙質とエナメル質では樹脂含浸層とレジスタグによる微小機械的結合、金属、セラミックス、コンポジットレジンなどでは水素結合、シロキサン結合、分子間引力などの結合力によって接着するといわれている。代表的な接着性材料として接着性レジンセメントがある。

**621 接着性セメント**→「接着」参照

**622 接着ブリッジ** せっちゃく—  
**resin-bonded prosthesis,**  
**adhesion bridge**

1~2 歯程度の少数歯欠損において、支台歯の歯質削除を可能な限り少なくして製作されたフレームワークを、接着性材料によって装着するブリッジ。支台歯の一方が通常のインレーやクラウンの場合には、コンビネーションタイプの接着ブ

リッジという。

**623 舌面形成** ぜつめんけいせい  
**preparation of lingual wall**

前歯の支台歯舌側面を支台歯形態に応じて切削形成すること。

**624 セメント固定式** 一こていしき  
**cement retaining system**

歯冠補綴装置のアバットメントへの連結方法の1つ。セメント合着と仮着に区別される。一般的な歯科治療の技法を流用できることから、インプラント治療においても多用されている。歯冠補綴装置の連結が確実な場合は、スクリュー固定式に比較して精度に関しては寛容で、骨縁への応力集中は少ない。反面、撤去を要する場合には、歯冠補綴装置の破壊が不可避となる(セメント合着の場合)。歯冠補綴装置の術者可撤を可能とするため、仮着セメントを用いることもある。

→「スクリュー固定式」参照

**625 セラモメタルクラウン**→「陶材焼付冠」参照

**626 全運動軸** ぜんうんどうじく  
**kinematic axis**

矢状面内のすべての顎運動に対応する回転軸。河野正司(1968)は、下顎の矢状面内運動に対応して、その運動範囲の上下的な幅が最小となる帯状の点が下顎頭上にあることを発見し、左右のこの点を結ぶ軸を全運動軸と名付けた。

**627 線鈎** せんこう  
**wrought wire clasp, wire clasp**

〔同義語〕ワイヤークラスプ

既製の金属線を屈曲・適合して製作されたクラスプ。

**628 前後調節彎曲**→「調節彎曲」参照

**629 前後的歯牙彎曲**→「前後的歯列彎曲」参照

**630 前後の歯列彎曲**

ぜんごてきしれつわんきょく

**anteroposterior curve**

〔同義語〕 前後の歯牙彎曲

上顎あるいは下顎の前歯切縁と臼歯咬合面を連ねてできる面を矢状面に投影したときに観察される前後的な彎曲。下顎については、特に Spee の彎曲という。

**631 前装冠 ぜんそうかん**

**facing crown**

審美性を重視し、鑄造、切削加工などにより製作した金属冠の外観に触れる部分に歯冠色の前装用材料を適用したクラウン。前装部に陶材やレジンが用いられる。

**632 栓塞部 せんそくぶ**

**obturator prosthesis**

上下顎の穿孔部あるいは欠損部を栓塞する部分。顎義歯などに設置される。

→「中空型栓塞部」, 「天蓋開放型栓塞部」参照

**633 選択削合 せんたくさくごう**

**selective grinding**

自動削合の前段階として咬合の修正、調整を行うもので、咬合紙により印記された調整部位を、ダイヤモンドポイントやカーボランダムポイントなどを用いて、部分的に削除する方法。中心咬合位、偏心咬合位において、均等な咬合接触が得られるように削合する。

**634 選択的加圧印象**

せんたくてきかあついんしょう

**selective pressure impression**

スパーサーの厚さや通路の数、大きさなどを変化させ、顎堤粘膜に加わる圧力をそれぞれの部位の圧負担能力に応じて調整して採得する印象。これにより、義歯の適正な粘膜負担を得ることができる

とされている。

**635 剪断咬頭→「非機能咬頭」参照**

**636 全調節性咬合器**

ぜんちょうせつせいこうごうき

**fully adjustable articulator**

調節性咬合器のうち、両側の矢状顆路傾斜および非作業側の側方顆路の調節機構に加え、運動量の小さい作業側の側方顆路および側方顆路傾斜角の調節機構をも備えて、それぞれの顆路を生体と同じ曲線によって再現できる咬合器。Denar SE articulator, Stuart articulator, TMJ articulator などがある。

**637 前頭面 ぜんとうめん**

**frontal plane**

正中線に平行で矢状面に直行し、生体を前後に分割するすべての平面。頭蓋の前面部がこの面とほぼ平行になることに因んだ名称。

**638 セントラルベアリングスクリュー**

**central bearing point, central bearing screw**

口外法ゴシックアーチ描記装置、パントグラフのクラッチ、チューイン法の口腔内記録装置などの中央部に取り付けられ、支柱となるネジ。先頭部が半球状のネジであるため、高径の調節や円滑な顎運動が行える。

**639 セントラルベアリングトレーシング**

**central bearing tracing**

ゴシックアーチトレーサーなどのセントラルベアリングデバイスを用いて水平描記板上に描かれる図形。

**640 セントラルベアリングトレーシングデバイス**

**central bearing tracing device**

上下顎歯列の間でセントラルポイントの位置を規定する装置 (Gysi, 1910)。一

方の歯列に取り付けた描記針と、他方の歯列に取り付けた描記板から構成される。顎間記録、もしくは不適切な咬合接触の修正の際に、咬合力を均一化して描記針が描記板上で接触滑走することで、描記板上に下顎運動軌跡を記録するために用いる。

#### 641 セントラルベアリングプレート

##### central bearing plate

セントラルベアリングスクリューが接触、滑走する板。

#### 642 セントリックストップ

##### centric stop

咬頭頂と窩の接触関係により、対向した歯列間の咬合高径が維持されること。

#### 643 全部金属冠 ぜんぶきんぞくかん

##### complete metal crown

〔同義語〕フルメタルクラウン

金合金、金銀パラジウム合金、チタンなどの金属材料を素材とし、鋳造あるいはCAD/CAMにより製作される全部被覆冠。鋳造で製作するクラウンは全部鋳造冠という。

#### 644 全部床義歯 ぜんぶしょうぎし

##### complete denture, full denture

〔同義語〕総義歯

上顎または下顎のすべての歯を喪失した症例に対して、これを補綴する目的で適用される有床義歯。義歯に加わる咬合圧の負担様式による分類では、粘膜負担義歯に相当する。基本的に人工歯と義歯床から構成される。

#### 645 全部床義歯補綴学

ぜんぶしょうぎしほてつがく

##### complete denture prosthodontics

〔同義語〕総義歯補綴学

歯科補綴学の一分科で、片顎または上下両顎のすべての歯を喪失した症例に対

し、全部床義歯によって修復・整形し、損なわれた口腔と関連組織の形態と機能および外観を回復させるとともに、患者の健康の維持・増進を図るために必要な理論と技術を考究する学問。

#### 646 全部鋳造冠 ぜんぶちゅうぞうかん

##### full cast crown

鋳造法によって製作される全部被覆冠。適合性、形態再現性、強度に優れ、臼歯部の全部被覆冠としては最も使用頻度が高い。

#### 647 全部被覆冠 ぜんぶひふくかん

##### artificial crown, complete crown, full veneer crown, full coverage crown

歯冠部全体を人工物で被覆した歯冠補綴装置。金属冠、前装冠、ジャケットクラウンなどがある。

#### 648 前方位〔下顎の〕

ぜんぼうい [かがくー]

##### protrusive position [of mandible]

下顎を中心位から前方に移動したときのすべての顎位。

#### 649 前方運動〔下顎の〕

ぜんぼううんどう [かがくー]

##### protrusive movement [of mandible]

下顎の前方への運動。通常、下顎が中心位から前方へ向かって接触滑走することをいう。

#### 650 前方基準点 ぜんぼうきじゅんてん

##### anterior reference point

2つの後方基準点とともに、水平基準面を設定するための顔面上の点。一般に眼窩下点、鼻翼下縁、鼻下点などが用いられる。

#### 651 前方咬合位 ぜんぼうこうごうい

##### protrusive occlusal position

咬頭嵌合位から上下顎の歯を接触させた状態で、下顎を前方に滑走運動させたときのすべての咬合位。

**652 前方咬合小面**

ぜんぼうこうごうしょうめん

**occlusal facet of protrusion**

Gysiの軸学説および咬合小面学説に従って、フルバランストオクルージョンを付与する目的で人工歯咬合面に形成する咬合小面の1つ。前方および側方の滑走運動で接触する面であり、上下顎前歯の切縁と下顎臼歯の頬舌側咬頭の前方斜面、上顎臼歯の後方斜面に発現する。

**653 前方誘導 (指導)** → 「アンテリアアガイダンス」参照

そ

**654 早期荷重** そうきかじゅう

**early loading**

〔同義語〕 早期負荷, 早期加重, アーリーローディング

インプラント体埋入後, 48時間から2ヵ月以内にインプラント体へ機能的な荷重を加えること。また, その荷重を指すこともある。荷重を加える作業に関しては早期加重という。

**655 総義歯** → 「全部床義歯」参照

**656 総義歯補綴学** → 「全部床義歯補綴学」参照

**657 早期接触** そうきせっしょく

**deflective occlusal contact, occlusal prematurity, premature contact**

咬合干渉の1つで, 閉口時に, 安定した上下顎の咬合接触状態が得られる前に一部の歯だけが咬合接触する状態。

**658 装具** そうぐ

**orthotic device**

けがや病気による四肢・体幹の機能障害の軽減を目的として使用する器具。疼痛, 損傷, 変形を生じる力や治癒の妨げになる応力を防御したり, 筋力低下や麻痺, 痙性がある筋を補助したり, 変形を矯正するために用いる。けがや病気の治療を目的とする治療用装具と, 後遺症により失われた機能を代償する更生用装具では, 取り扱う制度が異なる。

**659 双子鉤** そうしこう

**double Akers clasp**

レスト付き二腕鉤を鉤体部で背中合わせに結合し, 2本の支台歯に設置する形態のクラスプ。各々2個の鉤腕が辺縁隆線から咬合面側鼓形空隙にかけて設置されることからエンブレジャークラスプ (embrasure clasp) とも呼ばれる。維持力の増強と支台歯の二次固定効果があり, 直接および間接支台装置として用いられる。

**660 相補下顎位** そうほかがかくい

**complementary mandibular position**

下顎を基準とした場合の顎位。数学的には互いに独立な6個のパラメータで完全に定義できる。下顎の歯のワックスアップなどにおいて, 咬頭嵌合位での咬合接触の付与に続いて偏心位での接触状態や咬合面間の離開量を適切に与えようとするとき, 偏心位で上顎の各咬頭や溝がどの位置にあるかを立体的に考慮しなければならぬ。このように下顎に対する上顎の立体的位置関係を問題にするときに相補下顎位の概念が必要となる。

**661 相補下顎運動**

そうほかがかうんどう

### complementary mandibular movement

下顎を基準としてみた場合の顎運動。下顎に描記板を設置して描記したゴシックアーチやコンダイラー型咬合器の動き、下顎咬合面に印記したFGP記録などは、下顎に対して上顎がどのように運動するかという情報である。顎運動は6自由度運動であるため、下顎運動と相補下顎運動は運動方向が逆になるだけという単純なものではない。例えば限界運動野が最も収束する点は、下顎運動では下顎頭の中央部付近であるのに対し、相補下顎運動では関節隆起中央付近となる。

#### 662 即時荷重 そくじかじゅう

##### immediate loading

〔同義語〕即時負荷，即時加重，イミディエートローディング

インプラント体埋入後48時間以内に、インプラント体へ機能的もしくは非機能的な荷重を加えること。また、その荷重を指すこともある。即時荷重を加えられたインプラント体がオッセオインテグレーションを獲得するためには、インプラント体の微小動揺 (micromovement) を150 $\mu$ m以下に抑えることが必要とされている。荷重を加える作業に関しては即時加重という。

#### 663 即時義歯 そくじぎし

##### immediate denture

抜歯前に予定部位を調整した模型上で製作し、抜歯後直ちに装着される義歯。

#### 664 即時暫間修復

そくじざんかんしゅうふく

##### immediate provisional restoration

〔同義語〕即時暫間補綴，即時負荷

インプラント体を埋入直後、あるいは48時間以内に、インプラント体を支台と

して暫間上部構造を装着する術式。最終上部構造を支持させるインプラント体に即時暫間修復を行う術式が一般的であるが、即時暫間修復専用のインプラント体を別に埋入し、治癒期間のみ暫間修復を行う術式も行われている。

#### 665 測色法【歯冠色の】

そくしよくほう [しかんしよくー]

##### method of color measurement [of tooth color]

歯冠色調選択の方法の1つ。シェードガイドや色見本を用いて術者の目により判断する視感比色法と、光電色彩計 (刺激値直読方式) や分光測色計などを用いる器械測色法とがある。

#### 666 側方位【下顎の】

そくほうい [かがくー]

##### lateral position [of mandible]

下顎を中心位から右側方あるいは左側方に移動したときのすべての顎位。

#### 667 側方運動【下顎の】

そくほううんどう [かがくー]

##### lateral mandibular movement, mandibular lateral translation

下顎の側方への平行運動。通常、咬頭嵌合位あるいは下顎後退接触位から側方へ接触滑走することをいう。

#### 668 側方顆路 そくほうかる

##### lateral condylar path

下顎側方運動時の顎関節窩内での作業側、非作業側の下顎頭の運動経路。

#### 669 側方顆路角 そくほうかるかく

##### angle of lateral condylar path

〔同義語〕Bennett角

下顎側方運動時に水平面投影した非作業側下顎頭の運動経路が正中矢状面となす角度。

**670 側貌記録** そくぼうきろく**profile, profile record**

額、鼻背、鼻尖、上下口唇、オトガイ部などから構成される側貌の外形についての記録。以前は有歯顎時にヒューズ線や紙型などで製作しておき、無歯顎時に咬合高径の参考にしたが、近年はデジタルカメラによる撮像を用いる。

**671 側方咬合位** そくほうこうごうい**lateral occlusal position**

咬頭嵌合位から上下顎の歯を接触させた状態で、下顎を右側あるいは左側へ滑走運動させたときのすべての咬合位。

**672 側方咬合彎曲****lateral occlusal curve**

→「Wilson の彎曲」参照

**673 側方歯牙彎曲**→「Wilson の彎曲」参照**674 側方齒列彎曲**→「Wilson の彎曲」参照**675 側方切歯路** そくほうせっしろ**lateral incisal path**

側方滑走運動時の切歯点が示す運動経路。これを水平面に投影して得られた図形はゴシックアーチと呼ばれる。

**676 側方切歯路角**

そくほうせっしろかく

**angle of lateral incisal path**

側方滑走運動時の切歯点あるいは切歯部前方に設けた点が示す側方切歯路を水平面投影したときに、左側と右側の運動経路がなす角度。特に水平面に描記した後方側方滑走運動路がなす角度はゴシックアーチの展開角として知られる。

**677 側方調節彎曲**→「調節彎曲」参照**678 側方彎曲基準板**

そくほうわんきょくきじゅんばん

**orientation plate for****compensating curve**

半径4インチの球面をもつ彎曲板。咬合平面の分析や、補綴処置時に咬合彎曲を形成、付与するために用いる。これは、Monson 球面説が顎運動のガイドとしては否定されながらも、形態学的には有歯顎の咬合彎曲を基準として考えていることによる。

**679 咀嚼** そしゃく**mastication**

食物を摂取して粉碎し、唾液と混和し、食塊を形成するための嚥下と消化の一過程。

**680 咀嚼圧** そしゃくあつ**masticatory pressure**

咀嚼時に、天然歯あるいは人工歯の咬合面部に発現する単位面積あたりの力。

**681 咀嚼運動** そしゃくうんどう**masticatory movements**

咀嚼時の顎運動。食物摂取に際して、嚥下の前に食物をかみ切る(咬断)、かみくだく(粉碎)、すりつぶす(白磨)などの動作が含まれる。

**682 咀嚼運動路** そしゃくうんどうろ**path of masticatory movement**

咀嚼時の顎運動経路。食品の性状、形状、硬さによって左右されるが、同一個人における同一食品の咀嚼時にはほぼ一定した経路を示す。これは、開口相、閉口相、咬合相からなり、切歯点がまず作業側へやや偏位し、直線的な開口(第1相)に続いてさらに外方へ偏位し(第2相)、そこから咬頭嵌合位に向かって斜めに閉口していく経路(第3相)をとり、結果としてその経路は作業側に偏った不整紡錘型となる。なお、直接、咬頭嵌合位に戻るのではなく、側方位で咬合接触が生じ、接触滑走(第4相)が起こると



の説や、閉口後に咬頭嵌合位からさらに反対側への接触滑走（第5相）が生ずるとの説もある。

### 683 咀嚼機能検査

そしゃくきのうけんさ

#### test for chewing ability

咀嚼能力を測定して判定する機能検査。咀嚼機能を直接判定する直接的検査法と、咀嚼に関与する他の要素により間接的に測定する方法に大別される。

直接的検査法には、主観的評価方法と客観的評価方法とがある。主観的評価方法は、咀嚼能率判定表により評価する。客観的評価方法は、咀嚼試料の粉碎の状態を客観的数値として表す方法で、ピーナッツや米のほか、色変わりチューインガム、パラフィンワックスや検査用グミゼリーなどを用いる。特に検査用グミゼリーを用いる方法は、グミゼリー20秒間咀嚼時のグルコースの溶出量を血糖測定器で測定する方法で、短時間で簡便にチェアサイドで咀嚼機能の評価が行える。

間接的検査法は、顎運動、筋活動、咬合接触状態、そして咬合力などにより咀嚼能力を評価、判定する。

### 684 咀嚼効率→「咀嚼能率」参照

### 685 咀嚼サイクル

#### chewing cycle

→「咀嚼周期」,「咀嚼運動路」参照

### 686 咀嚼周期 そしゃくしゅうき

#### masticating cycle

〔同義語〕咀嚼サイクル

開口相、閉口相、咬合相の3相からなる一連の咀嚼運動。

### 687 咀嚼障害 そしゃくしょうがい

#### dysmasesis, masticatory disturbance

歯数の不足、歯根膜疾患、不正咬合、

齶蝕、歯肉炎、歯周炎、口内炎、咀嚼習慣、舌の病変・実質欠損・運動障害、咀嚼筋・顎関節機能異常などにより、咀嚼の機能が減退した状態、あるいはそれを表す病名。不良補綴装置もその原因になりうる。

### 688 咀嚼側 そしゃくそく

#### masticatory side

上下顎歯列間に食物を挿入して咀嚼する側。咀嚼側は食物を咀嚼する側として規定される。

### 689 咀嚼能率 そしゃくのうりつ

#### masticatory efficiency

〔同義語〕咀嚼効率

咀嚼能力を判定する指標。物理的、生化学的に基準とされる食物粉碎度を得るために必要な能力。

### 690 咀嚼能率測定

そしゃくのうりつそくてい

#### masticatory performance, determination of masticatory efficiency

咀嚼能率を求めるための測定。規格化された咀嚼試験条件で得られる食物粉碎度の測定。

### 691 咀嚼能力 そしゃくのうりよく

#### ability of mastication

顎口腔系が食物を切断・破碎・粉碎し、唾液との混和を行いながら食塊を形成して、嚥下動作を開始するまでの一連の能力。この能力を測定あるいは検査し、評価することを「咀嚼機能検査」、「咀嚼能力検査」という。咀嚼機能あるいは咀嚼能力を客観的に評価するための方法としては、咀嚼能率や最大咬合力、咬合接触面積の測定、咀嚼時の咀嚼筋活動や顎運動の分析、摂取可能食品の調査などがあり、咀嚼スコアとして数値で表すことも

ある。

**692 咀嚼リズム** そしゃくー

**masticatory rhythm**

咀嚼運動の基本的な律動。動物実験の結果では、脳幹網様体に存在するリズムジェネレータで形成されるとされる。

**693 咀嚼力** そしゃくりよく

**masticatory force**

咀嚼時に、顎口腔系器官・組織の働きにより咬合面間に発現する力。

**694 ソフトブローイング**→「ブローイングテスト」参照

## た

**695 待機荷重**→「待時荷重」参照

**696 対咬関係**→「対合関係」参照

**697 対向関係** [顎堤の]

たいこうかんけい [がくていー]

**ridge relationship, ridge relation**

上下顎の顎堤の位置関係。前頭面での対向関係と矢状面での対向関係とがあり、臼歯部人工歯の頬舌の排列位置や最後方人工臼歯の位置決定などに利用される。

**698 対合関係** たいごうかんけい

**interocclusal relationship**

〔同義語〕対咬関係

上下顎の歯のかみ合った状態。正常な天然歯列の咬頭嵌合位では、上顎の歯が下顎の歯を被蓋し、臼歯の機能咬頭は相対する歯の咬合面にある窩または辺縁隆線にかみ込み、1歯対2歯で緊密に咬合接触している。

**699 対抗作用**→「拮抗作用」参照

**700 対合歯** たいごうし

**antagonist, dental antagonist**

上下顎の歯が咬合したとき、その歯の

咬合の対象となる歯。

**701 ダイコム**

**digital imaging and communications in medicine (DICOM)**

CT, MRI, 内視鏡, 超音波などの医用画像診断装置や医療情報システムなどの間でデジタル画像データや関連する診療データを通信・保存する方法を定めた国際標準規格。

**702 待時荷重** たいじかじゅう

**delayed loading**

〔同義語〕待機荷重, 遅延荷重, 待時負荷, 遅延負荷, 待時加重

インプラント体を顎骨内に埋入してから、下顎で3ヵ月間以上、上顎で6ヵ月間以上の免荷期間 (unloaded period) を置いた後に、上部構造を装着して咬合負荷を加えること。荷重を加える作業に関しては待時加重という。

**703 待時負荷**→「待時荷重」参照

**704 ダイナミック印象** ーいんしょう

**dynamic impression**

旧義歯あるいは最終義歯をトレーの代わりとして、長時間流動性が持続する印象材を用いて患者の日常生活における機能時の義歯床下粘膜の動態を採得する印象。

**705 大連結子** だいにんけつし

**major connector**

連結子の1つで、離れた位置にある義歯床と義歯床、義歯床と間接支台装置などを連結する部分。上顎に用いられるものとして、パラタルバー、パラタルストラップおよびパラタルプレートがあり、下顎には、リンガルバー、リンガルプレートおよびリンガルエブロンがある。

**706 ダウエルピン**

**dowel pin**

歯型可撤式模型，分割復位式模型において歯型の着脱を容易にし，かつ正確に復位させるために歯型の根部に応用する既製のピン。

### 707 唾液検査 だえきけんさ

#### saliva test

唾液を試料として用いて行う検査。歯科領域では齶蝕原性菌，歯周病関連菌の検査をはじめ，唾液の分泌量（口腔乾燥症）や緩衝能および粘性と義歯床の維持力などの検査，各種ホルモンの測定による免疫検査が行われている。

### 708 タッピング

#### tapping

咬合面間に食物のない状態で上下顎の歯（人工歯）を反復的にカチカチとかみ合わせること。ブラキシズムや寒冷時にも観察される。臨床的には，咬合，顎関節，筋などの検査，診断に利用される。

### 709 タッピング運動 ーうんどう

#### tapping movement

1) 開口量の少ない反復的な習慣性開閉口運動。臨床的には，咬頭嵌合位の歯の接触部位や早期接触部位の検出，顎運動経路の検査，診断などに利用される。

2) ゴシックアーチ描記板上に記録される複数の点（タッピングポイント）を記録するための下顎反復小開閉口運動。この運動は歯や顎関節に依存しない運動で，水平的顎間関係の決定や下顎位の診断に用いられる。

### 710 単一印象 たんいついんしょう

#### single impression

1種類の印象材を用いて採得する印象。  
→「連合印象」参照

### 711 単一式模型→「歯型固着式模型」参照

### 712 短縮歯列 たんしゅくしれつ

#### shortened dental arch

広義では上下顎第二大臼歯まで（28歯）の完全歯列から1つでも遊離端欠損している歯列をいい，狭義では上下顎第二小臼歯以下（20歯以下）の歯列のこと。

Käyser（1981）が提唱した，少なくとも4つの咬合ユニット（occlusal unit：OU＝小臼歯の上下ペアが1OU，大臼歯の上下ペアを2OUとして計算）を有した歯列は，臨床的に十分適応能力を有しているという shortened dental arch (SDA) concept に基づいており，Käyser の定義では，少なくとも片側の最後方咬合ユニットが小臼歯のペアとなる歯列としている。

基本的に短縮歯列は遊離端欠損歯列であり，中間欠損歯列とは区別される。

### 713 単純鉤 たんじゅんこう

#### single-arm clasp

支台歯の頬・唇側面に設置された1つの鉤腕からなる環状鉤。

### 714 単歯型→「単歯型式模型」参照

### 715 単歯型式模型

たんどくしけいしきもけい

#### single die

〔同義語〕単歯型

作業用模型の1つ。単歯型のみを用いる方法で，クラウンやブリッジを製作するための作業用模型としては利用価値が少ない。インレー，ピンレーなどのように，歯冠の一部形態を修復する場合で，特に咬合関係，接触関係が必要でない場合に利用可能な簡易な方法。

## ち

## 716 チェックバイト

**interocclusal record, check bite**

- 1) 対合する歯列または顎の位置的相互関係の記録
- 2) 咬合器の顎路調節を目的に採得する、下顎の前方位あるいは側方位における顎間記録。前者を前方チェックバイト (protrusive check bite)、後者を側方チェックバイト (lateral check bite) という。

## 717 チェックバイト法 一ほう

**check bite technique, check bite method**

顎路の測定法の1つで、生体の顎路の出発点とその任意の一点とを結んだ直線が各基準平面となす角度を計測する方法。上下顎歯の咬合面間や咬合床の咬合堤間で、ワックス、石膏、酸化亜鉛ユージノールペーストなどの記録材を硬化させ、上下顎関係を記録する。Christensen (1905) により開発されたといわれており、半調節性咬合器の顎路調節に用いられる。

## 718 遅延荷重→「待時荷重」参照

## 719 遅延負荷→「待時荷重」参照

## 720 チャンネルショルダーピン

**channel shoulder pin (C. S. P.)**

自家製アタッチメントの1つで、パトリックスをマトリックスへ誘導するチャンネル (channel)、マトリックスの壁に直角で槌状の辺縁をもつ支持要素としてのショルダー (shoulder)、およびマトリックスからパトリックスを撤去するときの摩擦抵抗要素としてのピン (pin) から構成される。Steiger (1959) により紹介された。

## 721 チューイン法 一ほう

**chew-in technique**

顎運動の口内記録法の1つで、上下顎のいずれか一方に設置したレジンなどの記録媒体を、対合歯または対顎に設置した描記針によって彫り込んで、下顎を自由に運動させたときの三次元的な顎運動経路を記録する方法。この記録をもとにTMJ咬合器の関節部に顎運動の誘導面を形成する。Luce (1911) により開発されたものが原法である。

## 722 中間義歯 ちゅうかんぎし

**bounded saddle denture, tooth borne denture**

残存歯と欠損部の位置関係により分類された部分床義歯で、欠損部の近遠心の両側に残存歯が存在する欠損様式に適用されるもの。遊離端義歯に対する用語であり、片側性に欠損部が存在し、かつ欠損部の近遠心側に残存歯が存在する欠損様式に適用される片側性中間義歯 (unilateral bounded saddle denture) と、両側にわたって欠損部が存在し、かつ欠損部の近遠心両側に残存歯が存在する欠損様式に適用される両側性中間義歯 (bilateral bounded saddle denture) とに分類される。

## 723 中間欠損 ちゅうかんけつそん

**intermediary defect**

歯列の部分欠損症例において、欠損部の近遠心側のいずれにも歯が存在するもの。

## 724 中間構造 (体) [インプラントの]

## ちゅうかんこうぞう (たい)

**mesostructure [of implant prosthesis]**

インプラント体やアパットメントとその上部構造 (クラウン、義歯) を連結す

る構成要素。インプラント体上に中間構造体を固定し、その中間構造体にセメント、水平スクリュー、アタッチメントなどで固定性あるいは可撤性上部構造が支持または維持される。中間構造体によりインプラント体埋入方向の改善ならびに咬合面からのアクセスホールの排除が達成できるため、歯冠や咬合面形態の製作自由度を高くすることができ、審美的、機能的に有利な場合がある。広義ではアバットメントともとらえることができる。

→「下部構造(体)」、「上部構造(体)」

参照

### 725 中空型栓塞部

ちゅうくうがたせんそくぶ

#### **hollow obturator**

顎義歯の軽量化のために、中空にした栓塞部。

→「栓塞部」、「天蓋開放型栓塞部」参照

### 726 中心位 ちゅうしんい

#### **centric relation**

歯の接触とは無関係で、下顎頭が関節結節の後方斜面と対向し、関節窩内の前上方の位置にあるときの上下顎の位置関係。この位置では、下顎の運動は純粹な回転運動を営む。この生理的な上下顎の位置から、患者は垂直方向、側方または前方運動を自由に行うことができる。臨床的に有用で、再現性の高い基準的な位置である (GPT-9)。

※中心位の定義は、時代を追うごとに変化してきたため、GPT-8では、この定義を単一化することが難しく、7つの定義を併用するという形をとっていた。GPT-9では、7つの定義の併記をやめ、中心位の臨床応用に主眼を置き単一の定義としている。特筆すべきは、

関節円板に対する記載がなくなっていることである。

[第4版での意味]

下顎頭が下顎窩内で以下の位置となるときの顎位。したがって、歯の接触位置とは無関係で、任意の顎間距離で存在する。

- 1) 下顎頭が下顎窩内で、関節円板の最も薄く血管のない部分に對合し、関節結節の斜面と向き合う前上方の位置 (GPT-5)。
- 2) 上顎に対して下顎が最後方位をとり、なおかつ下顎側方運動が可能な位置 (GPT-3)。
- 3) 下顎頭が下顎窩内で緊張のない最後方位をとり、そこから無理なく下顎側方運動が可能な顎位 (GPT-1)。
- 4) 一定の垂直的位置関係において側方運動が可能な上顎に対する下顎の最後方位 (Boucher, 1953)。
- 5) 下顎頭と関節円板が最中央で最上方にあるときの上下顎の関係 (Ash, 1993)。
- 6) 下顎頭が下顎窩内で最上方で最後方位にあるときの顎位。
- 7) 下顎頭を前最上方に位置させて臨床的に決定される下顎位 (Ramfjord, 1993)。

なお、このように多様なニュアンスを有したものは専門用語として不適当であり、使用を控えるべきとする意見も少なくない。しかし、国内外において古くから多方面で用いられており、また、すべての顎位の原点として極めて重要な用語とも言えるため、本委員会では、適当な代替用語も未確定な現時点で、本用語を削除することは不適当であると判断した。

### 727 中心咬合位 ちゅうしんこうごうい

#### **centric occlusion**

- 1) 下顎頭の位置とは関係なく、上下顎の咬合面が最大面積で接触、または咬頭嵌合したときの顎位。咬頭嵌合位と同義。一般に、正常有歯顎者では、下顎頭

は下顎窩内で顎頭安定位にある。

2) 下顎が中心位で咬合したときの顎位。前項のごとく、中心位の定義が不明確のため、本項の意味も多様となる。

ただし、GPT-9では「下顎が中心位で咬合したときの対向する歯列の咬合位」とされている。

**728 鑄造鉤** ちゅうぞうこう

**cast clasp**

鑄造法により製作されたクラスプ。

**729 鑄造床** ちゅうぞうしょう

**cast plate**

金属床の1つで、ロストワックス法によって製作される義歯床の金属部分。

**730 鑄造バー** ちゅうぞうー

**cast bar**

鑄造法により製作されたバー。

**731 チューブ陶歯** ーとうし

**tube teeth**

人工歯の基底面から歯冠方向へ垂直に貫通する維持孔を有する陶歯。維持孔へ嵌合するように製作したピンに合着することで金属床義歯やブリッジの人工歯として使用したが、近年は使用されていない。

**732 調音検査**→「構音検査」参照

**733 超高齢社会** ちようこうれいしゃかい

**super-aged society**

高齢化率(65歳以上の人口が総人口に占める割合)が21%以上の社会。

→「高齢化社会」,「高齢社会」参照

**734 聴診法** ちようしんぽう

**auscultation, stethoscopy**

生体の各部で産生される音を聴診する検査。補綴領域では、顎関節症の関節雑音を聴診したり、咬合接触するときの咬合音を骨伝導音として聴診することによって早期接触などの咬合異常を診断す

る方法もあり、骨伝導音を電氣的に分析する装置が開発され臨床に用いられたこともある。摂食嚥下リハビリテーションの領域では嚥下障害の判定のために嚥下時に頸部で産生される音を聴診する検査が行われており、嚥下障害のスクリーニング法として有効とされている。

→「咬合音検査」参照

**735 調節性咬合器**

ちようせつせいこうごうき

**adjustable articulator**

解剖学的咬合器のうち、顎運動を再現する要素としての顎路および切歯路の再現機構を備えた咬合器。矢状面内と水平面内の特定の範囲内で調節ができる。半調節性咬合器と全調節性咬合器とに分類される。

**736 調節彎曲** ちようせつわんきょく

**compensation curve**

全部床義歯の臼歯部人工歯排列において、Christensen現象の発現を補償するとともに、偏心位における咬合接触により咬合平衡を保持する目的で人工歯列に付与する咬合彎曲。矢状面における前後調節彎曲と、前頭面における側方調節彎曲とがある。

**737 蝶番運動** ちようばんうんどう

**hinge movement**

左右の下顎頭が下顎窩内で滑走運動を伴わないで、純粋な回転のみを行う運動。一般的に下顎が後退し、開口量が0~25mmの範囲で開閉口運動を行うときに観察される。

**738 蝶番咬合器** ちようばんこうごうき

**hinge articulator**

〔同義語〕平線咬合器

上下顎フレームが単純な蝶番によって連結され、開閉運動のみを行える咬合

器。咬頭嵌合位の再現だけが可能である。文献上に現われる最初の咬合器 (Gariot 咬合器; 1805) として知られる。

**739 蝶番軸** ちょうばんじく

**hinge axis, transverse horizontal axis**

左右側の下顎頭が滑走運動を伴わないで純粹に回転したとき、左右の下顎頭の回転中心を線で結んだ軸。

**740 蝶番点** ちょうばんてん

**hinge axis point**

下顎に存在する蝶番軸を左右の皮膚上に示した点。頭蓋の水平基準面を設定するために、前方基準点とともに用いられる後方基準点。咬合器への模型および顎運動をトランスファーする際に用いられる。

**741 直接維持装置**→「直接支台装置」参照

**742 直接支台装置**

ちよくせつしだいそうち

**direct retainer**

〔同義語〕直接維持装置

部分床義歯の支台装置で、欠損部に隣接する歯に設定されるもの。

**743 治療用義歯** ちりょうようぎし

**treatment denture**

最終義歯の製作に先立ち、咬合および床下粘膜治療などを目的として装着される暫間的な義歯。

→「暫間義歯」参照

**つ**

**744 追跡管理**→「トレーサビリティ」参照

**745 ツインステージ咬合器**

—こうごうき

**twin-stage articulator**

2種類の歯列模型を用いたり2組の調節条件を用いて、ツインステージ (2段階) 方式で操作することにより、特定の理念に基づいた咬合様式を具現化することを目的とした咬合器。前者には Hanau Twin-Stage Occluder および Verticater (Jelenko) などがあり、一般に FGP テクニクに利用される。また、後者には Twin Hoby articulator (保母須弥也) などがある。

**て**

**746 ディアドコキネシス**

**diadochokinesis, oral diadochokinesis**

〔同義語〕オーラル・ディアドコキネシス  
開閉口運動や指のタッピングのような速い拮抗反復運動。オーラル・ディアドコキネシスとは舌や口唇の巧緻性と速度を評価する方法で、被験者に「パ」「タ」「カ」の単音節をそれぞれ10秒間ずつ、できるだけ速く繰り返し発音させて、1秒あたりの発音回数を測定する。

**747 低位咬合** ていこうごう

**infraocclusion**

- 1) 一部の歯あるいは人工歯の咬合面が正常な咬合平面まで達しておらず、咬合接触がない不正咬合。
- 2) 咬頭嵌合位が適正な咬合高径よりも低い位置にある咬合状態。

**748 T字クラスプ**→「Elbrecht クラスプ」参照

**749 ディギャッシング**  
**degassing**

陶材焼付冠の製作の際、陶材を築盛する前に金属表面の酸化膜形成、異物除

去、鑄造歪みの解放、水素ガスの除去などの目的で行う熱処理。この酸化膜を金属表面に形成することで、陶材と化学的に結合し、強固な陶材焼付強度を得ることができる。

**760 ディスクレーション**→「白歯離開咬合」参照

**761 ティッシュコンディショナー tissue conditioner**

義歯床粘膜面に使用され、異常な形態、性状を呈する義歯床下粘膜を健康な状態に回復させるために用いられるアクリル系の材料。この材料を用いて、有床義歯製作時の前処置として、ティッシュコンディショニング(粘膜調整)を行う。この材料は、短期弾性裏装材として用いられることもある。

**762 ティッシュストップ tissue stop**

鉤脚やフレームワークの維持格子などの後方部分に設置され、模型粘膜面と接する小突起。製作した支台装置やフレームワークを模型に復位させることを容易にし、レジン填入時にそれらの位置の移動を防止する。

**763 ティナージョイント tinner's joint**

箔や板金の端を折り曲げ、嵌合させて作る接合法。錫(Tin)細工の成型法として錫職人(tinner)が用いる技法であったことからこの名称が付いた。歯科ではポーセレンジャケットクラウン製作時のマトリックス箔の接合などに用いられる。

**764 Davis クラウン** でいびすー  
**Davis crown**

Davis (1911) が提案したポストクラウン。基底部に維持孔を有する Davis 陶歯をポストにセメント合着して製作する。

原法では陶歯が歯の根面と接する構造であったが、後に鑄造法が採用されて適合が向上した。歯冠部のほとんどの部分が陶材のため審美性に優れる。

**755 テーパー taper**

〔同義語〕軸面傾斜角

対向する軸面のなす角度。歯冠補綴装置の基本的な保持力はテーパーが平行に近いほど大きい。臨床的には形成操作や適合性およびセメント合着などの観点から、長軸に対して $2^{\circ}$ ~ $5^{\circ}$ が推奨されている。

**756 適合試験** てきごうしけん  
**fitness test**

静的あるいは動的な状態下での、補綴装置と口腔内諸組織との適合状態を検査すること。適合状態は、通常、白色のシリコンゴムやペーストなどのプレッシャー・インディケイティング・ペーストの被膜厚さにより判断される。

**757 適合試験材**→「プレッシャー・インディケイティング・ペースト」参照

**758 デジタルインプレッション**→「光学印象」参照

**759 デジタルデンチャー**  
**digital denture, digitally fabricated denture**

〔同義語〕CAD/CAM デンチャー

従来の製作法に代わりコンピューター支援により設計、製作された有床義歯。

**760 Duchange の指数**  
でゆしゃんじゆーしすう  
**Duchange's index**

ブリッジの設計において、抵抗性の良否の判定を目的として Duchange (1948) により提唱された係数。各歯の歯根表面積をもとに、各歯の咬合圧に対する支台



歯の抵抗 (R: resistance) とポンティックの疲労 (F: fatigue) を係数化したものであり、これを用いてブリッジの咬合圧に対する抵抗性を算出する。なお、延長ブリッジでは補足疲労 (FS: fatigue supplement) を考慮している。

→「補足疲労」参照

## 761 テレスコープクラウン

### telescopic crown

外冠と内冠とに分離できる構造をもつ二重の金属冠。両者の緊密な適合から生じる摩擦力あるいはくさび効果を利用して、部分床義歯や可撤性ブリッジなどの支台装置として応用される。その種類には内冠軸面が平行なパラレルテレスコープクラウンまたはシリンダーテレスコープクラウンと、咬合面に向かって円錐形に一定の傾斜角をもつコーヌステレスコープクラウンとがある。

## 762 天蓋開放型栓塞部

てんがいはいほうがたせんそくぶ

### buccal flange obturator

顎義歯の清掃性向上などのために、中空型栓塞部の天蓋部分を開放した構造の栓塞部。

→「栓塞部」, 「中空型栓塞部」参照

## 763 デンタルインプラント→「口腔インプラント」参照

## 764 Tench の間隙 てんちーかんげき

### Tench's space

全部床義歯の臼歯部人工歯排列法として上顎法を用いる場合に、上顎の犬歯と第一小臼歯の間に設ける 1.0 mm 前後の間隙。咬合構成時の 1 歯対 2 歯の関係の排列、上下顎顎堤の矢状対向関係による調節彎曲などの調整を容易にする目的で作られる。Tench (1925) により提唱された。

## 765 Tench のコア てんちーこあ

### Tench's core

〔同義語〕 Tench の歯型

重合後の義歯を正しく咬合器に再装着するために、埋没、重合前に採得される上顎人工歯列切縁・咬合面部の石膏による陰型。

## 766 Tench の歯型→「Tench のコア」参照

## 767 デンチャースペース

### denture space

天然歯の喪失によって口腔内に生じる、上下顎の顎堤間の義歯が占める空間。上部は上顎顎堤、硬口蓋、軟口蓋、下部は下顎顎堤、口底、内側部は舌、外側部は口唇および頬部によって取り囲まれている。

## 768 デンチャープラーク

### denture plaque

義歯表面に付着するプラーク。天然歯に付着するプラークに比べて、真菌、特に *Candida albicans* の占める割合が大きい場合がある。口臭、残存歯の齲蝕、歯周病、義歯性口内炎、誤嚥性肺炎などの原因となる。したがって、これらの疾病予防、健康の保持増進のためには、義歯用ブラシや超音波洗浄による機械的清掃に加えて、義歯洗浄剤による化学的清掃も大切である。

## 769 デンチャーマーキング

### denture marking

〔同義語〕 義歯刻印

有床義歯に患者の氏名などの情報を付与する操作。施設などにおける義歯の紛失などの防止および身元確認などの法医学的見地より有用である。情報を記入したプレートなどを義歯床内に埋め込む方法などがある。

**770 転覆試験** てんぶくしけん**tilting test**

咬合採得時やろう義歯試適時に咬頭嵌合位で咬合せた状態で、上下顎の咬合堤やろう義歯人工歯咬合面の間にスパチュラなどを挿入し床の動揺程度を観察して、適正な顎間記録を確認する方法。

**771 テンプレート****template**

1) 補綴装置製作時に、咬合平面や咬合彎曲を設定するための基準となる平面板、あるいは曲面板。

2) 即時義歯装着時に、抜歯後の顎堤形態と製作されている義歯の粘膜面形態との適合性を確認するために用いられる透明なプレート。欠損部を予測して形成した作業用模型上で製作し、抜歯後にこれを用いて加圧部を整形する。

**772 テンポラリーアバットメント****temporary abutment**

〔同義語〕 テンポラリーシリンダー

インプラントの術者可撤式暫間補綴装置製作に用いられるパーツ。インプラント体もしくはアバットメントに連結し、その周囲に即時重合レジンをを用いて歯冠形態を回復する。

**773 テンポラリークラウン**→「プロビジオナルクラウン」参照**774 テンポラリーシリンダー**→「テンポラリーアバットメント」参照

## と

**775 瞳孔線** どうこうせん**pupillary line**

顔を正面からみて、遠方を直視した時の左右瞳孔の中点を結んだ直線。咬合平面と平行であるため、義歯製作時の仮

想咬合平面をこれと平行に設定する。

**776 等高点** どうこうてん**isometric point**

〔同義語〕 トライポッドマーク

サベイヤー上であらかじめ設定した模型の三次元的な位置関係を再現するために、アナライジングロッドに垂直な一平面内で模型に記入された記号や線。通常、3 標点を描記する。

**777 陶材築盛法** とうざいちくせいほう**porcelain build up**

陶材粉末と蒸留水を細い筆やスパチュラを用いてガラス練板上で混和し、所定の形態に築盛する方法。コンデンスを加え、振動により過剰の水分を表面に浮き上がらせ、陶材粉末粒子を緊密に密着させ陶材を固めながら行う。コンデンス法には、彫刻刀の柄のギザギザで軽い振動を与える振動法、乾燥した陶材粉末をかけ、水を吸収してから、この粉末を筆で払い落とすブラッシュ法、築盛が終わったクラウンにさらに水を加え、ガーゼまたはティッシュペーパーで吸水する沈殿法、陶材の表面をスパチュラや彫刻刀の刃で圧迫しながら滑沢にするスパチュラ法、陶材表面を筆でなで表面に浮き上がる水分を吸水して粒子を圧縮するウィップ法などがある。

**778 陶材焼付冠** とうざいやきつけかん**porcelain fused to metal crown,****metal-ceramic crown**

〔同義語〕 陶材焼付鋳造冠、セラモメタルクラウン

鋳造、金属箔あるいはCAD/CAMにより製作したメタルコーピングに陶材を焼き付けた前装冠。単独歯冠補綴あるいはブリッジの支台装置として用いられる。

**779 陶材焼付鋳造冠**→「陶材焼付冠」参

照

**780 陶歯** とうし**porcelain tooth**

陶材で作られた人工歯。長所としては、色調・透明度とも天然歯に類似していること、耐摩耗性が高く長期間使用しても摩耗や咬耗がほとんど起こらないこと、色調が変わらないこと、などがあげられる。欠点としては、削合や調整がやや困難であること、削合量が多くなると破折しやすくなること、床用材料との結合には工夫を要すること、咀嚼時に咬合音を発すること、などがある。

**781 陶歯前装鑄造冠**

とうしぜんそうちゅうそうかん

**porcelain-faced cast crown**

審美性の改善を目的として鑄造冠の唇・頬側部にシェル状の陶歯をセメント合着したクラウン。陶材焼付冠の普及によりほとんど使用されなくなった。

**782 疼痛誘発テスト**

とうつうゆうはつー

**symptom provoking test**

一般的には咬頭干渉部位やブラキシズムによってできたと思われる咬耗面などでかみしめを行わせ、疼痛誘発の有無を調べる検査。割り箸などを片側後方臼歯でかませ、対側または同側の顎関節に疼痛を誘発するか、あるいは咬頭嵌合位でのかみしめ時に比べて軽減するかを調べる検査も含まれる。

**783 頭部後屈法**→「頭部後傾法」参照**784 頭部後傾法** とうぶこうけいほう**head tilting method for taking****maxillomandibular registration**

〔同義語〕頭部後屈法

すでに垂直的顎間関係の設定された上下顎咬合床を装着させた状態で、頭部を

後方に軽く傾けて下顎の前方偏位を制御しながら閉口させ、そのときの接触位を人工歯の咬頭嵌合位とする咬合採得法の1つ。

**785 DUMLの法則** どうむるーほうそく**DUML rule**

前方滑走運動時における干渉の削除部位を示す法則。上顎臼歯では咬頭の遠心斜面 (Distal of the Upper) を、下顎臼歯では咬頭の近心斜面 (Mesial of the Lower) を削除する。

**786 動揺度検査** [歯の]

どうようどけんさ [はー]

**tooth mobility test**

歯の動揺度を測定し、歯周組織の粘弾性的性質の変化や形態的变化を類推し、歯の骨植状態を診断する検査。ピンセットや手指で歯の動揺の程度を触知する方法、歪み計により定量的な変位量を測定する方法、強制荷重を与えて加速度計による周波数分析や音圧などから測定する方法がある。補綴装置の支台歯としての適否の指標に用いられる。

**787 トップダウントリートメント****top down treatment**

〔同義語〕補綴主導型インプラント治療

インプラント治療において、最初に目標とする最終上部構造の形態 (最終ゴール) を定め、想定した最終上部構造が得られるように、インプラント体の埋入位置や方向ならびに埋入本数を決めてから、インプラント体埋入手術や骨造成術などを行い、インプラント補綴に移行していく治療方法。理想的な上部構造を得るための治療計画を立てた後に、インプラント治療を遂行していくことから、補綴主導型インプラント治療 (restoration driven implant treatment) ともいう。

**788** トライポッドマーク→「等高点」参照

**789** ドライマウス→「口腔乾燥症」参照

**790** トランスファーコーピング

### transfer coping

〔同義語〕インプレッションコーピング、トランスファーインデックス (transfer index)、トランスファージグ (transfer jig)、トランスファーキャップ (transfer cap)

- 1) 歯列印象内に歯型を正確に位置づけることを目的として用いられる、常温重合レジンあるいは金属で製作されるキャップ。
- 2) インプラントのオープントレー用の印象用コーピングのうち、印象材内に取り込まれるボディ部。
- 3) アバットメントをインプラント体に正確な位置関係で接合するために用いるジグ。常温重合レジンあるいは金属で製作する。アバットメントポジショニングジグ (abutment positioning jig) ともいう。

→「ピックアップ印象」参照

**791** 取り込み印象→「ピックアップ印象」参照

**792** Dolder バー どるだー

### Dolder U-Bar

U字形のバーと、バーの全体を被覆するサドルから構成されるバーアタッチメント。維持力はバーとサドル間の金属摩擦で発揮される。

**793** トレーサビリティ

### traceability

〔同義語〕追跡管理

医薬品・農産物・食品・工業製品などの商品やその原材料・部品などを個別に記録し、生産から加工、流通、販売、廃

棄までの過程を各段階で記録することで、商品から履歴情報を確認できるようにすること。歯科では材料や部品、技工物などに求められている。

**794** Donders の空隙

どんだーすーくうげき

### space of Donders

下顎の安静時に舌背上部と硬・軟口蓋との間にみられる空隙。Donders (1875) によって、補綴装置の形態との関係などその臨床的重要性が指摘された。

**795** 遁路 とんろ

### spillway

- 1) 咬合面で粉碎された食物の排出路となる咬合面間の隙間。
- 2) 補綴装置合着時の浮き上がり防止のために付与される合着材の排出路。
- 3) レジン填入の際、余剰レジンを排出するために付与する溝。

## な

**796** 内冠 ないかん

### coping, inner cap, inner crown

テレスコープクラウンの一部であり、外冠と対になる支台歯側に装着される金属冠やセラミック冠。内外冠の緊密な接触が可撤性義歯の維持力として働く。

→「テレスコープクラウン」参照

**797** 内斜線 ないしゃせん

### internal oblique line

下顎骨筋突起前縁から下方へ走り、臼後三角の舌側を通り、顎舌骨筋線へ移行する骨の隆線。顎舌骨筋の付着していない部分に限定して用いられる場合や、顎舌骨筋線と同義として用いられる場合もある。臨床的には、外斜線とともに、臼歯部義歯床縁の位置を設定する場合の目

安として用いられる。

### 798 ナイトガード

#### occlusal device

ブラキシズムによる歯周組織への傷害を防止する目的で主に就寝時に装着する、歯の切縁および咬合面全体を被覆するオクルーザルアプライアンス様の装置。本装置の装着により上下顎の歯が直接接触することを防止できる。そのため、補綴装置の保護の目的で使用されることもある。

### 799 ナイフエッジ型 ーがた

#### knife edge type

ショルダーレス型のうちナイフの刃状に形成された支台歯歯頸部辺縁形態ならびに修復物辺縁形態。辺縁部は、フェザーエッジ型に比べて厚い。

### 800 ナソロジー

#### gnathology

1920年代に McCollum と Stallard らによって創唱された、顎口腔系のメカニズムを解剖学、生理学、病理学などを通して総合的に研究する学問。診断、治療、オーラルリハビリテーションの術式なども含まれる。

### 801 軟口蓋挙上装置

なんこうがいきょじょうそうち

#### palatal lift prosthesis (PLP)

口蓋床の後方へ延長した挙上子によって軟口蓋を挙上させて鼻咽腔閉鎖をしやすくし、音声の鼻音化や構音障害の発生を防止する装置。脳梗塞の後遺障害などの神経麻痺による軟口蓋の運動不全に適用される。

## に

### 802 ニアゾーン

#### near zone

歯の欠損側に隣接した支台歯の欠損側半分領域。この部分のアンダーカットの様相をクラスプの設計の指標とする Blatterfein (1951) によって提唱された。

→「ファーズゾーン」参照

### 803 二次固定 にじこてい

#### secondary splinting

可撤性補綴装置を介して支台歯相互の連結固定効果を発現させる方法。

### 804 二重同時印象

にじゅうどうじいんしょう

#### double mix impression

〔同義語〕積層一回印象

流動性の異なる同種のゴム印象材を同時に練和して採得する連合印象。代表的なものとしてはシリコーンゴム印象材のパテとライトボディタイプあるいはレギュラーボディタイプによる印象がある。

### 805 二重埋没法 にじゅうまいぼつほう

#### double investing method

1) ワックスパターン埋没法の1つで、ワックスパターン周囲に筆で泥状の埋没材を塗布し、その上から埋没材粉末をふりかける操作を数回繰り返して球状に硬化させ、残りを同種または異種の埋没材で二次的に埋没する方法。この方法は大きな硬化膨張を期待できる。

2) ろう義歯埋没法の1つで、重合後の取り出しを容易にするために、フラスク上部に石膏を注ぐ際に、人工歯部の石膏の硬化後に、残りの部分に石膏を注入する方法。

**806 二面形成** にめんけいせい**tooth preparation in two planes**

支台歯の唇側、頬側の軸面形成において、上部（切縁側・咬合面側）と下部（歯頸部側）が異なる2面をなすように形成すること。下部は維持力に、上部は構造的強度と審美性に影響する。

**807 ニュートラルゾーン****neutral zone**

無歯顎の口腔内において、口腔の諸機能時に頬、唇による内方への圧と舌による外方への圧とによって全部床義歯に加わる荷重が均衡化されると想定される領域。

**808 二腕鉤** にわんこう**two-arm clasp**

〔同義語〕両翼鉤

2つの鉤腕からなる環状鉤。通常、臼歯部に用いられ、3面4隅角を取り囲む。

**809 認知行動療法**

にんちこうどうりょうほう

**cognitive behavioral therapy**

行動療法と認知療法の総称。病気の予防や健康の維持増進のために不適切な行動を望ましいものに改善する治療法。歯科においては、歯列接触癖の治療法などに応用されている。

## ね

**810 Ney のクラスプ****Ney clasp, Ney's clasp**

Ney社によって開発されたNey Surveyor Systemの中で紹介され、金合金（NEY-ORO G-3 casting gold）を用いることを前提として設計された鋳造鉤。レスト付き二腕鉤（#1 clasp）、T型分割腕鉤（#2 clasp）、コンビネーションクラス

プ（#1-#2 combination clasp）、バックアクションクラスプ（back action clasp）、リバースバックアクションクラスプ（reverse back action clasp）、リングクラスプ（ring clasp）の6種からなる。

**811 粘膜支持**→「粘膜負担」参照**812 粘膜支持義歯**→「粘膜負担義歯」参照**813 粘膜負担** ねんまくふたん**tissue borne**

〔同義語〕粘膜支持

機能時に補綴装置に加わる力の大部分あるいは全部を顎堤粘膜が負担するという概念。

**814 粘膜負担義歯** ねんまくふたんぎし**tissue borne denture**

〔同義語〕粘膜支持義歯

機能時に発現する力を顎堤粘膜が負担する義歯。無歯顎症例、少数残存歯症例に対する有床義歯や、レストの設置されていない暫間義歯などがこれに相当する。

## の

**815 ノンパラレルピンテクニック****non parallel pin technique**

補綴装置を健康象牙質へねじ止める方法。ピンの方向が平行である必要がないため維持力は強大である。前歯部では舌面から水平方向にホリゾンタルピンを、臼歯部では咬合面へ垂直方向にパーティカルピンを使用する。

**816 ノンメタルクラスプデンチャー****non-metal clasp denture**

義歯の支台装置であるクラスプを義歯床用樹脂を用いて製作した部分床義歯のこと。現在、ポリアミド系、ポリエステル系、ポリカーボネート系、アクリル系、

ポリプロピレン系の樹脂が用いられている。人工歯を除く義歯全体を熱可塑性樹脂で製作するものと、金属構造を併用するものがある。一般にノンクラスプデンチャー、フレキシブルデンチャーなどと呼称される義歯は、定義上、ノンメタルクラスプデンチャーに含まれる。

## は

### 817 バー

#### bar

大連結子の1つで、部分床義歯の複数の構成部分を連結する棒状の金属部分。臨床的目安として、幅が8mm以下のものとされる。その適用部位によりパラタルバー、リングルバー、外側バーに分類され、また、製造法により鋳造バー、屈曲バーに分類される。

### 818 バーアタッチメント

#### bar attachment

離れた支台歯を連結固定するバーと、これを把持するために義歯側に設置されるスリーブからなる。緩圧型（可動性）のバージョイントタイプ（bar joint type）と非緩圧型（固定性）のバーユニットタイプ（bar unit type）がある。アッカーマンバーアンドクリップタイプアタッチメント、Dolderバー、Haderバーアタッチメントなどがある。

### 819 バー義歯 ーぎし

#### bar denture

- 1) 大連結子としてバーを応用した部分床義歯。
- 2) バーアタッチメントを維持・支持に用いたオーバーデンチャー。

### 820 パークラスプ

#### bar clasp

支台歯に近接する義歯床縁または連結子から起こり、歯槽部を支台歯に向かって横走するバー状の鉤腕をもつクラスプの総称。鉤腕は支台歯の頬側面または舌側面に向かって彎曲し、鉤尖が支台歯のアンダーカット域に適合する。鉤腕が歯面と接する部分の形態により、Iパークラスプ、Tパークラスプなどがある。

### 821 Hader バーアタッチメント

はーだー

#### Hader bar attachment

プラスチック製のバー、スペーサー、サドルから構成されるバーアタッチメント。バーは加熱して欠損部形態に適合するよう形態の修正が可能で、鋳造して金属に置き換える。義歯完成後にプラスチックサドルを挿入する。維持力の調節は不可であるが、維持力が低下した場合は簡単にサドルの交換が可能である。

### 822 ハードブローイング→「ブローイングテスト」参照

### 823 ハーフアンドハーフクラスプ

#### half and half clasp

環状鉤の1つで、支台歯の近遠心側にそれぞれ独立した体部とレストを有し、一方は頬側を他方は舌側を走行する鉤腕をもつクラスプ。孤立歯が適応症とされる。

### 824 ハーフクラウン

#### half crown

前歯・臼歯を問わず、歯面のほぼ1/2を覆うクラウンの総称。

### 825 バイトアプライアンス→「オクルーザルアプライアンス」参照

### 826 バイトゲージ

#### bite gauge

咬合高径の決定に用いられ、顔面の計測基準点間距離を計測する装置の総称。

Willis のバイトゲージ, 坪根式バイトゲージ (坪根政治) などがある。

**827 バイトトレ**

**bite tray**

上下顎の歯列および顎堤の印象と咬合採得とを同時に行う咬合印象用の既製トレイ。

**828 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウン** ーがたー

**hybrid composite resin crown**

→「レジンジャケットクラウン」参照

**829 廃用症候群** はいようしょうこうぐん  
**disuse syndrome**

〔同義語〕生活不活発病

特定の器官を長期間使用しないことによる廃用 (性) 萎縮が重なることで生じた機能低下の病態。口腔領域では, 歯の喪失により顎骨や筋に廃用の影響が及ぶことがある。

**830 ハウジング**

**housing**

1) ボックス型顎路を備えた咬合器において, 関節部についている箱形の顎路指導機構。この中に顎頭球 (コンダイル) が収まる。フォッサ・ボックスとも呼ばれる。

2) 一部のアタッチメントにおけるマトリックス部の別称。磁性アタッチメントでは磁石構造体の収納部分を指す。

**831 Pound ライン** ぱうんどー

**Pound's line**

〔同義語〕犬歯臼後隆起線

下顎犬歯近心隅角とレトロモラーパッドの舌側面とを結んだ仮想の直線。下顎全部床義歯において臼歯部人工歯を排列する目安となる。下顎全部床義歯で臼歯部人工歯の舌側咬頭が Pound ラインよりも舌側に排列されると, 舌房が狭くな

り, 舌感不良や義歯不安定などの不快事項が生じやすくなる。なお, 下顎犬歯近心隅角とレトロモラーパッドの頬側面・舌側面とを結んだ仮想の三角形を Pound 三角という。

**832 Passavant 隆起**

ばさばんとりゅうき

**Passavant's ridge, Passavant's pad**

嚥下や発声時に咽頭後壁に認められる水平の隆起。上咽頭収縮筋あるいは口蓋咽頭筋からなる輪状筋の収縮によって形成される。鼻咽腔閉鎖不全を呈する症例にみられることが多いが, その存在や形状には個人差が大きい。一時はスピーチエイドのバルブの高さの基準とされたが, 最近では, 鼻咽腔閉鎖運動時の最狭窄部は, そのやや上方であるとされている。

**833 鋏状咬合** はさみじょうこうごう

**scissors bite**

すべての上顎臼歯の舌側咬頭が下顎臼歯の頬側に鋏状に接触し, 上下顎の臼歯が正常に咬頭嵌合しない咬合。

**834 把持** はじ

**bracing**

補綴装置に加わる水平方向の成分に抵抗する作用。

**835 把持腕**→「拮抗腕」参照

**836 発音間隙**→「発音空隙」参照

**837 発音空隙** はつおんくうげき

**speaking space**

〔同義語〕発音間隙

発音時の上下顎歯列の咬合面間に生じる空隙。[s] 発音時にはこの空隙が最小となり (最小発音空隙, closest speaking space), 全部床義歯の咬合高径を決定する際の基準の1つとして用いられる。



**838 発音試験** はつおんしけん**phonetic test**

義歯の製作過程，あるいは装着時に，人工歯の排列位置や義歯床形態が患者の構音機能に調和しているか否かを検査する方法。パタグラムなどが用いられる。

**839 発音利用法** はつおんりようほう**phonetic method of measuring occlusal vertical dimension**

- 1) 咬合採得において，特定音を発音したときの顎位を利用して咬合高径を決定する方法。
- 2) 人工歯の排列位置の決定やろう義歯の歯肉形成などに際して，口唇や舌の構音動作を利用する方法。

**840 バックアクションクラスプ****back action clasp**

舌側面に鉤体部をおき，鉤腕がそこから欠損側隣接面，辺縁隆線部を通り，頬側面のファーゾーンのアンダーカット部に鉤尖がくるクラスプ。

**841 発声** はっせい**utterance**

喉頭から口腔および鼻腔までの声道の固有の部位を挟めたり閉鎖して，呼吸を利用して音を作る行動。

→「構音」参照

**842 パッシブフィット****passive fit**

複数のインプラント体で支持されスクリューにより固定される上部構造とアバットメント，あるいは上部構造とインプラント体の臨床的に理想的な適合状態を指す。上部構造がスクリューの締め付けによって変形し適合した状態を示すのではなく，あくまで，まったく力を加えなくても（パッシブに）良好な適合を指す状態をいう。

**843 バットジョイント****butt joint**

2つの構造物の互いの端と端とを重ねることなく接合することにより形成される継ぎ目。歯冠補綴装置では，支台歯に形成されたショルダー部とそこに装着された修復物で形成される継ぎ目。また，金属床義歯においては金属部とレジン部との接合部。インプラント体上面とアバットメント下面との接合部がインプラント体の長軸に垂直な平面どうして接合する接合様式のこともいう。

**844 馬蹄形パー** ばていけいー**horseshoe plate**

〔同義語〕ホースシューパー

上顎に応用されるU字形をした大連結子。口蓋前方から後方に向かって馬蹄形をなして走行する。臼歯部の両側性遊離端欠損症例などで口蓋隆起を避ける目的で用いられる。

**845 パトリックス****patrix**

2つパーツの組み合わせからなるアタッチメントの突起部分。マトリックス部の陥凹形態に適合するような凸状形態を有する。歯冠内アタッチメントでは可撤部に，歯冠外あるいは根面アタッチメントでは固定部に設定される。

**846 Hanau の咬合 5 辺形**→「Hanau の咬合 5 要素」参照**847 Hanau の咬合 5 要素**

はのうーこうごうごようそ

**Hanau's Quint**

〔同義語〕Hanau の咬合 5 辺形

全部床義歯の両側性平衡咬合成立における咬合の 5 要素〔顎路傾斜角，切歯路角，咬合平面，咬頭の高さ（傾斜），調節彎曲〕の量的関係を 5 辺形の中に表現し

たもの。

### 848 ハミュラーノッチ

#### hamular notch

上顎結節と蝶形骨翼状突起内側板の翼突鉤の結合部に形成された切痕。上顎結節の後方で上顎義歯床の後縁設定の目安となる。

### 849 バラタルストラップ

#### palatal strap

上顎に用いられる大連結子の1つで、バラタルバーを薄く、やや幅を広くした帯状の金属装置。バラタルバーと比較して異物感ならびに構音障害が減少し、支持機能の向上が期待できる。

### 850 バラタルバー

#### palatal bar

口蓋を走行するパーティプの大連結子。口蓋を左右方向に走行するものは、前後の設置位置により前バラタルバー、中バラタルバー、後バラタルバーに分類される。また、口蓋を前後方向に走行するものは、口蓋の側方に設置される側方バラタルバーと、口蓋正中部に設置される正中バラタルバーに分類される。

### 851 バラタルプレート

#### palatal plate

上顎に用いられる大連結子の1つで、口蓋を広範囲に被覆したもの。バラタルバーに比較して異物感が少なく、粘膜負担要素が多くなる。

### 852 バラタルランプ→「オクルーザランプ」参照

### 853 バラトグラム

#### palatogram

発音時に舌が口蓋に接触する範囲を示す図。同一の言語音ではほぼ一定の形となることから口蓋における調音点を知る方法。すなわち、義歯の適切な口蓋形態

の確認に用いられる。口蓋に墨や粉末を塗布して行う静的バラトグラムと、電極を利用するダイナミックバラトグラムとがある。

→「発音試験」参照

### 854 パラファンクション

#### parafunction

〔同義語〕非機能運動

習慣性の非機能的動作。顎口腔領域にみられる異常習癖には、ブラキシズム（クレンチング、グライディング、タッピング）、異常嚥下、咬唇、咬舌、弄指、弄舌、吸引などがある。

### 855 パラレルピンテクニック

#### parallel pin technique

ブリッジや連結装置の維持を平行な複数のピン（パラレルピン）とピンホールとの嵌合により求める方法。ピンホールを平行に形成するには市販の平行形成器や自作のツールを利用する。

### 856 バランシングランプ〔義歯の〕

ー〔ぎしー〕

#### balancing ramp [of denture]

全部床義歯における非解剖学的人工歯の排列に際して、下顎第二大臼歯、あるいは下顎最後臼歯の後部に形成された斜面。前方および側方運動時に咬合の平衡を保つために、上顎の最後臼歯咬合面の遠心端部を接触・滑走させるような形態とする。前歯部と両側のバランシングランプで咬合平衡を図る咬合様式をスリーポイントバランスという。Sears (1952)により提唱された。

### 857 Balkwill 角 ばるくういのかく

#### Balkwill angle

咬合平面と Bonwill 三角とのなす角。

### 858 バルブ型鼻咽腔補綴装置

ーがたびいんくうほてつそうち

**speech bulb**

口蓋床の後方へ延長したバルブによって、鼻咽腔閉鎖機能を補助する装置。口蓋裂や手術による軟口蓋欠損部に対して適用される。

**859 板(鉤) 鉤** ばんこう**band clasp**

20K 金属板を適当な大きさに切ってサベラインに沿って屈曲した板状のクラスプ。線鉤に比べて摩擦力が大きいが審美性に劣り、現在は使われていない。

**860 半固定性ブリッジ**

はんこていせいー

**fixed bridge with rigid and non-rigid connectors, movable fixed bridge, semifixed bridge**

支台装置とポンティックとの連結部の一方が可動性に連結されたブリッジ。

**861 半固定性補綴装置**

はんこていせいほてつそうち

**semifixed prosthesis**

〔同義語〕可動性補綴装置

補綴装置のうち、長大なブリッジや支台歯の平行性のないブリッジなどで、その一部に可動性の連結機構を含んだ装置。

**862 半固定性連結**

はんこていせいれんけつ

**nonrigid connection, semifixed connection**

ブリッジの連結部の一方を固定性にし、もう一方にキーアンドキーウェイなどのアタッチメント類を用いて可動性をもたせた連結。支台歯の平行性の確保が困難な場合に適用されることが多い。

**863 半自浄型ポンティック**

はんじじょうがたー

**semihygienic pontic**

自浄性、清掃性に基づくポンティック

形態の1つ。基底面の一部が顎堤粘膜に接触した後、徐々に粘膜から離れていく形態で、完全自浄型に比べれば自浄性・清掃性にやや劣るが、審美性・発音機能は優れる。偏側型、リッジラップ型、船底型などがこれに相当する。

**864 反対咬合** はんたいこうごう**reverse articulation**

咬頭嵌合位において、連続する3歯以上の被蓋関係が唇舌・頬舌的に正常とは逆である不正咬合。歯の位置異常によるもの(歯性)、顎位の異常によるもの(機能性)、顎骨の形態に基づくもの(骨格性)などがある。前歯部のは、下顎前突あるいは下顎近心咬合となり、臼歯部のみで発現したものは交叉咬合とも呼ばれる。ただし、いずれにおいても、1、2歯の場合には単なる転位として扱われる。

**865 半調節性咬合器**

はんちようせつせいこうごうき

**semiadjustable articulator**

調節性咬合器のうち、矢状顎路と非作業側の側方顎路の調節機構を備え、通常、それぞれの顎路を直線的に再現する咬合器。Hanau H2, Whip-Mix, Dentatus 咬合器などがある。

**866 パントグラフ****pantograph**

下顎限界運動を3軸6面に三次元的に記録する口外描記方式の下顎運動解析装置。その形態の特徴から、縮図器(パントグラフ)の名称がつけられた。この記録機構は、歯の接触を避けるために一点接触のクラッチにより咬合させ、それに接続された上顎フレームと下顎フレームから構成され、そのフレーム上の左右下顎頭部にそれぞれ2組、前方部に2組の

描記針と描記板とを備えている。Stuart (1955) と Denar (1970) のものが有名であり、それぞれ専用の全調節性咬合器とを組み合わせた臨床システムとなっている。生体の下顎運動を咬合器上に正確に再現し、可及的に口腔機能に調和した補綴装置の咬合面形態を得ることを意図したものである。

### 867 パントグラフ法 一ほう

#### pantographic recordings

顎運動の記録法の1つで、パントグラフを用いて、下顎運動路を水平面および矢状面に記録する方法。通常、この記録は全調節性咬合器の調節に用いられる。

### 868 反復唾液嚥下テスト

はんぷくだえきえんげー

#### repetitive saliva swallowing test (RSST)

非侵襲的かつ簡便に誤嚥の有無をスクリーニングする方法として広く用いられている方法。食塊のない状態で強制的に嚥下を惹起させた場合、どの程度嚥下運動が遂行されるかを評価するもの。験者の示指で被験者の舌骨、中指で甲状軟骨を触知した状態で唾液嚥下を指示し、30秒間の嚥下回数を数える。甲状軟骨が中指を乗り越えた場合に1回と判定し、3回未満の場合、精査を要する。

## ひ

### 869 被圧縮性 ひあつしゅくせい

#### tissue displaceability

- 1) 軟組織が圧迫された場合に組織が示すたわみ、または、加圧に対して生じる組織の沈み。
- 2) 粘膜が加圧により圧縮され、その厚さを減じる性質。

### 870 被圧変位 ひあつへんい

#### tissue displacement

歯あるいは粘膜が加圧により変形、移動すること。

### 871 被圧変位量 ひあつへんいりょう

#### amount of tissue displacement

一定時間で、単位面積あたり一定の荷重量を加えた場合の、歯あるいは顎堤粘膜の変位量。

### 872 ビーディング

#### beading

上顎の口蓋部において、義歯床や大連結子の外形に沿って作業用模型の当該部分に溝を形成する操作。義歯床縁の封鎖や舌感の向上を目的とする。模型の削除量は粘膜の被圧変位量により調節する。

### 873 ヒーリングアバットメント

#### healing abutment

2回法術式を用いるインプラント治療において、二次手術で歯肉粘膜を切開して露出させた骨内のインプラント体(フィクスチャー)に連結し、インプラント周囲の粘膜が治癒するまでの期間、暫間的に装着しておく円筒形の金属。チタンで成形されているものが多い。

### 874 鼻咽腔閉鎖機能検査

びいんくうへいさきのうけんさ

#### examination of velopharyngeal function

鼻咽腔閉鎖機能の診断を目的として行われる検査。咽頭部からの間接鏡検査、鼻腔からの直接ファイバースコープ検査、肺活量検査、鼻漏出気流計検査、ストローを用いたブローイングテスト、側方頭部エックス線規格写真の計測などがある。歯科補綴学分野では補綴装置の効果の判定、あるいは睡眠時無呼吸症候群の治療効果の評価・判定に用いられる。

**875** ピエゾグラフィー**piezography**

発音を利用して、舌、頬粘膜の水平的な圧を記録する方法で、Kleinら(1974)により提唱された。口腔周囲筋の活動を阻害しないデンチャースペース(ピエゾグラフィックスペース)を採得することにより、固有の人工歯排列位置を決定し、適正な義歯床研磨面形態を付与できる。

**876** 被蓋 ひがい**overlap**

上顎歯列が下顎歯列をひさし状に覆っている状態。水平的な被蓋(オーバージェット)と垂直的な被蓋(オーバーバイト)とに分けられる。健常者の理想的な咬合では、咬頭嵌合位において上顎歯列が下顎歯列を水平的にも垂直的にも覆っており、前・臼歯部の被蓋の程度は偏心運動時のアンテリアガイダンスや臼歯離開咬合、さらに臼歯部の咬頭傾斜などと密接なかかわりをもつ。

**877** 非解剖学的人工歯

ひかいぼうがくてきじんこうし

**nonanatomic tooth**

天然歯の形態を模倣せず、機能のみを重視した機械的形態の人工臼歯の総称。無咬頭人工歯、ブレード人工歯などが含まれる。

**878** 鼻下点 びかてん**subnasal point, subnasion**

皮膚上の鼻中隔最前方部と上唇の皮膚表面との交点。皮膚表面上の計測点で、咬合高径の決定時に標点の1つとして用いられることが多い。

**879** 鼻下点・オトガイ間距離

びかてんーかんきょり

**distance between subnasal and****gnathion**

鼻下点からオトガイ部までの距離。瞳孔から口裂までの距離と等しいとして、咬合高径を決定する際の目安になる。

**880** 非緩圧型アタッチメント

ひかんあつがたー

**rigid attachment**

義歯に加わる機能圧を支台歯に直接伝達するアタッチメントの総称。義歯と支台歯を強固に連結するタイプである。

**881** 非緩圧型維持装置 → 「非緩圧型支台装置」参照**882** 非緩圧型支台装置

ひかんあつがたしだいそうち

**rigid retainer**

〔同義語〕非緩圧型維持装置

支台歯と義歯を強固に連結する構造と作用をもつ支台装置。テレスコープクラウンや非緩圧型アタッチメントなどがある。

**883** 非機能咬頭 ひきのこうとう**nonfunctional cusp**

〔同義語〕剪断咬頭

機能咬頭に対する用語で、咀嚼運動中に対合歯の咬合面窩にかみ込まない咬頭。

**884** 非作業側 ひさぎょうそく**balancing side, nonworking side**

〔同義語〕平衡側

咀嚼運動時または側方滑走運動時ににおける下顎の外側方への移動側の反対側。

**885** 非作業側咬頭接触

ひさぎょうそくこうとうせつしよく

**balancing contact, balancing****occlusal contact**

非作業側における対合する歯の接触。従来、非作業側臼歯部での咬合接触は歯周組織や顎関節に有害作用を及ぼすと考えられてきたが、近年、強く咬合したと

きの非作業側臼歯部の咬合接触は機能的に重要であるとの考えがある。

### 886 非作業側側方顎路

ひさぎょうそくそくほうかる

#### lateral condylar path on balancing side

〔同義語〕 平衡側側方顎路

側方滑走運動時における非作業側下顎頭の運動経路。前下内方に移動し、その水平面内の運動は側方顎路角やサイドシフトを形成する。

### 887 非自浄型ポンティック

ひじじょうがたー

#### nonhygienic pontic

自浄性、清掃性に基づくポンティック形態の1つ。基底面全体が鞍状に顎堤粘膜に接触している形態で、審美性・発音機能は最も優れるが、自浄性はまったく期待できない。鞍状型や有床型がこれに相当し、可撤性ブリッジの場合に適用される。

### 888 微笑線 ひしょうせん

#### smiling line

微笑したときの下唇の彎曲線。上顎前歯人工歯を排列する際に切縁の彎曲位置の基準となる。

→「笑線」参照

### 889 鼻唇角 ひしんかく

#### nasolabial angle

側貌の審美性に関与する鼻柱点、鼻下点および上唇点を結んでできる角度。義歯患者では人工歯の前後的位置・唇舌的傾斜や床翼の厚み、床縁の位置と形態に影響され、義歯によるリップサポートの評価に用いることができる。

### 890 鼻唇溝 ひしんこう

#### nasolabial groove, nasolabial sulcus

鼻翼の外側縁から口角の外側縁に向かって走る顔の表面にある浅い溝。起始部が頬骨、停止部が口角部の口輪筋内にある頬骨筋が、笑った際などに口角を挙上してできる溝で、表情に応じてその形態は著しく変化する。無歯顎患者において上顎義歯による上唇の支持がないと鼻唇溝は深くなるため、義歯に適正な豊隆を付与して年齢に応じた自然な形態を回復する必要がある。

### 891 鼻息鏡 ひそくきょう

#### snort mirror

呼気鼻漏出の判定に用いる器具である。これを使用した鼻息鏡検査は鼻咽腔閉鎖機能のスクリーニングに用いられる。冷やした鼻息鏡を鼻下に置き、単音の発音やソフトブローイングをさせて、鏡が曇った範囲から呼気鼻漏出の程度を評価する。

### 892 非咀嚼側 ひそしゃくそく

#### nonmasticatory side

上下顎歯列間に食物を挿入して咀嚼する側（咀嚼側）の反対側。非作業側に対応する用語として扱われることもあるが、非咀嚼側は食物を咀嚼していない側として規定されるのに対し、下顎はその方向に運動して作業側となることもあるため同義語とはいえない。

### 893 ピックアップ印象 いしんしょう

#### pickup impression

〔同義語〕 コーピング印象、取り込み印象  
クラウンやブリッジあるいはフレームワークや印象用コーピングなどを支台歯やインプラント上に装着した状態で印象採得を行い、補綴装置などを印象体の中に取り込む印象法。

#### ピックアップ印象【インプラントの】

インプラントの上部構造を製作するた

めの印象採得法で、印象用コーピング(トランスファーコーピング)や上部構造の一部をインプラント体やアバットメントに連結した状態で精密印象を採得し、印象内に印象用コーピングや上部構造の一部を取り込む印象法。

### ピックアップ印象[クラウンブリッジの]

クラウンブリッジにおける歯型可撤式模型を製作するための印象採得法の1つで、歯型に適合するトランスファーコーピングを口腔内の支台歯に装着し、歯列全体の精密印象を採得する際に、トランスファーコーピングを印象内に取り込む印象法。トランスファーコーピングを使用することから、コーピング印象(coping impression)ともいう。

### ピックアップ印象 [有床義歯の]

1) 部分床義歯の支台装置(維持装置)をキャストオン法で製作するための印象採得法で、口腔内の支台歯にクラウンを試適し、義歯を製作するための精密印象を採得する際に、クラウンを印象内に取り込む印象法。

2) 可撤性床義歯を修理するための印象採得法で、口腔内に義歯を装着した状態で印象採得を行い、義歯を印象内に取り込む印象法。

### 894 HIP プレーン ひっぷー

#### hamular-notch incisive papilla plane (HIP plane)

左右のハミュラーノッチと切歯乳頭中央点を含む平面。咬合平面に平行であるとされている。Cooperman (1975) により提唱された。

### 895 ビデオ嚙下造影→「嚙下造影検査」参照

### 896 ビデオレントゲン検査→「嚙下造影検査」参照

### 897 被覆冠 ひふくかん

#### coverage crown, veneer crown

歯冠補綴装置の中で、歯冠の全部あるいは一部を被覆することによって歯の形態・機能・審美性を回復する補綴装置の総称。全部被覆冠と部分被覆冠とがあり、材料としては、金属、陶材、レジンなどがある。

### 898 描記針 びょうきしん

#### stylus

ゴシックアーチなどの描記法において描記板上に下顎運動路を描くための突起。口内法ゴシックアーチ描記装置では、これがセントラルベアリングスクリューを兼ねている。

### 899 描記板 びょうきばん

#### tracing plate

ゴシックアーチなどの描記法において描記針によって下顎運動路が描かれる板。

### 900 標示線 ひょうじせん

#### line of reference

前歯欠損症例における咬合採得の最終段階で、上下顎咬合堤の唇側面に記入される人工歯選択および排列の基準となる線。歯列の正中線、口角線、鼻幅線、上唇線および下唇線がある。

### 901 鼻翼幅 びよくふく

#### nasal width

無歯顎患者の上顎前歯人工歯の幅径を決定する際に利用する鼻翼の幅径。鼻翼の外側からの垂線(鼻幅線)が上顎犬歯尖頭を通るとされる。

### 902 ヒンジアキシスロケーター

#### hinge axis locator

左右の蝶番点を試行錯誤的に探索するための超軽量のフェイスボウ。クラッチに取り付けるアンテリアクロスバー(anterior cross-bar)と、指針を上下・前

後に微動できるレジストレーションアーム (registration arm) から構成される。Lauritzen (1961) によって考案された。

### 903 ヒンジ型アタッチメント ーがたー

#### hinge attachment

垂直遠心回転 (蝶番運動) を許容し、他の運動を制限している歯冠外アタッチメントの1つ。義歯に加わる咬合圧は、主に遠心部において粘膜、近心部において歯根膜で負担する。

### 904 ヒンジボウ

#### hinge bow

左右側の蝶番点と前方基準点からなる基準平面に対する上顎歯列の位置関係を咬合器にトランスファーするためのフェイスボウ。Stuart がフェイスボウに調節機構を付与したのとして紹介した。

### 905 ピンテクニック

#### pin technique

補綴装置の主たる維持を金属ピンとピンホールとの嵌合に求める方法。歯質削除量が少ない利点があり、欠損歯の補綴や動揺歯の固定に応用される。複数のピンホールが平行なパラレルピンテクニックと非平行なノンパラレルピンテクニックとがある。

### 906 ピン陶歯 ーとうし

#### pin porcelain tooth

〔同義語〕有釘陶歯

ピンによる維持機構を有する人工陶歯。有床義歯用とクラウンブリッジ用とがある。有床義歯用のものは、義歯床との機械的維持力を増すために、前歯では舌側面に、臼歯では基底面にピンが設けられている。クラウンブリッジ用は、ピンの長さによってショートピン陶歯とロングピン陶歯に区別されるが、いずれも現在ほとんど使われていない。

### 907 ピンレッジ

#### pinledge

前歯舌面に形成した複数のピンホールに適合させた鑄造ピンに主たる維持を求めた部分被覆冠。ピンの基部に階段状のレッジ (ledge) とくぼみ状のニッチ (niche) を形成し、咬合力による変形に抵抗させる。歯質削除量が少ないため金属の露出がなく審美性に優れている。ブリッジの支台装置や動揺歯の固定装置に応用される。通常、有髄歯に適用される。

ふ

### 908 ファーゾーン

#### far zone

歯の欠損側に隣接した支台歯の非欠損側半分領域。Blatterfein (1951) によって提唱された。

→「ニアゾーン」参照

### 909 ファイバーポスト

#### fiber-reinforced composit resin post, fiber post

ガラス、石英などの繊維をアクリル系有機マトリックスで束ねたものであり、弾性係数が象牙質に近い。ポスト尖端に応力を生じにくいといわれている。審美性の面から白色、半透明のグラスファイバー、石英ファイバーが主流となっている。

### 910 フィクスチャー→「インプラント体」参照

### 911 Fischer 角 ふういっしゃーかく

#### Fischer's angle

矢状面に投影された前方運動の顎路と側方運動時の非作業側顎路とのなす角。

### 912 フィニッシュライン

#### finish line



- 1) 支台歯形成面の辺縁。
- 2) 金属床義歯におけるレジンとフレームワークとの接合境界線。義歯床研磨面では外側フィニッシュライン (external finish line)、義歯床粘膜面では内側フィニッシュライン (internal finish line) と称する。物理的強度の確保や触感的、衛生的に支障のない円滑な移行面を形成するために、断面はステップ状 (バットジョイント) に形成される。

### 913 フェイスボウ

#### face-bow

頭蓋あるいは顎関節に対する上顎歯列 (人工歯列を含む) の三次元的位置関係を咬合器上で再現するために用いる器具。左右の後方基準点と前方基準点を示す3本のポインターと、上顎歯列や咬合堤をフェイスボウに連結するためのバイトフォーク (bite fork) を組み込むためのフレームから構成される。Snow (1899) によって創案された。

### 914 フェイスボウトランスファー

#### face-bow transfer

フェイスボウによって、2つの後方基準点と1つの前方基準点からなる平面で位置づけられた上顎模型を咬合器に付着する一連の操作。これにより、生体の下顎頭の開閉軸と咬合器の開閉軸とが一致することになる。

### 915 フェザーエッジ型

#### feather-edge type

ショルダールレス型のうち最も菲薄に形成された支台歯歯頸部辺縁形態ならびに修復物辺縁形態。辺縁部はナイフエッジ型よりもさらに薄く、精密鑄造加工にはあまり適さない。板金加工用 (帯環金属冠用) に形成された支台歯辺縁形態に対応する伸展修復物の辺縁形態として用い

られていた。

### 916 フェルール

#### ferrule

失活歯の歯冠修復において、歯冠補綴装置が支台歯フィニッシュラインの歯冠側に存在する健康な歯質に適合し、残存歯質を抱え込む部分。フィニッシュラインの上に高さ約2mm以上の健康な残存歯質があると、その周囲をクラウンがリング状に把持し、歯根破折を防止する効果 (フェルール効果、帯環効果) がある。

### 917 複製印象

#### duplicate impression

- 1) 有床義歯における耐火模型を製作するための技工用の印象。
- 2) クラウンブリッジ、有床義歯ともに変形や破損を避けたい作業用模型や補綴装置を正確に複製するための印象。

### 918 複合欠損

#### tooth-bounded and free-end missing

歯列の部分欠損症例において、中間欠損と遊離端欠損が混在するもの。

### 919 副歯型式模型

#### ふくしけいしきもけい

#### definitive cast with individual die

クラウンやブリッジを製作する場合に用いられる作業用模型で、歯型と歯列模型との分離・結合様式から分類したものの1つ。副歯型 (individual die) と歯型固着式模型の両方を用いる模型。修復物の内面と辺縁は副歯型で、支台相互および隣接歯や対合歯との関係は歯型固着式模型で調整するので、正確なワックスアップや模型上での調整が可能である。

### 920 複製義歯

#### duplicate denture

第一の義歯を複製した第二番目の義

歯。通常、使用中の義歯などの既存の義歯を複製し、これを改造して治療用義歯や診断用義歯とすることが多い。

**921 複製模型** ふくせいもけい

**duplicate cast**

作業用模型と同一模型を保存するためや、鋳造床などの製作過程で使用する耐火模型を製作するために、作業用模型を印象して複製した模型。

**922 フック**

**hook**

部分床義歯の安定を得る目的で支台歯間線を挟んで義歯床とは反対側の2本の切縁隅角部に設置される切縁レストのような補助支台装置の1つ。小連結子により義歯床または大連結子に結合され、単独では維持力を発揮しないが、義歯の動きに抵抗して義歯を安定させる点で間接支台装置でもある。義歯の沈下に伴ってフックがくさび作用を発揮して歯間離開を起こすことがある。

**923 不動粘膜** ふうどうねんまく

**attached mucous membrane**

咀嚼・発音・嚥下などの機能時にも移動、変形しない粘膜。

**924 船底型ポンティック**

ふなぞこがたー

**spheroid pontic**

基底面が楕円形で歯槽頂部の粘膜と点状に接触する形態のポンティック。

**925 部分義歯** ぶぶんぎし

**partial denture**

1) 残存歯またはインプラントを支台とする、歯列の一部欠損に適用される義歯。支台歯に固着される固定性部分義歯 (fixed partial denture ; 固定性ブリッジ) と、任意に着脱できる可撤性部分義歯 (removable partial denture ; 可撤性ブ

リッジ、部分床義歯) とがある。

2) 部分床義歯と同義。部分義歯の用語は定着しておらず、removable partial denture と partial denture とは歴史的にも長い間混同されてきたが、partial denture を有床義歯に限定した用語とするものは、本来誤用である。

**926 部分床義歯** ぶぶんしょうぎし

**removable partial denture**

〔同義語〕 局部床義歯

歯列内の部分的な歯の喪失と、それに伴って生じた歯周組織や歯槽突起の実質欠損の補綴を目的とした、残存歯またはインプラントを支台とする有床可撤方式の義歯。少数歯欠損から1歯残存に至るあらゆる欠損の症例に適用され、多様性に富む。

**927 部分床義歯補綴学**

ぶぶんしょうぎしほつつかく

**removable partial prosthodontics**

〔同義語〕 局部床義歯補綴学

歯科補綴学の一分科で、歯列内の部分的な歯の喪失、関連組織の実質欠損、また、それらによる異常を部分床義歯によって修復・整形し、損なわれた機能と外観を回復させるとともに、患者の健康の維持・増進を図るために必要な理論と技術を考究する学問。

**928 部分被覆冠** ぶぶんひふくかん

**partial coverage crown, partial**

**veneer crown**

歯冠補綴装置の中で、歯冠の一部を人工物で被覆するもの。主にブリッジの支台装置として用いられるが、単冠や動揺歯の固定装置にも応用される。通常、有髄歯に適用され、代表的なものに、ピンレッジ、3/4冠、4/5冠、7/8冠、プロキシマルハーフクラウンがある。

**929** ブラキシズム**bruxism**

咀嚼筋群が何らかの理由で異常に緊張し、咀嚼・嚥下・発音などの機能的な運動と関係なく、非機能的に上下顎の歯を無意識にこすり合わせたり（グライディング）、くいしばったり（クレンチング）、連続的にカチカチとかみ合わせる（タッピング）習癖。顎関節症の原因の1つとされている。

**930** ブラックトライアングル**interdental gingival space, black triangle**

歯周疾患，外傷性要因，機械的・化学的要因あるいは歯冠長延長術によって生じた歯間部軟組織の喪失により生じた空隙。前歯部では三角形の空間となり，暗くみえるためその名がある。審美障害の原因の1つとなる。

**931** プラットフォーム[インプラントの] **implant platform**

〔同義語〕インプラントプラットフォーム  
一般的には，辺縁骨レベルのインプラント体の頂部でアバットメントとの接合面。平面あるいは斜面形状のものがある。

**932** プラットフォームシフティング **implant platform shifting**

〔同義語〕プラットフォームスイッチング  
インプラント体上面の直径よりも小径のアバットメントを使用し，インプラントネック部周囲の骨吸収を防ぐテクニック。

**933** プラットフォームスイッチング→「プラットフォームシフティング」参照**934** フラビーガム**flabby tissue, flabby gum**

顎堤に発現する可動性の大きい粘膜組織。歯槽骨の吸収と粘膜の肥厚および粘

膜下組織の線維性増生がみられるが，不適切な義歯の長期使用による慢性的な機械的刺激が原因とされる。上顎前歯部が好発部位である。

**935** フランクフルト平面 —へいめん**Frankfort horizontal plane**

水平基準面の1つであり，左右側いずれかの眼点（orbitale；眼窩点ともいい，眼窩下縁最下点を指すが，側方頭部エックス線規格写真法などの骨組織上では，両側眼窩の最下点の中央点を意味する）と両側の耳点（porion；耳珠上縁点を指すのが普通であるが，頭部エックス線規格写真法では，外耳孔の最上縁の点を指す）とを結んでできる平面。

フランクフルト（ドイツ）で開催された会議（1882）で採択された。なお，フランクフルト線（ドイツ水平線；左右側いずれかの眼窩点と耳珠上縁点を結ぶ線）と鼻聴道線（Camper線；左右側いずれかの鼻翼下縁と耳珠上縁とを結ぶ線）とは約10°の角をなす。

**936** フランス式埋没法

## —しきまいぼつほう

**French flasking technique**

人工歯，支台装置，連結子のすべてをフラスク下部に固定するろう義歯のフラスク埋没法。それらの義歯床粘膜面に対する浮き上がりを防止するには有効であるが，流ろうやレジン填入操作がやりにくいのが欠点とされる。

**937** ブリッジ**fixed partial denture, bridge**

少数歯欠損に対し，残存歯またはインプラントを支台歯として連結補綴することにより，形態・機能・審美性を回復する補綴装置。支台装置，ポンティック，連結部とで構成される。支台装置とポン

ティックとの連結方法の違いにより、固定性ブリッジ、半固定性ブリッジ、可撤性ブリッジに分類される。

**938 BULLの法則** ぶる一ほうそく

**BULL rule**

下顎側方滑走運動時の作業側咬頭干渉を除去する部位を示す法則。支持咬頭の機能を維持するために、上顎臼歯では頬側咬頭内斜面 (Buccal of the Upper) を、下顎臼歯では舌側咬頭内斜面 (Lingual of the Lower) を削合する。Schuyler (1935) によって提唱された。

**939 フルジルコニアクラウン**→「モノリシックジルコニアクラウン」参照

**940 フルバランストオクルージョン**  
**fully bilateral balanced occlusion, balanced occlusion, fully balanced occlusion (articulation)**

両側性全面平衡咬合。側方滑走運動時および前方滑走運動時に、作業側の歯だけでなく、前歯も含めた非作業側の歯における上下顎の対応する咬合小面が、全面に接触滑走し、咬合の平衡が保たれる咬合様式。全部床義歯に与えられる咬合様式の1つである。

**941 フルメタルクラウン**→「全部金属冠」参照

**942 フレアアウト**  
**flare out**

臼歯の咬耗・咬合崩壊により咬合高径が低下したため、前歯部が唇側に傾斜し歯間離開を生じた状態。

**943 ブレードインプラント**  
**blade implant**

顎骨内に固定される板状のブレード部、その上の軟組織を貫通するネック部、および口腔内に露出するアバットメ

ントとしてのヘッド部から構成される口腔インプラント。

**944 ブレード人工歯** ーじんこうし  
**metal insert teeth**

非解剖学的人工歯に属する、咬合面に金属製の刃 (ブレード) をつけた人工臼歯。機能面、特に咀嚼能率と義歯の安定性とを追及した機械的人工歯で、咬合接触面積を減少させるために、ブレードが対合人工歯に設置した金属テーブルに接するように製作される。Sosin のブレードメタル臼歯や Levin のメタルインサートヘッドティースなどがある。

**945 フレームワーク**  
**framework**

- 1) 前装冠において、前装材を保持する金属の骨格部分。メタルコーピングと同義。
- 2) 金属床義歯において、支台装置、連結子、維持格子からなる金属の骨格部分。これらは通常、一塊鋳造される。義歯全体の強度と適合性が高まり、体積も小さく、異物感も少なくなる利点がある。

**946 プレッシャー・インディケイティング・ペースト**

**pressure indicating paste (PIP)**

〔同義語〕 適合試験材、適合検査材

口腔内諸組織などに対する補綴装置の適合状態を検査するための材料。白色のシリコンゴムやクリームタイプの材料がある。

→「適合試験」参照

**947 フレンジ**→「床翼」参照

**948 フレンジテクニク**  
**flange technique**

Lott と Levin (1964) により提唱されたもので、義歯の維持・安定を得るため、義歯床翼部 (フレンジ) の形態を周囲筋

の生理的な運動により形成印象し、人工歯列弓と義歯床研磨面の形態を決定する方法。

#### 949 ブローイングテスト

##### blowing test

鼻咽腔閉鎖機能検査法の1つであり、ソフトブローイングとハードブローイングがある。前者はコップに水を入れ、ストローで静かにできるだけ長く泡立つように吹かせ、持続的呼気時間を測定する。後者は巻笛やラッパを思い切り吹き、呼気鼻漏出を判定する。

#### 950 プロキシマルハーフクラウン

##### proximal half crown

白歯歯冠の隣接側のほぼ1/2を覆い、咬合面中心溝の部分では反対側の小窩を含む鳩尾形窩洞が設計された部分被覆冠の1つ。主にブリッジの支台装置として、通常、下顎有髄大白歯に用いられ、近心傾斜歯や遠心部の萌出が不十分な歯などに適用される。

#### 951 ブロックアウト

##### block-out

ワックスや石膏などを用いて模型上のアンダーカットを塞ぐ操作。

#### 952 プロビジョナルクラウン

##### provisional crown

〔同義語〕 暫間被覆冠、テンポラリークラウン

プロビジョナルレストレーションの中で製作される単独冠。ブリッジとして製作される場合は、プロビジョナルブリッジという。

#### 953 プロビジョナルレストレーション

##### provisional restoration

歯冠補綴装置の製作に際し、形成された支台歯を暫間的に被覆するクラウンやブリッジ。診断や治療方針の確認、支台

歯の保護、歯周環境の改善、咬合の保持、審美性の回復を目的とする。

#### 954 分割印象 ぶんかついんしょう

##### sectional impression

単一の印象が不可能、あるいは望ましくない場合に適用され、複数の部分から構成される印象。歴史的には石膏やモデリングコンパウンドなどの非弾性印象材を用いる場合には不可避な方法であったが、現在では特殊印象法の1つである。この場合に用いる印象用トレーを分割トレーと呼ぶが、一般的にはそれぞれのトレーに異なる印象材を用い、撤去後、口腔外でそれらを組み合わせて一塊の印象とする。フラビーガムと正常な顎堤部など、被圧変位量の異なる部分の印象圧を適切にコントロールすることを目的とする場合と、一塊の印象を口腔外に撤去することが不可能な症例に用いる場合がある。後者では、義歯自体も分割義歯となることが多いが、顎義歯で頻用される。

#### 955 分割可撤式模型→「分割復位式模型」

参照

#### 956 分割義歯 ぶんかつぎし

##### sectional denture

複数の部分に分かれ、口腔内でそれらを組み合わせて利用される義歯。小口症、開口障害などのために、通常の補綴装置の着脱が物理的に困難な場合や、欠損部の顎堤の吸収が高度な症例に適用されたブリッジの複雑な形態のポンティック部を可撤式とする場合、維持のためアンダーカットを積極的に利用する場合などに利用される。

#### 957 分割コア ぶんかつこー

##### interlocking core

平行でない複数の根管を利用する場合、複数部分に分割して製作する築造体。

**958 分割式模型**→「分割復位式模型」参照

**959 分割歯型式模型**→「分割復位式模型」参照

**960 分割トレー** ぶんかつ—

### sectional impression tray

分割印象に用いる特殊なトレー。石膏印象用には既製トレーも存在したが、現在、分割トレーと呼ばれるものは基本的にすべて個人トレーである。通常は2分割であり、通常のトレー材料で製作されたトレー本体と、それらを連結するジグ部分とから構成される。ただし、概形印象には既製の局部トレーを組み合わせて利用することもある。

**961 分割復位式模型**

ぶんかつふくいしきもけい

### definitive cast with divided die

〔同義語〕分割可撤式模型，分割式模型，分割歯型式模型

クラウンやブリッジを製作する場合に用いられる作業用模型で、歯型と歯列模型の分離・結合様式から分類した可撤式模型の1つ。歯列模型から分割歯型 (divided die) の部分を分割して、着脱可能にした模型。

**962 分割腕鉤** ぶんかつわんこう

### divided arm clasp

Ney 社から発表された鑄造鉤の1つ。レスト付き二腕鉤の2本の鉤腕とレストがそれぞれ独立し、脚部で連結している形態で、支台歯の咬合面、頬・舌側面に設定されるクラスプ。一腕のみが分割されるものと、二腕とも分割されるものがある。義歯の沈下および上方への脱離に対しては抵抗するが、横揺れに対する抵抗は期待できない。

**963 分散強化型ガラスセラミックス**

ぶんさんきょうかがた—

### dispersion-strengthened glass ceramics

オールセラミック素材の中で、ガラス内部に石英やアルミナ、リューサイト、マイカ、2ケイ酸リチウムなどの高硬度の粒子が20~40%配合されたもので、1,000°C以上の高温で溶解し、焼成される。



**964 ヘアピンクラスプ**

### hairpin clasp

欠損側に体部をおき、頬・舌側面の鉤腕を中央部付近で方向を反転させてニアゾーンのアンダーカット部に鉤尖をおいたヘアピン状のクラスプ。Roach により提唱された。

**965 平均値咬合器**

へいきんちこうこうき

### average value articulator

顆路角 (傾斜)，切歯路角 (傾斜)，Balkwill 角，顆頭間距離などの顎運動の各要素を解剖学的平均値に固定した咬合器。

**966 平均的顆頭点**

へいきんてきかとうてん

### arbitrary hinge position

平均的な下顎頭の位置に基づいて皮膚上に設定される顆頭点。フェイスボウトランスファー時の後方基準点として利用される。その具体的な位置に関しては、Gysi による耳珠上縁と外眼角を結ぶ線上で外耳道の前方 13 mm の点、Lundeen によるその下方 3 mm の点、Hanau によるフランクフルト平面上で外耳道の前方 12 mm の点、など諸説がある。

**967 平行形成器** へいこうけいせいき**parallelometer**

ブリッジやピンレッジの支台歯形成において、口腔内でそれらの平行関係を機械的に規制して、形成操作を容易とする器具。支台歯以外の天然歯に固定源を求め、それに切削器具を連結して、平行運動だけを可能とする機構のものが主であるが、タービンヘッドの先端に装着して、タービンバーの方向を視覚的に判定するだけの簡便な機構のものもある。

**968 平衡咬合** へいこうこうごう**balanced articulation (occlusion)**

中心位（中心咬合位）および偏心位において、力学的に安定した状態にある咬合状態。天然歯列について用いられることもあるが、本来は義歯の咬合を記述する用語であり、片側性平衡咬合と両側性平衡咬合とがある。

**969 平衡咬合小面**

## へいこうこうごうしょうめん

**balancing occlusal facet**

Gysiの軸学説および咬合小面学説に従って、フルバランストオクルージョンを付与する目的で人工歯咬合面に形成する咬合小面の1つ。非作業側への側方滑走運動時に接触する面であり、下顎臼歯では頬側咬頭内斜面、上顎臼歯では舌側咬頭内斜面に発現する。

**970 閉口障害** へいこうしょうがい**difficulty in closing mouth**

閉口動作において咬頭嵌合位あるいは本来の閉口位に閉口できない状態。外傷などによって顎関節部に炎症が生じ、疼痛や炎症性の浮腫などのために閉口が困難である場合や、顎関節の脱臼や亜脱臼によって閉口が困難となる場合などがある。関節円板の後方転位が下顎頭の後方

移動を妨げる一時的な閉口障害をオープンロック（open lock）というが、亜脱臼との区別は明確ではない。

**971 平行切削器** へいこうせつさくき**parallelometer**

ミリングによって、テレスコープクラウンやバーなどの自家製アタッチメントを製作するために用いる精密な技工用切削器。サバイヤー部、模型固定台、切削用回転部、動力部などから構成されている。コーヌスクローネ製作用のHUGパラレロメーターを始め、数種類の製品がある。

**972 平衡接触** へいこうせつしよく**nonworking-side occlusal contact, balancing occlusal contact**

側方滑走運動時の非作業側における歯の接触。アンテリアガイダンスやグループファンクションの干渉となる場合は望ましくないとされ、全部床義歯において平衡咬合を構成する場合は望ましい接触とされる。

**973 平衡側**→「非作業側」参照**974 平衡側側方顎路**→「非作業側側方顎路」参照**975 平行測定** へいこうそくてい**parallel check**

1) ブリッジの支台歯形成時に各支台歯間の平行性を確認する検査。大型ミラー、口腔内写真撮影用ミラーを用いて咬合面側、切縁側、唇・頬側、舌・口蓋側から支台歯全体をみて、すべてのマージン部にアンダーカットがなく、平行性があることを口腔内あるいは作業用模型上で確認する。専用のノギス状のインストルメント、平行測定器もある。

2) 部分床義歯の製作時に、サバイヤー

を用いて歯列模型上の歯および軟組織の平行性を調べる検査。

**976 平行測定器** へいこうそくていき  
**parallelometer**

クラウンやブリッジの製作に際し、支台歯の形成面のテーパーの判定、複数のピンホールやポスト孔などの平行性の確認、各部のアンダーカットの検査などに用いる器具。臨床、技工いずれの現場でも利用されるが、ノギス状のものやデンタルミラーに平行線を刻印したものなどがある。

**977 平行模型** へいこうもけい  
**parallel cast**

上下顎模型の基底面を咬合平面と平行に、正中口蓋縫合線を模型の正中に一致させて製作した石膏模型。

**978 平線咬合器**  
**plane line articulator**

→「蝶番咬合器」参照

**979 Bennett 運動** べねつとうんどう  
**Bennett's movement,**  
**laterotrusion**

下顎側方運動における作業側下顎頭の側方移動。Bennett (1908) により提唱された。作業側下顎頭は下顎側方運動時の回転中心となり、下顎全体は側方移動する。その際の作業側下顎頭の移動範囲は、上下前後のいずれか外方約 1 mm で約 60° の円錐形内である。

**980 Bennett 角**→「側方顎路角」参照

**981 ベベル型** ーがた  
**bevel**

支台歯の歯頸部辺縁形態ならびに修復物辺縁形態の 1 つ。歯軸に対して外開きの斜面を与えた形態。通常、ベベル型単独で用いることは少なく、ショルダー型に幅の小さいベベルを付与したベベル

ショルダー型や、ヘビーシャンファア型にベベルを付与したベベルドシャンファア型 (beveled chamfer type) として応用されることが多い。

**982 ベベルドショルダー型** ーがた  
**beveled shoulder type**

支台歯の歯頸部辺縁形態ならびに修復物辺縁形態の 1 つ。ショルダーの外縁に小さい幅のベベルを付与した形態。ショルダー型の欠点であるセメント合着時の浮き上がりによる辺縁部の適合不良を補正するために、前装冠の唇 (頬) 側辺縁などに応用される。ただし、ジャケットクラウンのように縁端強度の弱い材料のものには応用できない。

**983 辺縁形成**→「筋圧形成」参照

**984 辺縁骨レベル** へんえんこつー  
**marginal bone level**

天然歯を支える歯槽骨やインプラント体の周囲骨組織の骨頂部の位置。

**985 辺縁封鎖** へんえんふうさ  
**border seal**

義歯床縁と義歯床下粘膜または義歯周囲軟組織との封鎖状態。床縁封鎖ともいう。

**986 偏心位** [下顎の]  
へんしんい [かがくー]  
**eccentric position** [of mandible]

中心位以外のすべての顎位。

**987 偏心咬合位** へんしんこうごうい  
**eccentric occlusal position**

咬頭嵌合位から上下顎の歯を接触させた状態で、前方、側方、あるいは後方に滑走させたときのすべての咬合位。

**988 偏側型ポンティック**  
へんそくがたー  
**semihygienic pontic**

唇側または頬側の歯頸部のみが顎堤粘



膜と線状に接触し、舌側に向かうに従って徐々に粘膜から離れていく形態のボンティック。

### 989 片側性咬合平衡

へんそくせいこうごうへいこう

**unilateral occlusal balance**

全部床義歯、あるいはそれに近似する義歯において、作業側に食塊が介在しても、義歯が離脱したり、回転しないで安定している状態。

### 990 片側性平衡咬合

へんそくせいへいこうこうごう

**unilateral balanced articulation**

[occlusion]

側方咬合位において、非作業側の咬合接触がない状態で、作業側人工歯の頬・舌側咬頭のみ咬合接触により力学的な平衡状態を作りだし、義歯の転覆を防止することを意図した咬合様式。Pound のリンガライズドオクルージョンも片側性平衡咬合の1つである。

### 991 片側離脱【ブリッジの】

へんそくりだつ

**partial loss of retention [of fixed partial denture (bridge)]**

固定性ブリッジの支台装置の一部が脱離した状態。ブリッジは脱落せず口腔内に残るため、脱離した支台歯の齶蝕進行が促進されるなど重篤な経過をたどることが多い。

### 992 偏咀嚼 へんそしゃく

**unilateral chewing**

左右のいずれか一方だけで行う咀嚼。

### 993 片麻痺 へんまひ (かたまひ)

**hemiplegia**

〔同義語〕半側麻痺

身体の片側半身の運動が障害され麻痺を来した状態。大脳や脳幹部などの障害

においてみられる。症状は運動障害、言語障害、失認などで、右片麻痺では論理や言葉などの言語をつかさどる左脳に障害が生じており、理解はあるが言葉で表せられない失語症が生じるのが特徴。左片麻痺では情緒や感覚をつかさどる右脳に障害が生じ、性格変容が生じやすいのが特徴。

## ほ

### 994 ホースシューバー→「馬蹄形バー」参照

### 995 ポーセレンジャケットクラウン **porcelain jacket crown**

陶材のみで製作された全部被覆冠。一般に白金や純パラジウムの箔を用いたマトリックス法で製作される。審美性、化学的安定性、耐摩耗性に優れ、金属に比べて熱伝導度が小さく、組織に対する為害作用が少ないなどの長所を有するが、脆弱で破折しやすく、製作が煩雑であるという短所もある。現在、使用頻度は低くなっている。

### 996 ポーセレンブリッジ **porcelain fixed partial denture, porcelain bridge**

全部被覆冠を支台装置とし、支台装置とボンティックを同質のポーセレンで焼成したブリッジ。アルミナポーセレンなどの強度に優れたポーセレンで焼成した全部ポーセレンブリッジと、強度を補うためポーセレンの中に金属を埋入した金属加強ポーセレンブリッジとの2種がある。

### 997 ポーセレンレイヤリングジルコニアクラウン **porcelain layering zirconia crown**

ジルコニアフレームにサンドブラスト処理などの前処理を行い、専用のポーセレンを築盛・焼成したクラウン。ジルコニアとポーセレンとは化学的な結合は期待できず、熱膨張率の差による機械的結合が主たる結合様式である。

**998** ボーンアンカーブリッジ

**bone anchored fixed partial denture, bone anchored bridge**

〔同義語〕 オッセオインテグレートッドブリッジ

複数本の骨結合型インプラントを支台とする、固定性または術者可撤性の補綴装置。

**999** 補強線 ほきょうせん

**reinforcing wire**

レジン床義歯、咬合床、個人トレーなどの破折・変形を防止し、強化するための金属線。レジン床義歯では、上顎口蓋面や下顎舌側面にしばしば用いられる。

**1000** ボクシング

**boxing an impression**

棒状と板状のワックスを用いて印象の辺縁外周に沿って箱枠を作る操作。棒状ワックスで適切な辺縁部を確保し、板状ワックスで隔壁を形成することによって模型の適切な厚みを確保する。

**1001** 保持→「維持」参照

**1002** 保持形態 ほじけいたい

**retention form**

外力などによって歯冠補綴装置が支台歯から脱落しないよう保持するために、支台歯に付与される形態。クラウンの場合、基本的な保持形態は相対する軸面であるが、保持力をより増強するため、ピンホール、グループ、小窩、鳩尾形、これらを併用したロックなどの補助形態が追加されることがある。

**1003** 補助アタッチメント ほじょー

**auxiliary attachment**

単独では支台装置の役割を果たせないアタッチメント。ロマガノリプレソマティック、スイングロックアタッチメント、ガグリールメッティイソクリップなどがある。その役割を大別すると次の3種類に分類できる。①分割ブロック：不平行な支台歯に固定性ブリッジを適用するときの連結機構として使用。②維持用エレメント：維持の目的だけに使用。③バランスー：片側欠損症例で反対側に延長したバーの先端に支持や回転軸を求めするための装置。

**1004** 補助維持装置→「補助支台装置」参照

**1005** 補助支台装置 ほじょだいそうち

**auxiliary retainer**

〔同義語〕 補助維持装置

部分床義歯に用いられる支台装置で、限定された機能を有するもの。フック、スパーなどがこれに含まれる。

**1006** ポステリアガイダンス

**condylar guidance, posterior guidance**

顎運動を顎関節の形態学的要因によって規定する要素。前方部の歯の指導要素に相対する用語。

→「アンテリアガイダンス」参照

**1007** ポスト

**dowel, post**

支台歯に形成されたポスト孔に適合し、歯冠部鑄造体あるいは歯冠補綴装置を保持する棒状の構造体。既製ポストと自家製ポストとがあり、その材料には金属、グラスファイバー、あるいはカーボンファイバー補強プラスチックなどがある。

**1008** ポストクラウン**post-core crown, dowel crown**

〔同義語〕 継続歯

歯冠部とポスト部が一体の全部歯冠補綴装置。主に前歯部単冠に用いられる。歯冠部の前装部と舌面板、支台歯の根面に接する根面板と、歯冠部を保持するための維持部からなり、レジン前装ポストクラウン、陶歯前装ポストクラウンなどがある。

**1009** ポストコア**dowel, post-core**

支台歯の歯根部と歯冠部とにまたがる築造体。

**1010** ポスト孔 一こう**prepared root canal for dowel**

ポストを挿入、装着するために、支台歯の歯根部に形成される孔。

**1011** ポストダム**posterior palatal seal, postpalatal seal, post dam**

上顎の義歯床口蓋後縁に辺縁封鎖を確実にするために設けられる堤状の突起。ポストダムの形成には、機能印象時に該当部位を加圧形成する方法と、作業用模型の同部位を削除修正する方法とがある。

**1012** 補足疲労 ほそくひろう**fatigue supplement**

ブリッジの設計指針としてポンティックに生じる負荷の大きさを示す指数のうち、2歯以上の連続するポンティックや延長ポンティックを適用する場合に付加される指数。ブリッジはポンティック部の負荷（疲労）の大きさが支台歯の負担能力（抵抗力）を越えないように設計する必要があり、支台歯の抵抗力として歯根表面積の大きさをもとにした指数が歯種ごとに決められ、ポンティックの疲労

として歯種ごとに同名歯の抵抗力に相当する指数が与えられており、補足疲労の指数は欠損部位や欠損歯数などによって決定される。これら指数をもとに支台歯の抵抗力とポンティックの疲労を算出し、欠損に隣接する歯以外の歯を支台歯として加えるかどうか、加えるとするばどの歯を加えるかの判断を行う。

→「Duchange の指数」参照

**1013** Posselt の図形

ぼっせるとーすけい

**Posselt's figure, Posselt's three dimensional representation**

Posselt (1952) が正中矢状面内の下顎運動記録と種々の高径における水平的な下顎運動記録とを組み合わせて再現した、切歯部における三次元的な下顎限界運動範囲を示す図形。その形態と Posselt の出身地に因みスウェーデンのバナナ (Swedish banana) とも呼ばれる。

**1014** 補綴 ほてつ**prosthesis**

身体器官の喪失によって損なわれた形態と機能を人工装置によって修復・整形すること。

**1015** 補綴学 ほてつがく**prosthodontics**

生体の欠損部を義歯、義眼、義足などの人工物で修復することに関する理論と技術を考究する学問。

→「歯科補綴学」参照

**1016** 補綴主導型インプラント治療→

「トップダウントリートメント」参照

**1017** 補綴前処置 ほてつぜんしよち**preprosthetic treatment**

補綴装置の製作時に、その治療の妨げとなるような口腔内環境を改善するために適用される、各種の歯科治療。抜歯、

小帯切除術などの外科処置，充填や根管治療などの保存処置，口腔清掃や歯肉切除などの歯周治療，MTMなどの歯科矯正治療，レストシートやガイドプレーンの付与などの支台歯の処置，その他（ティッシュコンディショナーによる処置，咬合挙上など），多様なものが含まれる。

**1018 補綴装置** ほてつそうち

**prosthesis**

1) 身体器官の欠損や形態異常に対して，修復・整形・機能回復を目的として適用される各種人工装置の総称。

2) 歯質，歯列，顎骨などの欠損や形態異常を修復し，失われた形態・機能・審美性の回復を図る人工装置。これは慣用的なもので，厳密に口腔領域に限定した本義で表示する場合には，歯科補綴装置（dental prosthesis）とすべきである。

**1019 母模型** ほもけい

**master cast**

複製模型を製作する際に基となる模型。

**1020 ポリサルファイドゴム印象**

—いんしょう

**polysulfide rubber impression**

ポリサルファイドゴム印象材による印象。硬化後の寸法安定性に優れているので，有歯顎から無歯顎までの精密印象で多用される。

**1021 Bonwill 三角** ほんういるさんかく

**Bonwill triangle**

切歯点と左右の下顎頭上面の中央部頂点を結んだ線で形成される一辺4インチの正三角形。Bonwill (1858) によって提唱された。

**1022 ポンティック**

**pontic**

ブリッジの構成要素の1つ。支台装置

と連結されることによって歯の欠損部を補う人工歯で，咀嚼や発音といった口腔の機能および形態，審美性などを回復する役割をもつ。適用部位，基底面形態，自浄性，使用材料や支台装置との位置関係の違いなどにより各種に分類される。

**1023 ポンティック陶歯** —とうし

**pontic porcelain tooth**

陶材製のポンティック専用人工歯。ポンティック粘膜面の材料としては，グレージングした陶材が優れていることから使用されていたが，陶材焼付冠の普及により使用頻度は少なくなった。

**ま**

**1024 埋没** まいぼつ

**investing**

重合，ろう（鑞）付け，鑄造などに先立ち，対象物の全体あるいは一部を耐火材や石膏などで被覆，または包埋すること。

**1025 マウンティングジグ**

**mounting jig**

上顎模型を咬合器に装着するときに用いる用具。バイトフォークを保持するためのもの（キャストサポート）や，Bonwill 三角を基準にして平均的位置に模型を位置づける咬合平面板などがある。

**1026 マウンティングプレート**

**mounting frame, mounting plate, mounting ring**

石膏模型を咬合器に装着するための用具。通常は咬合器の上弓と下弓のそれぞれ中央部分に設置されたリングまたは円形の金属またはプラスチック板。

**1027 前ろう（鑞）付け法**

まえーぶーほう

**preceramic soldering method**

陶材焼付冠の固定性連結製作法の1つで、陶材を金属冠に焼き付ける前に行うろう(鑲)付け。

**1028** 窓開け まどあー

**cut-back**

前装鋳造冠の製作において、前装用材料を築盛するための領域をワックスパターンに付与する操作。いったん、歯冠形態をワックスにて完全に回復した後に行われる。

**1029** マトリックス

**matrix**

2つのパーツの組み合わせからなるアタッチメントの受け手部分。マトリックス部の突起形態を受容するような凹状形態を有する。歯冠内アタッチメントでは固定部に、歯冠外あるいは根面アタッチメントでは可撤部に設定される。

**1030** マトリックス法 ーほう

**matrix method**

陶材を歯型上に築盛する際、受け型(マトリックス)を用いて行うポーセレンジャケットクラウンやラミネートベニアの製作法。マトリックスには金属箔マトリックス(白金や純パラジウムの箔)と耐火材マトリックス(ノンマトリックス法とも呼ばれる)とがある。また、ろう(鑲)付けの際、金属箔マトリックス法が応用されることもある。

**1031** 麻痺性嚥下障害 → 「機能性嚥下障害」参照

**1032** 摩耗【歯の】 まもう【はー】

**dental abrasion**

摩擦などの異常な機械的作用により生じた表在性の歯質摩滅。不適当なブラッシングによる歯頸部根面のくさび状あるいは溝状の摩耗症。職業的あるいは習慣

的原因による切縁・咬合面の摩耗症、およびクラスプによるエナメル質の摩耗などがある。摩耗面は滑沢で硬くなり、経時的に黄褐色を呈する。組織学的には象牙細管の石灰化と、歯髄側面における第二象牙質の形成がみられる。

**1033** Munsell 表色系

ーひょうしょくけい

**Munsell color system**

〔同義語〕Munsell 色票系

色の三属性による色票配列に基づいてMunsellが考案した表色系。色相、明度、彩度の三属性によって物体色を表す。物体色の三属性は色立体という三次元空間で表すことができ、明度は高さで、色相は角度で、彩度は中心軸からの距離で表す。

**1034** マンディブラーキネジオグラフ (MKG) ー(えむけーじー)

**Mandibular Kinesiograph**(商品名)

下顎中切歯部に取り付けた小型永久磁石の動きを、頭部に固定したセンサーアレイで検出する非接触型の三次元下顎運動記録装置。Jankelson(1969)により考案された。

## み

**1035** 水飲みテスト みすのー

**water swallowing test (WST)**

→「改訂水飲みテスト」参照

**1036** 未病 みびょう

**presymptomatic disease**

病気に著しく近い心身の状態。検査を行えば異常を認めるが自覚症状のない時期で放置により病気に移行する状態と、自覚症状を有するが検査により異常を認めない状態に大別される。本来、東洋医

学の概念が原点であったが、近年、QOLへの関心の高まりから現代予防医学に取り入れられた語句である。

### 1037 ミューチュアリープロテクトド オクルージョン

#### mutually protected occlusion

ナソロジー学派の主張する咬合様式。咬頭嵌合位においては、臼歯部が咬合し、前歯部はわずかに離開する。前方滑走運動においては前歯部が、側方滑走運動においては犬歯が接触滑走し、臼歯部は離開する。

### 1038 ミリング

#### milling

可撤性補綴装置を製作するときに、補綴装置の着脱方向を考慮して、フライス盤（ミリングマシン）を用いて作業用模型上でワックスパターンや鋳造体をミリング（切削、研削）加工する手法。

### 1039 ミリングバー

#### milling bar

支台歯間を連結する角棒状の鋳造体の側面を平行切削器で平行に仕上げたバー。平行な面どうしの摩擦により維持力を発揮する。

## む

### 1040 無圧印象 むあついんしょう

#### mucostatic impression, non-pressure impression

可及的に印象圧を加えないで顎堤、口蓋粘膜の静止状態を採得する印象。

### 1041 無口蓋義歯 むこうがいぎし

#### roofless denture

義歯床の口蓋部を顎堤の内側縁に沿ってU字形に除去し、全体を馬蹄形にした上顎全部床義歯。

### 1042 無咬頭人工歯

#### むこうとうじんこうし

#### cusplless tooth, nonanatomic tooth, zero-degree tooth

非解剖学的人工歯に属する、咬頭傾斜角が0°の人工白歯。咬合面が平坦であるため、機能時に顎堤への側方力は発現せず、顎堤の保存には有利であるとされている。しかし、解剖学的人工歯のように、咬合面形態を利用して顎運動との協調を図ることができないため、咬合平衡を確保するためにはバランシングランプなどを設定することもある。Sears (1922, 1938), Hardy (1942, 1950) などの人工歯が有名である。

### 1043 無歯顎 むしがく

#### edentulous jaw

歯をすべて喪失した、もしくは歯が存在しない顎。

### 1044 MUDLの法則

#### むどうるーほうそく

#### MUDL rule

後方滑走運動時の干渉を除去する際に用いられる法則。上顎白歯では近心斜面 (Mesial of the Upper) を、下顎白歯では遠心斜面 (Distal of the Lower) を削合する。Lauritzen により提唱された。

## め

### 1045 明度 めいど

#### value

色の三属性の1つ。物体表面の相対的な明るさに関する色感覚の属性、およびそれを同一条件で照明した白色面を基準として尺度化した指標。黒を0、白を10とする間隔尺度を視感反射率の多次式で定義する。

→「Munsell 表色系」参照

#### 1046 メジャリングデバイス

##### Measuring Device (商品名)

厚さを測定する簡易測定器の1つ。ステンレス製で、先端が鋭利な金属用と先端が球状のワックス用とがある。いずれも0.1 mmまでの読み取りができ、最大10.0 mmまでを測定できる。

#### 1047 メタルコーピング

##### metal coping

- 1) 形成された支台歯の上に適合される鑄造体。生活歯では薄いキャップ状、失活歯ではポストを伴うこともある。後者の場合、根面板と同義。
- 2) 陶材焼付冠の陶材を焼き付けるための金属体。フレームワークと同義。

#### 1048 メタルバックング

##### metal backing

陶材焼付冠やレジン前装冠における舌側面フレームワークまたは有床義歯における人工歯舌側面を裏打ちするフレームワーク。

## も

#### 1049 モールドガイド

##### mold guide

人工歯の形態見本。

#### 1050 モダイオラス

##### modiolus

口角の遠心部に口輪筋などの表情筋が集まって形成される結節。人工歯排列位置と義歯床研磨面形態に影響する。

#### 1051 モデリングコンパウンド印象

—いんしょう

##### modeling plastic impression compound

熱可塑性のモデリングコンパウンドに

よる印象。顎堤弓の大きさに合わせて選択した既製トレーをトリミングした後、軟化したモデリングコンパウンドを盛り、義歯床に関連する解剖学的形態を記録する。一般的には、加圧印象に分類される。

#### 1052 モノプレーンオクルージョン

##### monoplane occlusion

無咬頭人工歯を使用した全部床義歯の咬合様式の1つで、咬合面を一平面上に排列する咬合様式である。人工歯咬合面の傾斜やバラシングランプなどにより両側性平衡咬合を付与する場合もある。

→「無咬頭人工歯」参照

#### 1053 モノリシックジルコニアクラウン

##### monolithic zirconia crown

〔同義語〕フルジルコニアクラウン、フルカントウアジルコニアクラウン

モノリシックは「一体となっている」という意味で、ジルコニアのみで製作されているクラウン。

#### 1054 Morrison クラウン→「圧印金冠」

参照

#### 1055 Monson カーブ もんそん—

##### curve of Monson, Monson curve

篩骨鶏冠付近を中心とした半径4インチの球面の下方に凸な曲面に下顎歯の切縁や咬頭頂が接触しているとする、前後の歯列彎曲と側方歯列彎曲の双方を含む咬合彎曲。下顎の各歯の植立方向を延長すると一点で交わるとしたMonson球面説に基づいている。なお、咬合彎曲がMonsonカーブと逆の場合のことをアンチMonsonカーブ(anti-Monson curve)という。

#### 1056 Monson 球面説

もんそんきゅうめんせつ

##### Monson spherical theory

Monson (1920) によって発表された幾何学的下顎運動理論。Speeの彎曲をすべての下顎運動の範囲にまで拡大すると、1つの球面が形成され、その中心は歯の長軸と下顎頭の中心から始まる垂線との交点に一致し、半径は4インチとなるとした。さらにこの中心が下顎運動の中心点でもあり、下顎はこの球面に沿って運動するというものである。

## ゆ

### 1057 有孔陶歯 ゆうこうとうし

#### diatoric tooth

有床義歯用人工歯の機械的維持力を増すために、前歯では舌側面に、臼歯では基底面に穿下性の孔および側管が設けられている陶歯。

### 1058 有根型ポンティック

ゆうこんがたー

#### root extension pontic

抜去歯の歯根長1/4~1/5程度の根部を備えた形態のポンティック。上顎前歯部の審美性を維持する目的で抜歯前にブリッジを製作しておき、抜歯直後の抜歯窩に嵌入される。表面にはグレージングを行った陶材を使用することが必須である。

### 1059 UCLA (型) アバットメント

ゆーしーえるえー (がた) ー

#### UCLA abutment

インプラント体にスクリューで直接連結される上部構造をロストワックスによる鋳造法で製作する際の技工用パーツの一般名称。カスタムアバットメントのうち鋳造により支台形態を製作するのに用いる場合と、スクリュー固定式上部構造のフレームワークとして用いる場合があ

る。

### 1060 有歯顎 ゆうしがく

#### dentulous jaw

歯の存在している顎。無歯顎に相対する用語。

### 1061 有床型ポンティック

ゆうしょうがたー

#### plate type pontic

基底面に歯肉色の床を付けて粘膜と接触させる形態のポンティック。欠損部の歯槽骨が大きく吸収した場合に、審美性を回復したり違和感を軽減したりする目的で用いる。自浄性や清掃性に劣るので可撤性ブリッジにすることが必須である。

### 1062 有床義歯 ゆうしょうぎし

#### plate denture, removable denture

粘膜を覆う義歯床を有する義歯。部分欠損歯列において顎堤の一部を覆う形式のものを部分床義歯、無歯顎において顎堤の全部を覆う形式のものを全部床義歯という。

### 1063 有釘陶歯→「ピン陶歯」参照

### 1064 誘導面→「ガイドプレーン」参照

### 1065 遊離端義歯 ゆうりたんぎし

#### extension base removable partial denture, distal extension removable partial denture

遊離端欠損部、すなわち歯列の部分的欠損のうち、欠損部遠心側に残存歯が存在しない欠損様式に適用される可撤性有床義歯。臨床的には片側性と両側性に分けられ、前者は片側性遊離端義歯 (unilateral extension base denture) と呼ばれ、Kennedyの分類ではⅡ級に相当する欠損に適用される。後者は両側性遊離端義歯 (bilateral extension base denture) と呼ばれ、Kennedyの分類ではⅠ級に相当する欠損に適用される。本義歯は欠損部近心



側のみに残存歯列が存在するので、人工歯列の維持・支持および安定は欠損部顎堤と残存歯列に求めなければならず、通常、直接支台装置および間接支台装置が設定される。

**1066 遊離端欠損** ゆうりたんけっそん  
**missing molars, distal extension missing, free-end missing**

歯列の部分欠損症例において、欠損部の遠心側に歯が存在しないもの。

**1067 遊離端ブリッジ**→「延長ブリッジ」  
 参照

## よ

**1068 予後** よご  
**prognosis**

本来、その病気のたどる経過についての医学上の見通し。歯科補綴学では、支台歯や顎堤などの組織や補綴装置自体および補綴治療により回復された機能や審美性のたどる経過についての見通しを意味する。

**1069 3/4冠** よんぶんのさんかん  
**three quarter crown, partial-coverage crown, partial coverage retainer**

〔同義語〕スリークォータークラウン、3/4クラウン

前歯歯冠の4面のうち、唇側面を残して、他の3面を被覆する部分被覆冠の1つ。Carmichael (1906) によって創案された。Carmichael 3/4冠では両隣接面と舌面が削除され、切縁溝と隣接面溝が形成されるとともに両隣接面溝を結ぶ舌側マージン部にショルダーが形成される。Tinker型はスライスカットが小さく、金属の露出が少ないので審美性に優れる反

面、マージン部が不潔域を通るため二次齲蝕の危険性が高い。スライス型はTinker型に比べてスライスカットが大きいので、金属の露出が多くなるが、二次齲蝕の発生は少なくなり、形成も容易である。Vest型では唇面隅角部に半円溝が形成され、両隣接面および切縁側のマージンは唇面に設定されている。他の2型に比べ、溝形成に伴う歯髄損傷および二次齲蝕の危険性は少ないものの、金属露出が最も著しく審美性に劣るが、歯冠が薄い歯にも可能である。

## ら

**1070 ラウンデッドショルダー**  
**rounded shoulder**

オールセラミッククラウンやオールコンポジットレジンクラウンのフィニッシュラインの辺縁形態で、適合性、材料の強度、審美性などを勘案して丸みを付与した形態。

→「歯頸部辺縁形態」参照

**1071 ラミネートベニア**  
**laminare veneer**

主に前歯唇側面の審美的修復を目的とした歯冠色のシェル。ポーセレンを応用したポーセレンラミネートベニアと、レジンを用いたレジンラミネートベニアの2種類がある。ともに接着性レジンを用いて歯質に接着させる。

**1072 ランナーバー**  
**runner bar**

ブリッジや連結補綴装置において、各支台歯のワックスパターンに植立したスプルー部と鋳造リングの円錐台に植立したゲート部との間に設置したバー形態の湯道。溶湯の流れを調節し、湯だまりと

同様の効果をもつ。

## り

### 1073 リカントゥアリング

#### recontouring

部分床義歯の支台歯への補綴前処置として、支台装置を適切に設定するために、頬舌側面歯質の削除などにより歯冠形態を修正すること。

→「補綴前処置」参照

### 1074 リジッドサポート

#### rigid support

支台歯と義歯とを強固に連結した、歯根膜負担を主体とする部分床義歯の設計の概念。その構造様式はリジッドコネクターといわれる。連結条件として、支台歯歯周組織の負担限界を超えないことが要求される。

### 1075 リッジラップ型ポンティック

ーがたー

#### ridge lap pontic

基底面が唇側（頬側）の歯頸部から、舌側（口蓋側）に向かって全面的あるいは部分的（T字型）に歯槽頂部をやや越えた範囲まで粘膜と接触し、その後徐々に粘膜から離れていく形態のポンティック。

### 1076 リップサポート

#### lip support

歯や人工歯が口腔内で口唇を支えていること。歯の欠損により失われたリップサポートは、義歯により回復されるが、その回復程度は、前歯の前後の排列位置や傾斜度によって異なる。老人様顔貌の特徴とされるくぼんだ口元は、リップサポートの喪失が主体として生じ、これに加齢変化（老化）が加わったものである。

### 1077 離底型ポンティック りていがたー

#### hygienic pontic

基底面が顎堤粘膜から完全に離れている形態のポンティック。

### 1078 リテンションビーズ

#### retention beads

レジンに金属に接合させる際、金属との機械的維持を図るために用いるプラスチック製の細かいビーズ。ワックスパターンにこのビーズを付着させ、鋳造体前装面に凹凸を付与する。

### 1079 リバースバックアクションクラスプ

#### reverse back action clasp

欠損側に近い頬側面に鉤体部をおき、鉤腕が欠損側隣接面、辺縁隆線部を走行して、舌側面のファーゾーンのアンダーカット部に鉤尖をおくクラスプ。

### 1080 リバースピン陶歯 ーとうし

#### reverse pin porcelain facing tooth

裏面に平行に設定されたピンホールに適合する金属ピンによって補綴装置本体に結合させる、前装用既製陶歯、前装冠用とポンティック用とがある。

→「ピン陶歯」参照

### 1081 リベース

#### rebase

人工歯部以外の義歯床を新しい義歯床用材料に置き換え、義歯床下粘膜との再適合を図ること。人工歯の咬合関係は正しいが、義歯床粘膜面の適合が不良な場合に適用される。

→「リライン」参照

### 1082 リポジショニングアプライアンス

#### occlusal device, repositioning appliance

〔同義語〕リポジショニングスプリント  
オクルーザルアプライアンスの1つ

で、下顎頭や関節円板の位置を整復するための装置。通常、顎位を前方位で固定する前方整位型アプライアンスが用いられる。

→「オクルーザルアプライアンス」参照

### 1083 リマウンティングジグ

#### remounting jig, remount cast jig

咬合器再装着時に使われる歯列咬合面記録（例；Tench のコア）を咬合器上に正しく位置づけるための金属板。咬合器の下弓に固定して使う。

### 1084 リムーバルノブ

#### removal knob

1) ク라운の試適、仮着において、取り外しを容易にするためにつけられた突起。患者の舌、頬粘膜を傷害しない部位に付与される。

2) 鉤腕を変形させないために、部分床義歯に付与され、患者が日常的に利用する撤去用の突起。

### 1085 両側性咬合平衡

りょうそくせいこうごうへいこう

#### bilateral occlusal balance

全部床義歯装着時の側方咬合位において、作業側人工歯に加わる義歯の回転や離脱に係わる力の発現を非作業側の咬合接触によって防止する咬合状態。

### 1086 両側性平衡咬合

りょうそくせいへいこうこうごう

#### bilateral balanced articulation (occlusion)

側方咬合位において、作業側人工歯に加わる義歯の回転や離脱に係わる力の発現を非作業側の咬合接触によって相殺する目的で付与される咬合様式。全部床義歯に望ましい咬合様式の1つとされている。

### 1087 両翼鉤→「二腕鉤」参照

### 1088 リライン

#### reline

義歯床粘膜面の1層だけを新しい義歯床用材料に置き換え、義歯床下粘膜との適合を図ること。人工歯に異常所見はなく、また咬合関係に異常が認められず、義歯床粘膜面の適合が不良な場合に適用される。新しい義歯床用材料としては、咀嚼時の疼痛の緩和や顎堤のアンダーカットへの適合を図ることを目的として、軟質リライン材（soft relining material）が使用されることもある。本法には、直接法と間接法とがある。間接法において、模型と人工歯の位置関係を保持して、印象材の部分を床用材料に置き換えるために用いられる器具をリライニングジグ（relining jig）という。

→「リベース」参照

### 1089 リラクセーションアプライアンス

#### occlusal device, relaxation appliance

〔同義語〕 リラクセーションスプリント

オクルーザルアプライアンスの1つで、筋の緊張緩和やブラキシズムの治療などを目的とする前歯型アプライアンス。上顎前歯切縁から口蓋を被覆し、閉口時に下顎前歯のみがこれに接触する。

→「オクルーザルアプライアンス」参照

### 1090 リリーフ

#### relief

1) 義歯床粘膜面の一部を凹状にして、義歯床を介して顎堤粘膜あるいは顎骨に加えられる咬合力を緩和すること。これにより、粘膜の疼痛あるいは義歯の破折を防止するとともに義歯の維持・安定を図る。その適用部位としては、粘膜が薄

く被圧変位量が小さい口蓋隆起，下顎隆起，骨隆起などや，神経，血管の開口部に相当する切歯乳頭などがある。

2) 印象用トレーの内部に印象材が入るスペースを設けること。

### 1091 リンガライズドオクルージョン lingualized occlusion

中心咬合位および側方滑走運動時に，上顎白歯の舌側咬頭だけが下顎白歯に接触することで咬合力を舌側へ誘導して，義歯の安定を図る咬合様式。Pound (1970)により提唱された全部床義歯の咬合様式で，全部床義歯に望ましい咬合様式の1つ。

### 1092 リンガルエプロン lingual apron

リンガルプレートの1つで，リンガルプレートの上縁を残存歯の舌側面に延長し，歯面の一部を覆うように設計された大連結子。義歯の沈下防止や，骨植の弱い前歯の固定に有効である。

### 1093 リンガルバー lingual bar

下顎残存歯の舌側粘膜面に沿って設置されるパーティップの大連結子。特に，口底が浅い場合に前歯部の保護とバーの曲げ強度を向上させるために，舌側溝と舌の下方に設定され，断面形態がL字に近似したものをサブリンガルバー (sublingual bar) という。

### 1094 リンガルプレート lingual plate

下顎残存歯の舌側粘膜面に設置される大連結子の1つ。下顎の舌側歯槽面を覆うように幅広く，かつ薄く設計される。

### 1095 リングクラスプ ring clasp

欠損側隣接面に鉤体部をおき，支台歯

のほぼ全周を1本の鉤腕が取り巻き，その先端をニアゾーンの深いアンダーカットに設置するクラスプ。通常，上顎大白歯では口蓋側から，下顎では頬側から鉤腕が始まる。孤立した最後方白歯を支台歯とする場合に用いる。補助鉤腕をつける場合もある。左右対称的な適用が原則とされる。

### 1096 リングライナー→「キャストイングライナー」参照

### 1097 臨床的歯冠 りんしょうてきしかん clinical crown

歯肉から口腔内に露出している歯の部分で，歯肉縁から咬合面または切縁までのいわゆる外見上の歯冠。解剖学的歯冠に相対する用語で，Gottliebにより提唱された。解剖学的歯冠とは異なり，臨床的歯冠は年齢とともに変化する。萌出後高さを増し，加齢に従って歯槽骨の吸収，歯肉の退縮が生じ，歯根が露出するとさらに臨床的歯冠は長くなる。歯冠修復を行う際，クラウンなどに適正な維持力を得るためには，十分な臨床的歯冠長が必要となる。

### 1098 臨床的歯根 りんしょうてきこん clinical root

歯肉に覆われている歯根部。歯肉の退縮など局所環境因子により変化する。解剖学的歯根とは異なり，年齢とともに短くなる傾向にある。歯冠修復，咬合再建などの処置に際し，適正な臨床的歯冠歯根比の付与を考慮しないと咬合性外傷などを生じることとなる。臨床的歯根が短い場合には歯冠長を短くし，コーピング処置などを行い，負担軽減を図る方法もある。

### 1099 隣接面溝 りんせつめんこう proximal groove

3/4冠や4/5冠など部分被覆冠の支台歯の隣接面に長軸的に形成付与される維持溝(縦溝)。その方向により装着方向が制限されるが、被覆冠の唇側面や頬側面などの側面壁を取り除くことによって生じる維持力と強度の低下を補う。

**1100 隣接面鉤** りんせつめんこう

**mesiodistal clasp**

〔同義語〕 近遠心鉤

Roachにより提唱された鑄造鉤で、支台歯の舌面から近心面および遠心面を取り巻き、隣接面のアンダーカットに維持を求めた板(鋳)鉤。主として前歯部に用いられる。

**1101 隣接面板** りんせつめんばん

**proximal plate**

部分床義歯の支台歯に形成されたガイドプレーンに対応する機構として義歯に設けられた金属部分。機能としては、義歯の着脱を誘導し容易にすること、支台歯への側方力を減少させること、食片圧入を防止することなどがあげられる。

る

**1102 流ろう** るー

**wax elimination**

熱湯などによりモールドからワックスを取り除く操作。

れ

**1103 レジンキャップ**

**resin cap**

アクリリックレジンを用いた全部被覆冠の総称。製作法が容易なうえ、安価であり審美性にも優れるが、強度、耐摩耗性は十分ではない。色調安定性もないた

め長期間の使用には適さない。主として、有髄歯の歯冠形成後のプロビジョナルクラウンとして、また、暫間固定装置として使用される。

**1104 レジン歯** ーし

**acrylic resin tooth**

メチルメタクリレートを主成分としたアクリリックレジンによる人工歯。硬さが低いため削合しやすい、対合歯を傷つけない、義歯床との結合が強固、安価であるなどの利点はあるが、耐摩耗性が低いため容易に咬耗し咬合高径の低下を招きやすく、変色しやすいなどの欠点がある。

**1105 レジンジャケットクラウン**

**resin jacket crown**

〔同義語〕 硬質レジンジャケットクラウン、ハイブリッド型コンポジットレジンクラウン

コンポジットレジンのみで製作された全部被覆冠。色調ならびに形態の付与が自由で、弾性もあり、修理が口腔内で行えるなどの長所を有する。しかし、吸水性、摩耗性、変色性、変質性があり、自然感が劣るなどの短所もある。

**1106 レジン床** ーしゅう

**resin denture base**

歯肉色のレジン材料とする義歯床。材料的にはアクリリックレジン、ポリスルホン、ポリカーボネートなどがあるが、アクリリックレジンが最も一般的である。加熱(水を用いる湿熱、電気ヒーターやマイクロ波による乾熱)重合、常温重合、光重合などがあり、加圧填入、加圧注入、流し込み、射出、加熱圧縮により成形する。

**1107 レジン床義歯** ーしゅうぎし

**resin base denture**

義歯床が床用レジンで製作された有床義歯。アクリリックレジンが多用されるが、射出成形レジンが用いられることもある。

### 1108 レジン前装冠 ーぜんそうかん

**resin facing metal crown, resin veneer crown**

審美的修復を目的に、歯冠の唇側や頬側などの外観に触れる面を歯冠色レジンで被覆した金属冠。

### 1109 レスト

**rest**

部分床義歯において、クラスプの鉤体部、義歯床、バーなどから突出し、支台歯のレストシートに適合する金属製の小突起。義歯に加わる咬合力の支台歯への伝達、義歯沈下および横揺れ防止、食片圧入の防止、咬合接触の回復など多様な機能を備えている。その適用部位によって、咬合面レスト (occlusal rest)、切縁レスト (incisal rest)、基底結節レスト (舌面レスト; cingulum rest)、あるいは遠心レスト (distal rest)、近心レスト (mesial rest) に分けられる。

### 1110 レストシート

**rest seat**

レストを受け入れるために支台歯に形成される小窩。咬合力に耐えるだけの幅や厚さをレストに付与できると同時に、義歯に加わる咬合力を垂直方向の力として支台歯へ伝達し、対合歯との早期接触や咬合干渉を避ける効果がある。

### 1111 レスト付き二腕鉤

一つーにわんこう

**two-arm clasp with occlusal rest**

鉤脚が1つで、咬合面レストと2つの鉤腕を有する最も基本的な環状鉤。線鉤と鑄造鉤とがあるが、鑄造によるレスト

付き二腕鉤は考案者の名から Akers クラスプとも呼ばれる。

### 1112 レトロモラーパッド

**retromolar pad**

下顎最後方大臼歯のすぐ後方に位置する臼後三角上で、顎堤遠心端に相当する位置に存在する、粘液腺 (臼後腺) を含んだ軟組織からなる洋梨状の隆起。無歯顎になっても形態の変化が少ないため、下顎義歯床後縁の設定ならびに仮想咬合平面の後方基準として利用される。

### 1113 連結強度 れんけつきようど

**connecting rigidity**

遊離端義歯において義歯と支台歯との間に設定した支台装置部分に発現する変位性。Körber (1973) らによって初めて提唱された用語であるが、連結強度が小さければ粘膜負担が主となり、逆に、連結強度が大きければ、歯根膜負担が主となる。臨床的には、レストのない線鉤は連結強度の小さいもの、テレスコープクラウンは連結強度の大きいものの代表といえる。

### 1114 連結固定 [歯の]

れんけつこてい [はー]

**splinting [of teeth]**

- 1) 歯周病に罹患した歯の消炎処置が完了しても歯の動揺が残遺した場合、接着法やワイヤー固定法などによりこれらを連結し、個々の歯の安静を図ること。
- 2) 補綴装置の設計に際し、動揺が残遺した複数の支台歯を固定性または可撤性の支台装置により連結し、支台歯全体の支持能力を向上させること。

### 1115 連結子 れんけつし

**connector**

〔同義語〕連結装置

部分床義歯の構成要素の1つで、大連

結子と小連結子との総称。

**1116 連結装置**→「連結子」参照

**1117 連合印象** れんごういんしょう

**combination impression**

2種類以上の印象材，または流動性の異なる同種の印象材を用いて採得する印象。

→「単一印象」参照

**1118 連続鉤** れんぞくこう

**continuous clasp**

1) 鉤腕がレストから始まり複数歯の頬舌面を走行し，最も離れた歯のアンダーカットに鉤尖を置いたクラスプ。

2) 前歯舌面の基底結節上を数歯にわたって連続的に走行する金属のバンド，Kennedy バーと同義。

ろ

**1119 ろう義歯** ーぎし

**wax denture**

人工歯排列と歯肉形成が完了した重合前の義歯，患者の口腔内に試適して，審美性，顎間関係，発音機能などを確認し，必要に応じて修正した後に重合される。

**1120 ろう型採得**→「ワックスアップ」参照

**1121 老人様顔貌** ろうじんようがんばんぼう

**senile appearance**

1) 加齢による変化だけでなく，歯の喪失に伴うリップサポートと咬合支持の喪失による顔貌の変化が，主として下顔面に特徴的に現れる老人様の顔貌。口裂の縮小が起り，上下の口唇は緊張を失って陥凹し，赤唇は薄くなり，放射状のシワが著明になり，老人の顔貌の特徴が強調される。補綴装置によるリップサポートと咬合支持の回復により改善される。

2) 無汗型外胚葉異形成症の小児にみられる特有な顔貌。毛髪，睫毛，眉毛などがほとんどなく，目の周縁には小皺が多く，鼻は鞍状様で，無歯症により口唇が反転突出しているために，その顔貌が一見老人様を呈している状態をいう。無歯症様顔貌 (anodontia appearance) とも呼ばれている。

**1122 ろう堤**→「咬合堤」参照

**1123 Roach クラスプ** ろーちー

**Roach clasp**

Roach (1929) の考案による歯肉型クラスプ。義歯床あるいは連結子から出て歯肉部を横走し，支台歯部で垂直に屈曲して支台歯のアンダーカットに鉤尖が接触するパークラスプ。鉤尖部の形態がアルファベット T の文字に似ていることから I, S, L, U 型など種々の呼称があるが，代表的なものは T 型クラスプである。

**1124 ロングセントリックオクルージョン**

**long centric articulation  
(occlusion)**

咬頭嵌合位と下顎最後退接触位との間に，咬合高径の変化を伴わず，しかも咬頭傾斜の影響を受けない前後的な自由域をもつ咬合。Schuyler (1963) によって有歯顎にも導入された。

わ

**1125 ワイドセントリックオクルージョン**

**wide centric articulation  
(occlusion)**

咬頭嵌合位が一点に収斂しないで，左右的にわずかに自由域がある咬合。Schuyler (1963) や Guichet (1966) に

よって有歯顎にも導入された。

**1126** ワイヤークラスプ→「線鉤」参照

**1127** ワックスアップ

**wax pattern fabrication, waxing**

〔同義語〕ろう型採得

インレーやクラウンなどの铸造体の原型となるワックスパターン (wax pattern) を作る過程で、歯型にワックスを付着し、その後ワックス形成器などを用いて形態を整え、最終的にワックスパターンを作りあげる技工操作の総称。製作方法には直接法と間接法とがある。ワックス操作法は、圧接法 (wax adaptation technique)、ディッピング法 (dipping wax technique)、ろう盛り上げ法 (add-on technique) に大別される。歯冠形成法には彫刻法とドロップオンテクニック (drop-on technique) とがある。

**1128** ワックスコーンテクニック

**wax cone technique**

ワックスアップによる機能的咬合面形成法の1つ。歯型に咬頭の位置を示す円錐状のワックスを置き、隆線を盛り上げて系統的に咬合面を形成する。ワックス

の盛り上げシステムにいくつかの方法があるが、Payneの方法、Thomasの方法が代表的である。

→「ワックスアップ」参照

**1129** Walkhoff 小球

わるくほつふしゅうきゅう

**Walkhoff palatal ball**

無歯顎における水平的な顎位を決定する際に使用する小球。具体的には、上顎咬合床の口蓋後縁中央部に、ワックスなどの大豆大の小球 (口蓋球) をつけ、これを舌尖で触れながら閉口させることにより下顎後退位に誘導する。

**1130** ワンピースキャスト法 一ほう

**one-piece cast method**

〔同義語〕一塊铸造法

複雑な形態の補綴装置を1回の铸造によって製作する方法。一塊として铸造されるため強度に優れるが、铸造収縮の影響が大きく寸法精度が低下する場合がある。金属床、クラスプなどを1種類の金属で製作する場合、また、少数歯のブリッジを1種類の金属で製作する場合などに有効である。



2019  
The Glossary of  
Prosthetic Terms 5th ed.

---

# 同義語一覽

---

---

---

## 付録：同義語一覧

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
アーライン		Ah-ライン・口蓋振動線	1
圧印金冠	Morrison クラウン		2
アベックス		アローポイント・エイベックス	3
アルミナ陶材	アルミナスポーセレン		4
安静空隙		フリーウェイスペース	5
アンテリアガイダンス	前方誘導（指導）	インサイザルガイダンス・切歯誘導（指導）・前歯誘導（指導）	6
維持	保持	リテンション	7
維持腕		リテンションアーム	8
インターオクルーザルレコード		咬合面間記録	9
インプラントアナログ	インプラントレプリカ		10
インプラント義歯		移植義歯	11
インプラント体	フィクスチャー		12
インプラント体支持	顎骨支持		13
インプラント体-粘膜支持	顎骨-粘膜支持		14
Wilson の彎曲	側方咬合彎曲・側方歯牙彎曲・側方歯列彎曲		15
エステティックブレーン	エステティックライン		16
FGP テクニック	機能的運動路法	機能的咬頭路描記法	17
MPD 症候群		筋膜痛機能障害症候群	18
Elbrecht クラスプ	T字クラスプ		19
嚙下造影検査	嚙下透視検査・ビデオ嚙下造影・ビデオレントゲン検査		20
延長ブリッジ	遊離端ブリッジ		21
オーバージェット	水平被蓋	ホリゾンタルオーバーラップ	22

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
オーバーデンチャー	残根上義歯	オーバーレイデンチャー	23
オーバーバイト	垂直被蓋	パーティカルオーバーラップ	24
オーラルリハビリテーション	咬合再構成	オクルーザルリコンストラクション	25
オクルーザルアプライアンス	オクルーザルデバイス・バイトアプライアンス	オクルーザルバイトスプリント・オクルーザルバイトプレート・バイトプレート	26
オッセオインテグレーション		オステオインテグレーション・オッセオオスインテグレーション	27
オッセオインテグレートッドインプラント	骨結合型インプラント	オステオインテグレートッドインプラント・オッセオオスインテグレートッドインプラント	28
オルタードキャスト法		アルタードキャスト法・模型改造法・模型修正法	29
概形印象		一次印象・準備印象・予備印象	30
外側バー		エクスターナルバー	31
ガイドブレーン	誘導面	ガイディングブレーン	32
解剖学的咬合器	顎路型咬合器		33
解剖学的人工歯		解剖学的人工白歯・解剖的人工白歯・解剖的人工歯・咬頭歯・咬頭人工歯	34
過蓋咬合		ディープバイト	35
下顎安静位		安静位・生理的下顎安静位	36
下顎後退接触位	下顎後退咬合位		37
下顎最後退接触位	下顎最後退咬合位		38
下顎頭	顎頭		39
下顎頭位	顎頭位		40
顎間距離		垂直顎間距離	41
顎間記録	顎間関係記録		42
顎関節雑音		顎関節音	43
顎関節内障		インターナルデランジメント・顎関節内部障害・顎内障	44
顎口腔系		口腔顎系・咀嚼系	45
顎堤		歯槽堤	46
顎堤粘膜		顎粘膜・歯槽堤粘膜・歯槽粘膜	47

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
顎頭間軸		下顎頭間軸・顎頭軸	48
下部構造 (体)	サブストラクチャー		49
顎路指導板		顎路きょう導板	50
緩圧型支台装置	緩圧型維持装置		51
緩圧装置		緩圧性連結装置・ストレスプレイカー	52
感覚障害	感覚異常・知覚異常		53
嵌合効力	嵌合力		54
環状鉤		囲繞鉤・サーカムファレンシャルクラスプ・取り囲み鉤	55
間接支台装置	間接維持装置		56
寒天印象		ハイドロコロイド印象	57
Camper 平面		鼻聴道平面・補綴学的平面	58
義歯床下粘膜		床下粘膜	59
義歯床下粘膜異常	義歯性口腔粘膜症		60
義歯床研磨面		義歯床筋圧面	61
義歯床粘膜面		義歯床基底面	62
義歯床負担域	義歯床支持域		63
拮抗作用	対抗作用	レシプロケーション	64
拮抗腕	把持腕	レシプロカルアーム	65
機能的嚥下障害	動的嚥下障害・運動障害性嚥下障害		66
機能的人工歯		準解剖学的人工白歯・準解剖学的人工歯・準解剖的人工白歯・準解剖的人工歯	67
キャストイングライナー	リングライナー		68
CAD/CAM クラウン	CAD/CAM 冠		69
臼歯離開咬合	ディスクルージョン		70
頬棚		バッカルシェルフ・頬側棚	71
筋圧形成	筋形成・辺縁形成		72
グラインディングクラウン	冠	白磨運動	73
クラウンブリッジ補綴学		冠橋義歯学・冠橋義歯補綴学・歯冠補綴架橋義歯学・歯冠補綴架工義歯学・歯冠補綴橋義歯学	75

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
クラスプ	鉤		76
クリッキング		弾撥音	77
グレージング		グレース・艶焼き	78
クレピテーション	クレピタス	捻髪音	79
経鼻の持続陽圧呼吸療法	CPAP療法		80
Kennedyバー		ダブルリンガルバー	81
研究用模型	スタディモデル	考究用模型・診断用模型・スタディキャスト・診査用模型	82
犬歯誘導咬合		カスピッドプロテクテッドオクルージョン・犬歯保護咬合	83
鉤外形線		クラスプライン	84
光学印象	デジタルインプレッション		85
口腔インプラント	デンタルインプラント・歯科インプラント		86
口腔乾燥症	ドライマウス		87
鉤肩		クラスプショルダー	88
咬合圧負担域		圧負担域・負担域	89
咬合器		咬交器	90
咬合器再装着		咬合器再付着・リマウンティング・リマウント	91
咬合器装着		咬合器付着・マウンティング・マウント	92
咬合小面		咬合局面	93
咬合堤	ろう堤		94
咬合平面設定板		咬合平面測定基準板	95
交叉咬合		クロスバイト	96
交叉咬合用人工歯		交叉咬合用人工白歯・反対咬合用人工白歯・反対咬合用人工歯	97
口唇接合線	口唇閉鎖線		98
鉤尖		鉤先・鉤端	99
合着用セメント	装着材料		100
口底	口腔底		101
鉤腕		クラスプアーム	102

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
鼓形空隙		エンブレジャー・歯間鼓形空隙	103
ゴシックアーチ描記法		ゴシックアーチトレーシング・切歯路描記法	104
個歯トレー		歯型トレー・支台歯トレー	105
個人トレー		各個トレー	106
コンピネーションシンドローム	アンテリアハイパーファンクションシンドローム・Kelly's 症候群		107
コンポジットレジジン	硬質レジジン		108
根面アタッチメント		歯根アタッチメント・スタッドアタッチメント	109
最大開口量		最大開口距離	110
作業側		使用側・動側・働側	111
作業用模型		作業模型	112
Saxon 法	Saxon テスト		113
サバイヤー		クラスプサバイヤー・サーベイヤー・サバイヤー・サベヤー・サベヤー・サベヤー・デンタルサバイヤー	114
サベイライン		鉤指導線・サーベイライン・サベールライン	115
暫間義歯		仮義歯	116
サンドブラスト処理	アルミナサンドブラスト処理・アルミナブラスト処理		117
歯冠円錐	咬合円錐		118
歯冠型クラスプ	スーパラバルジクラスプ	歯冠経路型クラスプ	119
歯冠歯根比		CR 比・C/R レシオ・CR レシオ・歯冠歯根長比	120
歯冠補綴装置	歯冠修復物		121
色調選択	シェードセレクション	シェードテイキング・シェードマッチング	122
歯型可撤式模型	可撤歯型式模型		123

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
歯型固着式模型	固着式模型・単一式模型		124
歯頸部辺縁形態		歯頸側辺縁形態	125
歯根膜粘膜負担	歯根膜粘膜支持	混合負担（支持）・歯根膜粘膜混合負担（支持）・歯根膜粘膜複合負担（支持）	126
歯根膜粘膜負担義歯	歯根膜粘膜支持義歯		127
歯根膜負担	歯根膜支持	歯牙支持・歯牙負担	128
歯根膜負担義歯	歯根膜支持義歯		129
支持		サポート	130
支台歯	維持歯・鉤歯		131
支台歯間線	鉤間線	槓杆線・鉤間軸・支台線・支点間線・支点線	132
支台歯形成		支台形成	133
支台装置	維持装置	リテーナー	134
自動削合		自働削合	135
歯肉圧排		歯齦圧排	136
歯肉円錐	歯根円錐		137
歯肉型クラスプ	インフラバルジクラスプ	歯肉経由型クラスプ	138
ジャケットクラウン		ジャケット冠	139
習慣性咀嚼側		主咀嚼側	140
終末蝶番運動		ターミナルヒンジムーブメント	141
終末蝶番軸		ターミナルヒンジアキシス	142
床縁		床周縁・床辺縁	143
笑線		スマイリングライン・スマイルライン	144
床翼	フレンジ		145
ジルコニア	酸化ジルコニウム・二酸化ジルコニウム		146
シングルデンチャー		片顎義歯	147
人工歯肉付模型	ガム模型		148
診断用ワックスアップ	診断用ワクシング		149

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
睡眠時無呼吸症候群	SAS		150
スキャナー	3D スキャナー・三次元スキャナー・3D デジタイザー・三次元デジタイザー		151
スタビリゼーションアプライアンス	スタビリゼーションスプリント		152
精密印象	最終印象	仕上げ印象・二次印象・本印象	153
切歯指導釘	インサイザルピン	切歯きょう導釘	154
切歯指導板	インサイザルテーブル	切歯きょう導板	155
接触点	コンタクトポイント		156
切端咬合		切縁咬合	157
接着ブリッジ		アドヒージョンブリッジ・接着性ブリッジ・メリーランドブリッジ	158
線鉤	ワイヤークラスプ	屈曲鉤・はりがね鉤	159
前後の歯列彎曲	前後の歯牙彎曲		160
全部金属冠	フルメタルクラウン		161
全部床義歯	総義歯	コンプリートデンチャー・フルデンチャー	162
全部床義歯補綴学	総義歯補綴学	全部床義歯学・総義歯学	163
全部鑄造冠		フルキャストクラウン	164
全部被覆冠		全部冠・フルカバリッジクラウン・フルクラウン	165
早期荷重	早期負荷・早期加重・アーリーローディング		166
双子鉤		ダブル Akers クラスプ	167
即時荷重	即時負荷・即時加重・イミディエートローディング		168
即時暫間修復	即時暫間補綴・即時負荷		169



選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
側方顎路角	Bennett 角		170
咀嚼運動路		咀嚼経路	171
咀嚼周期	咀嚼サイクル	咀嚼運動周期・チューイングサイクル	172
咀嚼側		機能側	173
咀嚼能率	咀嚼効率		174
対合関係	対咬関係		175
待時荷重	待機荷重・遅延荷重・待時負荷・遅延負荷・待時加重		176
ダイナミック印象		動的印象	177
単純鉤		一腕鉤・単腕鉤	178
単独歯型式模型	単独歯型		179
中間義歯		間入義歯・中間欠損義歯	180
鑄造鉤		キャストクラスプ	181
蝶番運動		ヒンジムーブメント	182
蝶番咬合器	平線咬合器		183
蝶番軸		ヒンジアキシス	184
直接支台装置	直接維持装置		185
治療用義歯		治療義歯	186
ディアドコキネシス	オーラル・ディアドコキネシス		187
テーパー	軸面傾斜角		188
デジタルデンチャー	CAD/CAM デンチャー		189
テレスコープクラウン		ダブルクラウン・二重金冠	190
Tench のコア	Tench の歯型		191
デンチャーマーキング	義歯刻印		192
テンポラリーアバットメント	テンポラリーシリンダー		193
等高点	トライポッドマーク		194
陶材焼付冠	陶材焼付鑄造冠・セラモメタルクラウン	金属焼付陶材冠・金属焼付ポーセレン冠・陶材溶着鑄造冠	195
頭部後傾法	頭部後屈法		196

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
トップダウン リートメント	補綴主導型インプラント治療		197
トランスファー コーピング	インプレッション コーピング・トランスファーイン デックス・トランス スファージグ・ト ランスファー キャップ		198
トレーサビリティ	追跡管理		199
通路		溢出孔・溢出路・スビルウェイ	200
二重同時印象	積層一回印象	一回印象・ダブルミックス印象	201
二腕鉤	両翼鉤		202
粘膜負担	粘膜支持		203
粘膜負担義歯	粘膜支持義歯		204
廃用症候群	生活不活発病		205
Pound ライン	犬歯臼後隆起線		206
鋏状咬合		シザーズバイト	207
発音空隙	発音間隙		208
馬蹄形バー	ホースシューバー		209
パトリックス		雄部・メール	210
Hanau の咬合 5 要素	Hanau の咬合 5 辺形		211
ハミュラーノッチ		鉤状切痕・鉤切痕・上顎切痕・翼突上 顎切痕	212
パラタルバー		口蓋杆	213
パラファンクシ ョン	非機能運動		214
半固定性補綴装置	可動性補綴装置		215
半固定性連結		可動性固定性連結・可動性固定連結・ 緩圧性連結	216
被圧変位量		被圧縮量	217
非解剖学的人工歯		非解剖学的人工臼歯・非解剖的人工臼 歯・非解剖的人工歯・無咬頭歯	218
非緩圧型支台装置	非緩圧型維持装置		219
非機能咬頭	剪断咬頭		220

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
非作業側	平衡側	均衡側・非機能側	221
非作業側側方顎路	平衡側側方顎路		222
ビックアップ印象	コーピング印象・取り込み印象		223
描記針		スタイラス・描記釘	224
標示線		標準線	225
ヒンジ型アタッチメント		蝶番型アタッチメント	226
ピン陶歯	有釘陶歯		227
フィニッシュライ ン		フィニッシングライン・付線	228
フェイスボウ		顔弓	229
部分床義歯	局部床義歯	可撤性パーシャルデンチャー・局部義歯	230
部分床義歯補綴学	局部床義歯補綴学	局部義歯学・局部床義歯学・部分床義歯学	231
部分被覆冠		一部被覆冠・パーシャルカバリッジクラウン	232
ブラキシズム		歯ぎしり	233
プラットフォーム 〔インプラント の〕	インプラントプラットフォーム		234
プラットフォーム シフティング	プラットフォームス イッチング		235
フラビーガム		コンニャク状顎堤・浮動性歯肉・フラビー組織・フラビーティッシュ	236
フランクフルト平 面		眼耳平面	237
ブリッジ		架橋義歯・架工義歯・橋義歯	238
フレームワーク		メタルフレーム	239
プレッシャー・イン ディケイティ ング・ペースト	適合試験材・適合検 査材		240
プロビジョナルク ラウン	暫間被覆冠・テンポ ラリークラウン	仮封冠・暫間冠	241

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
分割復位式模型	分割可撤式模型・分割式模型・分割歯型式模型	分割模型	242
ヘアピンクラスプ		ダブルアームクラスプ・複腕鉤・リバースループクラスプ	243
片側性咬合平衡		片側性均衡・片側性咬合均衡・片側性平衡	244
片側性平衡咬合		片側性均衡咬合	245
片麻痺	半側麻痺		246
ポーセレンジャケットクラウン		陶材ジャケットクラウン	247
ポーセレンブリッジ		全部陶材架橋義歯・全部陶材架工義歯・全部陶材橋義歯・陶材ブリッジ	248
ボーンアンカードブリッジ	オッセオインテグレートッドブリッジ		249
補助支台装置	補助維持装置		250
ポステリアガイドランス		後方指導・後方誘導・コンダイラーガイドランス	251
ポスト		合釘・ダウエル	252
ポストクラウン	継続歯	歯冠継続歯・ダウエルクラウン	253
ポスト孔		合釘孔・合釘保持孔	254
補綴装置		補綴修復物・補綴物	255
Bonwill 三角		下顎三角	256
ポンティック		架橋歯・架工歯・橋体・ダミー	257
マトリックス		雌部・フィメール	258
Munsell 表色系	Munsell 色票系		259
ミューチュアリープロテクトドオクルージョン		相互保護咬合	260
無圧印象		最小圧印象・静止印象・静態印象・静的印象・粘膜静態印象・微圧印象	261
モダイオラス		口角結節	262

選定用語	同義語として認める用語	使用が望ましくない用語	付録番号
モノリシックジルコニアクラウン	フルジルコニアクラウン・フルカントゥアジルコニアクラウン		263
Monson 球面説		8 インチ球面学説・4 インチ球面学説	264
3/4 冠	スリークォータークラウン・3/4 クラウン		265
リベース		改床・換床・床交換・リベーシング	266
リポジショニングアプライアンス	リポジショニングスプリント		267
両側性平衡咬合		全面均衡咬合・全面平衡咬合・両側性均衡咬合	268
リライン		裏装・リライニング	269
リラクセーションアプライアンス	リラクセーションスプリント		270
リリーフ		緩衝	271
リングライズドオクルージョン		舌側化咬合	272
隣接面鉤	近遠心鉤		273
隣接面板		プロキシマルプレート	274
レジンジャケットクラウン	硬質レジンジャケットクラウン・ハイブリッド型コンポジットレジンクラウン		275
レストシート		レスト座	276
レスト付き二腕鉤		三腕鉤	277
レトロモラーパッド		白後パッド・白後隆起・白歯後豊隆・白歯後隆起	278
連結子	連結装置	コネクター	279
連続鉤		コンティニューアスクラスプ	280
ろう義歯		仮床義歯	281
ワックスアップ	ろう型採得	ろう型形成・ろう形成・ろう原型採得	282
ワンピースキャスト法	一塊鑄造法		283



2019  
The Glossary of  
Prosthodontic Terms 5th ed.

---

# 日本語索引 外国語索引

---

---

---

## 【索引の利用の仕方】

1. 選定用語の用語番号はゴシック体（色数字）で表示し、他の選定用語の解説文中にも使用されている場合には、その用語番号をイタリック体（黒数字）で表示した。
2. 解説文中に使用されている選定用語以外の主要な用語は、機器の部分の名称、各種の術式、形態や材料に基づく補綴装置の名称などを含め、すべて掲載し、該当する選定用語の用語番号をイタリック体（黒数字）で表示した。
3. 〔同義語〕として認める用語には、自らの用語番号とともに、選定用語の用語番号もアンダーラインを付けてゴシック体（色数字）で表示した。
4. 付録番号を選定用語（「同義語として認める用語」を含む）ならびに「使用が望ましくない用語」すべてに表示した。



# 索引

## あ

Ah-ライン	付録 1	後ろう（鑑）付け法	12	アルミナ系セラミックス	
アーライン	1	アナライジングロッド	454, 776		477
	237, 399	アバットメント	13	アルミナサンドブラスト処	
アーリーローディング	付録 1		6, 14, 15, 53, 76, 176,	理	22 464 付録 117
	付録 166		195, 261, 553, 584, 624,	アルミナスポーセレン	24
RPI クラスプ	2 3		724, 772, 790, 842, 843,		付録 4
RPA クラスプ	3		893, 931, 932, 943	アルミナスポーセレンジャ	
Iバー	2, 3	アバットメントアナログ		ケットクラウン	23
Iバークラスプ	529, 820		14	アルミナ陶材	24
Eichner の分類	5	アバットメントスクリュ	14		23 付録 4
アクセスホール	6 724		15	アルミナプラスト処理	
アクリリックレジ	233,	アバットメントポジショ	15		25 464 付録 117
	381, 422, 1103, 1104,	ングジグ	790	アルミナポーセレン	996
	1106, 1107	アバットメントレベル	14	アルミナ粒子	464
アクリル系	751, 816	アプフラクション	16	アレルギー	275
アクリル系有機マトリ		アベックス [ゴシックアー	16	アローポイント	付録 3
ック	909	チの]	17	鞍状	26, 516, 887
アタッチメント	7		411 付録 3	鞍状型	887
	6, 53, 431, 454, 469, 472,	アマルガム築造	525	鞍状型ポンティック	26
	478, 724, 830, 845, 862,	アメリカ式埋没法	19		183
	880, 1003, 1029	アメリカ・フランス併用式	18	安静位	付録 36
Adams クラスプ	8	埋没法	18	安静空隙	27 368 付録 5
圧印金冠	9 付録 2	アルギン酸ナトリウム	21	安静空隙量	131
圧印床	10 278	アルコン型咬合器	20	アンダーカット	28
アッカーマンバーアンドク			341, 550		8, 260, 405, 456, 457, 532,
リップタイプアタッチメ		アルジネート印象	21		535, 802, 840, 951, 956,
ント	818	アルジネート印象材	217, 221		964, 975, 976, 1079,
圧痕	235, 606	アルタードキャスト法	付録 29		1088, 1095, 1100, 1118,
圧接法	1127				1123
圧負担域	付録 89	アルミナ	23, 24, 102, 103,	アンダーカット域	3, 28,
圧負担能力	11		198, 963		89, 386, 528, 529, 820
	240, 475, 634	アルミナ・ガラス複合体		アンダーカットゲージ	29
アドヒージョンブリッジ	付録 158	アルミナ・コア材	198		454
			198	アンダーカット量	29, 454
				アンダーカントウア	219
				アンチ Monson カーブ	

	1055	維持力	40	457, 560, 604, 634, 704,
安定	172, 232, 239, 300,		116, 210, 248, 308, 309,	710, 827, 917, 921, 948,
	517, 531, 568, 589, 948,		406, 407, 589, 792, 796,	954, 1000, 1020, 1040,
	1065, 1090		806, 815, 821, 922	1117
Ante の法則	30	維持腕	41	印象庄 47 65, 954, 1040
アンテリアガイダンス	31		3, 248, 386, 405 付録 8	印象域 48
	876, 972 付録 6	一次印象	65 付録 30	印象材 51, 65, 218, 221,
アンテリアクロスバー	902	一次固定	42	375, 567, 704, 710, 804,
アンテリアハイパーファン		一部被覆冠	付録 232	1090, 1117
クションシンドローム		一腕鉤	付録 178	印象採得 49
	32 429 付録 107	一回印象	付録 201	47, 50, 65, 527, 893
アンテリアリファレンスポ		一塊鑄造	945	印象法 217, 314, 375
インター	33	一塊鑄造法	43 1130	印象用コーピング 50
アンテリアリファレンスポ			付録 283	790, 893
イント	33	1 歯対 2 歯	698, 764	印象用トレー 51
電法	34	溢出孔	付録 200	412, 413, 954, 1090
		溢出路	付録 200	インターオクルーザルレ
		イットリア	561	コード 52 付録 9
		イットリア部分安定化ジル		インターナルコネクション
		コニア	561	53
		いびき	145	インターナルデランジメン
移行義歯	35 459	異物感	849, 851, 945	ト 付録 44
維持	36	イミディエートローディン		咽頭 251
	2, 7, 57, 68, 172, 232, 234,	グ 662 付録 168		咽頭期 82, 611
	239, 260, 270, 286, 386,	色変わりチューインガム	683	咽頭残留 85
	424, 488, 517, 519, 520,	色の三属性		咽頭相 611
	523, 531, 532, 568, 724,		445, 483, 1033, 1045	インフォームドコンセント
	819, 905, 948, 956, 1003,	違和感 98, 274, 331, 1061		551
	1065, 1090, 1100 付録 7	インサイザルガイダンス		インフラバルジエリア 528
維持孔	731		付録 6	インフラバルジクラスプ
維持溝	1099	インサイザルテーブル		54 529 付録 138
維持格子	37 752, 945		44 609 付録 155	インプラント 55
維持歯 38 520 付録 131		インサイザルピン	45 608	14, 53, 56, 76, 96, 109,
維持装置	39 524		付録 154	416, 431, 519, 553, 570,
	付録 134	印象	46	624, 772, 787, 790, 873,
異常嚥下	854		48, 115, 117, 125, 217,	893, 925, 926, 937
異常音	158		218, 239, 240, 249, 375,	インプラントアナログ 56
圍繞鉤	付録 55			付録 10
異常習癖	256, 854			
移植皮膚片	587			
維持領域	473			



遠心 785, 1065, 1066  
 遠心レスト 1109  
 円錐 407, 471, 528, 1128  
 延髄 82  
 円錐形 761  
 縁端強度 982  
 延長ブリッジ 88  
                   760 付録 21  
 延長ポンティック 1012  
 延長腕鉤 89 213  
 円筒 454  
 円板 161  
 円板整位 90  
 円板転位 91  
 円板復位 92  
 エンブレジャー 付録 103  
 エンブレジャークラスプ  
                   659  
  
**お**  
 横走アーム 405  
 横走部 535  
 凹面形態 433  
 OSAS 治療用口腔内装置  
                   93  
 オーバーカントウア 219  
 オーバークロージャー 94  
 オーバージェット 95  
                   383, 876 付録 22  
 オーバーデンチャー 96  
                   61, 101, 431, 819  
                   付録 23  
 オーバーバイト 97  
                   876 付録 24  
 オーバーレイデンチャー  
                   付録 23  
 オープントレー 790  
 オープントレー法 50

オープンロック 970  
 オーラルアプライアンス  
                   93  
 オーラル・ディアドコキネ  
                   シス 746 付録 187  
 オーラルディスクネジ  
                   98  
 オーラルフレイル 99  
                   321  
 オーラルリハビリテーショ  
                   ン 100 800 付録 25  
 Oリング 101  
 Oリングアタッチメント  
                   101  
 オールコンポジットレジ  
                   クラウン 1070  
 オールセラミッククラウン  
                   102 1070  
 オールセラミックブリッジ  
                   103  
 オクルーザルアプライア  
                   ス 104  
                   90, 586, 596, 798, 1082,  
                   1089 付録 26  
 オクルーザルテーブル 105  
 オクルーザルデバイス  
                   106 104 付録 26  
 オクルーザルバイトスプリ  
                   ント 付録 26  
 オクルーザルバイトプレ  
                   ー  
                   ト 付録 26  
 オクルーザルランプ 107  
 オクルーザルリコンストラ  
                   クション 付録 25  
 オステオインテグレーショ  
                   ン 付録 27  
 オステオインテグレート  
                   ドインプラント 付録 28

オッセオインテグレーショ  
                   ン 108 662 付録 27  
 オッセオインテグレート  
                   ドインプラント 109  
                   59, 553 付録 28  
 オッセオインテグレート  
                   ドブリッジ 110 998  
                   付録 249  
 オッセオオスインテグレ  
                   ーション 付録 27  
 オッセオオスインテグレ  
                   テッドインプラント  
                   付録 28  
 オトガイ 72, 111, 670, 879  
 オトガイ唇溝 111  
 オペイト型ポンティック  
                   112  
 オルタードキャスト法 113  
                   457 付録 29  
 Orton クラウン 114  
 オルビタルロケター  
                   550  
 温罨法 34  
  
**か**  
 窩 393, 642, 698, 883  
 加圧印象 115  
                   47, 538, 1051  
 加圧注入 1106  
 加圧填入 1106  
 カーボランダムグリセリン  
                   泥 526  
 カーボランダムポイント  
                   633  
 カーボンファイバー補強プ  
                   ラスチック 1007  
 カーボンマーカ 454  
 Carmichael 3/4 冠 1069

外冠	116	4, 407, 761, 796	解剖学的	254, 965	下顎頸	146
外眼角		966	解剖学的印象	125 113	下顎限界運動	866, 1013
概形印象		117	解剖学的形態	125, 253, 1051	下顎限界運動 [路]	138
	960	付録 30	解剖学的咬合器	126	下顎限界運動路	138
開咬		96		735 付録 33	下顎後退位	139
開口運動		118	解剖学的齒冠	127 1097		142, 1129
開口障害		118	解剖学的齒根	1098	下顎後退咬合位	140 141
	160, 441, 956		解剖学的指標	119		付録 37
開口相		682, 686	解剖学的所見	255	下顎後退接触位	141
開口量		709, 737	解剖学的人工臼齒	付録 34		388, 485, 667 付録 37
外耳孔		935	解剖学的人工齒	128	下顎骨離断	338, 354
外耳道		220, 966		1042 付録 34	下顎最後退位	142 545
外斜線	119	266, 797	解剖学的方法	134	下顎最後退咬合位	143 144 付録 38
改床		付録 266	解剖学的人工臼齒	付録 34		144
外傷	159, 163, 165, 174,		解剖学的人工齒	付録 34		1124 付録 38
	175, 223, 225, 226, 230,		潰瘍	235, 241	下顎三角	付録 256
	243, 312, 460, 970		過蓋咬合	129 付録 35	下顎枝	146
外傷性炎症		34	下顎安静位	130 27, 131,	下顎前突	864
外傷性咬合		120		281, 368 付録 36	下顎前方整位タイプ	145
外側韌帯		569	下顎安静位利用法	131	下顎前方保持装置	145
外側バー		121	下顎位	132 150, 709	下顎側方運動	669
	817 付録 31		下顎運動	133	化学的安定性	995
外側フィニッシュライン		912		66, 134, 135, 136, 137,	化学的清掃	768
改訂水飲みテスト		122		151, 287, 539, 577, 661,	下顎頭	146
ガイディングプレーン		付録 32		866, 867, 899, 1013,		66, 91, 144, 147, 187, 191,
				1056		193, 199, 438, 439, 446,
回転軸	521, 626, 1003		下顎運動解析装置	866		448, 509, 543, 544, 569,
回転中心	478, 545, 739,		下顎運動記録	134 1013		591, 626, 661, 668, 669,
	979		下顎運動記録装置	135		726, 727, 737, 739, 886,
ガイド	265, 587, 678			311, 398, 1034		966, 970, 979, 1056, 1082
ガイドグループ		123	下顎運動計測法	311		付録 39
ガイド板		338	下顎運動検査	152	下顎頭位	147
ガイドプレーン		124	下顎運動障害	136 361		485 付録 40
	1017, 1101 付録 32		下顎運動要素	137 450	下顎頭間軸	付録 48
開閉運動	191, 540, 738		下顎窩	91, 144, 147, 187,	下顎反復小開閉口運動	709
開閉軸		914		726, 727, 737	下顎偏位	338, 354
解剖学		800	下顎近心咬合	864	下顎法	568

下顎隆起	148 1090	顎関節異常	159	顎堤	171
下弓 [咬合器の]	149	顎関節エックス線撮影	157	28, 46, 49, 172, 173, 233,	
20, 191, 341, 343, 425,		顎関節音	付録 43	239, 328, 413, 516, 517,	
609, 1026, 1083		顎関節窩	668	518, 532, 574, 600, 697,	
架橋義歯	付録 238	顎関節機能異常	687	827, 934, 956, 1040, 1041,	
架橋歯	付録 257	顎関節強直症	159	1042, 1062, 1068, 1088,	
顎位	150	顎関節腔造影法	157	1112 付録 46	
81, 130, 131, 139, 142,		顎関節雑音	158	顎堤間距離	277
341, 345, 348, 350, 368,		166, 290, 294, 361		顎堤弓	171, 377, 518, 1051
373, 439, 440, 569, 648,		付録 43		顎堤吸収	172 96
660, 666, 726, 727, 839,		顎関節疾患	159 157, 331	顎堤頂間距離	441
986, 1082, 1129		顎関節症	160	顎堤粘膜	173
顎運動	151	78, 158, 162, 166, 361,		3, 65, 112, 115, 171, 172,	
66, 133, 158, 180, 193,		402, 596, 734, 929		212, 240, 322, 498, 499,	
199, 256, 330, 340, 341,		顎関節痛	161	505, 813, 814, 871, 887,	
345, 411, 610, 615, 626,		顎関節内障	162 付録 44	988 付録 47	
638, 661, 678, 681, 683,		顎関節内部障害	付録 44	顎内障	付録 44
691, 709, 721, 735, 740,		顎顔面補綴	163 164	顎粘膜	付録 47
867, 965, 1006, 1042		顎顔面補綴装置	164	顎補綴	174 163, 167
顎運動経路	682	顎義歯	165	顎補綴装置	175 164
顎運動検査	152	632, 725, 762, 954		ガグリールメッティイソク	
顎運動障害	166	顎機能	341, 372, 411	リップ	1003
顎間関係	153	顎機能障害	166	架工義歯	付録 238
86, 152, 350, 355, 360,		顎欠損	167	架工歯	付録 257
784, 1119		顎口腔機能	134, 152, 280,	下口唇	384
顎間関係記録	154 156	361, 442		荷重	654, 662
付録 42		顎口腔系	168	仮床義歯	付録 281
顎間距離	155	100, 118, 120, 274, 285,		下唇	72, 111, 552, 888
94, 155, 608, 609, 726		301, 334, 356, 357, 362,		下唇小帯	322
付録 41		369, 371, 442, 691, 693,		下唇線	900
顎間記録	156	800 付録 45		カスタムアバットメント	
343, 640, 716, 770		顎骨	53, 59, 163, 165, 167,	176 1059	
付録 42		171, 174, 175, 565, 1018		ガス抜き	114
顎関節	31, 78, 118, 126,	顎骨欠損	307	カスピッドプロテクトッド	
138, 146, 157, 158, 159,		顎骨支持	169 60 付録 13	オクルージョン	付録 83
160, 161, 162, 166, 339,		顎骨-粘膜支持	61 付録 14	仮想円錐角度	406
344, 542, 708, 709, 782,		顎舌骨筋	170, 391, 797	仮想咬合平面	177 220,
885, 913, 970, 1006		顎舌骨筋線	170 797	365, 377, 384, 775, 1112	

仮想軸	474	394 付録 39	ガラス浸透型セラミックス	198	
仮想平面	513, 577, 580, 602	窩洞	389, 950	ガラスセラミック材料	257
型ごと埋没法	178	顆頭安定位	187	ガラス粒子	464
片麻痺	993 付録 246	顆頭位	188 <u>147</u> 付録 40	カリウム	21
片持ち梁	88	顆頭間距離	189 965	Gariot 咬合器	738
仮着	179 624, 1084	顆頭間距離調節	550	仮義歯	付録 116
仮着セメント	624	顆頭間軸	190	仮設計	117, 456
各個トレー	付録 106		189 付録 48	加齢	1097, 1121
滑舌低下	99	顆頭球	191	加齢変化	337, 402, 1076
滑走運動	180		20, 201, 425, 550, 830	顆路	199
	31, 199, 289, 615, 651,	顆頭軸	付録 48		126, 202, 509, 510, 615,
	652, 671, 737, 739	可動性	431, 472, 818, 860,		636, 716, 717, 735, 865,
カッティングナイフ	454		861, 862		911
カップバンドトレー	412	可動性固定性連結	付録 216	顆路角	965
滑膜	161	可動性固定連結	付録 216	顆路型咬合器	200 <u>126</u>
可撤式固定法	67	可動性補綴装置	192 <u>861</u>		341 付録 33
可撤式歯型	490		付録 215	顆路きょう導板	付録 50
可撤式模型	490, 961	可動組織	249	顆路傾斜角	847
可撤歯型式模型	181 <u>490</u>	顆頭点	193	顆路指導	550
	付録 123		189, 190, 199, 966	顆路指導機構	830
可撤性	26, 1114	顆頭点間	189	顆路指導板	201
可撤性義歯	182	可動粘膜	194		191 付録 50
	7, 96, 116, 796		236, 530, 533	顆路指導部	
可撤性床義歯	893	可動部	1		20, 202, 425, 550
可撤性パーシャルデンチャー	付録 230	加熱圧縮	1106	顆路指導要素	341
可撤性部分義歯	925	加熱重合	1106	顆路調節	199, 593, 717
可撤性部分床義歯	563	加熱膨張	258	顆路調節機構	202 341
可撤性ブリッジ	183	仮封冠	付録 241	下腕	405
	182, 184, 761, 887, 925,	下部構造	109, 416	冠	203 <u>284</u> 付録 74
	937, 1061	下部構造 (体) [インプラン	195 付録 49	緩圧型	431, 472, 594, 818
可撤性補綴装置	184	トの]		緩圧型アタッチメント	204
	116, 231, 418, 803, 1038	窩壁	210	緩圧型維持装置	205 <u>206</u>
可撤性有床義歯	1065	かみしめ	295, 442, 782		付録 51
可撤性連結	185	ガム模型	196 <u>567</u>	緩圧型支台装置	206
可撤部	845, 1029		付録 148		207 付録 51
顆頭	186 <u>146</u>	カラーレスマージン	197	緩圧機構	204
		ガラス	909	緩圧作用	207

緩圧性連結	付録 216	関節円板	90, 91, 92, 157, 162, 290, 726, 970, 1082	顔面欠損	225
緩圧性連結装置	付録 52	関節円板障害	160	顔面神経	82
緩圧装置	207 付録 52	関節窩	726	顔面補綴	226 163
陥凹	28, 845, 1121	関節結節	66, 91, 438, 726	顔面補綴装置	164, 221, 222, 225
眼窩	335, 591	関節雑音	160, 734	顔面輪郭	63
眼窩下縁	208, 935	間接支台装置	215		
眼窩下点	208		589, 705, 922, 1065		
	485, 577, 650		付録 56		
感覚異常	209 付録 53	関節頭	146	キー	227
間隔尺度	445, 1045	関節突起	146	キーアンドキーウェイ	227
感覚障害	209 付録 53	関節部	126, 201, 341, 550, 721, 830		862
眼窩骨縁	208	間接法	1088, 1127	キーウェイ	227
眼窩点	208, 935	関節包	142, 161	Gysi の軸学説	401, 652, 969
顔弓	付録 229	関節包・靱帯障害	160	Gygi 法	377
冠橋義歯学	付録 75	関節隆起	661	キーパー	228 515
冠橋義歯補綴学	付録 75	完全自浄型	863	キーパーボンディング法	515
顔形	568	完全自浄型ボンティック	216	キール	229
嵌合	393	完全燃焼型ブロック	562	器械測色法	665
嵌合効力	210	眼点	208, 935	機械的結合	997
	389 付録 54	寒天アルジネート連合印象	217	機械的刺激	235, 241, 243, 934
嵌合力	211 210	寒天印象	218 付録 57	機械的清掃	768
	620 付録 54	寒天印象材	217, 218	機械的慢性刺激	244
感作性	275	カントウア [歯の]	219	義顎	230
眼耳平面	付録 237		76, 567	義歯	231
患者可撤式	57	間入義歯	付録 180		7, 11, 28, 35, 96, 107, 113,
換床	付録 266	乾熱重合	1106		117, 124, 128, 165, 172,
緩衝	付録 271	Camper 線	220, 935		173, 182, 204, 206, 215,
緩衝腔	212 313	Camper 平面	220		232, 233, 234, 235, 236,
環状鉤	213		365, 577 付録 58		237, 239, 240, 241, 243,
	68, 80, 286, 323, 387, 405,	顔面印象	221		244, 245, 248, 249, 279,
	428, 713, 808, 823, 1111	顔面インプラント	222		286, 300, 328, 363, 369,
	付録 55	顔面エピテーゼ	223		372, 383, 391, 424, 436,
緩衝能	707		221, 222, 225, 226		450, 454, 455, 456, 459,
緩衝部	212	顔面計測法	224		499, 501, 517, 531, 532,
嵌植義歯	付録 11				571, 574, 589, 617, 634,
間接維持	300				
間接維持装置	214 215				
	付録 56				

## き



644, 663, 724, 743, 765, 767, 771, 814, 816, 838, 853, 880, 882, 889, 890, 893, 903, 920, 925, 926, 948, 956, 962, 968, 989, 1015, 1062, 1074, 1076, 1085, 1086, 1091, 1092, 1101, 1109, 1110, 1113	義歯床支持域 238 <u>240</u> 付録 63	基底面 26, 112, 731, 863, 887, 906, 924, 977, 1022, 1061, 1075, 1077
義歯安定剤 232	義歯床粘膜面 239 18, 19, 212, 240, 278, 751, 912, 1088, 1090 付録 62	機能圧 204, 206, 236, 328, 460, 478, 880
義歯刻印 <u>769</u> 付録 192	義歯床負担域 240 57, 266, 328 付録 63	機能異常 78, 157, 255
疑似歯肉 566	義歯床用樹脂 816	機能印象 249 113, 327, 1011
義歯床 233 10, 37, 234, 235, 236, 239, 244, 245, 246, 270, 278, 313, 318, 322, 377, 381, 392, 422, 505, 532, 547, 553, 554, 555, 566, 589, 644, 705, 729, 872, 906, 922, 1041, 1051, 1062, 1081, 1090, 1104, 1106, 1107, 1109, 1123	義歯性潰瘍 241	機能運動 75, 395
義歯床縁 530, 531, 533, 820, 872, 985	義歯性口腔粘膜症 242 <u>235</u> 付録 60	機能運動経路 75
義歯床縁形態 271	義歯性口内炎 243 768	機能咬頭 250 698, 883
義歯床下支持組織 240	義歯性線維腫 244	機能障害 78, 162, 225, 231, 362, 514, 612, 613, 658
義歯床下粘膜 234 212, 235, 249, 327, 538, 704, 751, 985, 1081, 1088 付録 59	義歯性線維症 244	機能性 864
義歯床下粘膜異常 235 241, 243 付録 60	義歯設計 456	機能性嚥下障害 251 付録 66
義歯床基底面 付録 62	義歯洗浄剤 245 768	機能側 付録 173
義歯床筋圧面 付録 61	器質的構音障害 307	機能的運動路法 252 <u>75</u> 付録 17
義歯床形態 838	基準水平面 510	機能的構音障害 307
義歯床研磨面 236 229, 875, 912, 948, 1050 付録 61	基準線 518	機能的咬合面形成法 1128
義歯床後縁 237 1	基準点 193, 610, 826	機能的咬頭路描記法 付録 17
	基準平面 137, 717, 904	機能的人工歯 253 付録 67
	基準面 364	機能の正常咬合 254
	義歯用ブラシ 514, 768	機能の不正咬合 255
	既製アバットメント 176	機能の模型 75
	既製人工歯 277, 430, 450	基本的下顎運動 256
	既製トレー 51, 827, 960, 1051	脚部 962
	既製ピン 525	キャストابلセラミックス 257
	既製ポスト 525, 1007	キャストイングライナー 258 付録 68
	基礎床 246 229, 355, 360	キャストオン法 893
	拮抗作用 [義歯の] 247 付録 64	キャストクラスプ 付録 181
	拮抗的 2	キャストサポート 259 1025
	拮抗反復運動 746	キャストレス 515
	拮抗腕 248 405 付録 65	
	基底結節 300, 1118	
	基底結節レスト 1109	

キャップ	260, 790, 1047	頬棚	266	付録 71	金属床義歯	279
キャップ型	507	頬粘膜圧痕	267		731, 843, 912, 945	
キャップクラスプ	260	局部床義歯補綴学			金属線	460
CAD/CAM アバットメン		269	927	付録 231	金属箔	212, 778
ト	261	局部義歯		付録 230	金属箔マトリックス	1030
CAD/CAM 冠	262	局部義歯学		付録 231	金属箔マトリックス法	
	付録 69	局部床義歯	268	926		1030
CAD/CAM クラウン	262			付録 230	金属ピン	905, 1080
	付録 69	局部床義歯学		付録 231	金属ポスト	525
CAD/CAM デンチャー		局部トレー	960		金属摩擦	792
	263	虚弱	99		金属焼付陶材冠	付録 195
吸引	854	筋	138, 161, 274, 280, 708		金属焼付ポーセレン冠	
QOL 学	1036	筋圧	270			付録 195
旧義歯	35, 704	筋圧維持	270		筋電図	280
白後三角	264	筋圧形成	271		筋電図検査	280
	119, 797, 1112		548	付録 72	均等色空間	79
白後腺	1112	近遠心鉤	272	1100	筋突起	119, 797
白後パッド	付録 278			付録 273	筋肉肉位 [下顎の]	281
白後隆起	付録 278	近遠心の	396		筋把握法	274
白歯後豊隆	付録 278	筋活動	683		筋膜	161
白歯後隆起	付録 278	金銀パラジウム合金	643		筋膜痛機能障害症候群	
白歯離開咬合	265	筋形成	273	271		付録 18
	100, 876	金合金	10, 176, 643, 810			
吸水性	1105	均衡側		付録 221		
急性炎症	34	筋触診法	274			
鳩尾形	950, 1002	近心	785, 1044, 1065		隅角	364, 610, 922
白磨	250, 681	近心傾斜歯	950		空口状態	283
白磨運動	付録 73	近心レスト	2, 1109		くさび効果	116, 407, 761
橋義歯	付録 238	金属	620, 897		くさび作用	922
頬骨	334, 336, 890	金属アレルギー	275		くさび状	1032
頬骨弓	335	金属加強ポーセレンブリッ			くさび状咬頭	557
頬舌的	396, 697, 864	ジ	996		屈曲鉤	付録 159
頬側	806, 1108	金属冠	276		屈曲バー	282 817
頬側咬頭内斜面	938		12, 116, 631, 647, 761,		グライインディング	283
頬側床翼	554		796, 1027, 1108			854, 929 付録 73
頬側棚	付録 71	金属歯	277 564		クラウン	284
頬側バー	121	金属床	278		6, 9, 53, 67, 262, 285, 389,	
橋体	付録 257		233, 729, 1130		418, 488, 490, 567, 622,	
					631, 715, 724, 777, 781,	

824, 893, 916, 919, 953, 961, 976, 997, 1002, 1053, 1084, 1097, 1127 付録 74	1023, 1058 付録 78	Kennedy の分類 299 1065	
クラウンブリッジ 570, 893, 906, 917	グレース 付録 78	Kennedy バー 300 1118 付録 81	
クラウンブリッジ補綴学 285 付録 75	クレピタス 293 <u>294</u> 付録 79	Kelly's 症候群 429 付録 107	
クラウン辺縁 567	クレピテーション 294 158 付録 79	ゲル 21	
クラスプ 286 8, 89, 124, 213, 308, 318, 405, 428, 473, 528, 535, 555, 592, 627, 659, 728, 802, 816, 820, 823, 840, 859, 962, 1032, 1079, 1095, 1109, 1118, 1130 付録 76	クレンチング 295 267, 606, 854, 929	腭 161	
クラスプアーム 付録 102	クローズドトレー法 50	限界運動 329, 661	
グラスファイバー 909, 1007	Krol 型 2	限界運動路 138, 199	
クラスプサバイヤー 付録 114	クロスバイト 付録 96	研究用模型 301 117, 413, 456, 548 付録 82	
クラスプショルダー 付録 88	<b>け</b>		
クラスプライン 付録 84	形成外科手術 587	言語障害 307, 993	
クラッチ 638, 866, 902	継続歯 296 <u>1008</u> 付録 253	検査用グミゼリー 683	
Kratochvil 型 2	形態異常 157, 162, 312, 1018	犬歯白後隆起線 302 <u>831</u> 付録 206	
グラフィック法 [下顎運動 の] 287 311	形態見本 1049	犬歯尖頭 901	
クリアランス 288	経鼻の持続陽圧呼吸療法 297 付録 80	犬歯保護咬合 付録 83	
Christensen 現象 289 736	外科処置 587, 1017	犬歯誘導咬合 303 100 付録 83	
クリッキング 290 158 付録 77	外科の再建手術 225	研磨 464	
グループ 1002	外科の処置 90	研磨材 464	
グループファンクション 291 972	外科の切除 313, 549	研磨面 531, 547	
グルコース 683	結合組織性付着 603	<b>こ</b>	
グレージング 292	結合力 620	コア 525	
	結紮法 460	コア陶材 23	
	結晶化 257	鉤 304 <u>286</u> 付録 76	
	結晶構造 561	後縁封鎖 392	
	欠損 285, 298, 299, 312, 479, 551, 566, 1018	構音 305 70, 306, 839	
	欠損歯列 298	構音器官 305, 306	
	欠損部 55, 172, 215, 230, 771, 1061	構音機能 306	
	欠損部顎堤 26, 117, 319	構音検査 306 732	
	欠損様式 722, 1065	構音障害 307 225, 313, 590, 801, 849	
	血糖測定器 683	構音体 306	
		構音点 306	

口蓋 1, 233, 239, 244, 310, 423, 850, 851, 853	口峽 423	1085
口蓋咽頭弓 423	咬頰 383	咬合圧 326
口蓋咽頭筋 832	咬筋 274	240, 249, 478, 644, 760, 903
口蓋杆 付録 213	咬筋触診法 274	咬合圧印象 327 115
鉤外形線 308 付録 84	咬筋前縁部 274	咬合圧負担域 328
口蓋後縁封鎖 309	咬筋把握法 274	11, 207 付録 89
口蓋床 310	口腔インプラント 319	咬合位 329
592, 617, 801, 858	55, 943 付録 86	100, 141, 144, 281, 330, 347, 619, 651, 671, 727, 987
口蓋小窩 399	口腔外補綴装置 164	咬合異常 330
口蓋振動線 付録 1	口腔顎系 付録 45	98, 100, 331, 734
口蓋舌弓 423	口腔乾燥 321	咬合違和感症候群 331
口蓋側 107	口腔乾燥症 320	咬合印象 332
口蓋粘膜 505	707 付録 87	咬合印象用トレー 332
口蓋板 107	口腔関連 QOL 551	咬合円錐 333 471
口蓋帆挙筋 1	口腔期 82, 611	付録 118
口蓋帆張筋 1	口腔機能 99	咬合音 334
口外描記法 311 287, 411	口腔機能障害 167	335, 336, 734, 780
口外法ゴシックアーチ描記 装置 638	口腔機能低下症 321 99	咬合音検査 335
口蓋補綴 312	口腔常在菌 58	咬合音分析装置 336
口蓋麻痺 307	口腔前庭 322	硬口蓋 399, 767
口蓋隆起 313 844, 1090	121, 530, 533	咬合学 337
口蓋裂 96, 307, 590, 858	口腔相 611	咬合滑面板 338 338
口角 316, 890, 1050	口腔底 391 付録 101	咬合関係 339
光学印象 314 付録 85	口腔内記録装置 638	5, 117, 267, 332, 359, 362, 1088
口角結節 付録 262	口腔内スキャナー 583	咬合干渉 340
後顎舌骨筋窩 315	口腔内装置 104, 145	335, 395, 657, 1110
口角線 316 900	口腔内補綴装置 164	咬交器 付録 90
硬化膨張 258, 805	口腔粘膜 241	咬合器 341
鉤間軸 付録 132	口腔不潔 321	20, 126, 134, 149, 180, 191, 199, 201, 342, 343, 350, 362, 366, 425, 485, 526, 539, 546, 550, 593, 608, 609, 636, 716, 735, 738, 740, 745, 765, 830,
槓杆線 付録 132	鉤肩 323 387 付録 88	
鉤間線 317 521 付録 132	咬交 324	
鉤脚 318	咬合 325	
8, 80, 213, 387, 555, 752, 1111	167, 254, 255, 324, 330, 331, 337, 343, 345, 346, 362, 375, 462, 526, 574, 577, 600, 614, 633, 700, 708, 715, 743, 770, 833, 866, 876, 885, 953, 968,	
鉤脚部 535		
考究用模型 付録 82		

865, 866, 904, 913, 914, 965, 1025, 1026, 1083	咬合小面学説 356, 401, 652, 969	365, 372, 374, 401, 421, 442, 450, 471, 473, 539, 614, 630, 659, 680, 693, 698, 724, 727, 747, 761, 770, 795, 806, 883, 944, 950, 962, 975, 1042, 1052, 1097, 1128
付録 90	咬合診断 350	
咬合器再装着 342	咬合性外傷 357 1098	
1083 付録 91	咬合接触 358	
咬合器再付着 付録 91	5, 81, 180, 291, 303, 330, 334, 340, 342, 351, 352, 353, 359, 370, 402, 450, 556, 586, 633, 640, 657, 660, 682, 683, 698, 734, 736, 747, 885, 990, 1085, 1086, 1109	
咬合器装着 343 付録 92	咬合接触面積 691, 944	咬合面窩 250, 504
咬合機能 179	咬合相 682, 686	咬合面間 371
咬合器付着 付録 92	咬合調整 359 128, 180	咬合面間距離 368 368
咬合局面 付録 93	咬合堤 360	咬合面間記録 付録 9
咬合拳上 344 1017	177, 246, 289, 355, 717, 770, 900, 913 付録 94	咬合面形態 75, 180, 277, 526
咬合記録 345	咬合の支持 229	咬合面再形成 [義歯の]369
咬合検査 346	咬合の不調和 361	咬合面レスト 68, 1109, 1111
咬合検査機器 346	咬合病 361	咬合ユニット 712
咬合高径 347	咬合分析 362	咬合様式 370
27, 94, 111, 131, 155, 224, 344, 348, 373, 383, 402, 411, 642, 670, 747, 826, 837, 839, 878, 879, 942, 1104, 1124	咬合平衡 363	180, 265, 291, 303, 618, 745, 856, 940, 990, 1037, 1052, 1086, 1091
咬合高径測定法 348	450, 736, 856, 1042	咬合力 371
咬合再構成 349 100	咬合平面 364	88, 173, 207, 233, 235, 327, 328, 357, 359, 434, 502, 506, 640, 683, 907, 1090, 1091, 1109, 1110
570 付録 25	64, 177, 220, 266, 267, 366, 383, 429, 577, 600, 610, 678, 747, 771, 775, 847, 857, 894, 977	咬合力計 372
咬合採得 350	咬合平面設定板 365	咬合力検査 372
274, 347, 365, 373, 770, 827, 839, 900	付録 95	咬合力測定装置 373
咬合採得法 86, 131, 784	咬合平面測定基準板 付録 95	咬合力測定法 373
咬合紙 351 346, 633	咬合平面板 366 1025	咬合力低下 321
咬合支持 352 86, 1121	咬合平面分析板 367	咬合力分布 372
咬合支持域 353 5	咬合面 6, 8, 9, 80, 104, 105, 107, 127, 128, 236, 260, 277, 325, 339, 356,	咬合彎曲 374 367, 678, 736, 771, 1055
咬合斜面板 354		咬座印象 375
咬合床 355		交叉咬合 376
220, 246, 289, 327, 365, 568, 717, 784, 999, 1129		864 付録 96
咬合状態 129, 335		交叉咬合排列 377 378
咬合小面 356		
324, 401, 940, 969		
付録 93		

交叉咬合用人工臼歯		合着	389	喉頭摩擦音	307
付録 97		179, 389, 620, 731		口内描記法	398 411
交叉咬合用人工歯	378	合着材	210, 795	口内法ゴシックアーチ描記	
付録 97		合着操作	527	装置	898
鉤歯	379 520 付録 131	合着用セメント	390	硬軟口蓋境界部	399
硬質レジン	380 430	付録 100		後パラタルバー	850
付録 108		口底	391 1093 付録 101	後方運動	401
硬質レジン歯	381 564	合釘	付録 252	後方滑走運動	180, 1044
硬質レジンジャケットクラ		合釘孔	付録 254	後方基準	1112
ウン	382 1105	後堤法	392	後方基準点	400
付録 275		合釘保持孔	付録 254	546, 577, 650, 740, 913,	
鉤指導線	付録 115	光電色彩計	665	914, 966	
咬傷	383	後天的欠損	470	後方咬合小面	401
鉤状切痕	付録 212	咬頭	95, 97, 250, 367, 378,	後方指導	付録 251
甲状軟骨	868	393, 395, 504, 847, 1128		後方側方滑走運動路	676
口唇	72, 98, 306, 322, 533,	咬頭嵌合	393	後方誘導	付録 251
767, 1076, 1121		438, 727, 833		咬耗	402
咬唇	854	咬頭嵌合位	394	9, 344, 361, 402, 780,	
口唇接合線	384 付録 98	81, 86, 95, 97, 107, 128,		782, 942, 1104	
口唇閉鎖線	385 384	129, 130, 139, 141, 187,		咬耗症	402
付録 98		338, 343, 344, 346, 352,		口輪筋	890, 1050
構成要素	233, 279, 507,	353, 354, 370, 376, 388,		高齢化社会	403
599, 724, 1115		439, 450, 485, 504, 539,		高齢化率	403, 404, 733
更生用装具	658	540, 541, 600, 618, 651,		高齢社会	404
咬舌	383, 854	660, 667, 671, 682, 698,		口裂	322, 879, 1121
鉤切痕	付録 212	709, 727, 738, 747, 770,		鉤腕	405
鉤先	付録 99	782, 784, 864, 876, 970,		3, 41, 68, 80, 213, 247, 248,	
鉤尖	386	987, 1037, 1124, 1125		286, 300, 323, 386, 387,	
41, 80, 405, 454, 820, 840,		咬頭干渉	395	405, 473, 529, 659, 713,	
964, 1079, 1118, 1123		340, 359, 782, 938		808, 820, 823, 840, 962,	
付録 99		咬頭傾斜	574, 876, 1124	964, 1079, 1084, 1095,	
酵素	245	咬頭傾斜角	396	1111, 1118 付録 102	
鉤体	387	128, 253, 450, 1042		誤嚥	83, 85, 122, 868
80, 213, 323, 405, 659,		咬頭歯	付録 34	誤嚥性肺炎	768
840, 1079, 1095, 1109		咬頭人工歯	付録 34	コーヌス角	406 407, 420
後退運動 [下顎の]	388	喉頭侵入	85	コーヌスクローネ	971
咬断	250, 681	咬頭頂	642	コーヌステレスコープ	
鉤端	付録 99	咬頭展開角	397	406, 420	



最後退位	411	作業模型	付録 112	酸化アルミニウム	23, 24
最後方位	142, 544, 726	作業用模型	449	三角形パッチ	71
最終印象	435 <u>604</u>		14, 50, 56, 212, 456, 490,	酸化剤	245
	付録 153		491, 548, 566, 567, 593,	酸化ジルコニウム	<u>561</u>
最終義歯	436		715, 771, 872, 917, 919,		付録 146
	177, 459, 704, 743		921, 961, 975, 1011, 1038	酸化物	561
最終上部構造	664		付録 112	酸化物層	458
最終補綴装置	437	割合 18, 359, 375, 526, 633,		酸化膜	458 749
	179, 570		780, 1104	暫間冠	付録 241
最小圧印象	付録 261	割合 [人工歯の]	450	暫間義歯	459
最小発音空隙	73, 837	Saxon テスト	451, <u>452</u>		436, 462, 592, 814
最前方咬合位	438		付録 113		付録 116
再装着	765	Saxon 法	452 付録 113	暫間固定	460
最側方咬合位	439	撮像	670	暫間固定装置	1103
最大開口位	440 441	Sadrin の法則	521	暫間修復	664
最大開口距離	付録 110	サドル	792, 821	暫間上部構造	664
最大開口量	441	サブストラクチャー		暫間被覆冠	461 <u>952</u>
	118 付録 110		453 <u>195</u> 付録 49		付録 241
最大筋力点	373	サブリングルバー	1093	暫間補綴装置	462
最大咬合力	442	サバイヤー	454	残根上義歯	463 <u>96</u>
	372, 373, 691		29, 443, 455, 456, 776,		付録 23
最大豊隆線	443		971, 975 付録 114	三叉神経	82
	443, 455, 471, 528	サベライン	455	三次元スキャナー	<u>583</u>
最大豊隆部	444		3, 28, 308, 405, 443,		付録 151
	28, 455, 456, 473, 474		454, 859 付録 115	三次元デジタイザー	<u>583</u>
最大面積	727	サベイング	456		付録 151
彩度	445 1033	サベヤー	付録 114	残存歯	86, 231, 300, 431,
サイドシフト	446 886	サベヤー	付録 114		455, 456, 508, 600, 722,
作業側	447	サベーライン	付録 115		925, 926, 937, 1065, 1092
	291, 363, 401, 448, 636,	サベヤー	付録 114	残存歯列	1065
	668, 682, 892, 938, 940,	サポート	付録 130	サンドイッチ型	507
	979, 989, 990, 1085, 1086	左右口角間距離	224	サンドブラスト処理	464
	付録 111	酸化亜鉛ユージノール印象			997 付録 117
作業側下顎頭運動経路	448		457	3面4隅角	808
作業側側方顎路	448	酸化亜鉛ユージノール印象		三腕鉤	付録 277
作業側側方顎路角	448	材	457		
作業側側方顎路傾斜 (度)	448	酸化亜鉛ユージノールペー			
		スト	717	仕上げ印象	付録 153

## し



CR比	付録 120				
CRレシオ	付録 120	歯冠外形	7, 903	歯冠型クラスプ	481
C/Rレシオ	付録 120	歯冠型クラスプ	116	歯冠型クラスプ	426, 482, 557
シーカーアタッチメント				付録 119	歯冠離開度検査
	472	歯冠形成法	1127		482
CPAP療法	465 297	歯冠継続歯	付録 253	色相	483 1033
	付録 80	歯冠形態	219, 1073	色相環	483
Sjögren 症候群	320	歯冠經由型クラスプ		色調	484
シェードガイド	466		付録 119	色調安定性	1103
	484, 665	歯冠鼓形空隙	付録 103	色調選択	484
シェードセレクション		歯冠軸	付録 103		665 付録 122
	467 484	歯冠歯根長比	付録 120	色調見本	466
シェードテイキング		歯冠歯根比	付録 120	磁気の吸引力	515
	付録 122		96, 1098	歯齧圧排	付録 136
シェードマッチング		歯冠修復	482, 492, 561,	軸学説	356
	付録 122		916, 1097, 1098	軸眼窩平面	485
シェル	1071	歯冠修復物	476 479	軸面	486
紫外線レーザー	598		付録 121		28, 406, 407, 420, 488,
歯科インプラント	468 319	歯冠色材料	477		755, 1002
	付録 86	歯冠色陶材	23	軸面傾斜角	487 755
歯牙支持	付録 128	歯冠色レジン	1108		付録 188
自家製アタッチメント	469	歯冠長	1098	軸面形成	488 806
	720, 971	歯冠長延長術	930	軸面形態	219
自家製トレー	51	歯冠内アタッチメント	478	歯型	489
自家製ポスト	1007		7, 845, 1029		490, 491, 567, 706, 715,
耳下腺乳頭	322	視感比色法	665		790, 893, 919, 961, 1127
歯牙負担	付録 128	歯冠補綴架橋義歯学		歯型可撤式模型	490
歯科補綴学	470		付録 75		706, 893 付録 123
	285, 645, 874, 927, 1068	歯冠補綴架工義歯学		歯型固着式模型	491
歯科補綴装置	1018		付録 75		919 付録 124
歯科用磁性アタッチメント		歯冠補綴装置	479	歯頸線	552
	228		28, 40, 76, 179, 276, 284,	歯頸側辺縁形態	付録 125
歯冠	219, 276, 444, 471,		488, 536, 584, 603, 624,	歯型トレー	付録 105
	472, 474, 475, 478, 525,		647, 755, 843, 897, 916,	歯頸部	19, 531, 567
	528, 715, 724, 897, 928,		928, 953, 1002, 1007	歯頸部辺縁形態	492
	1097, 1108				537, 559, 799, 915, 981,
歯冠円錐	471 付録 118		付録 121		982 付録 125
歯冠外アタッチメント	472	歯冠離開	480 942	刺激時唾液分泌量	452
				刺激値直読方式	665
				篩骨鶏冠	1055

歯根	96, 475, 1097	64, 396, 443, 471, 528,	591, 626, 630, 637, 697,
歯根アタッチメント		580, 981	735, 736, 867, 911
付録	109	支持咬頭	504
歯根円錐	493 528	歯質	123, 551, 622, 1018,
付録	137		1071, 1073
歯根破折	434, 916	歯質削除量	472, 478, 536,
歯根表面積	30, 760, 1012		559, 905, 907
歯根膜	183, 328, 442, 498,	支持粘膜	505
	499, 500, 501, 903	支持能力	506
歯根膜感覚	96	磁石	228
歯根膜支持	494 500	磁石構造体	507
付録	128		228, 515, 830
歯根膜支持義歯	495 501	歯周疾患	460, 482, 508,
付録	129		557, 930
歯根膜粘膜混合負担(支持)		歯周組織	120, 357, 429,
付録	126		508, 542, 603, 786, 885,
歯根膜粘膜支持	496 498		926, 1074
付録	126	歯周病	768
歯根膜粘膜支持義歯		歯周病菌	58
497 499 付録	127	歯周補綴	508
歯根膜粘膜複合負担(支持)		耳珠上縁	220, 935, 966
付録	126	耳珠上縁点	935
歯根膜粘膜負担	498	矢状顎路	509 199, 865
付録	126	矢状顎路傾斜	510, 636
歯根膜粘膜負担義歯	499	矢状顎路傾斜角	201, 510
508 付録	127	矢状顎路傾斜角(度)	510
歯根膜負担	500	矢状 Christensen 現象	289
1074, 1113 付録	128	矢状推進現象	574
歯根膜負担義歯	501	自浄性	216, 863, 887,
付録	129		1022, 1061
シザーズバイト	付録 207	矢状切歯路	511
支持	502	矢状切歯路傾斜角(度)	512
2, 7, 11, 57, 68, 183, 234,		矢状前方顎路	509
239, 286, 405, 519, 520,		矢状前方顎路傾斜角	510
523, 664, 724, 819, 890,		矢状側方顎路	509
1065 付録	130	矢状側方顎路傾斜角	510
支持域	5	矢状面	513
歯軸	503		199, 509, 510, 511, 512,
			591, 626, 630, 637, 697,
			735, 736, 867, 911
		自助具	514
		歯性	864
		磁性アタッチメント	515
			96, 507, 830
		磁性材料	507
		磁性ステンレス鋼	228
		歯槽間距離	94
		歯槽骨	171, 172, 549, 934,
			984, 1061, 1097
		歯槽骨頂	475, 603
		歯槽頂	516
			266, 517, 518, 924, 1075
		歯槽頂間線	517
		歯槽頂間線角度	377
		歯槽頂線	518
		歯槽堤	付録 46
		歯槽堤粘膜	付録 47
		歯槽突起	516, 926
		歯槽粘膜	付録 47
		持続時間	336
		支台	519
			13, 553, 565, 664, 925,
			998
		支台形成	付録 133
		支台歯	520
			3, 7, 11, 28, 30, 42, 88, 89,
			124, 179, 183, 204, 206,
			207, 213, 217, 218, 227,
			247, 248, 260, 286, 323,
			332, 386, 389, 412, 418,
			433, 434, 454, 472, 473,
			475, 478, 488, 508, 521,
			523, 524, 529, 536, 537,
			559, 566, 607, 620, 622,
			659, 713, 760, 786, 799,
			802, 803, 806, 818, 820,

823, 843, 861, 862, 880, 882, 893, 908, 915, 916, 925, 937, 953, 962, 975, 976, 981, 982, 991, 1002, 1007, 1008, 1009, 1010, 1012, 1017, 1047, 1068, 1072, 1073, 1074, 1095, 1099, 1100, 1101, 1109, 1110, 1113, 1114, 1123 付録 131	実質欠損 223, 226, 285	嚼面鑄造冠 9
支台歯間線 521	失認 993	ジャケット冠 付録 139
215, 589, 922 付録 132	湿熱重合 1106	ジャケットクラウン 536
支台歯形成 522	試適 1084, 1119	23, 257, 430, 559, 647, 982 付録 139
123, 432, 488, 527, 607, 967, 975 付録 133	耳点 935	射出 1106
支台歯形態 523	支点間線 付録 132	射出成形レジソ 233, 1107
489, 522, 525, 623	支点線 付録 132	写真法 134
支台歯歯頸部 492	自動削合 526	シャンファー 537
支台歯トレー 付録 105	633 付録 135	シャンファー型 492
支台歯辺縁 567	自働削合 付録 135	手圧印象 538
支台線 付録 132	指導板 526	自由運動咬合器 539
支台装置 524	指導要素 1006	習慣性開閉口運動 540
2, 3, 7, 8, 18, 19, 53, 88, 101, 206, 207, 215, 260, 286, 308, 407, 417, 419, 421, 434, 515, 742, 752, 761, 778, 816, 860, 882, 893, 907, 928, 936, 937, 945, 950, 991, 996, 1003, 1005, 1022, 1073, 1114	歯肉 527, 531, 566, 567, 573, 1097, 1098	709
付録 134	歯肉圧排 527 付録 136	習慣性咬合位 541
支台築造 525	歯肉縁 567, 1097	習慣性咀嚼側 542
支台部 57, 416	歯肉縁下 527, 603	付録 140
支柱 454, 638	歯肉円錐 528 付録 137	習慣性閉口路 556
実角 137	歯肉型クラスプ 529	重合 18, 430, 765, 1024, 1106, 1119
失活歯 515, 916	1123 付録 138	縦走部 535
実距離 137	歯肉頬移行部 530	充填用材料 466
失語症 993	429, 533	周波数 336, 786
	歯肉形成 531	修復 715
	70, 839, 1119	修復材料 536
	歯肉經由型クラスプ 付録 138	修復物 210, 288, 389, 479, 537, 559, 595, 620, 843, 919
	歯肉溝 603	修復物辺縁 492
	歯肉鉤 532	修復物辺縁形態 537, 559, 799, 915, 981, 982
	歯肉色 1106	終末位 541
	歯肉唇移行部 533 244	終末蝶番位 543 569
	歯肉切除 1017	終末蝶番運動 544
	歯肉粘膜 533, 873	485, 543 付録 141
	雌部 付録 258	終末蝶番軸 545
	篩分法 [咀嚼能率の] 534	193, 546 付録 142
	社会生活行為 514	終末蝶番点 546
	Jackson クリブクラスプ	
	535 213	
	嚼面充実金冠 9	

縮重合型	560	上気道	145, 581	床翼	554
縮図器	866	上気道の閉塞	93		111, 889 付録 145
樹脂含浸層	620	上弓 [咬合器の]	550	床翼部	948
手掌の幅	224		20, 191, 341, 343, 425,	小連結子	555
主咀嚼側	付録 140		526, 608, 1026		37, 589, 922, 1115
腫脹	235	症型分類 [補綴治療におけ		上腕	405
術者可撤	624	る]	551	ショートピン陶歯	906
術者可撤機構	584	上下口唇	670	初期接触	556
術者可撤式	57	焼結法	276	触診	208, 399
術者可撤式暫間補綴装置	772	床後縁	309	食道	251
		床交換	付録 266	食道期	82, 611
腫瘍	159, 163, 165, 167,	症候群	361	食道相	611
	174, 175, 223, 225, 226,	小口症	956	食片圧入	557
	230, 312	上口唇	384		481, 482, 1101, 1109
腫瘍類似疾患	159	床周縁	付録 143	食物	679
準解剖学的人工白歯		上唇	72, 552, 878, 890	食物残渣	4
	付録 67	上唇小帯	322	食物摂取	423, 681
準解剖学的人工歯	付録 67	上唇線	900	食物粉碎	690
準解剖的人工白歯	付録 67	少数残存歯症例	96, 814	食物粉碎度	558 689
準解剖的人工歯	付録 67	少数歯欠損	592, 926, 937	植立	565, 587
純パラジウム	1030	焼成	23, 292, 996, 997	食塊	83, 542, 611, 679,
準備印象	付録 30	笑線	552 付録 144		691, 868, 989
準備期	611	小線源	587	ショルダー	559
床縁	547	床装置	310		720, 843, 982, 1069
	117, 119, 548, 554, 889	使用側	付録 111	ショルダー型	
	付録 143	小帯	3		492, 981, 982
常温重合	1106	小帯切除術	1017	ショルダーレス型	
常温重合レジン	412, 413,	上皮性付着	603		492, 799, 915
	790	上皮剝離	241	シリカ	102, 103
小窩	950, 1002, 1110	上部構造 (体) [インプラン		シリコン検査材	346
床外形線	548	トの]	553	シリコンゴム	756, 946
上顎義歯	588		6, 13, 53, 56, 76, 319,	シリコンゴム印象	560
上顎結節	549		702, 724, 787, 842, 893,	シリコンゴム印象材	
	429, 532, 848		1059		332, 351, 560, 804
上顎切痕	付録 212	床辺縁	付録 143	シリンジ	218
上顎法	568, 764	床用材料	780	シリンダーテレスコープク	
床下粘膜	付録 59	床用人工歯	277	ラウン	761
床下粘膜治療	743	床用レジン	466, 532, 1107	ジルコニア	561

102, 103, 176, 261, 262,  
997, 1053 付録 146  
ジルコニア系セラミックス  
477  
ジルコニアフレーム 997  
ジルコニアブロック 562  
歯列 5, 299, 339, 372, 394,  
413, 423, 573, 712, 716,  
723, 918, 925, 926, 927,  
1018, 1065, 1066  
歯列印象 790  
歯列弓 322, 376, 948  
歯列咬合面記録 1083  
歯列接触癥 809  
歯列不正 383  
歯列模型  
490, 491, 919, 961  
磁路 507  
シロキサン結合 620  
シロナソグラフ 135  
真菌 768  
シングルデンチャー 563  
付録 147  
神経麻痺 590, 801  
人工材料 525  
人工歯 564  
18, 19, 72, 74, 128, 165,  
230, 233, 236, 253, 339,  
356, 359, 360, 371, 377,  
378, 381, 401, 442, 450,  
466, 517, 531, 553, 568,  
574, 607, 644, 680, 697,  
731, 747, 780, 816, 838,  
839, 889, 936, 1022, 1049,  
1076, 1081, 1088, 1104  
人工歯咬合面 369, 652  
人工歯根 565 319  
人工歯歯頸部 554

人工歯選択 900  
人工歯肉 566 567  
人工歯肉付模型 567  
付録 148  
人工歯排列 568  
229, 316, 355, 375, 383,  
517, 518, 1119  
人工歯排列位置 111  
人工歯排列法 377  
人工装置 231, 470, 1014  
人工陶歯 906  
人工皮膚 466  
人工物 565, 1015  
診査用模型 付録 82  
唇側 806, 1069, 1108  
唇側バー 121  
唇側面 1071  
靱帯 138, 142, 161  
靱帯位 [下顎の] 569  
診断用義歯 571 459, 920  
診断用模型 付録 82  
診断用ワクシング 572 570  
付録 149  
診断用ワックスアップ 570  
付録 149  
伸展修復物 915  
振動音 334  
振動法 777  
審美障害 573  
225, 231, 930  
審美性 112, 128, 167, 179,  
197, 257, 369, 462, 531,  
536, 566, 631, 754, 781,  
806, 859, 863, 887, 889,  
897, 907, 909, 937, 953,  
995, 1018, 1058, 1061,  
1068, 1069, 1070, 1103,  
1119

審美的修復 1071, 1108  
審美的障害 479  
深部感覚 209

## す

随意運動 542, 611  
推進現象 [義歯の] 574  
水素ガス 749  
水素結合 620  
垂直アーム 405  
垂直顎間距離 付録 41  
垂直的顎位 575 138, 373  
垂直的距離 97, 347  
垂直的咬合関係 129  
垂直的咬合力 266  
垂直被蓋 576 97 付録 24  
水平アーム 454  
水平基準面 577  
220, 400, 485, 510, 512,  
650, 740, 935  
水平台 454  
水平的顎位 578  
81, 274, 411  
水平的顎間関係 709  
水平的距離 95  
水平被蓋 579 95  
付録 22  
水平面 580  
199, 448, 669, 676, 735,  
867  
睡眠時無呼吸症候群 581  
874 付録 150  
スイングロックアタッチメ  
ント 1003  
スウェーデンのパナナ  
1013  
スーパervalジエリア 471  
スーパervalジクラス

582	473	付録 119						
スキャナー	583	付録 151	スプリットバー	594	207	342	生活不活発病	829
スクリーニング	868, 891		スプリットボール型	507			付録 205	
スクリュー	6		スプリットマウンティング				成形充填材	525
スクリュー固定式	584		プレート	593			静止印象	付録 261
	624, 1059		スプリング	204			清掃性	216, 508, 863, 887, 1061
スケルトン型	37		スプリンティング	595			静態印象	付録 261
スタイラス	付録 224		スプリント	596			生体材料	55
スタッドアタッチメント	431	付録 109	スぺーサー	634, 821			正中口蓋縫合線	977
スタディキャスト	付録 82		スぺース	204			正中矢状面	669, 1013
スタディモデル	585	301	スマイリングライン		付録 144		正中線	601 602, 637, 900
	付録 82		スマイルライン	付録 144			正中パラタルバー	850
スタビリゼーションアプリ			スライス型	1069			正中面	602 580
イアンス	586		スライスカット	1069			静的印象	付録 261
	104	付録 152	スライド型アタッチメント		599		静的パラトグラム	853
スタビリゼーションスプリ			スライド型連結装置	227			生物学的幅径	603
ント	586	付録 152	スリークォータークラウン	597	1069	付録 265	性別	74, 568
スチール板	481		3D スキャナー	583			正放線投影法	475
ステレオ聴診器	335			付録 151			精密印象	604
ステント	587 596		3D デジタイザー	583				548, 560, 893, 1020
ステンレス鋼合金	10			付録 151			精密印象採得	412
ストラップ	588 416, 588		3D プリンター	598			精密鑄造	915
ストレス	295, 361		スリーブ	599 818			生理学	134, 800
ストレスブレイカー	付録 52		スリーポイントバランス		856		生理学的運動	339
スパー	589 1005		スリット	594			生理的下顎安静位	付録 36
スパチュラ	770, 777		すれ違い咬合	600			石英	909, 963
スパチュラ法	777		スロット型	201, 341			石英ファイバー	909
スピーチエイド	590		寸法安定性	560, 1020			赤唇	1121
	8, 832		寸法精度	604, 1130			積層一回印象	605 804
Spee の彎曲	591						付録 201	
	374, 630, 1056						積層印象法	221
スピルウェイ	付録 200						積層造形法	598
スピンドル	454						セグメント	167
スプーンデンチャー	592						舌	251
スプリット	594						舌圧痕	606
スプリットキャスト	593						舌位矯正タイプ	145
							舌咽神経	82

## せ

清音	334
性格	74, 568
生活歯	1047

切縁	72, 73, 95, 97, 127, 325, 339, 356, 367, 450, 474, 614, 618, 619, 630, 652, 798, 806, 888, 975, 1032, 1055, 1097	舌習癖	606	接着性レジンセメント	620
切縁溝	1069	摂取可能食品	691	接着ブリッジ	622
切縁咬合	付録 157	舌小帯	391		付録 158
切縁レスト	922, 1109	摂食	168	接着法	1114
石灰化	1032	摂食嚥下	611 612	舌痛症	209
舌下腺	391	摂食嚥下障害	612	舌背	383, 794
設計	454		82, 83, 85, 122, 613	舌房	383, 831
石膏	21, 75, 221, 259, 607, 717, 765, 805, 951, 954, 1024	摂食嚥下リハビリテーショ ン	613 734	舌面	356, 907
石膏印象	960	接触滑走	388, 640, 649, 667, 682, 940	舌面形成	623
石膏系	178	接触関係	325	舌面レスト	1109
石膏コア	607	接触性皮膚炎	275	セメント	210, 389, 620, 724
舌口唇運動機能低下	321	接触点	614	セメント-エナメル境	127
石膏模型	301		482 付録 156	セメント合着	488, 559, 624, 754, 755, 781, 982
舌骨上・下筋群	251	切歯路	615	セメント固定式	624
切削加工	631		199, 511, 512, 616, 735	セメント築造	525
切削加工法	276	切歯路角	847, 965	セラミック冠	796
切削形成	522, 623	切歯路調節機構	616 341	セラミックス	102, 103, 620
切削用回転部	971	切歯路描記法	付録 104	セラミング	257
切歯きょう導釘	付録 154	舌接触補助床	617	セラモメタルクラウン	625 778 付録 195
切歯きょう導板	付録 155	舌尖	606, 1129	線維型	244
切歯指導	付録 6	舌側縁	606	線維腫	429
切歯指導機構	550	舌側化咬合	付録 272	線維性増生	934
切歯指導釘	608	舌側咬頭内斜面	938	線維部	237
	526, 609, 616 付録 154	舌側床縁	170	全運動軸	626 193
切歯指導板	609	舌側床翼	554	尖型	63
	608, 616 付録 155	舌側面	6, 421, 623	線鈎	627
切歯指導部	341	切断	691		286, 428, 859, 1111, 1113
切歯点	610	切端咬合	618 付録 157	先行期	611
	138, 364, 438, 439, 615, 675, 676, 682, 1021	切端咬合位	619	前後調節彎曲	628 736
切歯乳頭	894, 1090	接着[修復物の]	620 389	前後の歯牙彎曲	629 630
切歯誘導	付録 6	接着機能性モノマー	77		付録 160
		接着性	389	前後の歯列彎曲	630
		接着性材料	620, 622		1055 付録 160
		接着性セメント	621	センサーアレイ	1034
		接着性ブリッジ	付録 158		
		接着性レジン	460, 1071		





双子鉤	659	側方顎路	668	180, 250, 447, 542, 686,
213 付録 167				692, 883, 884
装着材料	390 付録 100	側方顎路角	669	咀嚼運動周期 付録 172
装着方向	1099		201, 886 付録 170	咀嚼運動路 682 付録 171
相補運動論の顎頭点	66	側方顎路傾斜角	636	咀嚼期 611
相補下顎位	660 150	側貌記録	670	咀嚼機能 402, 683
相補下顎運動	661 66, 151	側方 Christensen 現象	289	咀嚼機能検査 683 691
相補下顎運動検査	152	側方限界運動	411	咀嚼機能低下 321
即時加重	662	側方咬合位	671	咀嚼筋 78, 160, 166, 281,
662 付録 168			439, 990, 1085, 1086	331, 687, 929
即時荷重	662 付録 168	側方咬合彎曲	672 64	咀嚼筋活動 691
即時義齒	663 459, 771		付録 15	咀嚼筋障害 160
即時暫間修復	664	側方歯牙彎曲	673 64	咀嚼系 付録 45
	付録 169		付録 15	咀嚼経路 付録 171
即時暫間補綴	664	側方歯群	376	咀嚼効率 684 689
	付録 169	側方歯列彎曲	674 64	付録 174
即時重合レジン	772		1055 付録 15	咀嚼サイクル 685 686
即時負荷	662, 664	側方推進現象	574	付録 172
付録 168, 付録 169		側方切歯路	675 676	咀嚼試験 690
測色法 [歯冠色の]	665	側方切歯路角	676	咀嚼周期 686 付録 172
即時離開咬合	265	側方チェックバイト	716	咀嚼障害 687
測定杆	454	側方調節彎曲	677 736	咀嚼試料 683
側頭下顎靭帯	569	側方頭部エックス線規格写		咀嚼スコア 691
側頭筋	274	真	874	咀嚼側 688 892 付録 173
側頭筋触診法	274	側方頭部エックス線規格写		咀嚼能率 689
側頭筋前部	274	真法	935	128, 253, 558, 690, 691,
側頭筋把握法	274	側方パラタルバー	850	944 付録 174
側貌	72, 670, 889	側方分力	253	咀嚼能率測定 690
側方位[下顎の]	666 716	側方力	89, 248, 431, 1042,	咀嚼能率判定表 683
側方運動 [下顎の]	667		1101	咀嚼能力 691
66, 191, 668, 911, 979		側方彎曲基準板	678	534, 683, 689
側貌エックス線写真	220	咀嚼	679	咀嚼能力検査 691
側方下顎限界運動路	17		85, 105, 168, 194, 256,	咀嚼リズム 692
側方滑走運動	180, 289,		462, 531, 534, 558, 568,	咀嚼力 693 372, 521
291, 303, 363, 401, 446,			617, 682, 683, 688, 892,	ソフトブローイング 694
447, 448, 509, 510, 526,			923, 929, 992, 1022	891, 949
675, 676, 884, 886, 938,		咀嚼圧	680	粗面 464
940, 969, 972, 1037, 1091		咀嚼運動	681	ゾル 21, 218

# た

タービンバー	967
タービンヘッド	967
ターミナルヒンジアキシス	付録 142
ターミナルヒンジムーブメント	付録 141
耐火材	1024
耐火材マトリックス	1030
耐火模型	178, 917, 921
帯環金属冠	9, 915
待機荷重	695 <u>702</u> 付録 176
対合関係	698 付録 175
対向関係 [顎堤の]	697 330, 339, 517
対咬関係	696 <u>698</u> 付録 175
対抗作用	699 <u>247</u> 付録 64
対合歯	700 75, 250, 332, 504, 721, 883, 919, 1104, 1110
対合歯模型	75
退行性関節疾患	159
ダイコム	701
待時加重	<u>702</u> 702 付録 176
待時荷重	702 付録 176
待時荷重	703 <u>702</u> 付録 176
退縮	1097, 1098
耐衝撃性	381, 536
体性感覚	209
代替トレー	221
ダイナミック印象	704 115 付録 177

ダイナミックパラトグラム	853
第二象牙質	1032
大腦皮質	82
体部	51, 341, 550, 823
耐摩耗性	277, 381, 780, 995, 1103, 1104
ダイヤモンドポイント	633
大連結子	705 37, 121, 282, 300, 405, 555, 588, 589, 594, 817, 819, 844, 849, 850, 851, 872, 922, 1092, 1093, 1094, 1115
ダウエル	付録 252
ダウエルクラウン	付録 253
ダウエルピン	706 490
唾液	679
唾液嚙下	868
唾液検査	707
唾液分泌能検査	452
多官能性メタクリレート	430
濁音	334
タッピング	708 336, 746, 854, 929
タッピング運動	709
タッピングポイント	709
ダブルアームクラスプ	付録 243
ダブル Akers スクラスプ	付録 167
ダブルクラウン	付録 190
ダブルミックス印象	付録 201
ダブルリンガルバー	300
	付録 81
食べこぼし	99

ダミー	付録 257
単一印象	710
単一式模型	711 <u>491</u> 付録 124
単位面積	326, 680, 871
単冠	421, 928, 1008
単斜面形態	433
短縮歯列	712
単純鉤 713 213	付録 178
弾性裏装材	751
炭素棒	454
単独歯冠補綴	778
単独歯型	714 <u>715</u> 付録 179
単独歯型式模型	715 付録 179
弾撥音	158, 290 付録 77
弾筆	287
単腕鉤	付録 178

# ち

チェックバイト	716 342
チェックバイト法	717
遅延荷重	718 <u>702</u> 付録 176
遅延型アレルギー	275
遅延荷重	719 <u>702</u> 付録 176
遅延離開咬合	265
知覚異常	<u>209</u> 209 付録 53
築盛	23, 102, 103, 262, 567, 749, 777, 997, 1028, 1030
築造	525
築造体	957
チタン	176, 261, 262, 643, 873

チタン合金	10	鑄造コーピング	515	蝶番軸	739
窒息	83	鑄造収縮	114, 258, 1130		100, 485, 545, 740
着脱方向	28, 124, 454, 455, 456, 471, 528, 1038	鑄造床	729 278, 921		付録 184
着力点	431	鑄造操作	262	蝶番点	740
チャンネル	720	鑄造体	178, 525, 1038, 1039, 1047, 1078, 1127		193, 400, 577, 902, 904
チャンネルショルダーピン	720 469	鑄造バー	730 817	直後型	446
チューイングサイクル	付録 172	鑄造歪み	749	直接維持装置	741 742
チューイン法	721 398, 638	鑄造ピン	907		付録 185
中間型	244	鑄造法	276, 646, 728, 730, 754, 1059	直接支台装置	742
中間義歯	722 付録 180	鑄造ポスト	525		1065 付録 185
中間欠損	723 712, 918	鑄造用リング	258	直接法	1088, 1127
中間欠損義歯	付録 180	中パラタルバー	850	治療義歯	付録 186
中間構造 (体) [インプラントの]	724	チューブ陶歯	731	治療計画	571
中間構造体	553	調音	306	治療用器具	658
中空型栓塞部	725 762	調音検査	732	治療用義歯	743
中心位	726 569, 648, 649, 666, 968, 986	調音点	853		459, 920 付録 186
中心窩	6, 377	超音波洗浄	768	沈下	3, 235, 502, 506, 922, 962, 1092, 1109
中心咬合位	727 131, 155, 347, 517, 633, 968, 1091	蝶形骨翼状突起内側板	848	沈殿法	777
中枢神経	82	超高齢社会	733		
鑄接	176	彫刻法	1127	追跡管理	744 793
中切歯切縁間距離	441	聴診	734		付録 199
鑄接法	515	聴診器	334	ツインステージ咬合器	745
鑄造	114, 257, 277, 458, 469, 525, 631, 643, 778, 821, 1024, 1130	聴診法	734 335	継ぎ手接合	559
鑄造冠	9, 114, 781	長石-石英系陶材	23, 24	坪根式バイトゲージ	826
鑄造鉤	728 68, 286, 428, 810, 962, 1100, 1111 付録 181	長石系陶材	477	艶焼き	付録 78
		調節機能	341		
		調節性咬合器	735		
		調節彎曲	736 374, 764, 847	ディアドコキネシス	746
		蝶番	204, 738		付録 187
		蝶番運動	737 544, 545, 903 付録 182	TMJ 咬合器	721
		蝶番型アタッチメント	付録 226	T型クラスプ	1123
		蝶番咬合器	738 付録 183	T型分割腕鉤	810
				低位咬合	747 86
				低位歯	96
				T字クラスプ	748 80
					付録 19



陶歯前装鑄造冠 781  
陶歯前装ポストクラウン 790 893 付録 198  
1008  
働側 付録 111  
動側 付録 111  
疼痛 78, 98, 160, 161, 166,  
274, 361, 658, 782, 970,  
1088, 1090  
疼痛誘発テスト 782  
動的印象 付録 177  
動的嚙下障害 251 付録 66  
糖尿病 320  
銅板 412  
頭部後屈法 783 784  
付録 196  
頭部後傾法 784 付録 196  
DURL の法則 785  
動揺 460, 596, 786, 1114  
東洋医学 1036  
動揺歯 67, 421, 905, 907,  
928  
動揺度 786  
動揺度検査 [歯の] 786  
動力部 971  
トップダウントリートメン  
ト 787 付録 197  
凸面形態 433  
トライポッドマーク  
788 776 付録 194  
ドライマウス 789 320  
付録 87  
トライメット 135  
トランスファー  
546, 740, 904  
トランスファーインデック  
ス 790 付録 198  
トランスファーキャップ  
790 付録 198

トランスファーコーピング  
790 893 付録 198  
トランスファージグ 790  
付録 198  
取り囲み鉤 付録 55  
取り込み印象 791 893  
付録 223  
Dolder バー 792 818  
トレー 217, 218, 327, 375,  
704, 960  
トレーサビリティ 793  
付録 199  
ドロップオンテクニック  
1127  
Donders の空隙 794  
通路 795 634  
付録 200

## な

内冠 796  
4, 116, 406, 407, 761  
内斜線 797 119  
内斜面 397  
内側フィニッシュライン  
912  
ナイトガード 798  
ナイフエッジ型 799  
492, 915  
流し込み 1106  
ナソヘキサグラフ 135  
ナソロジー 800  
ナソロジー学派 100, 1037  
倣い加工 102  
軟口蓋 1, 306, 399, 423,  
590, 767, 794, 801, 858  
軟口蓋拳上型 590  
軟口蓋拳上装置 801 590  
軟質リライン材 1088

軟性樹脂 567  
軟性レジン 532  
軟組織 108, 118, 125, 455,  
869, 975

## に

ニアゾーン 802  
3, 964, 1095  
肉芽型 244  
2 ケイ酸リチウム 963  
2 ケイ酸リチウムガラス  
477  
二酸化ジルコニウム 561  
付録 146  
二次印象 付録 153  
二次齶蝕 434, 1069  
二次固定 803 260  
二次固定効果 659  
二重金冠 付録 190  
二重同時印象 804  
付録 201  
二重埋没法 805  
日常生活動作 514  
ニッチ 907  
日本補綴歯科学会 551  
二面形成 806  
乳頭状過形成 429  
ニュートラルゾーン 807  
229  
二腕鉤 808  
89, 213, 248 付録 202  
認知期 611  
認知行動療法 809

## ね

Ney 社 810, 962  
Ney のクラスプ 810  
熱可塑性 1051



馬蹄形	1041	半径 4 インチの球面	678,	471
馬蹄形バー	844 付録 209		1055	
パトリックス	845	板 (鋳) 鈎	859 1100	Peeso クラウン
	7, 101, 227, 720, 1029	半固定性ブリッジ	860	ビーディング
	付録 210		227, 937	ヒーリングアバットメント
Hanau の咬合 5 辺形		半固定性補綴装置	861	873
	846 847 付録 211		418 付録 215	鼻咽腔内視鏡
Hanau の咬合 5 要素	847	半固定性連結	862	鼻咽腔閉鎖
	付録 211		付録 216	鼻咽腔閉鎖型
ハミューラーノッチ	848	半自浄型ポンティック	863	鼻咽腔閉鎖機能
	894 付録 212	反射運動	611	590, 858, 874, 891
パラタルストラップ	849	反射性嚥下障害	82	鼻咽腔閉鎖機能検査
	588, 705	反射的	540, 542	949
パラタルバー	850	半焼結型ブロック	562	鼻咽腔閉鎖不全
	705, 817, 849 付録 213	絆創膏	212	832
パラタルプレート	851	半側麻痺	993 付録 246	ピエゾグラフィ
	705	反対咬合	864 376	ピエゾグラフィックスペ
パラタルランプ	852 107	反対咬合用人工白歯		ス
パルトグラフィー	306		付録 97	875
パルトグラム	853 838	反対咬合用人工歯	付録 97	被蓋
パラファンクション	854	半調節性咬合器	865	876 95, 97
	付録 214		341, 593, 717, 735	非解剖学的人工白歯
パラフィンワックス	683	パントグラフ	866	付録 218
パラレルテレスコープクラ			638, 867	付録 218
ウン	761	パントグラフ法	867 311	非解剖的人工白歯 付録 218
パラレルピン	855	反復唾液嚥下テスト	868	非解剖的人工歯 付録 218
パラレルピンテクニック				鼻下点
	855 905			878
パラレロメーター	469			577, 650, 879, 889
バラシグランプ [義歯				鼻下点・オトガイ間距離
の]	856 1042, 1052			879 224
はりがね鈎	付録 159			光重合
Balkwill 角	857 965			1106
バルブ	832, 858			光照射
バルブ型鼻咽腔補綴装置				430
	858			非顆路型咬合器
板金加工	915			341
板金加工法	276			非緩圧型
				431, 472, 818
				非緩圧型アタッチメント
				880 478, 882
				非緩圧型維持装置
				881 882 付録 219
				非緩圧型支台装置
				882
				付録 219

## ひ

微圧印象	付録 261
被圧縮性	869
被圧縮度	240
被圧縮量	付録 217
被圧変位	870
被圧変位量	871
	172, 249, 872, 954, 1090
	付録 217
非アンダーカット	405
非アンダーカット域	28,

引き抜き試験用箔	346	ラントの]	893	鼻漏出気流計検査	874
非機能運動	854 付録 214	ピックアップ印象 [クラウド ンブリッジの]	893	ピン	706, 720, 731, 815, 855, 906
非機能咬頭	883 付録 220	ピックアップ印象 [有床義 歯の]	893	ヒンジアキシス	付録 184
非機能側	付録 221	HIP プレーン	894	ヒンジアキシスロケーター	902
鼻棘点	220	ビデオ嚙下造影	895 83 付録 20	ヒンジ型アタッチメント	903 付録 226
鼻腔	167	ビデオレントゲン検査	896 83 付録 20	ヒンジボウ	904
非結晶質	257	鼻背	670	ヒンジムーブメント	付録 182
肥厚	934	被曝	85	ピンテクニック	905
非作業側	884	皮膚移植	225	ピン陶歯	906 付録 227
	291, 363, 446, 509, 636, 668, 669, 865, 885, 886, 892, 940, 969, 972, 990, 1085, 1086 付録 221	皮膚感覚	209	ピンホール	855, 905, 907, 976, 1002, 1080
非作業側顆路	911	被覆冠	897 284, 525, 536	ピンレー	715
非作業側咬頭接触	885	鼻幅線	900, 901	ピンレッジ	907 928, 967
非作業側側方顆路	886 付録 222	被膜厚さ	756		
非自浄型ポンティック	887 183	描記針	898 311, 398, 640, 721, 866, 899 付録 224	<b>ふ</b>	
微小機械的結合	620	描記装置	411	ファーゾーン	908 840, 1079
微笑線	888	描記釘	付録 224	ファイバースコープ検査	874
微小動揺	662	描記板	899 311, 398, 640, 661, 866, 898	ファイバーポスト	909 525
鼻唇角	889	描記法	134	ファイバーリボン	460
鼻唇溝	890	標示線	900 付録 225	ファイルフォーマット	71
非生体材料	55	標準線	付録 225	ファインセラミックス	102, 103
微生物	245	表情筋	1050	フィクスチャー	910 59 873 付録 12
非接触型	1034	表面精度	604	Fischer 角	911
鼻尖	72, 670	表面着色剤	257	フィニッシングライン	付録 228
鼻息鏡	891	病理学	800	フィニッシュライン	912
鼻息鏡検査	891	鼻翼	890, 901		261, 603, 916, 1070
非咀嚼側	892	鼻翼下縁	220, 577, 650, 935		付録 228
左片麻痺	993	鼻翼幅	901		付録 228
非弾性印象材	954	び爛	235		付録 228
鼻聴道線	220, 935	疲労	760, 1012	フィメール	付録 228
鼻聴道平面	付録 58				
ピックアップ印象	893 14 付録 223				
ピックアップ印象 [インプ					



フェイスボウ	913	部分床義歯	926	429, 954	付録 236
33, 189, 342, 343, 902,		41, 184, 215, 247, 286,		フラビー組織	付録 236
904, 914	付録 229	429, 454, 457, 521, 588,		フラビーティッシュ	付録 236
フェイスボウトランス		589, 722, 742, 761, 816,		フランクフルト	935
ファー	914	817, 819, 893, 922, 925,		フランクフルト線	935
33, 208, 259, 966		927, 975, 1005, 1062,		フランクフルト平面	935
フェザーエッジ型	915	1073, 1074, 1084, 1101,		577, 966	付録 237
492, 799		1109, 1115	付録 230	フランス式埋没法	936
フェルール	916	部分床義歯学	付録 231	フリーウェイスぺース	付録 5
フォッサ・ボックス	830	部分床義歯補綴学	927	ブリッジ	937
不可逆性ハイドロコロイド		付録 231		6, 53, 88, 103, 112, 183,	
印象材	21	部分焼結型ブロック	562	285, 389, 417, 418, 421,	
付加重合型	560	部分被覆冠	928	454, 488, 490, 521, 567,	
複印象	917	284, 421, 897, 907, 950,		622, 715, 731, 760, 778,	
複合欠損	918	1069, 1099	付録 232	855, 860, 861, 862, 893,	
副歯型	491, 919	ブランク	768	907, 919, 928, 950, 952,	
副歯型式模型	919	フライス盤	1038	953, 956, 961, 967, 975,	
複製	178	ブラキシズム	929	976, 991, 996, 1012,	
複製義歯	920	256, 283, 295, 361, 402,		1022, 1058, 1072, 1130	付録 238
複製模型	921 1019	708, 782, 798, 1089	付録 233	不良補綴装置	573, 687
複腕鉤	付録 243	フラスク	18, 19, 805, 936	Bruno 法	224
不潔域	472, 1069	フラスク埋没法	18, 19, 936	フルカバリッジクラウン	付録 165
不随意運動	98	プラスチックサドル	821	フルカントウアジルコニア	付録 263
不正咬合	376, 687, 747, 864	プラスチックパターン	469	クラウン	1053
不整紡錘型	682	ブラクトトライアングル	930	フルキャストクラウン	付録 164
付線	付録 228	ブラッシュ法	777	フルクラウン	付録 165
負担域	付録 89	ブラッシング	1032	フルジルコニアクラウン	939 1053
負担軽減	1098	プラットフォーム [インプ		フルデンチャー	付録 162
負担能力	1012	ラントの]	931	BULL の法則	938
負担様式	644	付録 234		フルバランストオクルー	940
フック	922 1005	プラットフォームシフティ		ジョン	356, 401, 652, 969
浮動性歯肉	付録 236	ング	932		
不動粘膜	923 533	付録 235			
船底型	863	プラットフォームスイッチ			
船底型ポンティック	924	ング	933 932		
部分義歯	925	付録 235			
部分欠損	918	フラビーガム	934		

フルメタルクラウン	112, 462, 952	平衡状態	990
941 643 付録 161		平行性	862, 976
フレアアウト	942	平行切削器	971 469, 1039
ブレード	943, 944	平衡接触	972
プレート	588	閉口相	682, 686
ブレードインプラント	943	平衡側	973 884 付録 221
ブレード人工歯	944 877	平衡側側方顆路	974 886 付録 222
ブレードメタル白歯	944	平行測定	975
フレーム	102, 103, 319, 416	平行測定器	976 975
フレーム構造	553	平行測定装置	454
フレームワーク	945	平行模型	977
37, 622, 752, 893, 912,		閉口路	540
1047, 1048, 1059		平斜面形態	433
付録 239		閉磁路	228
フレキシブルデンチャー	706 付録 242	平線咬合器	978 738 付録 183
816		閉塞型睡眠時無呼吸症候群	145
ブレスケール	372	柄部	51
ブレス成形	102, 103	平面形態	433
ブレッシャー・インディケ		併用トレー	412
イティング・ペースト	946 756 付録 240	ペースト	21, 756
フレンジ	947	Vest 型	1069
948 付録 145		ヘッド部	943
フレンジテクニク	948	Bennett 運動	979 448
229		Bennett 角	980 669 付録 170
ブローイングテスト	949	ヘアピンクラスプ	964
874		213 付録 243	
プロキシマルハーフクラウ		平均値咬合器	965
ン	950 928	341, 366, 616	
プロキシマルプレート		平均的顆頭点	966
付録 274		193, 400, 577	
ブロックアウト	951 3	平行運動	667, 967
プロビジョナルクラウン	952	平行形成器	967 855
179, 462, 491, 1103		平衡咬合	968 324, 972
付録 241		平衡咬合小面	969
プロビジョナルブリッジ		閉口障害	970

付録 72  
 辺縁形態 559, 915, 1070  
 辺縁骨レベル 984 931  
 辺縁部 51, 915, 982, 1000  
 辺縁封鎖 985  
 232, 309, 322, 424, 1011  
 辺縁隆線  
 250, 504, 659, 698, 840  
 片顎義歯 付録 147  
 変形性関節症 159, 160  
 変質性 1105  
 変色 1104  
 変色性 1105  
 偏心位 [下顎の] 986  
 128, 346, 363, 370, 450,  
 660, 736, 968  
 偏心運動 265, 324, 539  
 偏心咬合位 987 633  
 偏側型 863  
 偏側型ポンティック 988  
 片側性 1065  
 片側性均衡 付録 244  
 片側性均衡咬合 付録 245  
 片側性咬合均衡 付録 244  
 片側性咬合平衡 989  
 517 付録 244  
 片側性中間義歯 722  
 片側性中間欠損 [Ⅲ級]  
 299  
 片側性平衡 付録 244  
 片側性平衡咬合 990  
 968 付録 245  
 片側性遊離端義歯 1065  
 片側性遊離端欠損 [Ⅱ級]  
 299  
 片側離脱 [ブリッジの] 991  
 偏咀嚼 992  
 片麻痺 993 付録 246

## ほ

方型 63  
 放射線照射治療 320, 587  
 萌出 950, 1097  
 包埋 1024  
 豊隆 219, 444, 890  
 膨隆 549  
 ホースシューバー-994 844  
 付録 209  
 ポーセレン 257, 996, 997  
 ポーセレンジャケットクラ  
 ウン 995  
 753, 1030 付録 247  
 ポーセレンブリッジ 996  
 付録 248  
 ポーセレンラミネートベニ  
 ア 1071  
 ポーセレンレイヤリングジ  
 ルコニアクラウン 997  
 ボーンアンカードブリッジ  
 998 付録 249  
 補強鞘 454  
 補強線 999  
 ボクシング 1000  
 保持 1001 36  
 352, 353, 488, 519, 520  
 付録 7  
 保持機構 389  
 保持形態 1002  
 保磁子 228  
 補助アタッチメント 1003  
 補助維持装置 1004 1005  
 付録 250  
 補助形態 1002  
 補助鉤腕 1095  
 補助支台装置 1005  
 589, 922 付録 250

補助装置 587  
 保持力 40, 755, 1002  
 ポステリアガイドランス1006  
 31 付録 251  
 ポスト 1007  
 754, 909, 1010, 1047  
 付録 252  
 ポストクラウン 1008  
 284, 433, 754 付録 253  
 ポストコア 1009  
 ポスト孔 1010  
 976, 1007 付録 254  
 ポストダム 1011 309, 392  
 補足疲労 1012 760  
 ボックス型 201, 341  
 ボックス型顎路 830  
 発赤 235  
 Posselt の図形 1013 138  
 補綴 1014 30  
 補綴学 1015  
 補綴学的平面 付録 58  
 補綴修復物 付録 255  
 補綴主導型インプラント治  
 療 1016 787 付録 197  
 補綴処置 462, 508, 678  
 補綴前処置 1017  
 112, 1073  
 補綴装置 1018  
 36, 40, 61, 75, 87, 96,  
 105, 165, 184, 226, 230,  
 262, 280, 319, 341, 342,  
 343, 350, 351, 354, 418,  
 437, 449, 462, 484, 488,  
 491, 498, 500, 502, 506,  
 515, 519, 520, 523, 524,  
 553, 565, 584, 590, 595,  
 604, 607, 617, 624, 756,  
 771, 786, 794, 795, 798,

813, 815, 834, 861, 866,  
874, 893, 897, 905, 917,  
937, 946, 956, 998, 1017,  
1038, 1068, 1072, 1080,  
1114, 1121, 1130  
付録 255  
補綴物 付録 255  
母模型 1019 178  
ポリアミド系 816  
ポリエステル系 816  
ポリカーボネート 1106  
ポリカーボネート系 816  
ポリサルファイドゴム印象  
1020  
ポリサルファイドゴム印象  
材 1020  
ポリスルホン 1106  
ホリゾンタルオーバーラッ  
プ 付録 22  
ホリゾンタルスクリュール  
724  
ホリゾンタルピン 815  
ポリプロピレン系 816  
ポリマー 77  
本印象 付録 153  
Bonwill 三角 1021  
189, 857, 1025 付録 256  
本設計 456  
ポンティック 1022  
26, 88, 112, 216, 417, 419,  
860, 863, 887, 924, 937,  
988, 996, 1012, 1058,  
1061, 1075, 1077, 1080  
付録 257  
ポンティック陶歯 1023  
ポンティック部 227

## ま

マージン 197, 491, 567,  
603, 975, 1069  
マイカ 963  
埋没 1024  
埋没材 178, 258, 464, 805  
埋没法 805  
マウンティング 付録 92  
マウンティングジグ 1025  
マウンティングプレート  
1026  
マウント 付録 92  
前ろう (鑷) 付け法 1027  
曲げ強度 1093  
摩擦音 158, 294  
摩擦抵抗要素 720  
摩擦力 116, 407, 761  
McCollum T アタッチメン  
ト 478  
McGee 法 224  
末梢神経 82  
末梢入力 98  
窓開け 1028  
マトリックス 1029  
7, 101, 114, 227, 599,  
720, 830, 845, 1030  
付録 258  
マトリックス箔 753  
マトリックス法 1030 995  
麻痺性嚥下障害 1031  
麻痺性構音障害 307  
摩耗 780  
摩耗 [歯の] 1032 402  
摩耗性 1105  
Munsell 色票系 1033  
付録 259  
Munsell 表色系 1033

付録 259

マンディブラーキネジオグ  
ラフ 1034

## み

右片麻痺 993  
眉間・鼻下点 224  
水飲みテスト 1035 122  
ミニダルボ 472  
未病 1036  
ミュールチュアリープロテクト  
ッドオクルージョン  
1037 付録 260  
Müller 法 377  
ミリング 1038  
469, 562, 971  
ミリングバー 1039  
ミリングマシン 1038

## む

無圧印象 1040  
47, 125 付録 261  
無圧印象法 65  
無汗型外胚葉異形成症  
1121  
無機質フィラー 430  
無口蓋義歯 1041  
無咬頭歯 付録 218  
無咬頭人工歯 1042  
877, 1052  
無歯顎 1043  
81, 86, 429, 560, 563, 670,  
807, 890, 901, 1020, 1060,  
1062, 1112, 1129  
無歯症 1121  
無歯症様顔貌 1121  
むせ 99, 122  
MUDL の法則 1044

<b>め</b>	
迷走神経	82
明度	1045 1033
メール	付録 210
メジャリングディバイス	1046
メタルインサート	944
メタルコア	525
メタルコーピング	1047
	778, 945
メタルバックング	1048
メタルフレーム	付録 239
メチルメタクリレート	77, 1104
メッシュ型	37
メリーランドブリッジ	付録 158
免疫検査	707
免荷期間	702
<b>も</b>	
網様体	82
モールドガイド	1049
模型	489
模型改造法	付録 29
模型固定台	971
模型修正法	付録 29
模型台	454
モダイオラス	1050
	付録 262
モデリングコンパウンド	271, 954, 1051
モデリングコンパウンド印 象	1051
モノプレーンオクルージョ ン	1052

モノマー	77
モノリシックジルコニアク ラウン	1053 付録 263
Morrison クラウン	1054 9 付録 2
Monson カーブ	1055 374
Monson 球面説	1056
	367, 678, 1055 付録 264

## ゆ

有孔陶歯	1057
有根型ポンティック	1058
UCLA (型) アバットメン ト	1059 176
有歯顎	1060
	560, 670, 678, 1020, 1124, 1125
有歯顎者	291, 541, 727
U 字形	792, 844, 1041
有床型	887
有床型ポンティック	1061
	26, 183
有床義歯	1062
	65, 115, 148, 170, 182, 271, 328, 644, 751, 759, 769, 814, 906, 917, 925, 1048, 1057, 1107
有髓歯	907, 928, 1103
有釘陶歯	1063 906 付録 227
誘導面	1064 124 付録 32
雄部	付録 210
遊離端義歯	1065
	2, 722, 1113
遊離端欠損	1066
	712, 918, 1065
遊離端ブリッジ	1067 88 付録 21

湯だまり	1072
<b>よ</b>	
溶接法	419
ヨーク	507
翼突鈎	848
翼突上顎切痕	付録 212
予後	1068
予備印象	付録 30
予備サバイング	456
4 インチ球面学説	付録 264
IV型アレルギー	275
3/4 冠	1069
	928, 1099 付録 265
3/4 クラウン	1069
	付録 265

## ら

ライトボディタイプ	804
ラウンデッドショルダー	1070
ラミネートベニア	1071
	1030
卵円型	63
ランナーバー	1072

## り

リカントゥアリング	1073
力学的安定性	377, 521
リジッドコネクター	1074
リジッドサポート	1074
	407
裏装	付録 269
リッジラップ型	863
リッジラップ型ポンティッ ク	1075
立体モデル	598
リップサポート	1076

72, 889, 1121	両側性遊離端欠損〔I級〕	臨床の歯冠長	1097
歯底型ポンティック 1077	299	臨床の歯根	1098
216	両側にまたがる前歯中間欠損〔IV級〕	隣接	614
リテイナー 付録 134	299	隣接歯	481, 919
リテンション 付録 7	両翼鉤 1087 <u>808</u>	隣接接触部	480
リテンションアーム 付録 8	付録 202	隣接面	8, 80, 227, 421, 491, 840, 1099, 1100
リテンションピース 1078	両隣接面	隣接面溝	1099 1069
リバースバックアクション	リライニング 付録 269	隣接面鉤	1100 付録 273
クラスプ 1079 810	リライニングジグ 1088	隣接面接点	410
リバースピン陶歯 1080	リライン 1088 付録 269	隣接面板	1101
リバースループクラスプ	リラクセーションアプライ	2, 124 付録 274	
付録 243	アンス 1089		
リベージング 付録 266	104 付録 270		
リベース 1081 付録 266	リラクセーションスプリン		
リポジショニングアプライ	ト <u>1089</u> 付録 270		
アンス 1082	リリーフ 1090		
104 付録 267	170, 212, 240, 549		
リポジショニングスプリン	付録 271		
ト <u>1082</u> 付録 267	履歴情報 793		
リマウンティング 付録 91	リングライズドオクルー		
リマウンティングジグ1083	ジョン 1091		
リマウント 付録 91	990 付録 272		
リムーバルノブ 1084	リングアルエプロン 1092		
リモデリング 108	705		
リューサイト 963	リングアルバー 1093		
隆線 393	300, 705, 817		
流涎 225	リングアルプレート 1094		
両斜面形態 433	705, 1092		
両側性 1065	リングクラスプ 1095		
両側性均衡咬合 付録 268	213, 810		
両側性咬合平衡 1085	リングライナー 1096 <u>258</u>		
両側性全面平衡咬合 940	付録 68		
両側性中間義歯 722	リン酸亜鉛 389		
両側性平衡咬合 1086	リン酸亜鉛セメント 210		
847, 968, 1052 付録 268	リン酸塩系 178		
両側性遊離端義歯 1065	臨床歯科医学 470		
両側性遊離端欠損	臨床システム 866		
429, 844	臨床の歯冠 1097		
		隣接面	8, 80, 227, 421, 491, 840, 1099, 1100
		隣接面溝	1099 1069
		隣接面鉤	1100 付録 273
		隣接面接点	410
		隣接面板	1101
		2, 124 付録 274	
		る	
		類型	5
		涙骨	591
		流ろう	1102 936
		れ	
		冷罨法	34
		レイヤリングセラミックス	102, 103
		レーザー光	583
		レギュラーボディタイプ	804
		レジストレーションアーム	902
		レシプロカルアーム	付録 65
		レシプロケーション	付録 64
		レジン	430, 460, 536, 631, 721, 897, 912, 1078, 1106
		レジンキャップ	1103
		レジンコーピング	515
		レジン歯	1104
			277, 381, 564

レジンジャケットクラウン 1105 付録 275	945, 1123 付録 279	ロック 1002
レジン床 1106 233	連結スクリュー 6	ロマグノリプレソマティッ ク 1003
レジン床義歯 1107 999	連結装置 1116 1115 855 付録 279	ロングセントリックオク ルージョン 1124
レジン前装冠 1108 1048	連結部 860, 862	ロングピン陶歯 906
レジン前装ポストクラウン 1008	連結様式 53, 185	
レジンタグ 620	連合印象 1117 804	<b>わ</b>
レジン築造 525	連合印象法 65	ワイドセントリックオク ルージョン 1125
レジン填入 18, 19, 752, 795, 936	連続鉤 1118 213, 300 付録 280	ワイヤーキャストコンビ ネーションクラスプ 428
レジントレー 412	練和 804	ワイヤークラスプ 1126 627 付録 159
レジンラミネートベニア 1071		ワイヤー固定法 1114
レスト 1109 80, 521, 555, 589, 814, 823, 962, 1110, 1113, 1118	<b>ろ</b>	ワックス 346, 360, 531, 570, 717, 951, 1000, 1028, 1102, 1127, 1128, 1129
レスト座 付録 276	ろう (鑷) 付け法 419	ワックスアップ 1127 75, 114, 176, 178, 490, 491, 660, 919, 1128 付録 282
レストシート 1110 1017, 1109 付録 276	ろう義歯 1119 18, 19, 327, 375, 531, 805, 936 付録 281	ワックスアップ用ヘラ 454
レスト付き二腕鉤 1111 68, 659, 810, 962 付録 277	ろう義歯試適 770	ワックス形成器 1127
レッジ 907	ろう型形成 付録 282	ワックスコーンテクニク 1128
レットロモラーパッド 1112 237, 315, 831 付録 278	ろう型採得 1120 1127 付録 282	ワックス操作法 1127
連結 57, 67, 195, 318, 417, 419, 434, 460, 524, 553, 555, 584, 595, 624, 705, 724, 738, 880, 882, 893, 937, 1072, 1074, 1114	ろう形成 付録 282	ワックスの保持 229
連結機構 861, 1003	ろう原型採得 付録 282	ワックスパターン 178, 805, 1028, 1038, 1072, 1078, 1127
連結強度 1113 478	老人様顔貌 1121 111, 1076	Walkhoff 小球 1129
連結固定 [歯の] 1114 42, 596, 803, 818	弄舌 854	彎曲板 367, 678
連結子 1115 18, 19, 207, 705, 820, 936,	ろう (鑷) 付け 9, 12, 114, 535, 1024, 1027, 1030	ワンピースキャスト法 1130 419 付録 283
	ろう堤 1122 360 付録 94	
	老年期 99	
	ろう盛り上げ法 1127	
	弄指 854	
	Roach-Akers コンビネー ションクラスプ 428	
	Roach クラスプ 1123 529	
	6 自由度運動 661	
	ロストワックス 1059	
	ロストワックス法 729	

## 外国語索引

#1-#2 combination clasp	aging society	403	antagonist	700
810	air abrasion	464	anterior cross-bar	902
#1 clasp	airborne-particle abrasion	464	anterior guidance	31
810	Akers clasp	68	anterior guide pin	608
#2 clasp	ala-tragus line	220	anterior guide table	609
810	alginat impression	21	anterior mandibular positioner	145
3D printer	all ceramic crown	102	anterior reference point	650
	all ceramic fixed partial denture	103	anterior reference pointer	33
<b>a</b>	altered cast technique	113	anteroposterior curve	630
abfraction	aluminous porcelain	24	Ante's Law	30
16	aluminous porcelain jacket	23	anti-Monson curve	1055
ability of mastication	alveolar arch	171	apex [of gothic arch tracing]	17
691	alveolar ridge line	518	arbitrary hinge position	966
abnormality of basal seat mucosa	American flasking technique	19	arcon articulator	20
235	American-French flasking technique	18	arrangement of reverse articulation	377
abutment	amount of tissue displacement	871	articulating paper	351
13, 519	analyzing rod	454	articulation	305, 324, 325
abutment analogue (analog)	anatomic artificial teeth	128	articulation test	306
14	anatomic crown	127	articulator	341
abutment positioning jig	anatomic impression	125	artificial crown	647
790	anatomic teeth	128	artificial gum	566
abutment screw	anatomical articulator	126	artificial tooth	564
15	angle between buccal and lingual internal cusp	397	artificial tooth root	565
abutment tooth	angle of lateral condylar path	669	ASL	514
520	angle of lateral incisal path	676	attached mucous membrane	923
abutment tooth form	anodontia appearance	1121	attachment	7
523			attrition	402
access hole			auscultation	734
6			auxiliary attachment	1003
acrylic resin tooth				
1104				
Adams clasp				
8				
add-on technique				
1127				
adhesion				
620				
adhesion bridge				
622				
adjustable anterior guidance				
616				
adjustable articulator				
735				
adjustable posterior guidance				
202				
ADL				
514				
agar alginat combined impression				
217				
agar impression				
218				
age				
74				
aged society				
404				



auxiliary retainer	1005	bilateral bounded saddle denture	722	Buccal of the Upper	938
average value articulator	965	bilateral extension base denture	1065	buccal shelf	266
axial reduction for tooth preparation	488	bilateral occlusal balance	1085	BULL rule	938
axial surface	486	biologic width	603	butt joint	843 559
axis orbital plane	485	bite fork	913		
		bite gauge	826	<b>C</b>	
<b>b</b>		bite impression	332	CAD	261, 262
back action clasp	840 810	bite pressure impression	327	CAD/CAM	71, 102, 103, 176, 276, 562, 643, 778
balanced articulation (occlusion)	968	bite raising	344	CAD/CAM abutment	261
balanced occlusion	940	bite-seating impression	375	CAD/CAM crown	262
balancing contact	885	bite tray	827	CAM	261, 262
balancing occlusal contact	885, 972	bite wound	383	cameo surface	236
balancing occlusal facet	969	biting pressure	326	Camper's plane	220
balancing ramp[of denture]	856	black triangle	930	<i>Candida albicans</i>	243, 768
balancing side	884	blade implant	943	canine protected articulation	303
Balkwill angle	857	block-out	951	cantilever bridge	88
band clasp	859	blowing test	949	cantilever fixed dental prosthesis	88
bar	817	bonding [of restoration]	620	cantilever fixed partial denture	88
bar attachment	818	bone anchored bridge	998	cap	507
bar clasp	820	bone anchored fixed partial denture	998	cap clasp	260
bar denture	819	Bonwill triangle	1021	carbon marker	454
bar joint type	818	border molding	271	carbon sheath	454
bar unit type	818	border seal	985	cast bar	730
basal seat mucosa	234	bounded saddle denture	722	cast clasp	728
beading	872	boxing an impression	1000	cast plate	729 278
Bennett's movement	979 448	bracing	834	cast support	259
bevel	981	bridge	937	castable ceramics	257
beveled chamfer type	981	bruxism	929	casting liner	258
beveled shoulder type	982	buccal bar	121	cement retaining system	624
bilateral balanced articulation (occlusion)	1086	buccal flange obturator		cementation	389
				central bearing plate	641
				central bearing point	638

central bearing screw	638	clicking	290	computer-aided	
central bearing tracing	639	clinical crown	1097	manufacturing	261, 262
central bearing tracing device	640	clinical root	1098	condylar articulator	425
centric occlusion	727	closest speaking space	73, 837	condylar ball	191
centric relation	726	closure of the interdental space	4	condylar guidance	201, 1006
centric stop	642	cognitive behavioral therapy	809	condylar path	199
ceramic crown	102	collarless margin	197	condylar path articulator	200
cervical margin form	492	combination clasp	428	condylar point	193
chamfer	537	combination impression	1117	condylar position	147
channel	720	combination syndrome	429	cone angle	406
channel shoulder pin	720	Commission Internationale de l'Eclairage	79	cone crown telescope	407
check bite	716	Commission Internationale de l'Eclairage 1976 (L*, a*, b*) color space	79	406, 420	
check bite method	717	communication disorders	307	connecting rigidity	1113
check bite technique	717	compensation curve	736	connector	1115
cheek bite	383	complementary kinematic condylar point	66	Contact Gauge (商品名)	426
chew-in technique	721	complementary mandibular movement	661	contact point	614
chewing cycle	685	complementary mandibular position	660	continuous clasp	1118
Christensen's phenomenon	289	complete crown	647	continuous positive airway pressure	297
chroma	445	complete denture	644	contour [of tooth]	219
CIE	79	complete denture prosthodontics	645	coping	434, 796
CIELAB	79	complete metal crown	643	coping impression	408 893
cingulum rest	1109	composite resin	430	coping pick-up impression	408
circumferential clasp	213	composite resin tooth	381	coping preparation	432
circumferential line	443	compress	34	cosmetic disturbance	573
C. I. S.	4	computer-aided design	261, 262	coverage crown	897
clasp	286			CPAP	93
clasp arm	405			crepitation	294
clasp body	387			crepitus	293
clasp shoulder	323			cross bite	376
clasp tang	318			cross bite artificial tooth	378
clasp tip	386			crown	284, 479
classification system [for prosthodontic treatment]	551			crown and bridge	
clearance	288				
clenching	295				

prosthodontics	285	(商品名)	636	970	
crown-root ratio	475	dental abrasion	1032	digital denture	759
C.S.P	720	dental antagonist	700	digital imaging and	
curve of Monson	1055	dental implant	319 55	communications in	
curve of Spee	591	dental prosthesis	1018	medicine	701
curve of Wilson	64	dentulous jaw	1060	digital impression	314
cuspid angle	396	denture	231	digital scan	314
cuspal interference	395	denture basal surface	239	digitally fabricated denture	
cuspid line	316	denture base	233		759
cuspid protected articula-		denture base outline	548	dipping wax technique	1127
tion (occlusion)	303	denture bearing area	240	direct retainer	742
cusplless tooth	1042	denture border	547	disc derangement	91
custom attachment	469	denture cleanser	245	disc displacement	91
custom made abutment	176	denture flange	554	disc recapturing	90
cut-back	1028	denture for defected jaw		disc reduction	92
cutting knife	454		165	disc repositioning	90
		denture foundation	240	disocclusion	265
<b>d</b>		denture marking	769	disorders of articulation	
Davis crown	754	denture plaque	768		307
deep bite	129	denture propulsion	574	dispersion-strengthened	
deep chamfer type	537	denture space	767	glass ceramics	963
definitive cast	449	denture stabilizer	232	distal extension missing	
definitive cast with artificial		denture stomatitis	243		1066
gum	567	denture ulcer	241	distal extension removable	
definitive cast with divided		deterioration of oral		partial denture	1065
die	961	function	321	Distal of the Lower	1044
definitive cast with		determination of mastica-		Distal of the Upper	785
individual die	919	tory efficiency	690	distal rest	1109
definitive denture	436	diadochokinesis	746	distance between subnasal	
definitive prosthesis	437	diagnostic cast	301	and gnathion	879
deflective occlusal contact		diagnostic denture	571	distributed type	446
	340, 657	diagnostic waxing	570	disuse syndrome	829
degassing	749	diastema	480	divided arm clasp	962
degree of food pulverization		diatoric tooth	1057	divided die	961
	558	DICOM	701	Dolder U-Bar	792
delayed disocclusion	265	die	489	double Akers clasp	659
delayed loading	702	die investing method	178	double investing method	
Denar SE articulator		difficulty in closing mouth			805

double mix impression	804	movement	137	face-bow transfer	914
dowel	1007, 1009	embrasure	410	facial defect	225
dowel crown	1008	embrasure clasp	659	facial implant	222
dowel pin	706	emergence profile	76	facial impression	221
drop-on technique	1127	emporary splinting	460	facial measurement method	224
dry mouth	320	Epithese (独語)	223	facial prosthesis	223
Duchange's index	760	epulis fissuratum	244	facial prosthetics	226
DUML rule	785	esthetic dissatisfaction	573	facing crown	631
duplicate cast	921	esthetic plane	72	far zone	908
duplicate denture	920	examination of interdental separation	482	fatigue	760
duplicate impression	917	examination of jaw movement	152	fatigue supplement	1012
dynamic impression	704	examination of mandibular movement	152	feather-edge type	915
dysarthria	307	examination of velopharyngeal function	874	ferrule	916
dysesthesia	209	excessive vertical overlap	129	festoon	531
dysmasesis	687	extended arm clasp	89	FGP technique	75
dysphagia	82, 612	extension base removable partial denture	1065	fiber post	909
dysphagia rehabilitation	613	extention bridge	88	fiber-reinforced composite resin post	909
<b>e</b>		extention fixed dental prosthesis	88	final impression	435
early loading	654	extention fixed partial denture	88	finger pressure impression	538
early type	446	external bar	121	finish line	912
eating and swallowing	611	external finish line	912	Fischer's angle	911
eating problem	612	external oblique ridge	119	fitness test	756
eccentric occlusal position	987	extracoronary attachment	472	fixed bridge with rigid and non-rigid connectors	860
eccentric position [of mandible]	986	extraoral prosthesis	164	fixed connection	419
edentulous jaw	1043	extraoral tracing method	311	fixed dental prosthesis	418
edge-to-edge occlusal position	619	<b>f</b>		fixed partial denture	417, 937 925
edge-to-edge occlusion	618	face-bow	913	flabby gum	934
Eichner classification	5			flabby tissue	934
Elbrecht clasp	80			flange technique	948
electromyographic examination	280			flare out	942
elements of mandibular				floor of mouth	391
				floor of oral cavity	391



	557	inner cap	796	398	
implant	55	inner crown	796	investing	1024
implant analogue (analog)	56	intaglio surface	239	irreversible hydrocolloid	
implant and tissue-		interalveolar crest line	517	impression	21
supported	61	interalveolar ridge line	517	I. R. V.	4 469
implant body	59	intercondylar axis	190	isometric point	776
implant platform	931	intercondylar distance	189		
implant platform shifting	932	intercuspatation	393	<b>j</b>	
implant prosthesis	57	interdental gingival space	930	jacket crown	536
implant-assisted and		interdental separation	481	Jackson crib clasp	535
tissue-supported	61	Interdentalraumverschluss		jaw defect	167
implant-supported	60	(独語)	4	jaw movement	151
impression	46	interim denture	459	jaw position	150
impression area	48	interim prosthesis	462	junction of hard and soft	
impression coping	50	interlocking core	957	palate	399
impression pressure	47	interlocking force	210	<b>k</b>	
impression surface of		intermediary defect	723	keel	229
denture	239	internal connection	53	keeper	228
impression taking	49	internal derangement	91	Kennedy bar	300
impression tray	51	internal derangement of		Kennedy classification of	
incisal guide pin	608	temporomandibular joint	162	removable partial	
incisal guide table	609			dentures	299
incisal path	615	internal finish line	912	key and keyway	227
incisal point	610	internal oblique line	797	kinematic axis	626
incisal rest	1109	interocclusal clearance	288	kinematic condylar point	66
indentation of tongue	606	interocclusal distance	368	knife edge type	799
indirect retainer	215	interocclusal free way space	27	Kolben (独語)	424
individual die	919	interocclusal record		Kolbenähnlich Form (独語)	
individual tray	413		52, 345, 716		424
individual tray for abutment		interocclusal relationship		Konometer (商品名)	420
impression	412		339, 698	Konuskronen Teleskop (独	
infrabulge area	28, 528	interocclusal rest space	27	語)	407 406, 420
infrabulge clasp	529	intraoronal attachment		Konuswinkel (独語)	406
infraocclusion	747		478		
infraorbital point	208	intraoral prosthesis	164	<b>l</b>	
initial occlusal contact	556	intraoral tracing method		labial bar	121

laminate veneer	1071	magnetic attachment	515	masticatory performance	
lateral check bite	716	major connector	705		690
lateral condylar path	668	malocclusion	330	masticatory pressure	680
lateral condylar path on		mandibular advancement		masticatory rhythm	692
balancing side	886	splint	93	masticatory side	688
lateral condylar path on		mandibular border		masticatory system	168
working side	448	movement [path]	138	matrix	1029
lateral incisal path	675	mandibular condyle	146	matrix method	1030
lateral mandibular		Mandibular Kinesiograph		maxillary tuberosity	549
movement	667	(商品名)	1034	maxillofacial prosthesis	
lateral occlusal curve	672	mandibular lateral			164
lateral occlusal position		translation	667	maxillofacial prosthetics	
	671	mandibular movement			163
latero propulsion	574		133, 151	maxillomandibular	
laterotrusion	979	mandibular movement		registration	350
ledge	907	disorders	136	maxillomandibular registra-	
ligamentous position		mandibular movement		tion by measuring maxi-	
[of mandible]	569	record	134	mal occlusal force	373
limitation of mouth opening		mandibular movement		maxillomandibular registra-	
	118	recording device	135	tion using physiologic	
limited mouth opening	118	mandibular position		rest position	131
line of reference	900		132, 150	maxillomandibular	
lingual apron	1092	mandibular retruded		relationship	153
lingual bar	1093	position	139	maxillomandibular	
Lingual of the Lower	938	mandibular torus	148	relationship record	156
lingual plate	1094	mandibular tracing	134	maximal intercuspal	
lingualized occlusion	1091	mandibular translation	180	position	394
lip support	1076	mandibular trismus	118	maximal mouth opening	
long centric articulation		marginal bone level	984		441
(occlusion)	1124	master cast	449, 1019	maximal occlusal force	442
low lip line	384	masticating cycle	686	maximal opening position	
lower bow [of articulator]		mastication	679		440
	149	masticatory disturbance		maximum convexity	444
luting agent	390		687	Measuring Device (商品名)	
luting cement	390	masticatory efficiency	689		1046
		masticatory force	693	measuring method of	
		masticatory movements		occlusal vertical	
			681	dimension	348

## m

median line	601	compound	1051	[of mandible]	281
median plane	602	modified water swallowing		muscular retention	270
mentolabial sulcus	111	test	122	mutually protected	
Mesial of the Lower	785	modiolus	1050	occlusion	1037
Mesial of the Upper	1044	mold guide	1049	MWST	122
mesial rest	1109	monolithic zirconia crown		myalgia	78
mesiodistal clasp	1100		1053	mylohyoid ridge	170
mesostructure [of implant		monoplane occlusion	1052	myofascial pain dysfunction	
prosthesis]	724	Monson curve	1055	syndrome	78
metal allergy	275	Monson spherical theory			
metal backing	1048		1056	<b>n</b>	
metal base	278 233	most anterior (occlusal)		nasal width	901
metal base denture	279	position	438	nasolabial angle	889
metal-ceramic crown	778	most lateral occlusal		nasolabial groove	890
metal coping	1047	position	439	nasolabial sulcus	890
metal core	525	most protrusive occlusal		near zone	802
metal crown	276	position	438	neuromuscular dysfunction	
metal crown with swaged		most retruded contact			78
cusp	9	position	144	neutral zone	807
metal insert teeth	944	mounting frame	1026	Ney Chayes	478
metal occlusal surface	277	mounting jig	1025	Ney clasp	810
metal plate denture	279	mounting on articulator		Ney Surveyor System	810
metal tooth	277		343	Ney's clasp	810
method of color		mounting plate	1026	niche	907
measurement		mounting ring	1026	nonanatomic tooth	
[of tooth color]	665	mouth floor	391		877, 1042
micromovement	662	movable fixed bridge	860	nonfunctional cusp	883
milling	1038	MPD syndrome	78	nonhygienic pontic	887
milling bar	1039	mucobuccal fold	530	nonmasticatory side	892
milling in	526	mucolabial fold	533	non-metal clasp denture	
minor connector	555	mucostatic impression			816
missing molars	1066		1040	non parallel pin technique	
MKG (商品名)	1034 135	MUDL rule	1044		815
MMA	77	Munsell color system	1033	non-pressure impression	
MMA-based luting agent		muscle palpating method			1040
	77		274	nonrigid connection	862
MM-JI・E (商品名)	135	muscle trimming	271	nonundercut area	28
modeling plastic impression		muscular contact position		non-vertical stop occlusion	



	600	occlusal prematurity	657	orthotic device	658
nonworking side	884	occlusal pressure	326	Orton crown	114
nonworking-side occlusal		occlusal ramp	107	OSAS	93, 297, 581
contact	972	occlusal reconstruction of		osseointegrated implant	
normal contour	219	denture	369		109
normal functioning		occlusal relationship	339	osseointegration	108
occlusion	254	occlusal reshaping		OU	712
		[ <i>of artificial teeth</i> ]	450	outer cap	116
<b>O</b>		occlusal rest	1109	outer crown	116
O-ring attachment	101	occlusal scheme	370	outline of clasp	308
obturator	165	occlusal sound	334	ovate pontic	112
obturator prosthesis	632	occlusal sound analyzer		overbite	97
occlusal adjustment	359		336	overclosure	94
occlusal analysis	362	occlusal sound test	335	over contour	219
occlusal appliance	104	occlusal support	352	overdenture	96
occlusal balance	363	occlusal-supporting area		overjet	95
occlusal cone	471		353	overlap	876
occlusal contact	358	occlusal table	105	overlay prosthesis	96
occlusal curvature	374	occlusal trauma	357	ovoid	63
occlusal device	104, 586,	occlusal unit	712	oxide film	458
	798, 1082, 1089	occlusal vertical dimension			
occlusal discomfort			347	<b>P</b>	
syndrome	331	occlusion	325	palatal augmentation	
occlusal disease	361	occlusion rim	360	prosthesis	617
occlusal dysesthesia	331	one-piece cast method		palatal bar	850
occlusal equilibration	359		1130	palatal lift prosthesis	801
occlusal examination	346	ontact area	614	palatal lift type	590
occlusal facet	356	open lock	970	palatal plate	310, 851
occlusal facet of protrusion		oral cavity proper	423	palatal prosthetics	312
	652	oral diadochokinesis	746	palatal ramp	107
occlusal force	371	oral dyskinesia	98	palatal strap	849
occlusal force test	372	oral frailty	99	palatal torus	313
occlusal interference	340	oral rehabilitation	100	palatine torus	313
occlusal plane	364	oral vestibule	322	palatogram	853
occlusal plane analyzer	367	orbitale	208, 935	pantograph	866
occlusal plane guide	365	orientation groove	123	pantographic recordings	
occlusal plane table	366	orientation plate for			867
occlusal position	329	compensating curve	678	PAP	617

parafunction	854	piezography	875	post-core	1009
parallel cast	977	pin	720	post-core crown	1008
parallel check	975	pin porcelain tooth	906	post dam	1011
parallel pin technique	855	pin technique	905	post damming	392
parallelometer		pinledge	907	posterior border position of	
	967, 971, 976	PIP	946	mandible	142
paresthesia	209	plane line articulator	978	posterior denture border	
partial coverage crown	928	plane of occlusion	364		237
partial-coverage crown		plaster core	607	posterior guidance	1006
	421, 1069	plaster index	607	posterior palatal seal	
partial coverage retainer		plate denture	1062		309, 1011
	1069	plate type pontic	1061	posterior reference points	
partial denture	925	PLP	801 590		400
partial loss of retention [of		polished denture surface		postpalatal seal	1011
fixed partial denture			236	poultice	34
(bridge)]	991	polysulfide rubber		Pound's line	831
partial veneer crown	928	impression	1020	preceramic soldering	
partially edentulous arch		pontic	1022	method	1027
	298	pontic porcelain tooth	1023	precise impression	604
Passavant's pad	832	porcelain bridge	996	preliminary impression	117
Passavant's ridge	832	porcelain build up	777	premature contact	657
passive fit	842	porcelain-faced cast crown		preparation of lingual wall	
path of masticatory			781		623
movement	682	porcelain fixed partial		prepared root canal for	
patrix	845	denture	996	dowel	1010
peri-implant mucositis	58	porcelain fused to metal		preprosthetic treatment	
peri-implantitis	58	crown	778		1017
periodontal prosthesis	508	porcelain jacket crown	995	pressure impression	115
permanent splinting	67	porcelain layering zirconia		pressure indicating paste	
personality	74	crown	997		946
pharyngeal bulb type	590	porcelain tooth	780	pressure mark on cheek	
phonetic method of		porion	935	mucosa	267
measuring occlusal		Posselt's figure	1013	presymptomatic disease	
vertical dimension	839	Posselt's three dimensional			1036
phonetic test	838	representation	1013	primary splinting	42
physiologic rest position		post	1007	profile	670
	130	post ceramic soldering		profile record	670
pickup impression	893	method	12	prognosis	1068

progressive and distributed type	446	reciprocal arm	248	residual ridge	171
progressive side shift	446	reciprocal clasp	248	residual ridge arch	171
progressive type	446	reciprocation	247	residual ridge crest	516
prosthesis	1014, 1018	recontouring	1073	residual ridge resorption	172
prosthesis and/or appliance for defected jaw	175	record base	246	resilient attachment	204
prosthetic appliance for swallowing disorder	87	record base with occlusion rim	355	resin base	233
prosthetic dentistry	470	record rim	360	resin base denture	1107
prosthetics	1015	registration arm	902	resin-bonded prosthesis	622
prosthetics for defected jaw	174	reinforcing wire	999	resin cap	1103
prosthodontics	470	relaxation appliance	1089	resin denture base	1106
protrusive check bite	716	relief	1090	resin facing metal crown	1108
protrusive movement [of mandible]	649	relief area	212	resin jacket crown	1105
protrusive occlusal position	651	reline	1088	resin veneer crown	1108
protrusive position [of mandible]	648	relining jig	1088	resistance	760
provisional bridge	462	remount cast jig	1083	rest	1109
provisional cementation	179	remounting jig	1083	rest seat	1110
provisional crown	952	remounting on articulator	342	restoration	479
provisional restoration	953	removable connection	185	retainer	524
proximal groove	1099	removable dental prosthesis	183, 184	retention	36
proximal half crown	950	removable denture	182, 1062	retention beads	1078
proximal plate	1101	removable die	490	retention form	1002
pupillary line	775	removable die system	490	retentive arm	41
		removable partial denture	926 925	retentive force	40
		removable partial prosthodontics	927	retentive latticework	37
		removal knob	1084	retromolar pad	1112
		repetitive saliva swallowing test	868	retromolar triangle	264
		repositioning appliance	1082 104	retromylohyoid curtain	315
		residual mucous membrane	173	retromylohyoid space	315
				retruded contact position	141
				retrusion facet	401
				retrusive movement [of mandible]	388
				reverse articulation	

	376, 864	sandwich	507	563	
reverse back action clasp		SAS	69 581 付録 150	single die	715
	1079 810	Saxon test	452	single impression	710
reverse pin porcelain facing		scanner	583	sleep apnea syndrome	581
tooth	1080	science of occlusion	337	sleeve	599
reversible hydrocolloid		scissors bite	833	smile line	552
impression	218	screw retaining system		smiling line	888
ridge lap pontic	1075		584	snort mirror	891
ridge relation	697	secondary splinting	803	so-called denture fibroma	
ridge relationship	697	sectional denture	956		244
rigid attachment	880	sectional impression	954	soft relining material	1088
rigid connection	419	sectional impression tray		solid working cast	491
rigid retainer	882		960	SPA factor	74
rigid support	1074	selective grinding	633	space of Donders	794
ring clasp	1095 810	selective pressure		speaking space	837
ring liner	258	impression	634	speech aid	590
Roach clasp	1123	self-help device	514	speech articulation	305
roofless denture	1041	semiadjustable articulator		speech articulation test	
root extension pontic	1058		865		409
rounded shoulder	1070	semifixed bridge	860	speech bulb	858
RPA clasp	3	semifixed connection	862	speech discrimination test	
RPI clasp	2	semifixed prosthesis	861		409
RSST	868	semihygienic pontic		spheroid pontic	924
runner bar	1072		863, 988	spillway	795
		senile appearance	1121	splint	596
		sensory disturbance	209	splinting	595
		sex	74	splinting [of teeth]	1114
		shade guide	466	split bar	594
		shade selection	484	split cast	593
		shortened dental arch	712	splitpole	507
		shoulder	559 720	spoon denture	592
		side shift	446	spur	589
		sieving test [of masticatory		square	63
		efficiency]	534	stabilization appliance	586
		silicone rubber impression			104
			560	stabilized condylar position	
		single-arm clasp	713		187
		single complete denture		standard tessellation	

## S

S-curve	70
“s” position	73
saddle pontic	26
sagittal condylar inclination	
	510
sagittal condylar path	509
sagittal incisal inclination	
	512
sagittal incisal path	511
sagittal plane	513
saliva test	707
sand-blasting	464

language	71	suprabulge area	28, 471	radiography	157
standard triangulated		suprabulge clasp	473	Tench's core	765
language	71	supracrestal tissue		Tench's space	764
stent	587	attachment	603	tentative occlusal plane	177
stereolithography	71	survey line	455	terminal hinge axis	545
Stern G/L	478	surveying	456	terminal hinge axis point	
stethoscopy	734	surveyor	454		546
STL	71	swaged plate	10 278	terminal hinge movement	
stomatognathic system	168	swallowing disorder	82		544
strap	588	swallowing method [of		terminal hinge position	543
stress-bearing ability	11	vertical relation]	86	test for chewing ability	683
stress-bearing region		swallowing position	81	three fundamental anterior	
	240, 328	Swedish banana	1013	tooth contours classified	
stress breaker	207	symptom provoking test		by Williams	63
stress-breaking attachment			782	three quarter crown	1069
	204			tilting test	770
stress-breaking retainer				tinner's joint	753
	206			tissue borne	813
stress supporting region				tissue borne denture	814
	328			tissue conditioner	751
Stuart articulator (商品名)				tissue displaceability	869
	636			tissue displacement	870
stud attachment	431			tissue stop	752
study cast	301			TMJ articulator (商品名)	
stylus	898				636
sublingual bar	1093			tongue bite	383
subnasal point	878			tooth and tissue-support	
subnasion	878				498
subperiosteal implant	416			tooth and tissue-supported	
substructure [of implant				denture	499
prosthesis]	195			tooth arrangement	568
super-aged society	733			tooth axis	503
superstructure [of implant				tooth borne denture	722
prosthesis]	553			tooth-bounded and free-	
support	502			end missing	918
supporting ability	506			tooth-colored material	477
supporting cusps	504			tooth crown axis	474
supporting tissue	505			tooth mobility test	786

t

taper	755
taper tool	454
tapering	63
tapping	708
tapping movement	709
telescopic crown	761
template	771
template for defected jaw	
	230
temporary abutment	772
temporary cementation	
	179
temporomandibular	
arthralgia	161
temporomandibular	
disorders	160, 166
temporomandibular joint	
diseases	159
temporomandibular joint	
noise	158
temporomandibular joint	



## 人名索引

### 【日本人名】

石原寿郎	534
大石忠雄	187
尾花甚一	600
草刈 玄	481
河野正司	626
坪根政治	826
藤田恒太郎	503
保母須弥也	745
矢崎正方	375

### 【外国人名】

Adams	8
Akers	68
Amsterdam	508
Ante	30
Ash	726
Bennett	979
Blatterfein	802, 908
Bonwill	189, 1021
Boos	373
Boucher	726
Brill	281
Carmichael	1069
Christensen	289, 717
Clark	331
Cooperman	894

Davis	754
Denar	866
Donders	794
Duchange	760
Eichner	5
Elbrecht	80
Fisher	74
Frush	74
Gaerny	4
Gottlieb	1097
Green	274
Grippo	16
Guichet	361, 446, 1125
Gysi	274, 356, 411, 640,
	966
Hanau	966
Hardy	1042
Heartwell	563
Jackson	535
Jankelson	1034
Jelenko	745
Käyser	712
Kelly	429
Kennedy	299, 300
Klein	875
Körber	406, 407, 1113
Krogh-Poulsen	274
Lauritzen	362, 902, 1044

Levin	944, 948
Lott	948
Luce	721
Lundeen	966
Manly	534
McCollum	800
Monson	1056
Munsell	1033
Payne	1128
Posselt	142, 1013
Pound	990, 1091
Ramfjord	726
Roach	964, 1100, 1123
Schuyler	938, 1124, 1125
Sears	856, 1042
Simmons	331
Snow	913
Solberg	441
Sosin	944
Spee	591
Stallard	800
Steiger	720
Stuart	866, 904
Tench	764
Thomas	1128
Watt	335
Williams	63







歯科補綴学専門用語集 第5版

ISBN978-4-263-45836-5

2001年2月20日 第1版第1刷発行  
2003年8月20日 第1版第3刷発行  
2004年10月25日 第2版第1刷発行  
2007年6月20日 第2版第2刷発行  
2009年3月10日 第3版第1刷発行  
2013年6月20日 第3版第6刷発行  
2015年2月10日 第4版第1刷発行  
2018年1月20日 第4版第2刷発行  
2019年3月25日 第5版第1刷発行  
2021年2月20日 第5版第2刷発行

公益社団法人  
編者 日本補綴歯科学会

発行者 白石泰夫

発行所 医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10

TEL. (03) 5395-7638(編集)・7630(販売)

FAX. (03) 5395-7639(編集)・7633(販売)

<https://www.ishiyaku.co.jp/>

郵便振替番号 00190-5-13816

乱丁、落丁の際はお取り替えいたします

印刷・三報社印刷／製本・榎本製本

© Ishiyaku Publishers, Inc., 2001, 2019. Printed in Japan

本書の複製権・翻訳権・翻案権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）・口述権は、医歯薬出版(株)が保有します。

本書を無断で複製する行為（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」などの著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。また私的使用に該当する場合であっても、請負業者等の第三者に依頼し上記の行為を行うことは違法となります。

**JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本書をコピーやスキャン等により複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。